

平成29年度

市政世論調査概要

第 7 1 集

和 歌 山 市

はじめに

昨年は色々な政策が新たに動き出した年で、今までに蒔いた和歌山市の発展の基礎という種が次々と芽を出したと、実感できる年でした。

まず、平成38年度までのまちづくりの方向性を示す「第5次和歌山市長期総合計画」を策定し、和歌山市が目指すべき将来都市像を「きらり 輝く 元気な和歌山市」と定め、それを実現するための4つの分野別目標「安定した雇用を生み出す産業が元気なまち」「住みたいと選ばれる魅力があふれるまち」「子供たちがいきいきと育つまち」「誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち」を示しました。次に昨春には、第二阪和国道と京奈和自動車道紀北西道路が開通しました。このことにより、近畿圏内をはじめ中部、関東方面へのアクセスが向上し、経済圏の拡大が期待できます。そして4月に、県下で初めて9年制の伏虎義務教育学校が開校し、教育にとって大きな試みがスタートしました。さらに、「絶景の宝庫 和歌の浦」が日本遺産に認定されたことで、和歌山市の今後の観光にとって新たな魅力が創出され、大勢の観光客を呼び込むチャンスが到来しました。

今年は、和歌山城天守閣が再建60周年を迎える記念すべき年でもあり、長年市民から愛されている和歌山城と「絶景の宝庫 和歌の浦」の魅力を効果的にPRすることで、国内外からの誘客につながるよう、和歌山市の魅力を積極的に発信していきます。また、今春には、まちなかに誘致した3つの大学の中で、1校目となる東京医療保健大学和歌山看護学部が開学します。さらに、来年の4月には（仮称）和歌山信愛大学教育学部、平成33年4月には公立大学法人和歌山県立医科大学薬学部の開学を予定しています。これにより年々まちなかに集まる若い年代が増え、地域の方との交流が生まれ、行事やイベントで地域の方々と協働することによって、若者が和歌山市に愛着を持ち、まちなかに定着することが期待できます。

そして、産業振興や子育て支援はもちろんのこと、誰もが住みたくなる魅力的なまちづくりに取り組むことで急激な人口減少に歯止めをかけ、コンパクトシティの形成や高齢化対策等にも対応した安心して住み続けられるまちの実現に向けて、市民の皆様と力を合わせて全力で取り組んでいきます。

この冊子は、アンケート調査で得られた貴重なご意見を市政に最大限活用し、今後の施策や計画に反映することを目的とした貴重な資料であります。

ここに、平成29年度市政世論調査概要（第71集）を取りまとめましたので、関係各位におかれましては、ご活用いただければ幸いと存じます。

終わりに、この調査を実施するにあたり、ご協力いただきました市民のみなさまに厚くお礼申し上げます。

平成30年3月

和歌山市長 尾花 正 啓



和歌山市き章（明治42年制定）

和歌山市は三方山に囲まれ、西は紀伊水道をへだてて、淡路島、四国が見える風光明媚な温暖の地である。

その和歌山市の力強い発展をき章が表している。

すなわち、山の形の印は、和歌山市は三方山に囲まれているので、その地形を表し、白い矢印は和歌山市発展の勢いを表す（三方の山を貫く市民の力）。

○ はワカ山のカ（カタカナ文字）を図案化したもの。

和 は和カヤマの和を表している。

市民憲章（昭和41年11月3日制定）

わたくしたちは、和歌山市民であることに誇りをもち、平和で豊かなまちをつくるため、市民の心がまえを定めます。

- ① 自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- ② 互いにたすけあい、希望にみちたまちをつくりましょう。
- ③ きめごとを守り、人に迷惑をかけない市民になりましょう。
- ④ 仕事に誇りをもち、たくましい市民になりましょう。
- ⑤ 教養を高め、視野の広い市民になりましょう。

目次

I. 調査の概要	5
1. 調査の目的	5
2. 調査の内容	5
3. 調査の方法	5
4. 集計区分	6
5. 回答者の属性	7
6. 回答者の家族環境	11
II. 調査の結果	15
1. 市政一般について	15
2. 人口減少・人口流出について	16
3. 日本遺産について	24
4. LRT（次世代型路面電車）について	32
5. 食育について	41
6. 災害対策について	51
7. 防犯対策について	67
8. スポーツについて	72
9. フルマラソンについて	76
10. スポーツ施設について	81
11. 健康について	83
12. ウイルス性肝炎対策について	108
13. 和歌山市の取組に対しての満足度・重要度について	116
14. 和歌山市の市政について（自由意見）	141
III. 調査票	145

※報告書利用にあたって

○図および表中の比率は、小数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

○複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%を超えています。

○図中の「n」とは、質問別の該当対象者数を示し、比率は「n」を100%として表示しています。「n」が調査母数の場合は表示していません。今年度は「1027」となっています。

○年齢層別クロス集計について、18～19歳は回答数が少ないため、本調査の結果が和歌山市における当該年齢層の傾向と異なる可能性があることをご理解の上、調査結果をご覧ください。

調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査の目的

和歌山市では毎年「市政世論調査」を行い、市民の希望や意識について調査し、市政運営のための基礎資料として活用している。

2. 調査の内容

- 市政一般について
- 人口減少・人口流出について
- 日本遺産について
- LRT（次世代型路面電車）について
- 食育について
- 災害対策について
- 防犯対策について
- スポーツについて
- フルマラソンについて
- スポーツ施設について
- 健康について
- ウイルス性肝炎対策について
- 和歌山市の取組に対する満足度・重要度について
- 和歌山市の市政について（自由意見）

3. 調査の方法

- ◆ 調査区域 和歌山市全域
- ◆ 調査対象 和歌山市に居住する満18歳以上の男女を等間隔無作為抽出
- ◆ 調査方式 郵送による配布・回収
- ◆ 調査期間 平成29年8月24日（木）～同年9月12日（火）
- ◆ 回収率 発送数 2,000人
有効回収数 1,027人 （回収数 1,028人）
有効回収率 51.4% （回収率 51.4%）
- ◆ 調査機関 和歌山市広報広聴課（対象者の抽出及びアンケートの策定）
和歌山航測株式会社（配布・回収・集計・取りまとめ）

4. 集計区分

居住区は全市内 42 地区で調査したが、下表のとおり 6 地域にとりまとめ集計した。

1. 中心部

本町・城北・広瀬・雄湊・大新・新南・吹上・砂山・今福・高松・芦原・宮前・中之島・宮北

2. 南部

雑賀・雑賀崎・和歌浦・名草・田野

3. 東部

四箇郷・宮・西和佐・和佐・小倉

4. 東南部

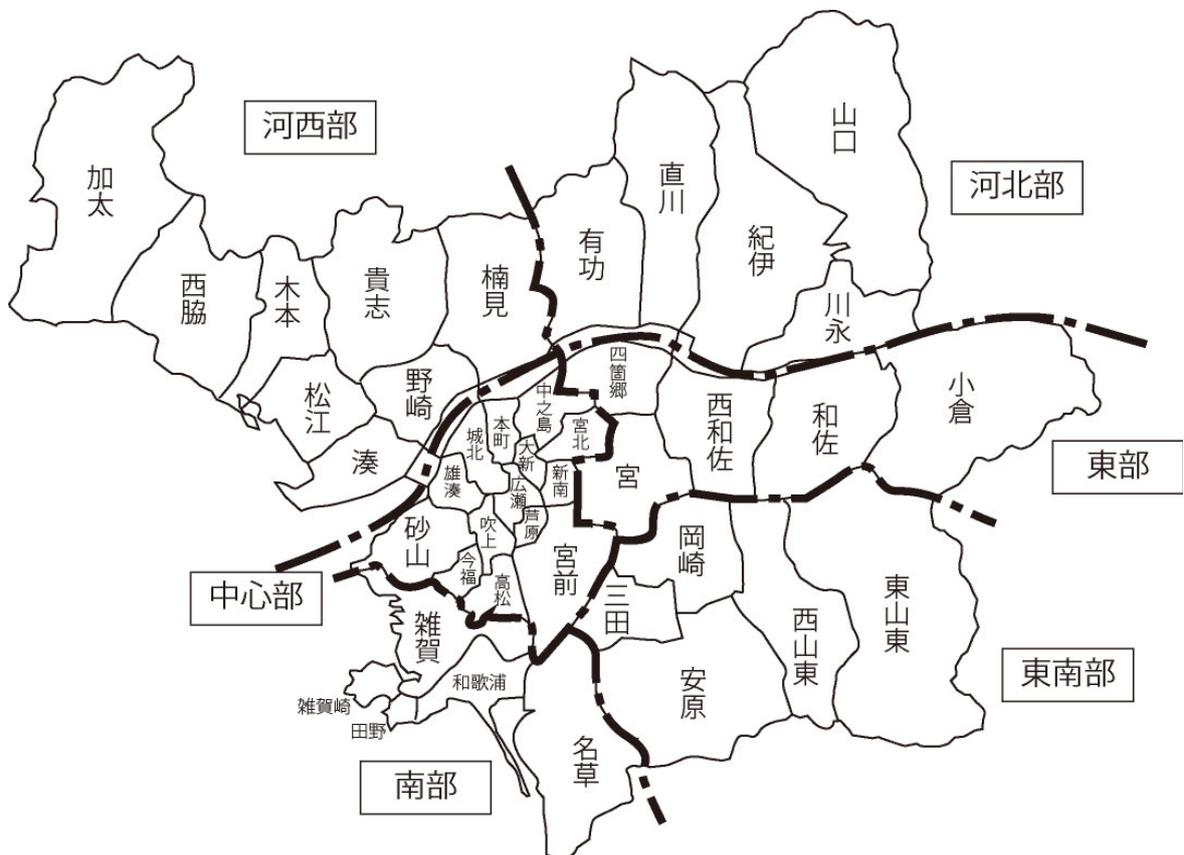
岡崎・三田・安原・西山東・東山東

5. 河西部

野崎・湊・松江・楠見・貴志・木本・西脇・加太

6. 河北部

有功・直川・紀伊・川永・山口



5. 回答者の属性

回答者の属性について、アンケートの問1～問5の結果を集計した。

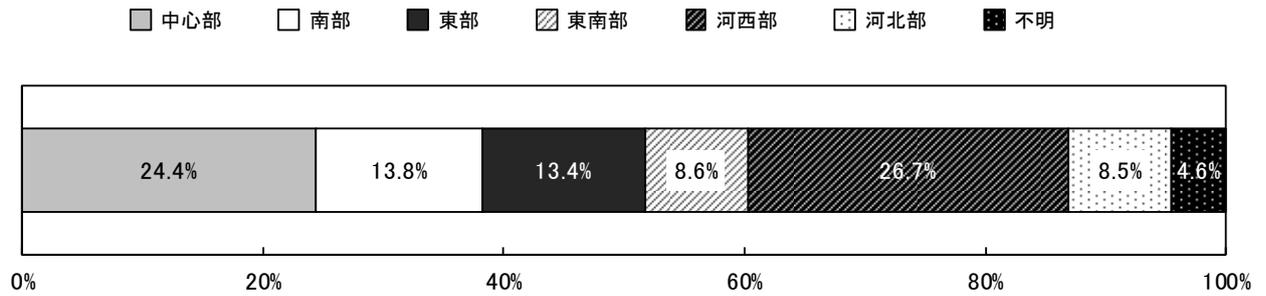
区分		総数	18歳 ～ 19歳	20歳 代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 代	70歳 代	80歳 以上	不明
総数		1027	14	64	121	138	154	254	222	53	7
地域別	中心部	251	4	13	32	25	47	60	63	6	1
	南部	142	4	8	15	24	27	28	24	12	0
	東部	138	1	8	16	20	24	34	26	9	0
	東南部	88	1	5	10	14	8	23	21	6	0
	河西部	274	3	15	29	44	34	73	60	12	4
	河北部	87	1	10	12	6	12	28	15	3	0
	不明	47	0	5	7	5	2	8	13	5	2
性別	男性	447	8	26	50	57	67	112	94	32	1
	女性	555	6	37	70	79	85	136	120	20	2
	不明	25	0	1	1	2	2	6	8	1	4
職業別	会社員	221	1	25	47	55	55	34	3	0	1
	自営業	79	0	1	6	10	12	26	23	1	0
	農林水産業	8	0	0	0	1	0	6	1	0	0
	公務員	45	0	9	10	9	11	6	0	0	0
	パート・アルバイト	152	0	13	29	33	35	32	9	0	1
	専業主婦	195	0	4	19	20	23	72	49	8	0
	学生	24	13	11	0	0	0	0	0	0	0
	無職	253	0	1	4	4	9	66	130	38	1
	その他	39	0	0	6	6	8	10	4	5	0
	不明	11	0	0	0	0	1	2	3	1	4
居住年数別	1年未満	8	1	3	0	1	1	2	0	0	0
	1～3年未満	17	1	6	4	1	2	3	0	0	0
	3～5年未満	14	0	6	7	1	0	0	0	0	0
	5～10年未満	22	0	2	7	4	4	3	2	0	0
	10～20年未満	52	12	8	9	13	5	4	1	0	0
	20～30年未満	108	0	39	11	18	25	10	4	1	0
	30年以上	801	0	0	83	100	117	232	214	52	3
	不明	5	0	0	0	0	0	0	1	0	4

問1 居住区

問1 あなたの居住区はどこですか？

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1. 中心部 | 3. 東部 | 5. 河西部 |
| 2. 南部 | 4. 東南部 | 6. 河北部 |

居住区構成は、「河西部」(26.7%)が最も多く、次いで「中心部」(24.4%)、「南部」(13.8%)の順となっている。

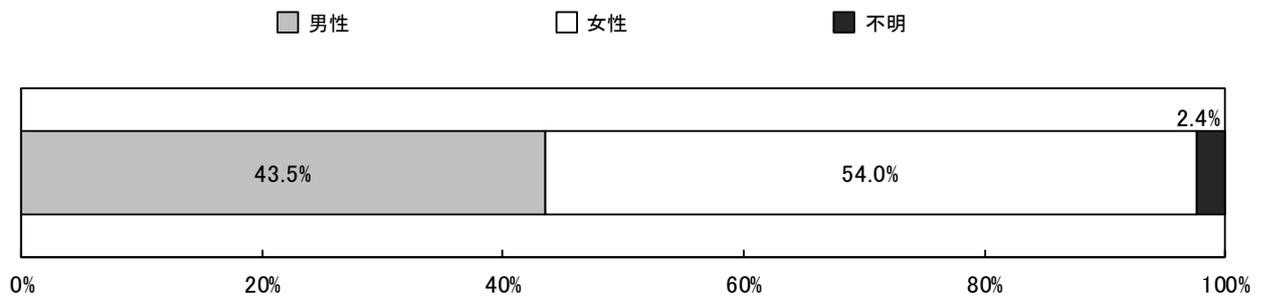


問2 男女別

問2 あなたの性別は？

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

男女別構成は「女性」(54.0%)、「男性」(43.5%)で、女性が男性を上回っている。

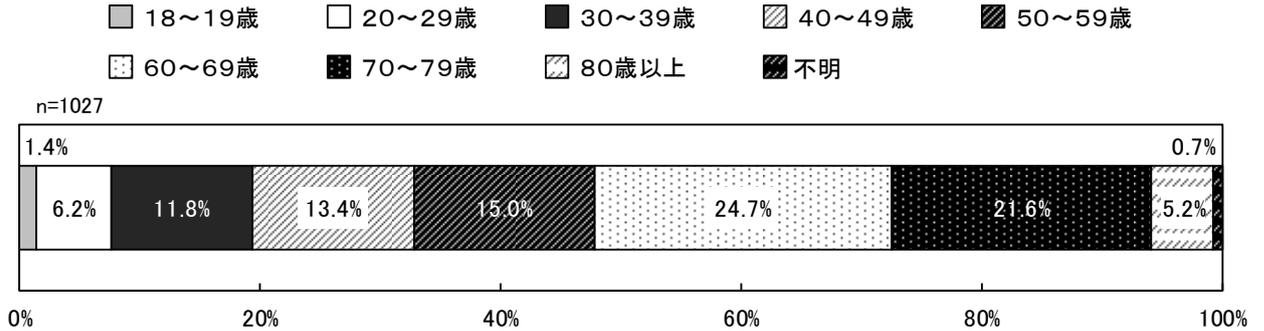


問3 年齢

問3 あなたの年齢は？

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～19歳 | 3. 30～39歳 | 5. 50～59歳 | 7. 70～79歳 |
| 2. 20～29歳 | 4. 40～49歳 | 6. 60～69歳 | 8. 80歳以上 |

年齢構成は「60～69歳」（24.7%）が最も多く、次いで「70～79歳」（21.6%）となっている。60歳以上の比率が51.5%を占める。

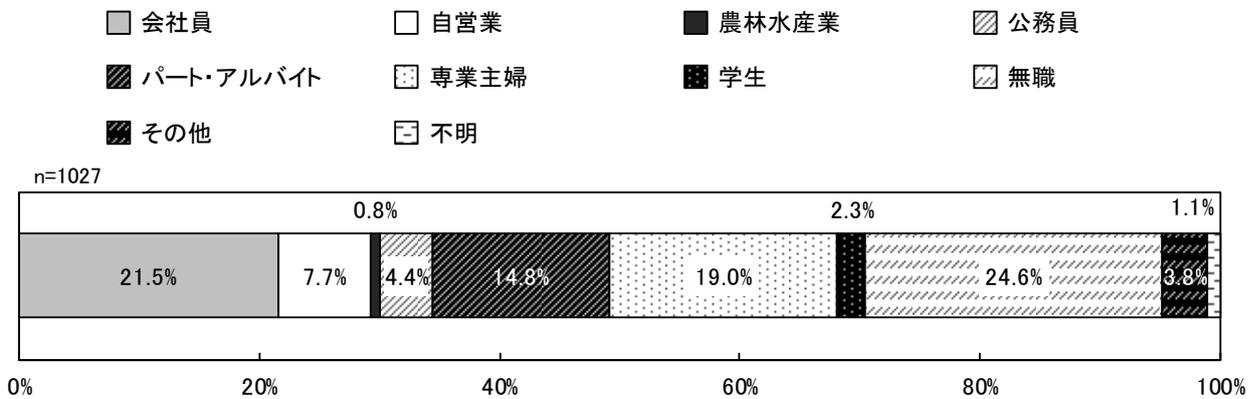


問4 職業

問4 あなたの職業は？

- | | |
|--------------|---------|
| 1. 会社員 | 6. 専業主婦 |
| 2. 自営業 | 7. 学生 |
| 3. 農林水産業 | 8. 無職 |
| 4. 公務員 | 9. その他 |
| 5. パート・アルバイト | () |

職業構成は「無職」（24.6%）、「会社員」（21.5%）、「専業主婦」（19.0%）の順となっている。

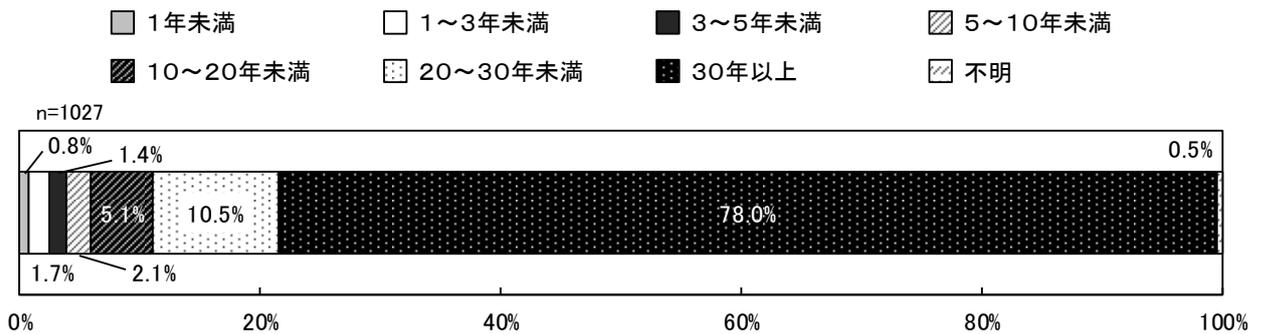


問5 居住年数

問5 あなたが和歌山市に住んでいる年数は？

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 5. 10～20年未満 |
| 2. 1～3年未満 | 6. 20～30年未満 |
| 3. 3～5年未満 | 7. 30年以上 |
| 4. 5～10年未満 | |

和歌山市の居住年数構成は「30年以上」が78.0%で最も多く、次いで「20～30年未満」(10.5%)が続く。



6. 回答者の家族環境

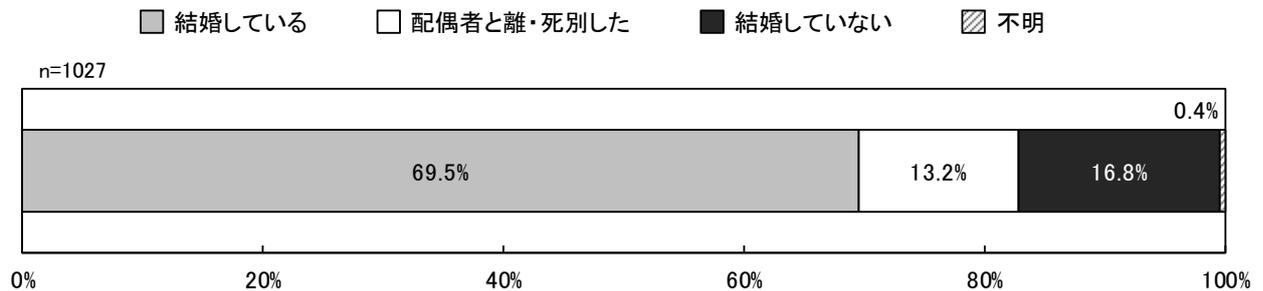
回答者の家族環境について、アンケートの問6～問7の結果を集計した。

問6 結婚

問6 あなたは現在、結婚をしていますか？

1. 結婚している 2. 配偶者と離・死別した 3. 結婚していない

未既婚の構成は、「結婚している」が69.5%、「結婚していない」が16.8%である。「配偶者と離・死別した」は13.2%となっている。



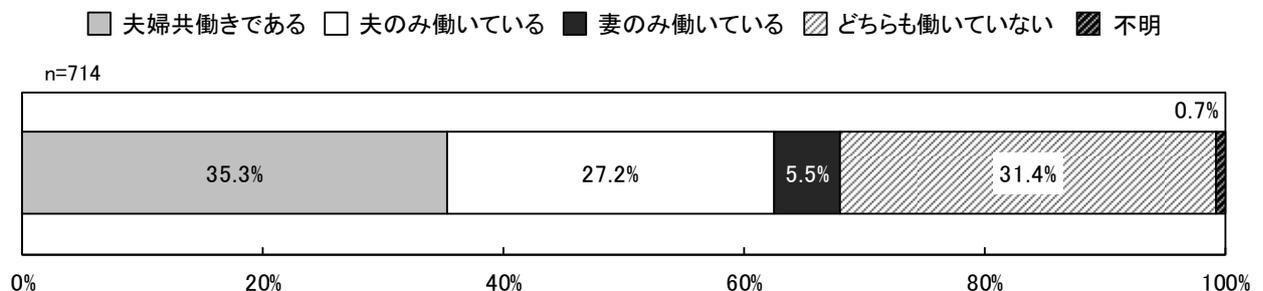
問6-1 共働き

問6-1 問6で「1. 結婚している」と回答された方のみお答えください。

夫婦ともに働いていますか？

1. 夫婦共働きである 3. 妻のみ働いている
2. 夫のみ働いている 4. どちらも働いていない

問6で「結婚している」と回答した714人について、「夫婦共働きである」が35.3%で最も多く、次いで「どちらも働いていない」(31.4%)、「夫のみ働いている」(27.2%)の順となっている。



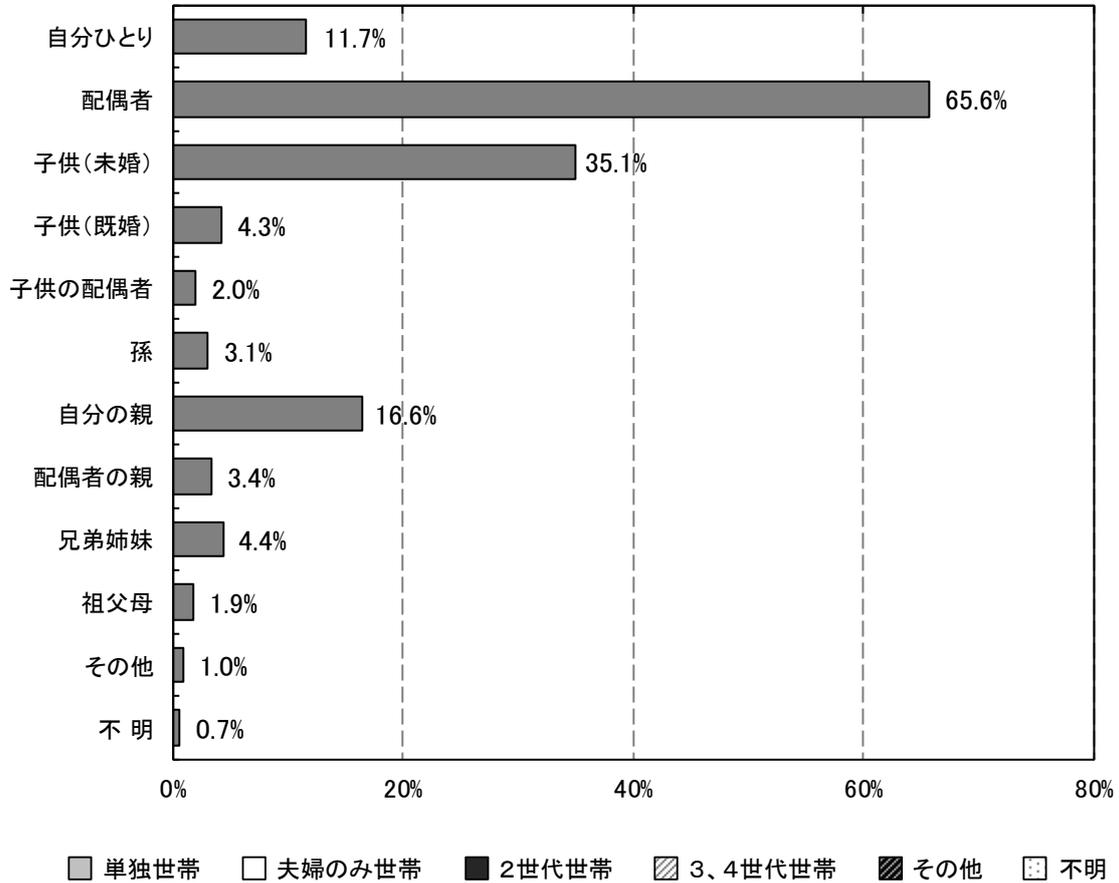
問7 家族構成

問7 あなたは現在、どなたと一緒に住まいますか？あてはまるものをすべてお選びください。

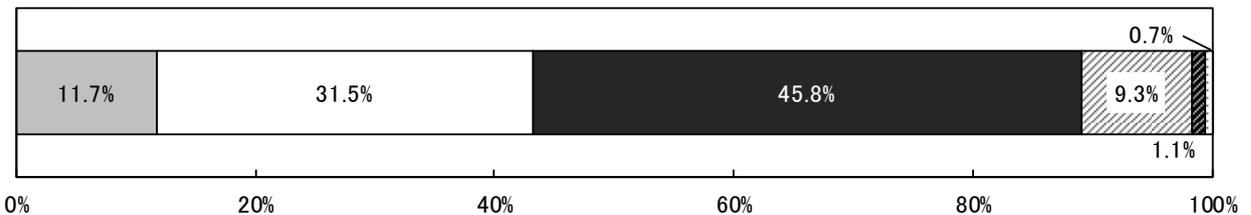
- | | |
|-----------|----------|
| 1. 自分ひとり | 7. 自分の親 |
| 2. 配偶者 | 8. 配偶者の親 |
| 3. 子供（未婚） | 9. 兄弟姉妹 |
| 4. 子供（既婚） | 10. 祖父母 |
| 5. 子供の配偶者 | 11. その他 |
| 6. 孫 | () |

同居人は「配偶者」が65.6%と最も多く、次いで「子供（未婚）」（35.1%）、「自分の親」（16.6%）の順となっている。回答から家族構成を分類すると「2世代世帯」が45.8%と最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」（31.5%）、「単独世帯」（11.7%）「3、4世代世帯」（9.3%）の順となっている。

n=1027



n=1027



調査の結果

Ⅱ. 調査の結果

1. 市政一般について

問8 ご自身の状況や考え方について

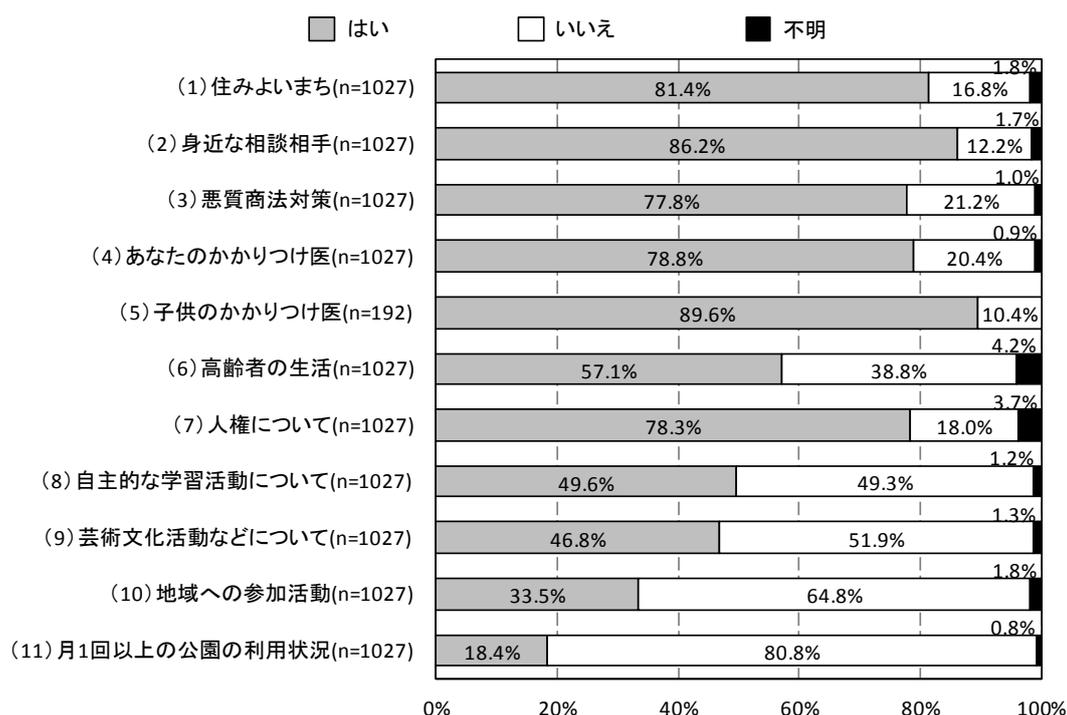
問8 あなたご自身の状況やお考えについてお答えください。

- (1) 和歌山市が住みよいまちだと感じていますか？
- (2) 身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか？
- (3) あなたは、悪質商法による被害にあわないために日頃から気をつけていることはありますか？
- (4) あなたの、かかりつけ医はありますか？
- (5) お子様の、かかりつけ医はありますか？（0～14歳のお子様がいいらっしゃる方のみ）
- (6) 高齢者が住み慣れた地域で充実した生活を送れていると思いますか？
- (7) あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか？
- (8) 日頃から趣味や関心のあるテーマについて、自主的に学習活動を行っていますか？
- (9) 日頃から芸術文化活動を行い、又は鑑賞する機会（映画・音楽・展覧会の鑑賞などを含む）をもっていますか？
- (10) 公園清掃や花壇づくりなど地域の活動への参加をしている、又は、したいと思いますか？
- (11) 公園を月1回以上利用されますか？

1. はい

2. いいえ

自身の状況や考え方について、「はい」の比率が最も高いのは「お子様の、かかりつけ医はありますか」で89.6%となっている。「はい」が70%を超えるのは、「身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか」(86.2%)、「和歌山市が住みよいまちだと感じていますか」(81.4%)、「あなたの、かかりつけ医はありますか」(78.8%)、「あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか」(78.3%)、「あなたは、悪質商法による被害にあわないために日頃から気をつけていることはありますか」(77.8%)の計6項目である。



2. 人口減少・人口流出について

問9 人口減少・人口流出問題の施策

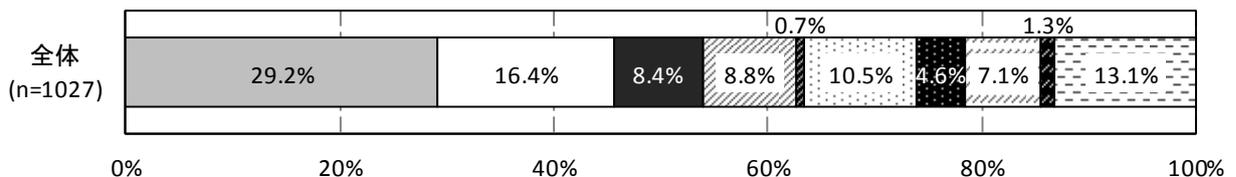
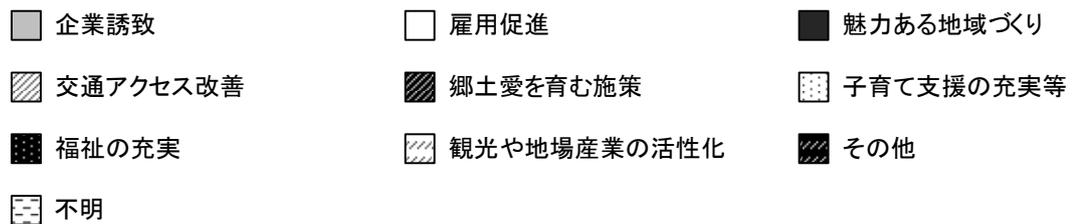
問9 あなたは、人口減少・人口流出を防ぐためにどのような施策に力を入れるべきだと思いますか？
あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 企業誘致 | 6. 子育て支援の充実等 |
| 2. 雇用促進 | 7. 福祉の充実 |
| 3. 魅力ある地域づくり | 8. 観光や地場産業の活性化 |
| 4. 交通アクセス改善 | 9. その他 () |
| 5. 郷土愛を育む施策 | |

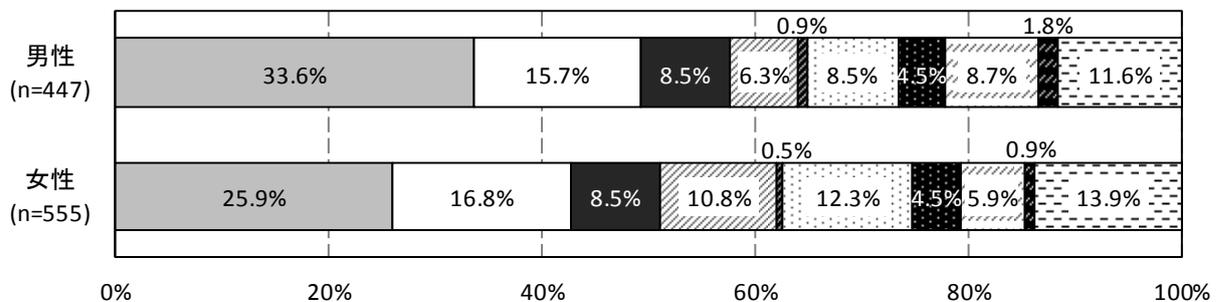
人口減少・人口流出を防ぐための施策について、「企業誘致」が29.2%と最も多く、次いで「雇用促進」(16.4%)、「子育て支援の充実等」(10.5%)の順となっている。

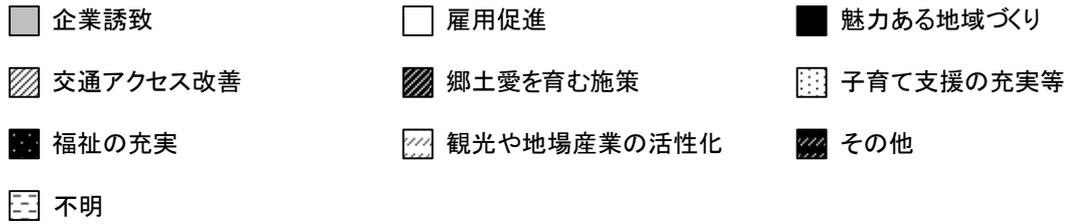
男女別にみると、男性では「企業誘致」が女性より7.7ポイント、女性では「交通アクセス改善」が男性より4.5ポイント、「子育て支援の充実等」が3.8ポイント上回っている。

年代別にみると、18～19歳では「魅力ある地域づくり」、20～29歳では「交通アクセス改善」、30～39歳では「子育て支援の充実等」、50～59歳では「雇用促進」が他の年代より高めとなっている。

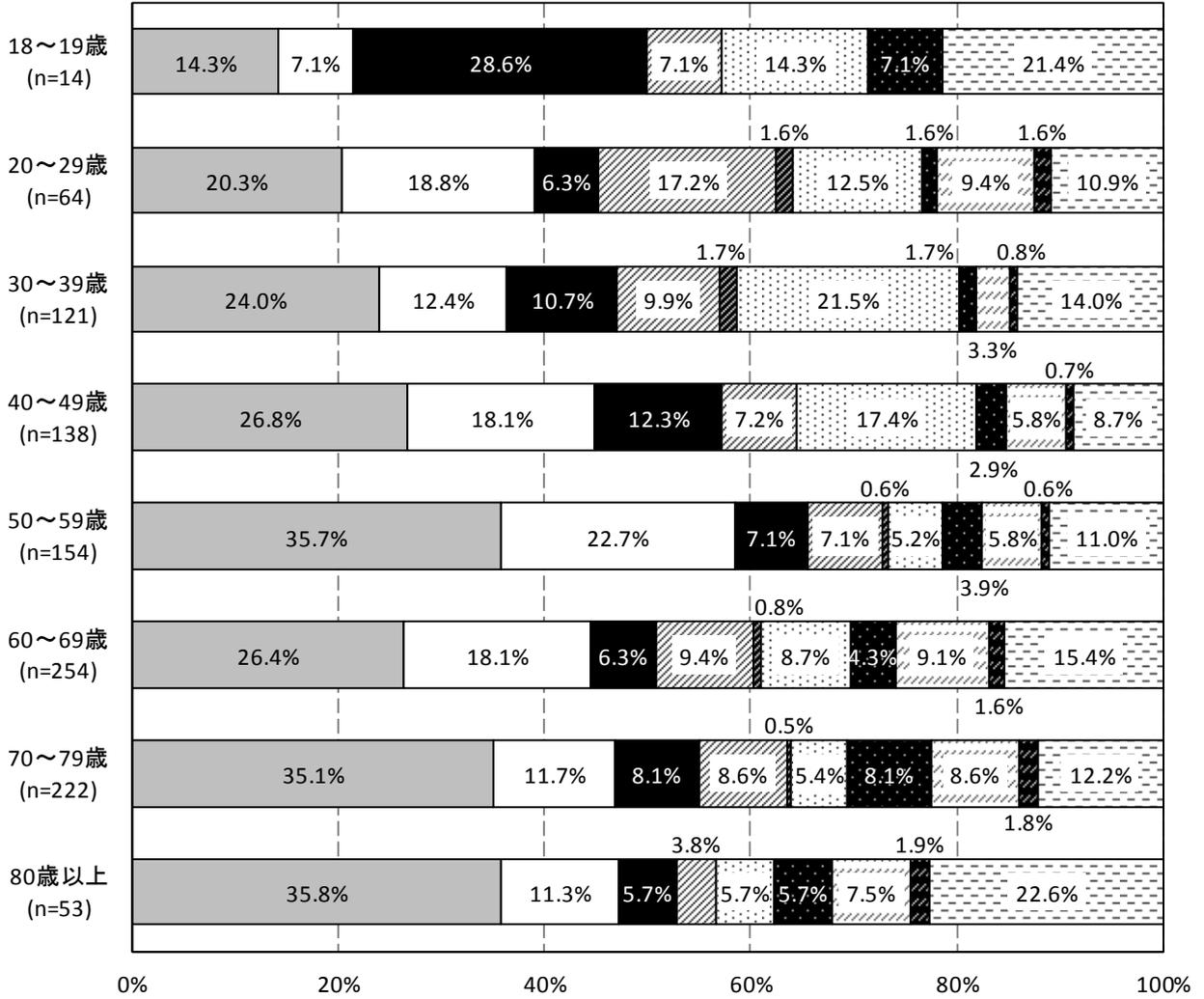


<男女別>





<年代別>



その他：「教育の充実」、「安定した雇用」、「まちの活性化」など

問 10 和歌山市への定住意向

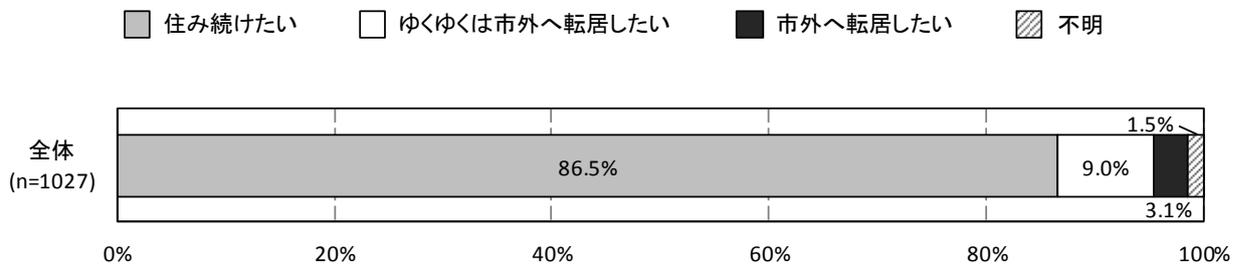
問 10 あなたは、今後も和歌山市で住み続けたいと思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

- 1. 住み続けたい
- 2. ゆくゆくは市外へ転居したい
- 3. 市外へ転居したい

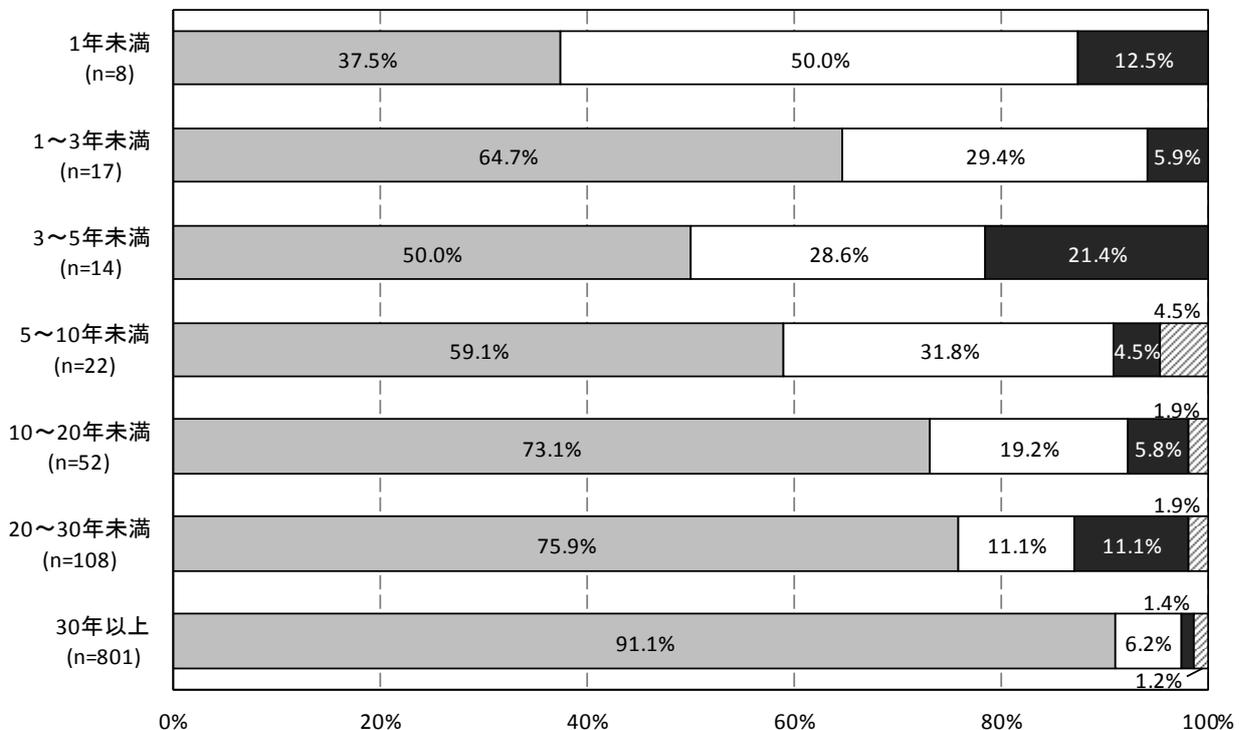
和歌山市に住み続けることについて、「住み続けたい」が86.5%と半数を超えている。「ゆくゆくは市外へ転居したい」が9.0%、「市外へ転居したい」が3.1%となっている。

住居年数別にみると、1年以上で「住み続けたい」が半数以上となっているが、1年未満、3～5年未満で「ゆくゆくは市外へ転居したい」、「市外へ転居したい」の計が高めとなっている。

年代別にみると、いずれの年代も「住み続けたい」が半数以上となっているが、年齢が低いほど「ゆくゆくは市外へ転居したい」、「市外へ転居したい」が多い傾向にある。

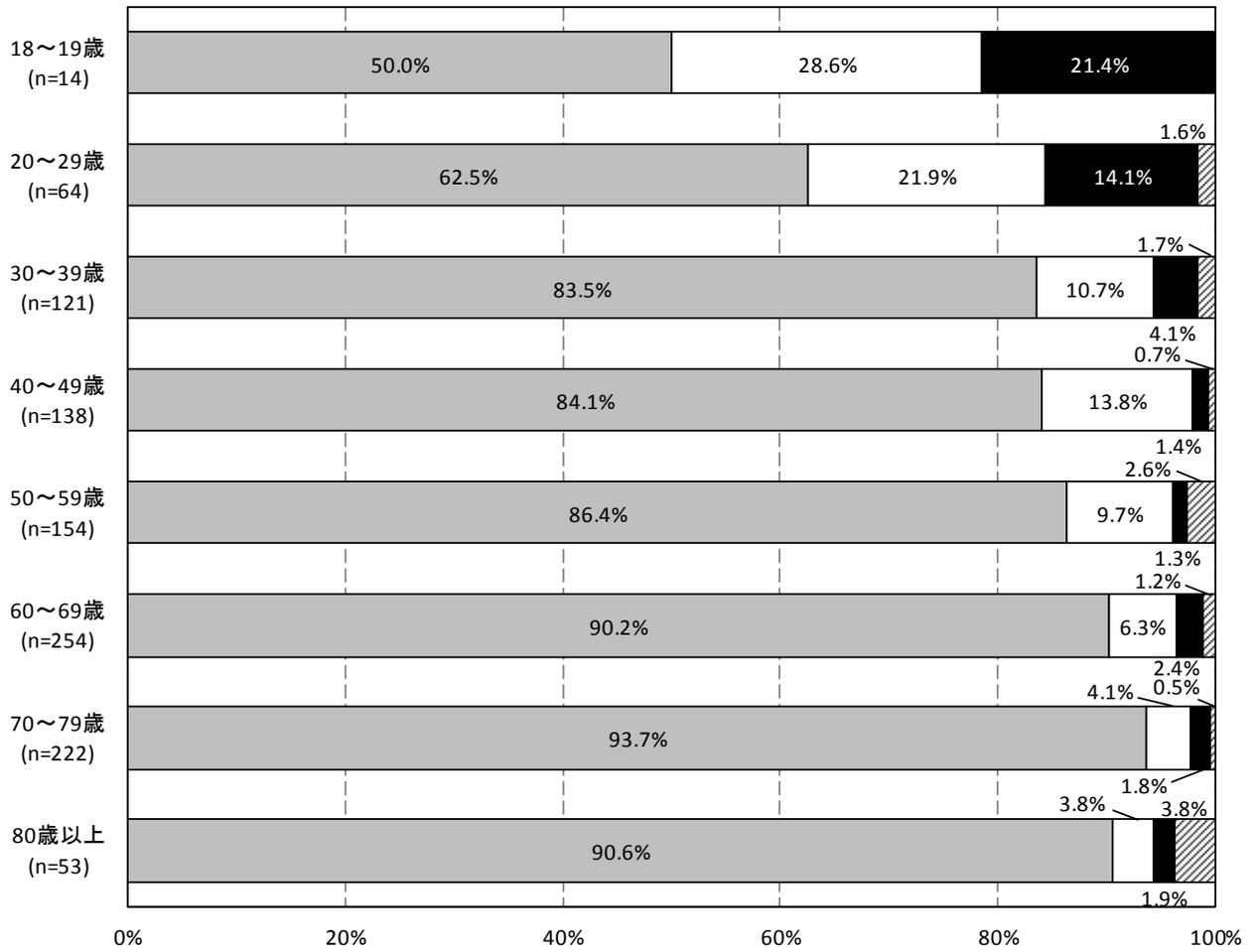


<住居年数別>



住み続けたい
 ゆくゆくは市外へ転居したい
 市外へ転居したい
 不明

<年代別>



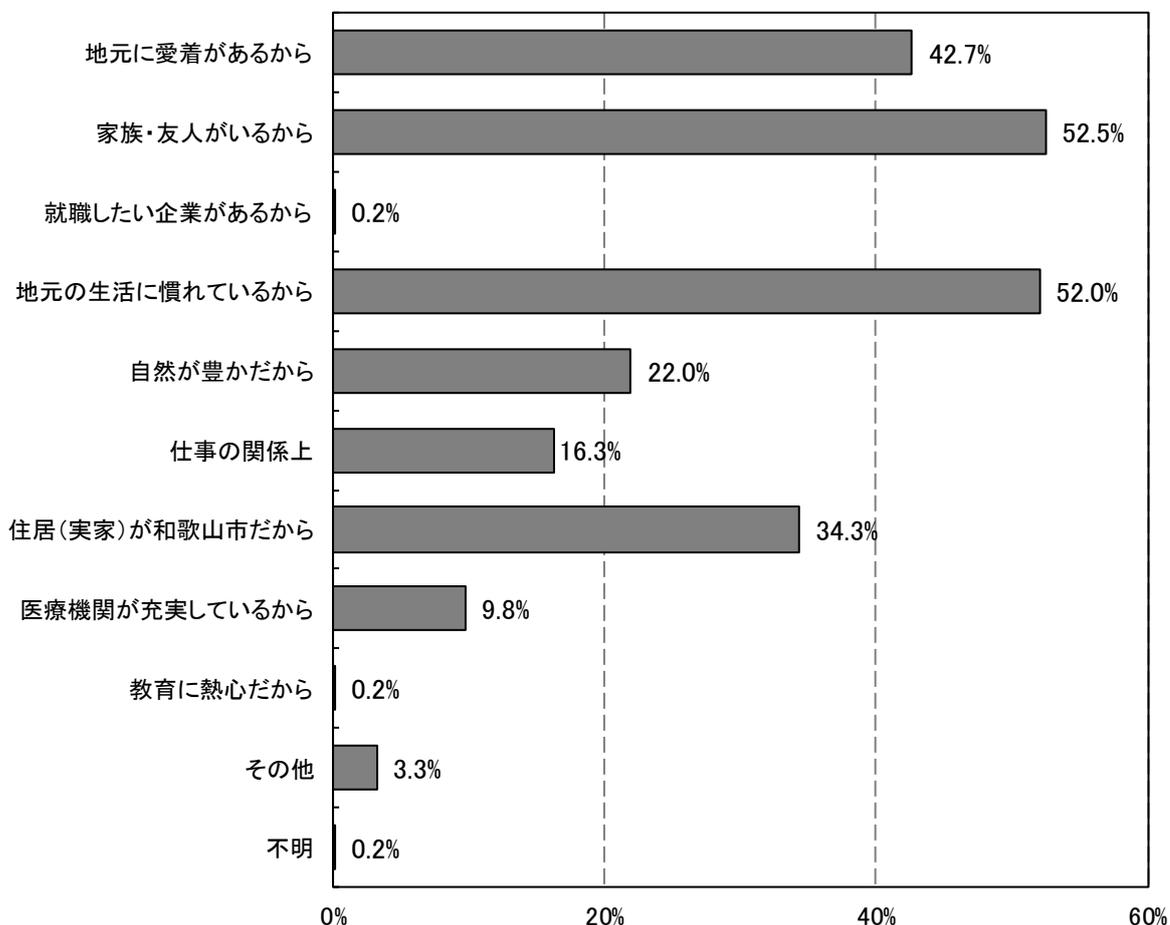
問 10-1 住み続けたい理由

問 10-1 問 10 で「1. 住み続けたい」と回答された方のみお答えください。なぜ和歌山市に住み続けたいと思いますか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 地元へ愛着があるから | 6. 仕事の関係上 |
| 2. 家族・友人がいるから | 7. 住居（実家）が和歌山市だから |
| 3. 就職したい企業があるから | 8. 医療機関が充実しているから |
| 4. 地元の生活に慣れているから | 9. 教育に熱心だから |
| 5. 自然が豊かだから | 10. その他（ ） |

問 10 で「1. 住み続けたい」と回答した 888 人について、住み続けたい理由は、「家族・友人がいるから」が 52.5%で最も多く、次いで「地元の生活に慣れているから」(52.0%)、「地元へ愛着があるから」(42.7%)、「住居(実家)が和歌山市だから」(34.3%)の順となっている。

n=888



その他：「生活環境がよいから」、「家庭の事情」、「高齢のため」など

問 10-3 転居で優先するもの

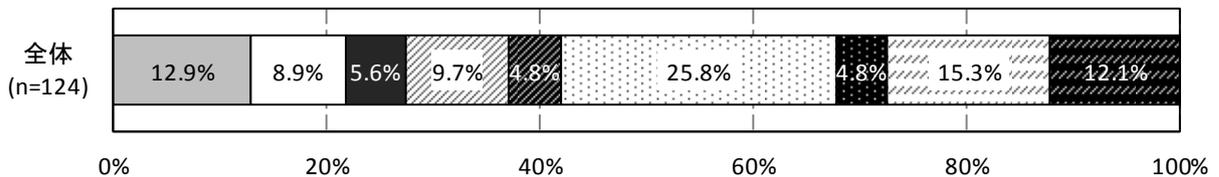
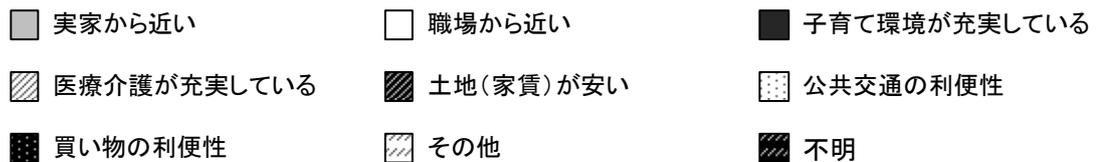
問 10-3 問 10 で「2. ゆくゆくは市外へ転居したい」「3. 市外へ転居したい」と回答された方のみお答えください。転居する場合、優先するものは何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 実家から近い | 5. 土地（家賃）が安い |
| 2. 職場から近い | 6. 公共交通の利便性 |
| 3. 子育て環境が充実している | 7. 買い物の利便性 |
| 4. 医療介護が充実している | 8. その他（ ） |

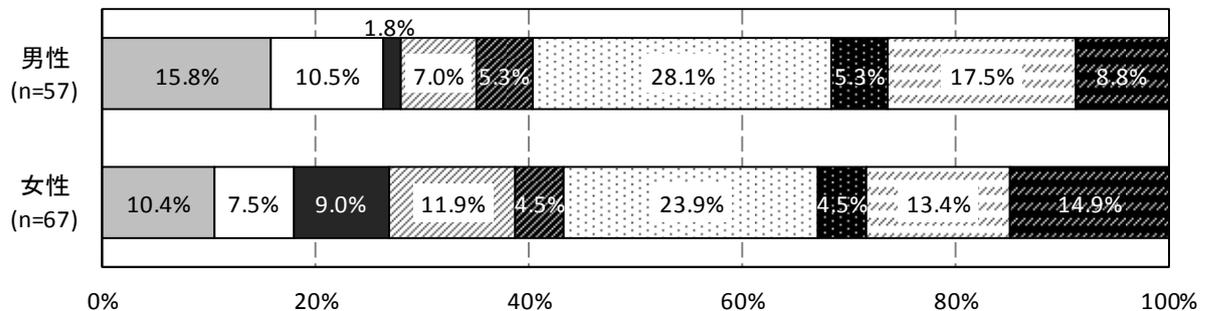
問 10 で「2. ゆくゆくは市外へ転居したい」「3. 市外へ転居したい」と回答した 124 人について、転居する場合優先するものは、「公共交通の利便性」が 25.8%と最も多く、次いで「その他」(15.3%)、「実家から近い」(12.9%)の順となっている。

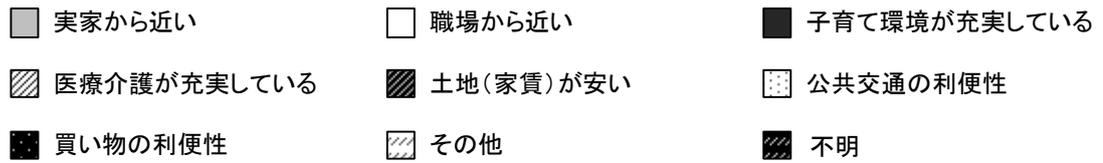
男女別にみると、男性は「実家から近い」が女性より 5.4 ポイント、女性は「子育て環境が充実している」が男性より 7.2 ポイント上回っている。

年代別にみると、20～59 歳、70 歳以上で「公共交通の利便性」が多くなっており、18～19 歳で「職場から近い」、30～39 歳で「子育て環境が充実している」、50～59 歳で「医療介護が充実している」が他の年代より高くなっている。

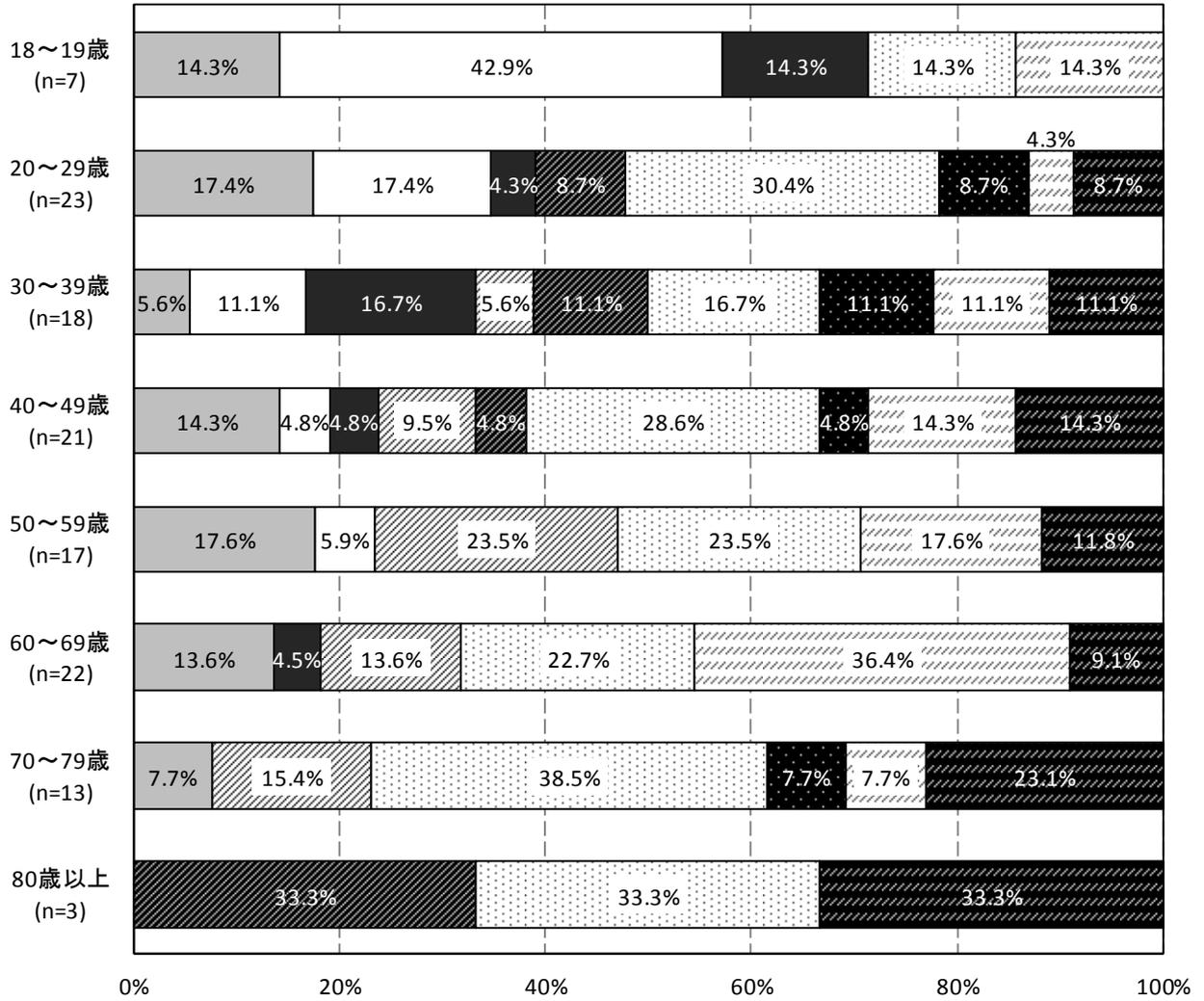


<男女別>





<年代別>



その他：「生活環境のよさ」、「実家または家族が他府県に住んでいる」など

3. 日本遺産について

問 11 日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」の認知度

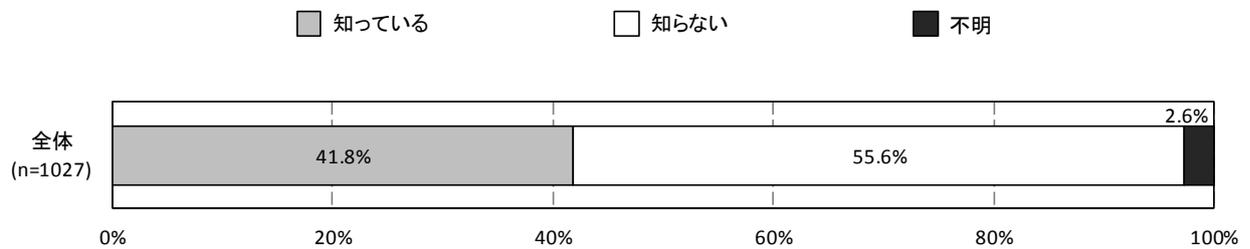
問 11 あなたは、日本遺産に和歌の浦が「絶景の宝庫 和歌の浦」として認定されたことを知っていますか？

1. 知っている
2. 知らない

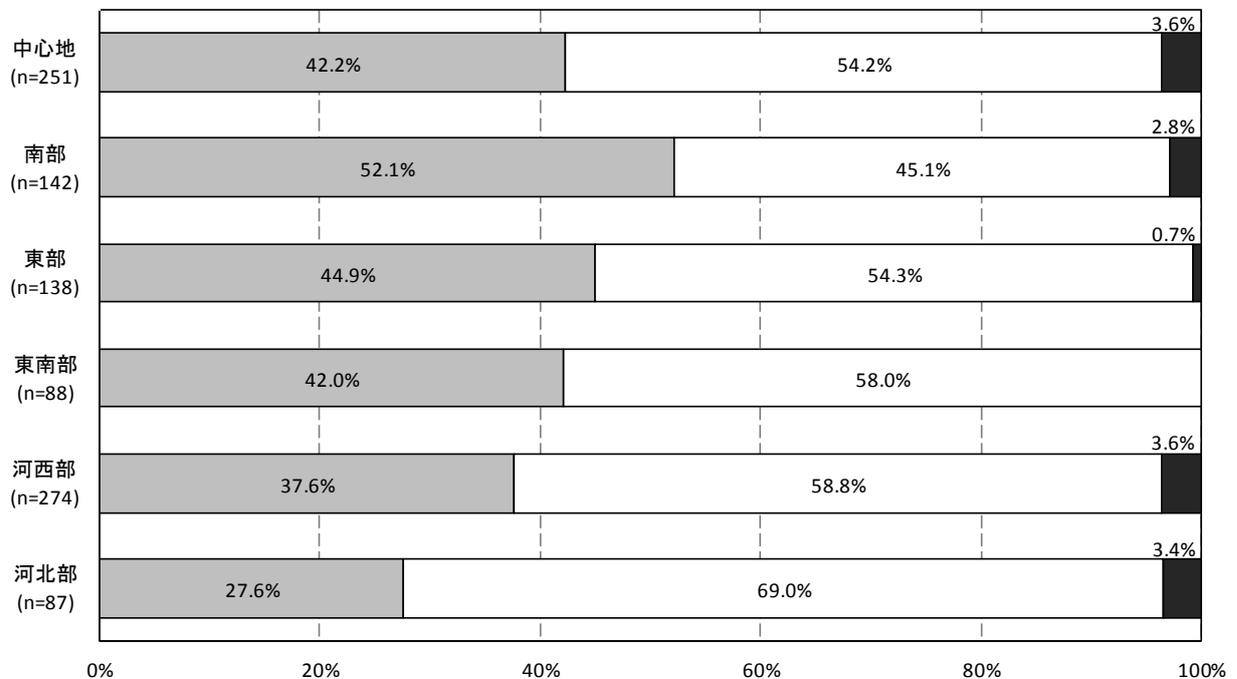
日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」について、「知っている」は41.8%、「知らない」は55.6%となっている。

地域別にみると、いずれの地域も「知らない」が40%を超えている。

年代別にみると、年齢が高いほど「知っている」が多い傾向にある。



<地域別>

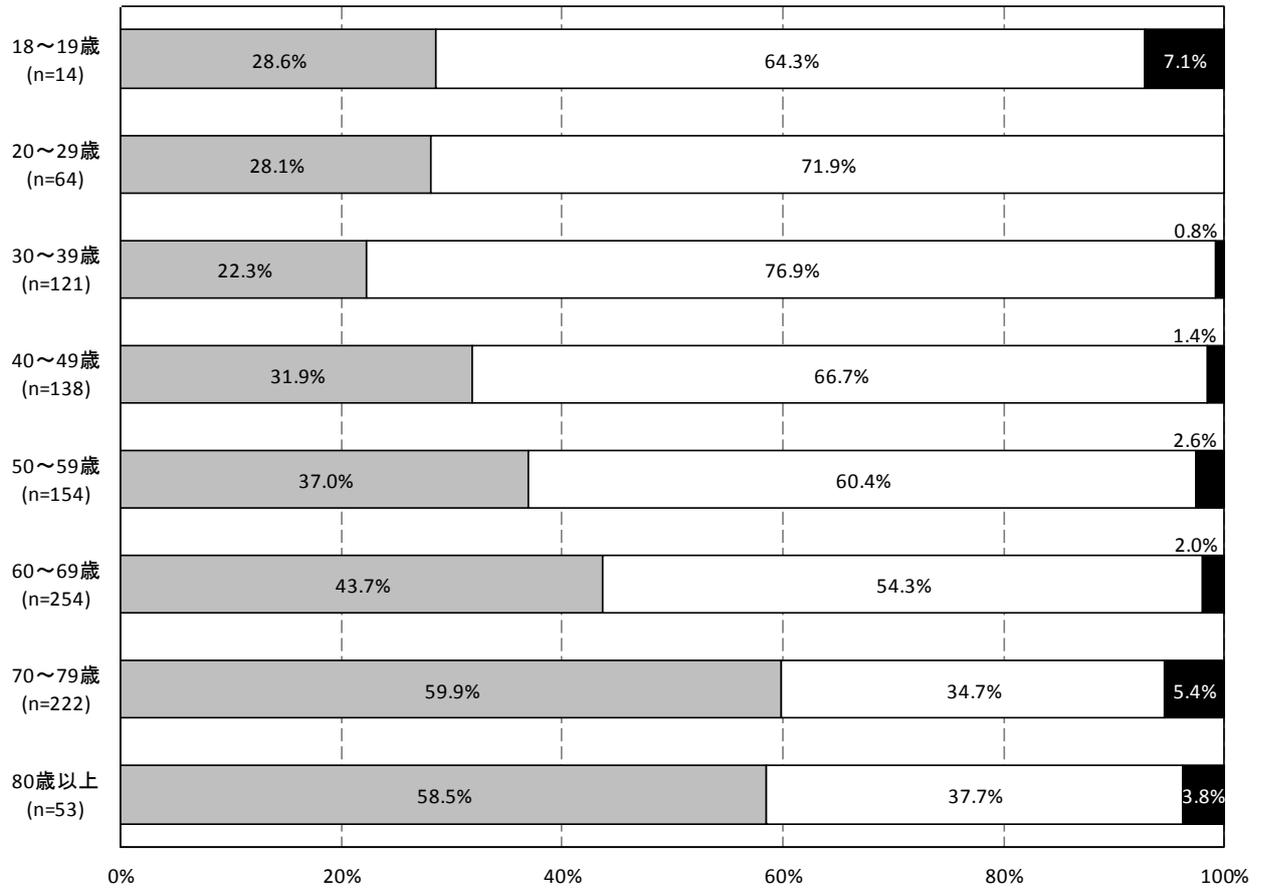


■ 知っている

□ 知らない

■ 不明

<年代別>



問 11-1 知っている理由

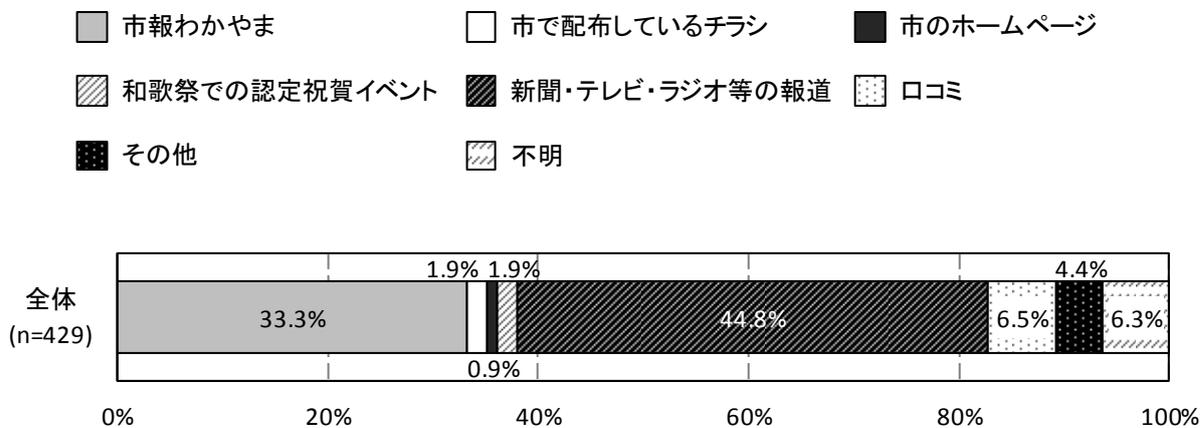
問 11-1 問 11 で「1. 知っている」と回答された方のみお答えください。あなたは日本遺産に和歌の浦が認定されたことを何で知りましたか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 市報わかやま
2. 市で配布しているチラシ
3. 市のホームページ
4. 和歌祭での認定祝賀イベント
5. 新聞・テレビ・ラジオ等の報道
6. 口コミ
7. その他 ()

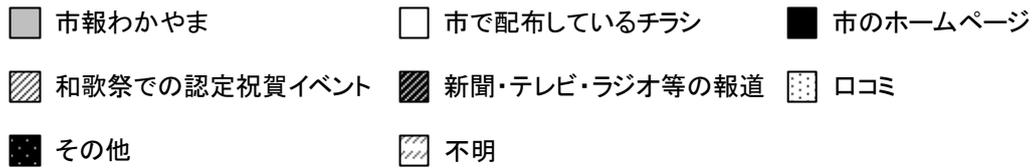
問 11 で「1. 知っている」と回答した 429 人について、知っている理由は、「新聞・テレビ・ラジオ等の報道」が 44.8%と最も多く、次いで「市報わかやま」(33.3%)、「口コミ」(6.5%)の順となっている。

地域別にみると、いずれの地域も「新聞・テレビ・ラジオ等の報道」が 40%以上となっており、次いで「市報わかやま」の順となっている。

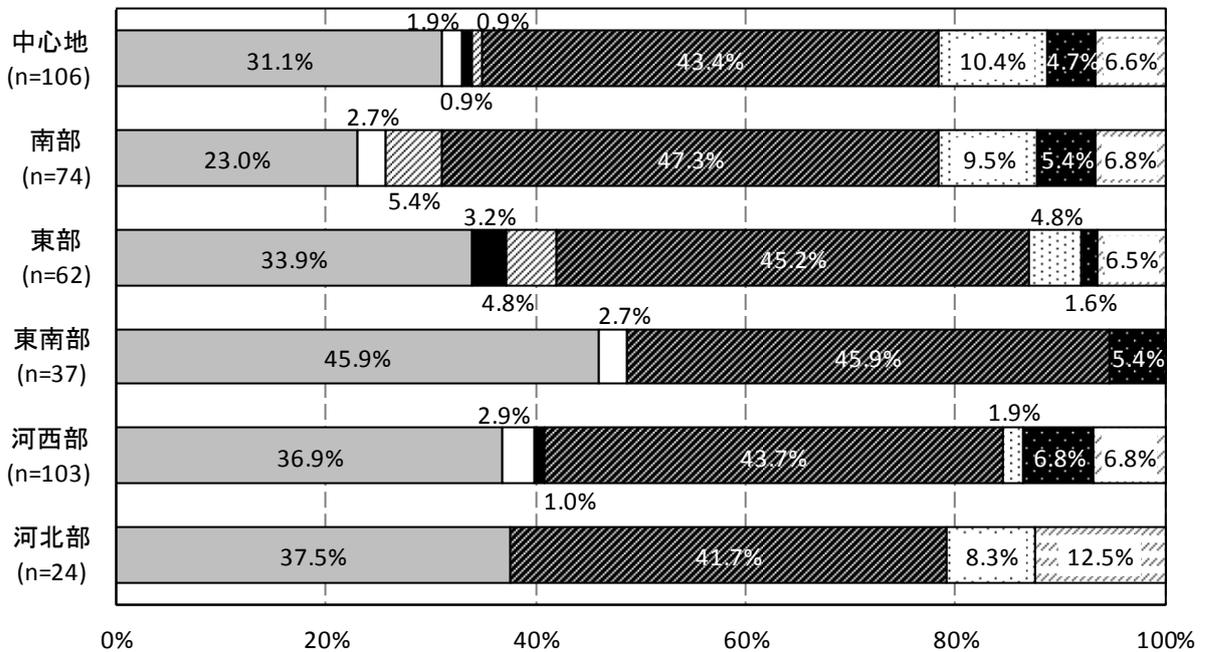
年代別にみると、18～19 歳、30～69 歳は「新聞・テレビ・ラジオ等の報道」、20～29 歳では「口コミ」、70 歳以上は「市報わかやま」が最も多くなっている。20～39 歳では「その他」が他の年代より高めとなっている。



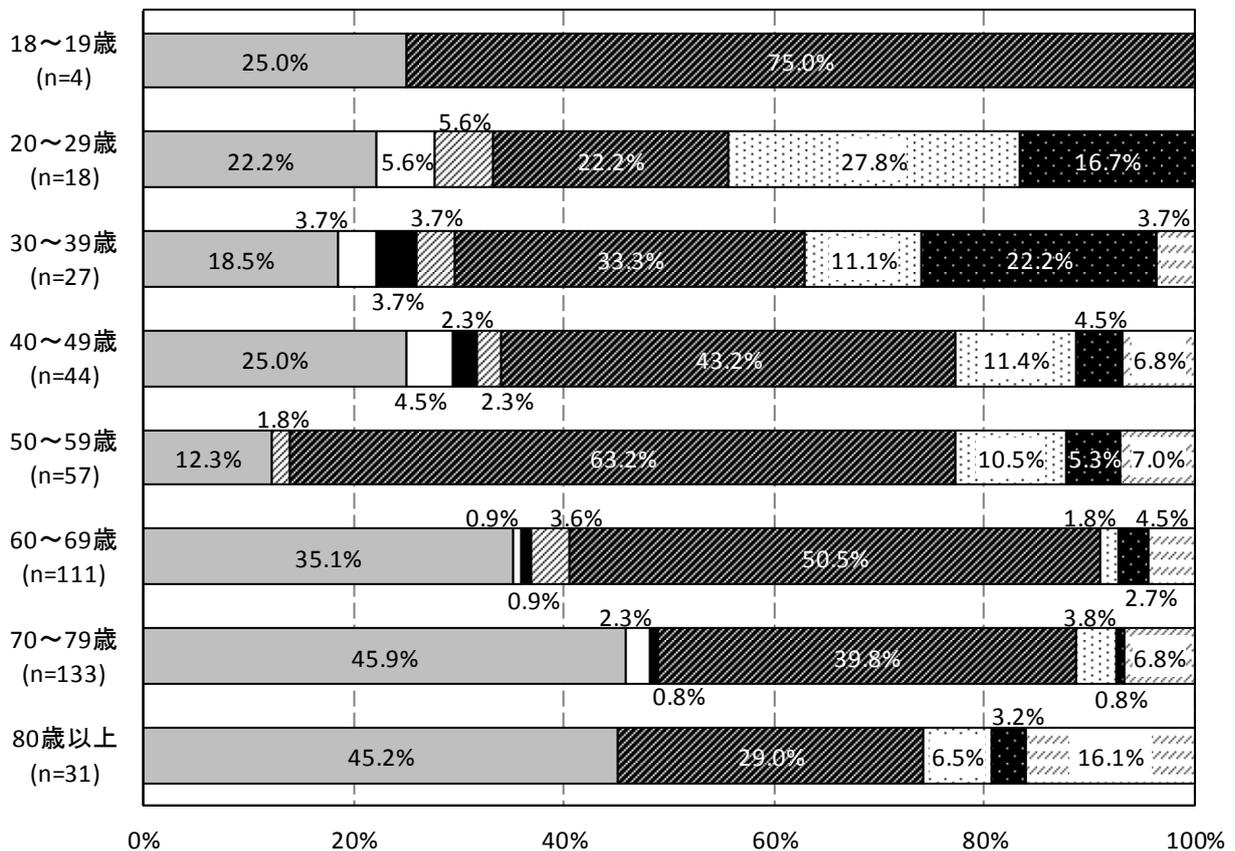
その他：「ソーシャルメディア」、「横断幕」など



<地域別>



<年代別>



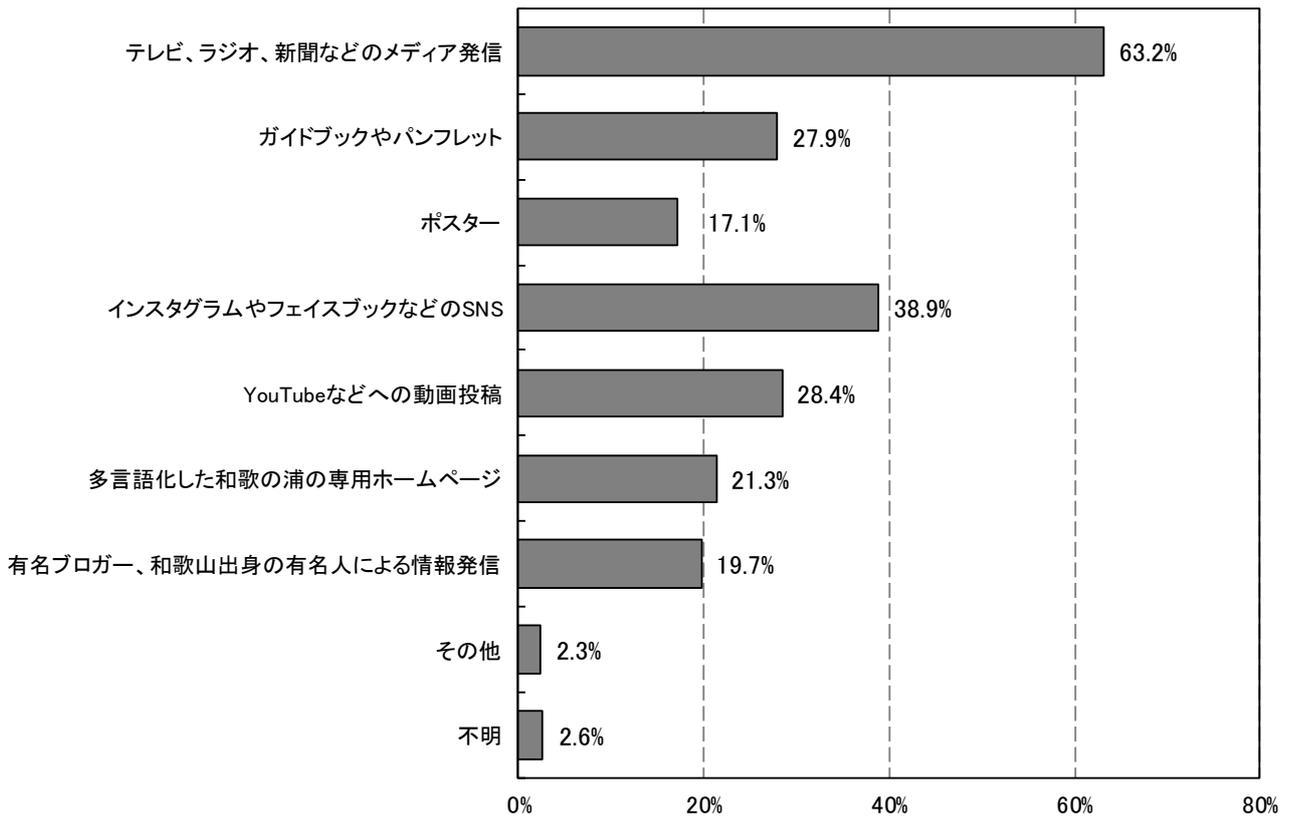
問 12 和歌の浦の魅力を発信する手段

問 12 あなたが、日本遺産、和歌の浦の魅力を国内外に発信する手段として優先的に取り組むべきと思うものはどれですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. テレビ、ラジオ、新聞などのメディア発信
2. ガイドブックやパンフレット
3. ポスター
4. インスタグラムやフェイスブックなどの SNS
5. YouTube などへの動画投稿
6. 多言語化した和歌の浦の専用ホームページ
7. 有名ブロガー、和歌山出身の有名人による情報発信
8. その他 ()

日本遺産、和歌の浦の魅力を発信する手段について、「テレビ、ラジオ、新聞などのメディア発信」が 63.2%と最も多く、次いで「Instagramやフェイスブックなどの SNS」(38.9%)、「YouTube などへの動画投稿」(28.4%)、「ガイドブックやパンフレット」(27.9%) の順となっている。

n=1027



その他：「周辺の保全と整備」、「イベント、お祭りの開催」、「必要なし」など

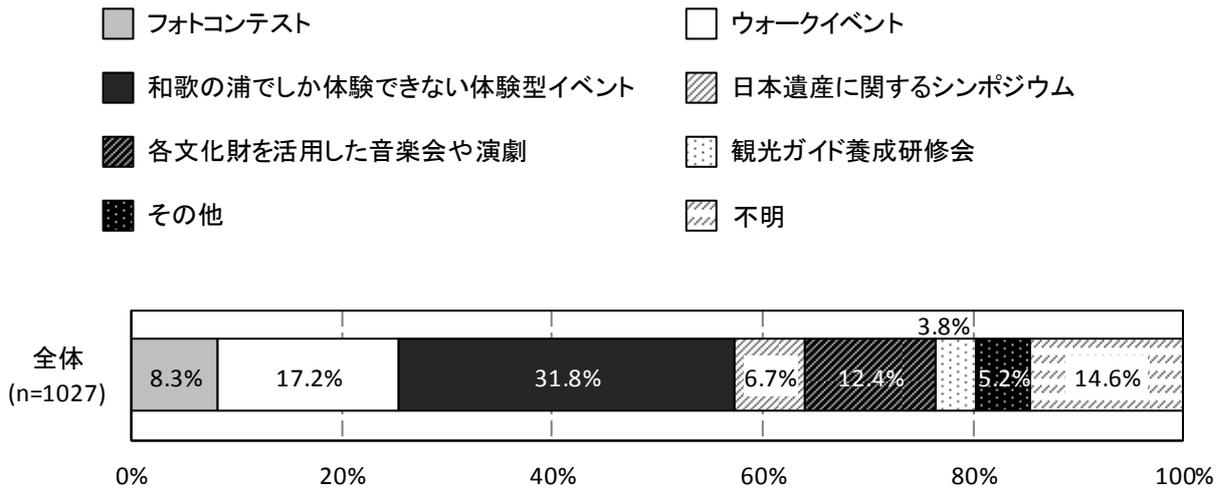
問 13 参加してみたいイベント

問 13 あなたは、日本遺産、和歌の浦を盛り上げるために開催するイベントがあればどのようなイベントに参加してみたいですか？あてはまるものを1つお選びください。

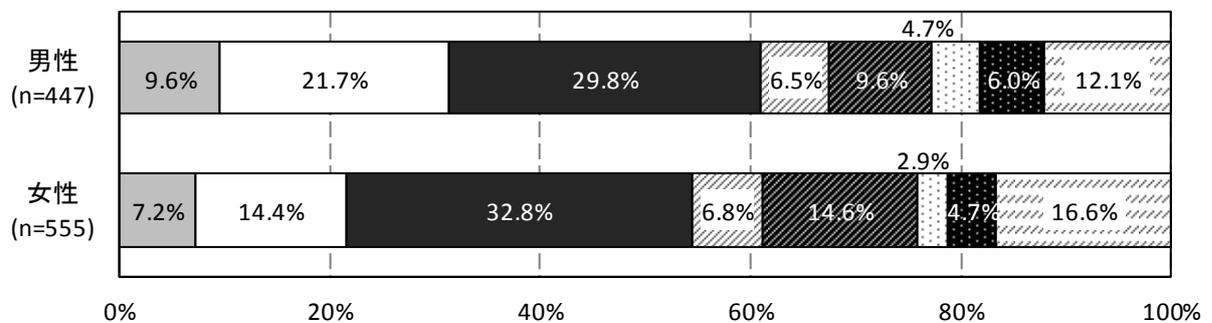
1. フォトコンテスト
2. ウォークイベント
3. 和歌の浦でしか体験できない体験型イベント（例：地引網体験等）
4. 日本遺産に関するシンポジウム
5. 各文化財を活用した音楽会や演劇
6. 観光ガイド養成研修会
7. その他（ ）

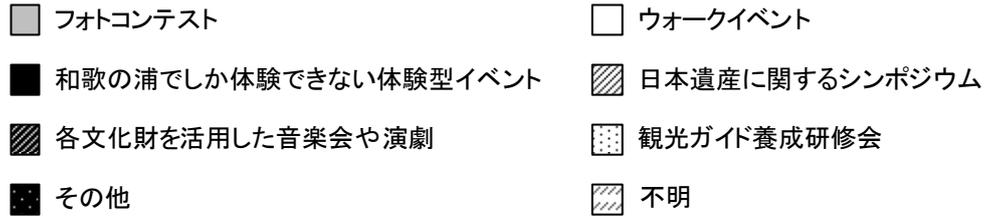
参加してみたいイベントについて、「和歌の浦でしか体験できない体験型イベント」が31.8%と最も多い。次いで「ウォークイベント」（17.2%）、「各文化財を活用した音楽会や演劇」（12.4%）の順となっている。

男女別、年代別にみても、「和歌浦でしか体験できない体験型イベント」が最も多く、「ウォークイベント」、「各文化財を活用した音楽会や演劇」も高めとなっている。

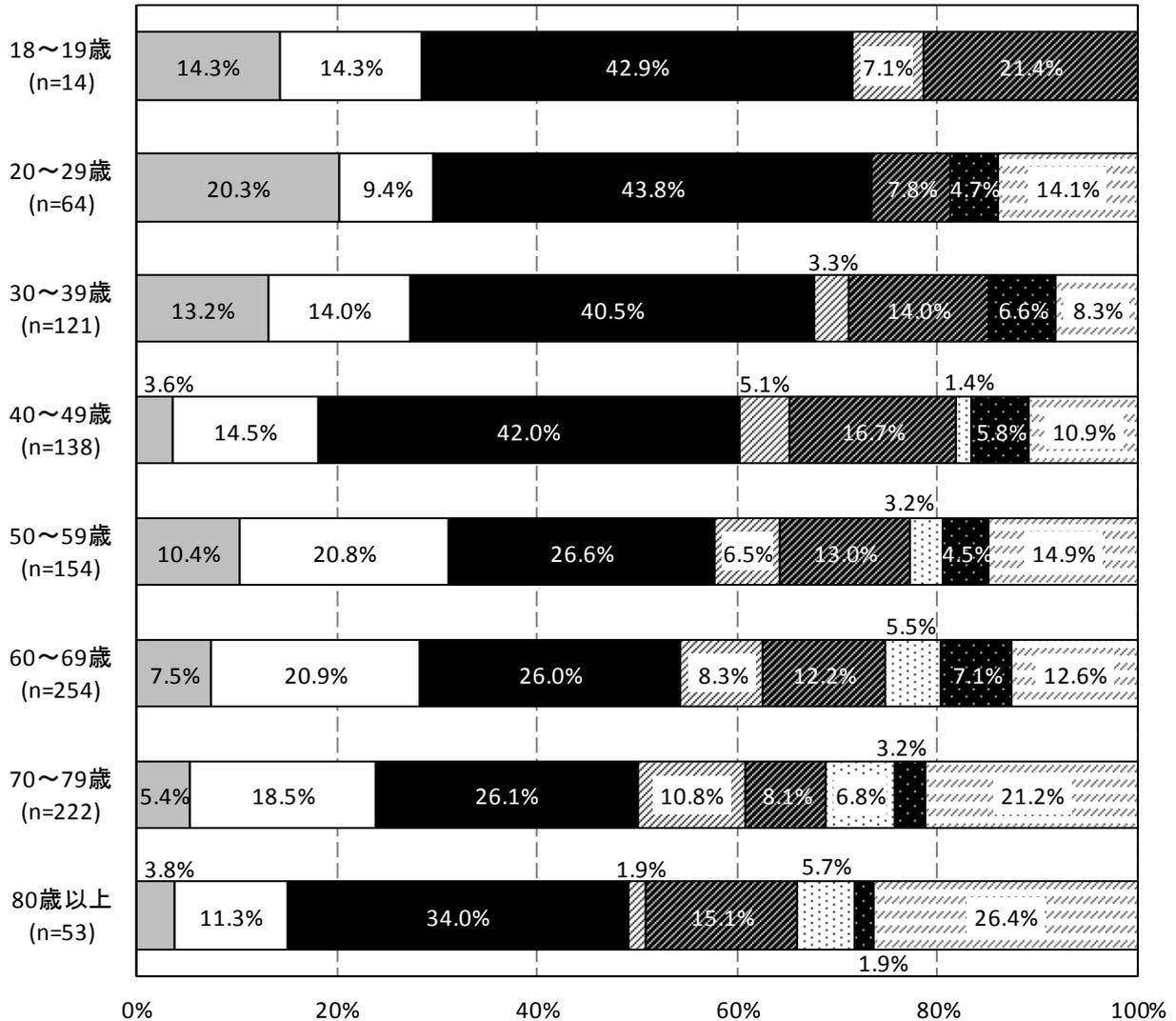


<男女別>





<年代別>



その他：「食のイベント」、「歴史、和歌のイベント」、「フリーマーケット」、「音楽フェス」、「アートフェス」など

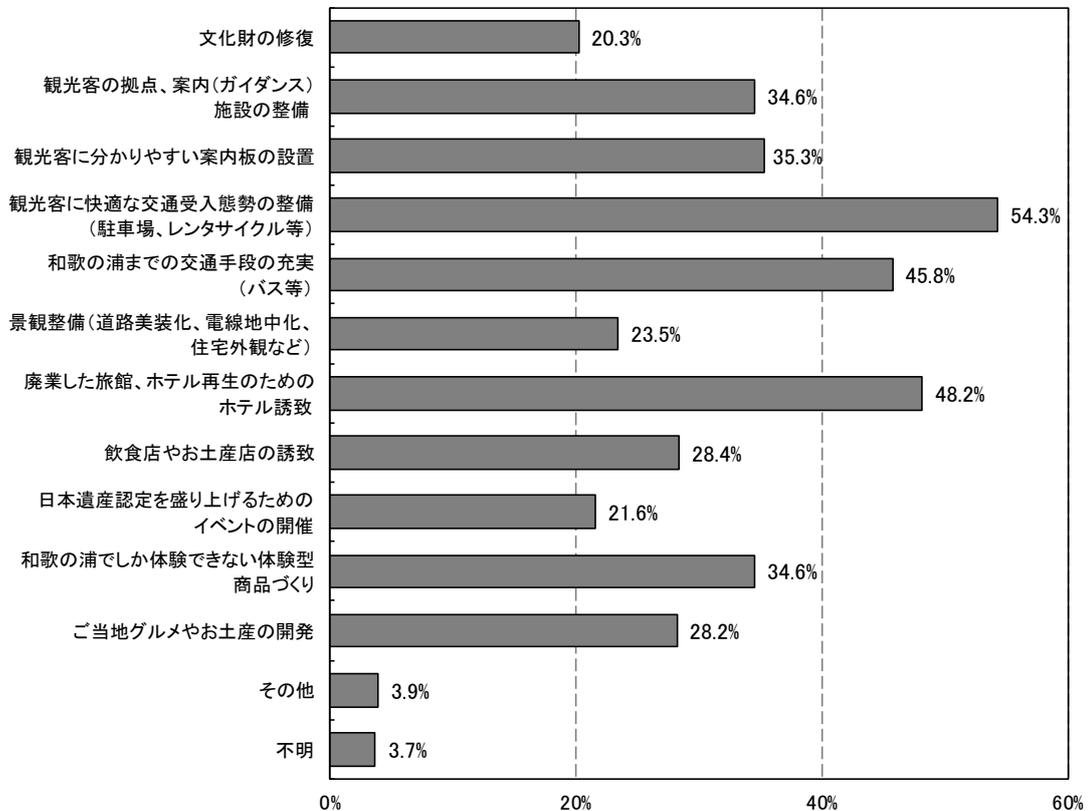
問 14 和歌の浦に必要な活性化事業

問 14 あなたは、日本遺産、和歌の浦の活性化のための事業として何が重要だと思いますか？
あてはまるものを全てお選びください。

1. 文化財の修復
2. 観光客の拠点、案内（ガイドンス）施設の整備
3. 観光客に分かりやすい案内板の設置
4. 観光客に快適な交通受入態勢の整備（駐車場、レンタサイクル等）
5. 和歌の浦までの交通手段の充実（バス等）
6. 景観整備（道路美装化、電線地中化、住宅外観など）
7. 廃業した旅館、ホテル再生のためのホテル誘致
8. 飲食店やお土産店の誘致
9. 日本遺産認定を盛り上げるためのイベントの開催
10. 和歌の浦でしか体験できない体験型商品づくり（例：地引網体験、観光遊覧船など）
11. ご当地グルメやお土産の開発
12. その他（)

和歌の浦の活性化のための事業について、「観光客に快適な交通受入態勢の整備（駐車場、レンタサイクル等）」が 54.3%と最も多い。他の項目で 40%を超えているのは、「廃業した旅館、ホテル再生のためのホテル誘致」（48.2%）、「和歌の浦までの交通手段の充実（バス等）」（45.8%）の 2 項目となっている。

n=1027



その他：「観光産業」、「情報発信」、「道路の整備」など

4. LRT（次世代型路面電車）について

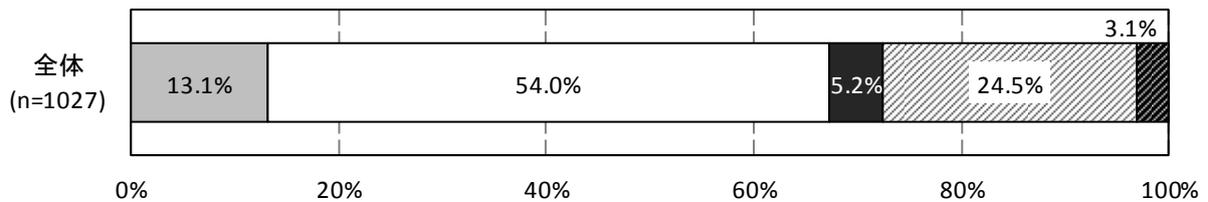
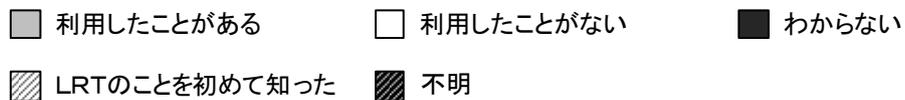
問 15 LRTの利用状況

問 15 あなたは、これまでに他の都市において、LRT を利用したことがありますか？あてはまるものを1つお選びください。

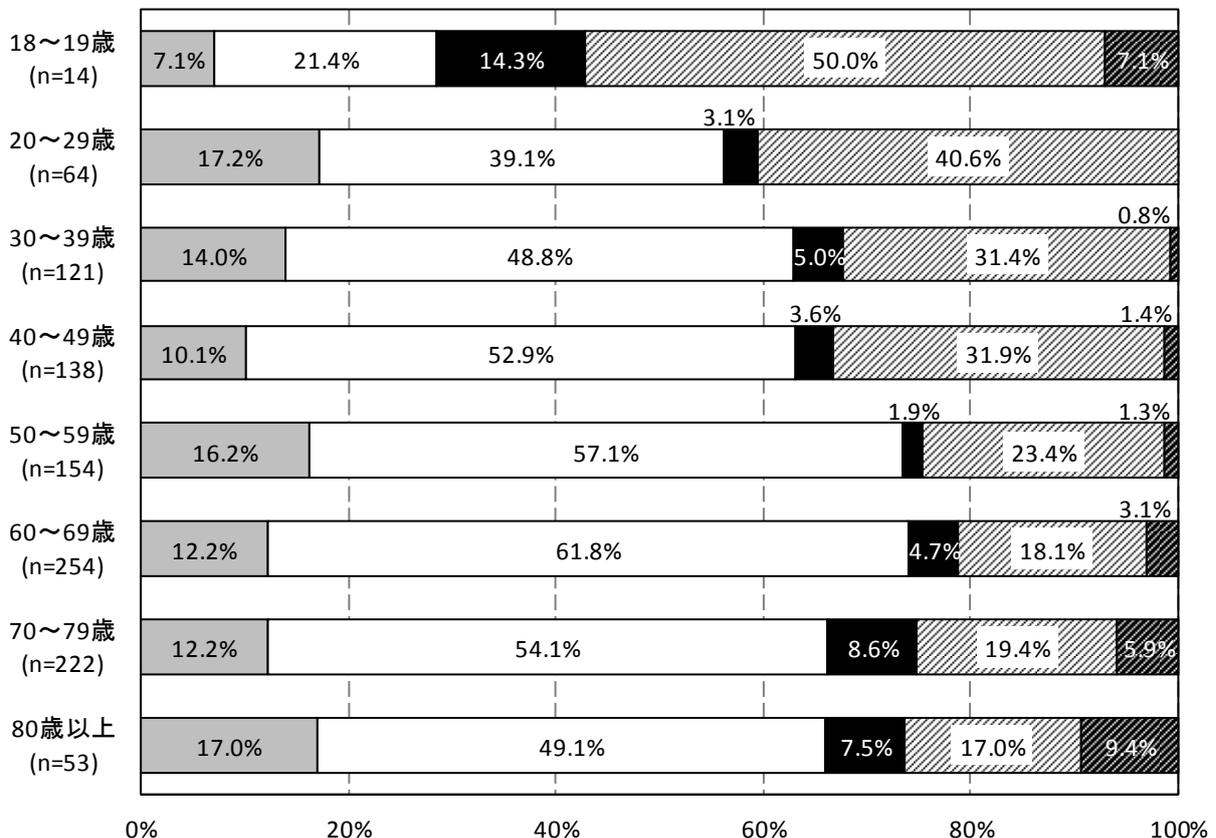
- 1. 利用したことがある
- 2. 利用したことがない
- 3. わからない
- 4. LRTのことを初めて知った

他の都市におけるLRTの利用状況について、「利用したことがある」は13.1%、「利用したことがない」は54.0%、「LRTのことを初めて知った」24.5%となっている。

年代別にみると、年齢が低いほど「LRTのことを初めて知った」が多い傾向にある。



<年代別>



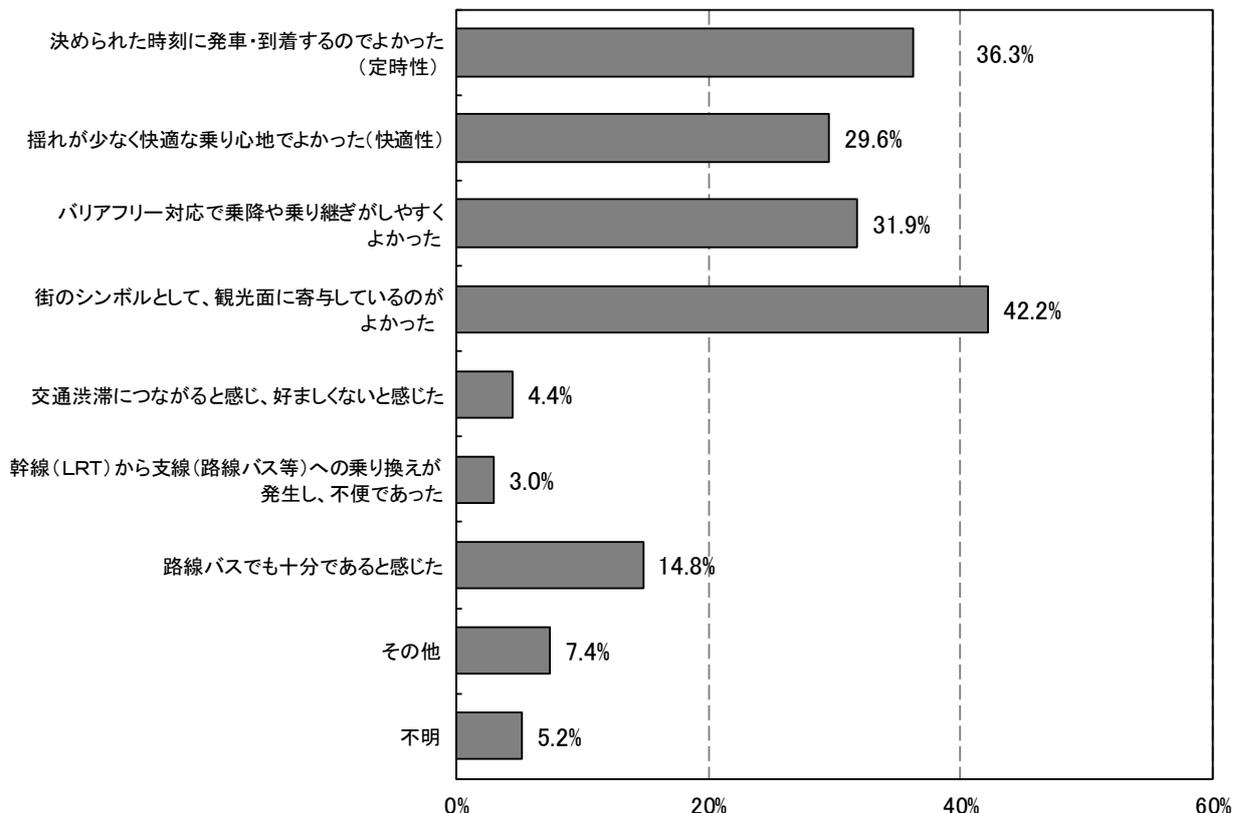
問 15-1 利用した感想

問 15-1 問 15 で「1. 利用したことがある」と回答された方のみお答えください。実際に LRT を利用され、どのように感じましたか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 決められた時刻に発車・到着するのよかったです (定時性)
2. 揺れが少なく快適な乗り心地でよかったです (快適性)
3. バリアフリー対応で乗降や乗り継ぎがしやすくよかったです
4. 街のシンボルとして、観光面に寄与しているのがよかったです
5. 交通渋滞につながると感じ、好ましくないと感じた
6. 幹線 (LRT) から支線 (路線バス等) への乗り換えが発生し、不便であった
7. 路線バスでも十分であると感じた
8. その他 ()

問 15 で「1. 利用したことがある」と回答した 135 人について、利用して感じたことは、「街のシンボルとして、観光面に寄与しているのがよかったです」が 42.2%と最も多い。他の項目で 20%を超えるのは、「決められた時刻に発車・到着するのよかったです (定時性)」(36.3%)、「バリアフリー対応で乗降や乗り継ぎがしやすくよかったです」(31.9%)、「揺れが少なく快適な乗り心地でよかったです (快適性)」(29.6%) の 3 項目となっている。

n=135



その他：「便数が多くて使いやすい」、「路線がわかりやすい」、「環境に優しい」、「不便だった」など

問 16 LRT 整備への賛否

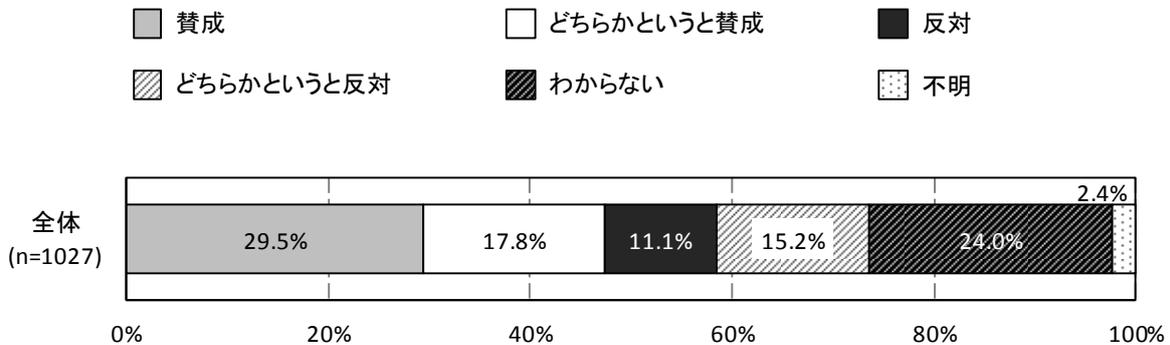
問 16 和歌山市において、仮に LRT を整備することになった場合、どのように思いますか？

- 1. 賛成
- 2. どちらかという賛成
- 3. 反対
- 4. どちらかという反対
- 5. わからない

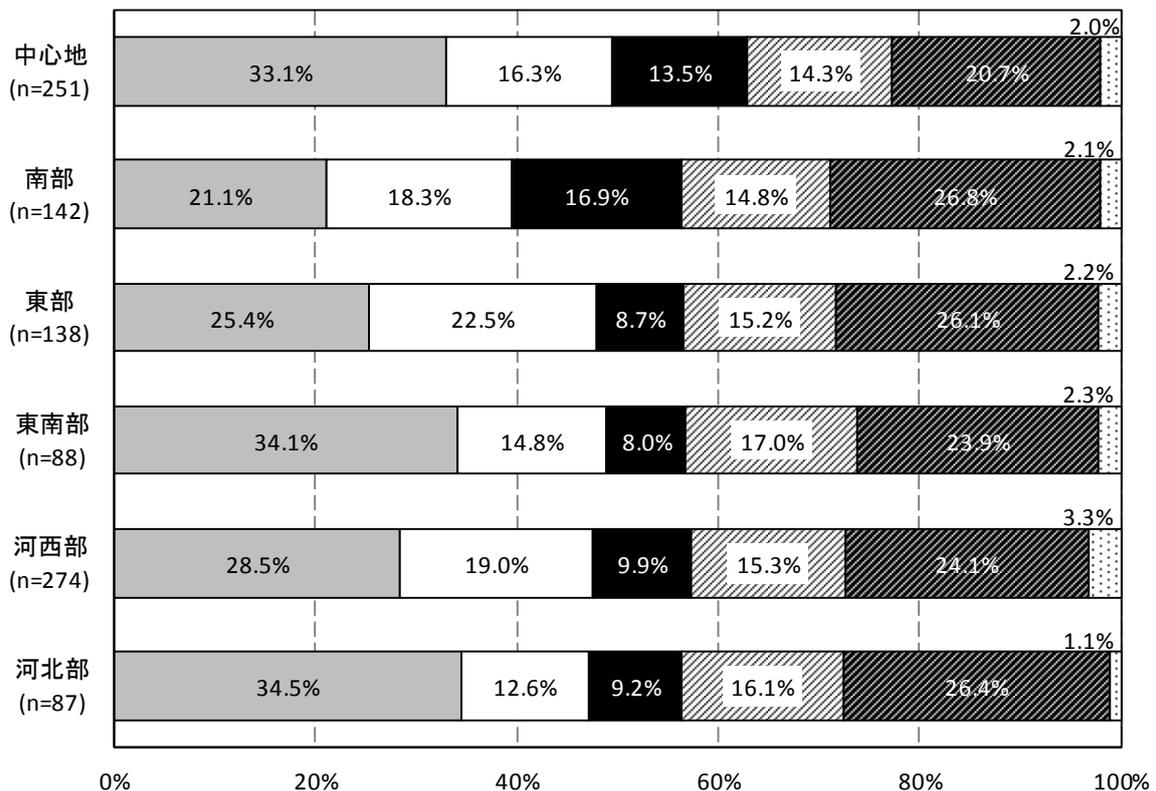
LRT を整備することについて、「賛成」(29.5%)と「どちらかという賛成」(17.8%)をあわせた 47.3%が賛成意見となっている。「反対」(11.1%)と「どちらかという反対」(15.2%)をあわせた 26.3%が反対意見となっている。「わからない」は 24.0%となっている。

地域別にみると、賛成意見は中心部(49.4%)が最も高く、反対意見は南部(31.7%)が最も高くなっている。

年代別にみると、賛成意見は 18~19 歳(71.4%)が最も高く、反対意見は 30~39 歳(33.9%)が最も高くなっている。

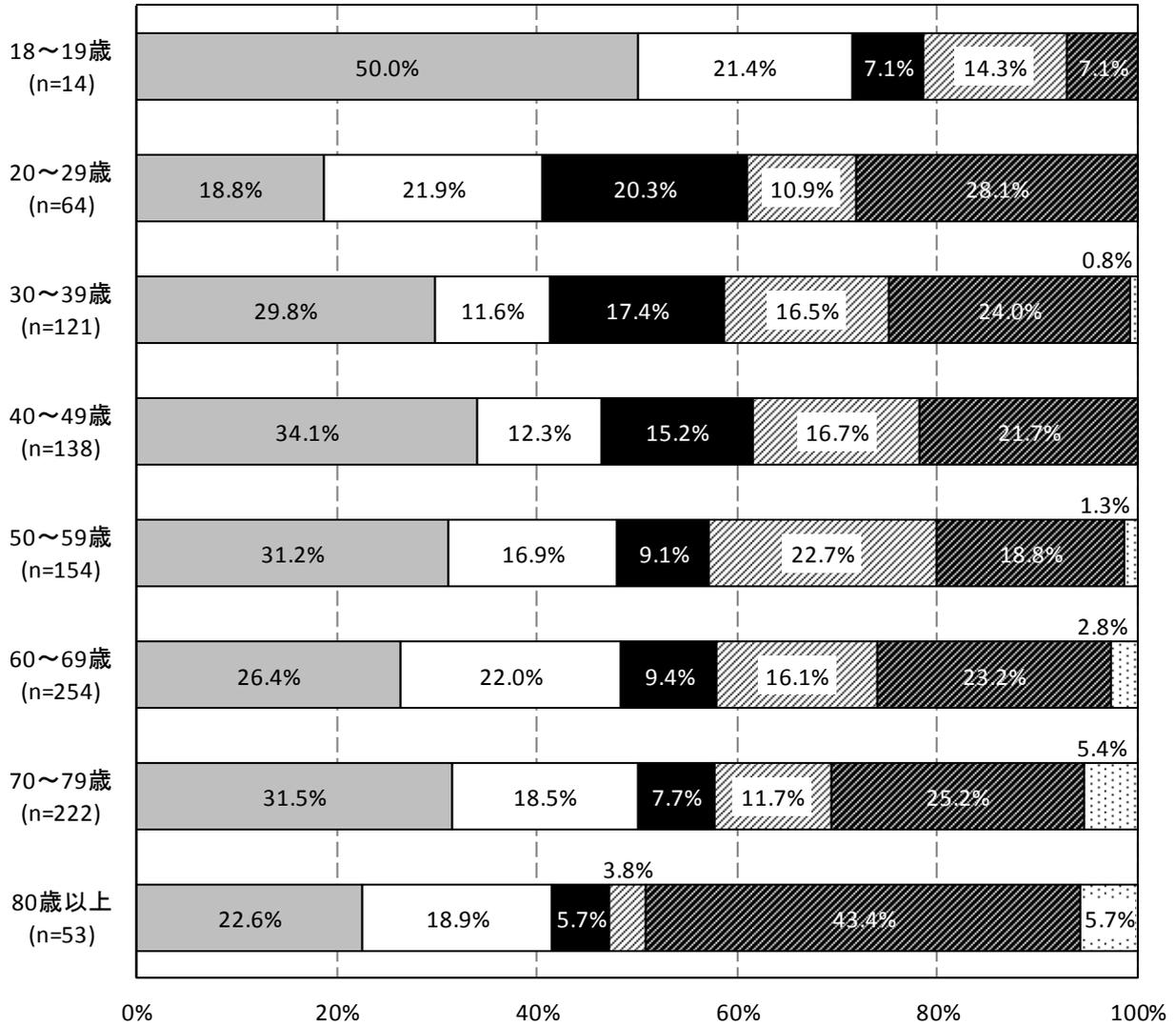


<地域別>





<年代別>



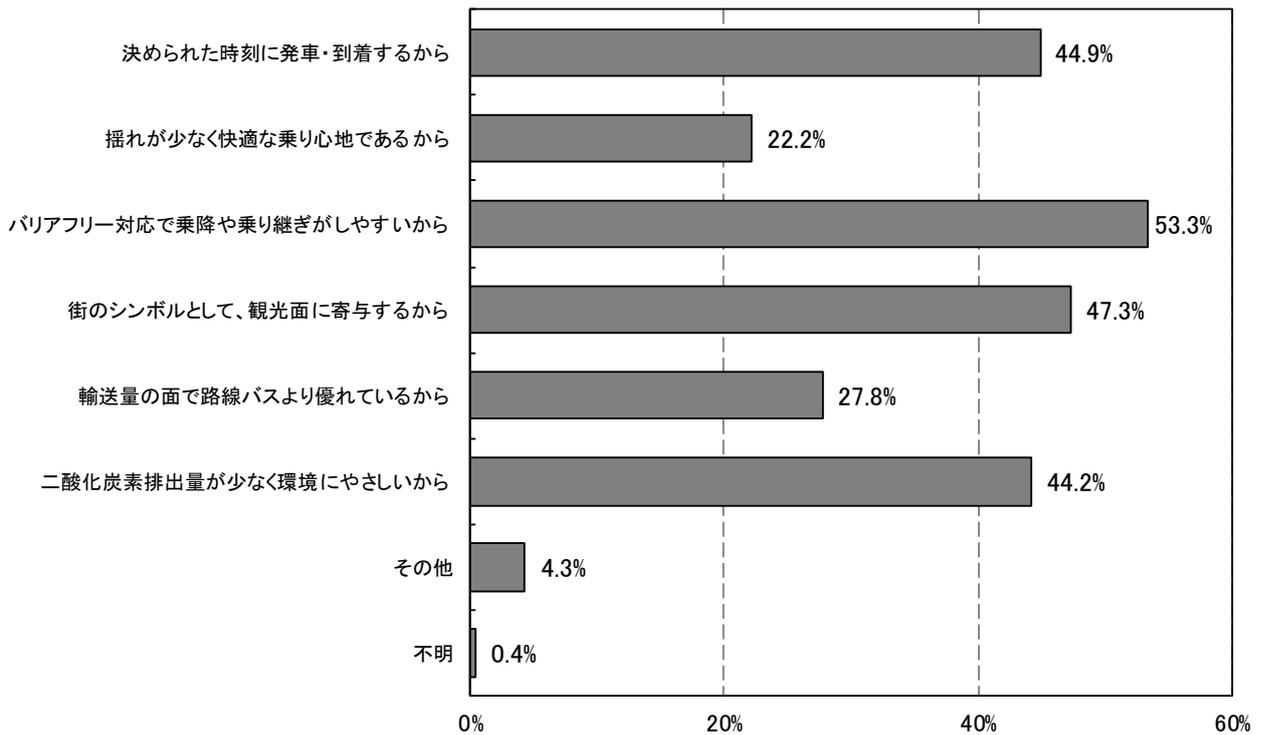
問 16-1 賛成の理由

問 16-1 問 16 で「1. 賛成」「2. どちらかという賛成」と回答された方のみお答えください。
賛成の理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 決められた時刻に発車・到着するから
2. 揺れが少なく快適な乗り心地であるから
3. バリアフリー対応で乗降や乗り継ぎがしやすいから
4. 街のシンボルとして、観光面に寄与するから
5. 輸送量の面で路線バスより優れているから
6. 二酸化炭素排出量が少なく環境にやさしいから
7. その他 ()

問 16 で「1. 賛成」「2. どちらかという賛成」と回答した 486 人について、賛成の理由は、「バリアフリー対応で乗降や乗り継ぎがしやすいから」が 53.3%と最も多い。他の項目で 40%を超えるのは、「街のシンボルとして、観光面に寄与するから」(47.3%)、「決められた時刻に発車・到着するから」(44.9%)、「二酸化炭素排出量が少なく環境にやさしいから」(44.2%) の 3 項目となっている。

n=486



その他：「高齢者の交通手段として」、「交通手段が増える」、「導入ルートによる」など

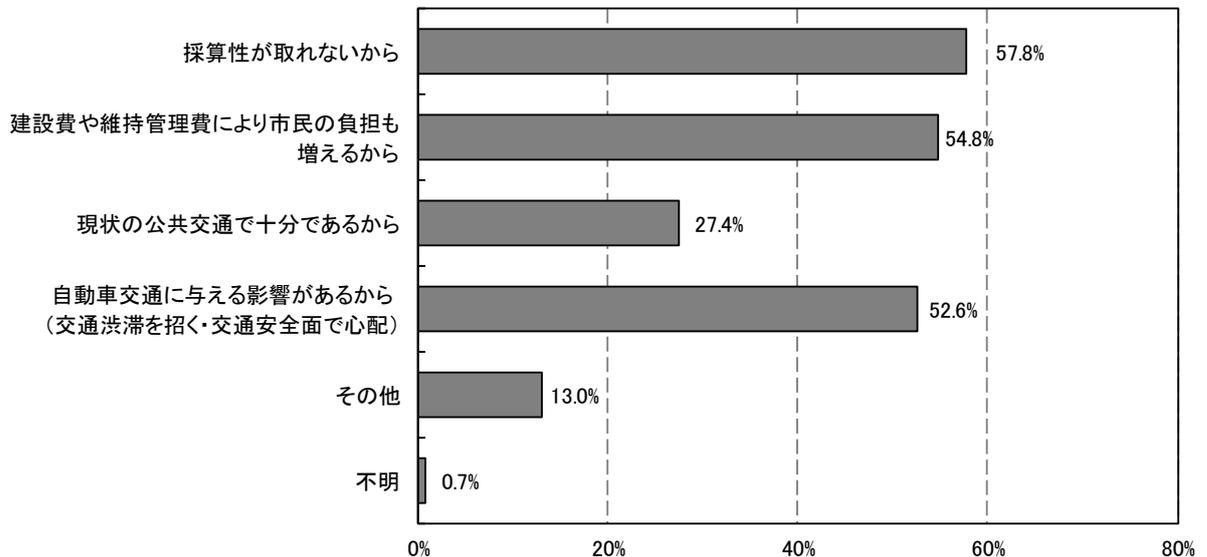
問 16-2 反対の理由

問 16-2 問 16 で「3. 反対」「4. どちらかというと反対」と回答された方のみお答えください。
反対の理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 採算性が取れないから
2. 建設費や維持管理費により市民の負担も増えるから
3. 現状の公共交通で十分であるから
4. 自動車交通に与える影響があるから（交通渋滞を招く・交通安全面で心配）
5. その他（ ）

問 16 で「3. 反対」「4. どちらかというと反対」と回答した 270 人について、反対の理由は、「採算性が取れないから」が 57.8%と最も多い。他の項目で 50%を超えるのは、「建設費や維持管理費により市民の負担も増えるから」（54.8%）、「自動車交通に与える影響があるから（交通渋滞を招く・交通安全面で心配）」（52.6%）の 2 項目となっている。

n=270



その他：「現状の交通機関の見直しで充分」、「導入ルートによる」、「利用者が少ない」、「まだ道路整備が十分ではない」など

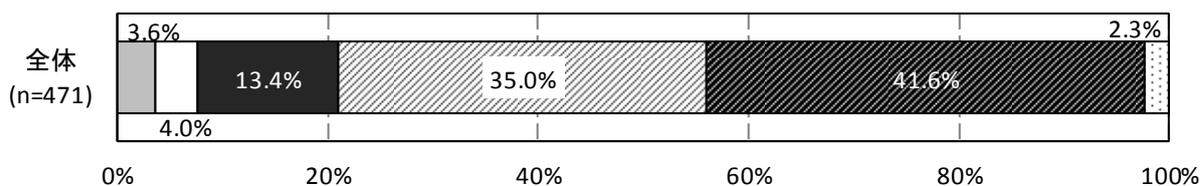
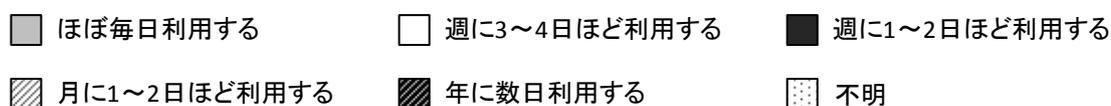
問 17-1 利用頻度について

問 17-1 問 17 で「利用する」と回答された方のみお答えください。どれくらいの頻度で利用しますか？あてはまるものを1つお選びください。

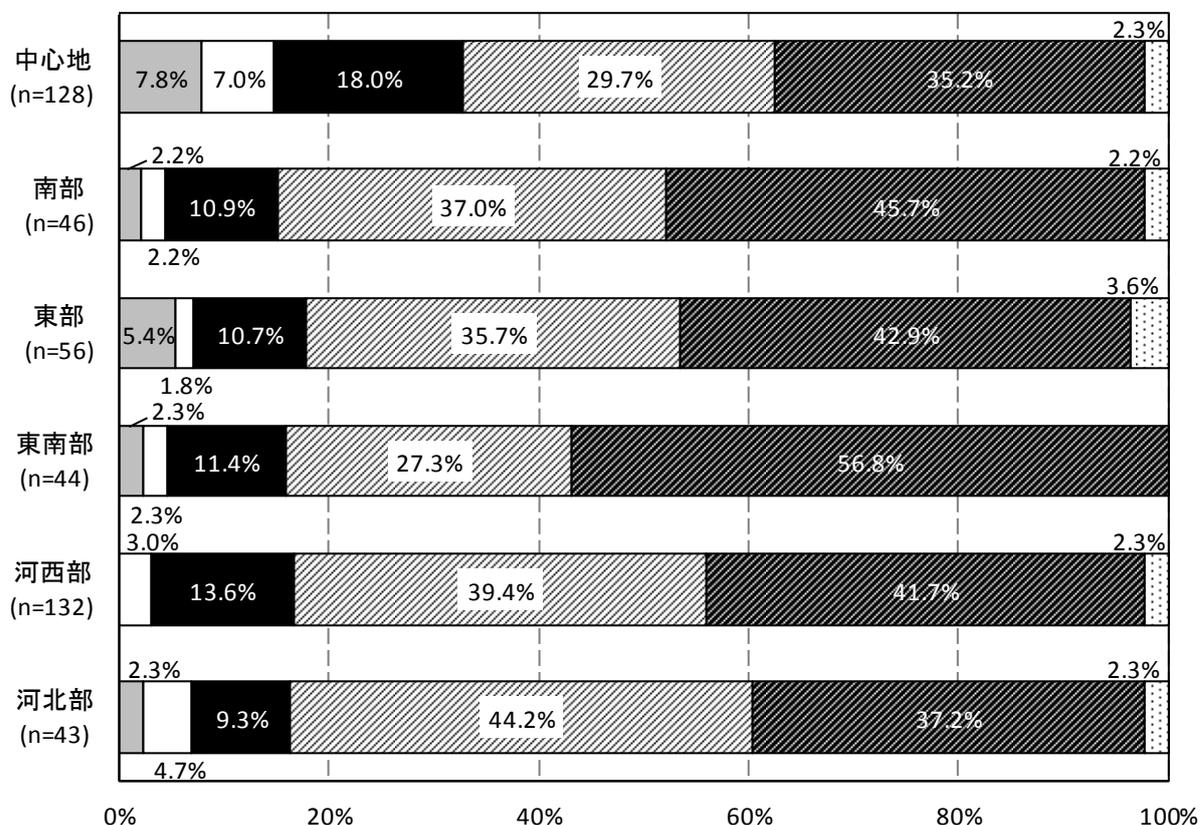
1. ほぼ毎日利用する
2. 週に3～4日ほど利用する
3. 週に1～2日ほど利用する
4. 月に1～2日ほど利用する
5. 年に数日利用する

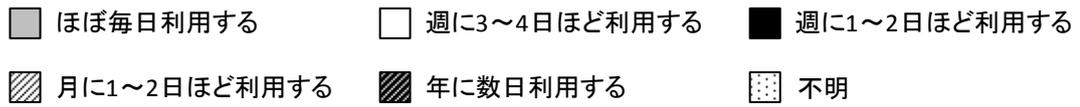
問 17 で「利用する」と回答した 471 人について、利用頻度は「年に数日利用する」が 41.6%と最も多く、次いで「月に1～2日ほど利用する」(35.0%)、「週に1～2日ほど利用する」(13.4%)の順となっている。

地域別、年代別にみても、「月に1～2日ほど利用する」、「年に数日利用する」が高くなっている。

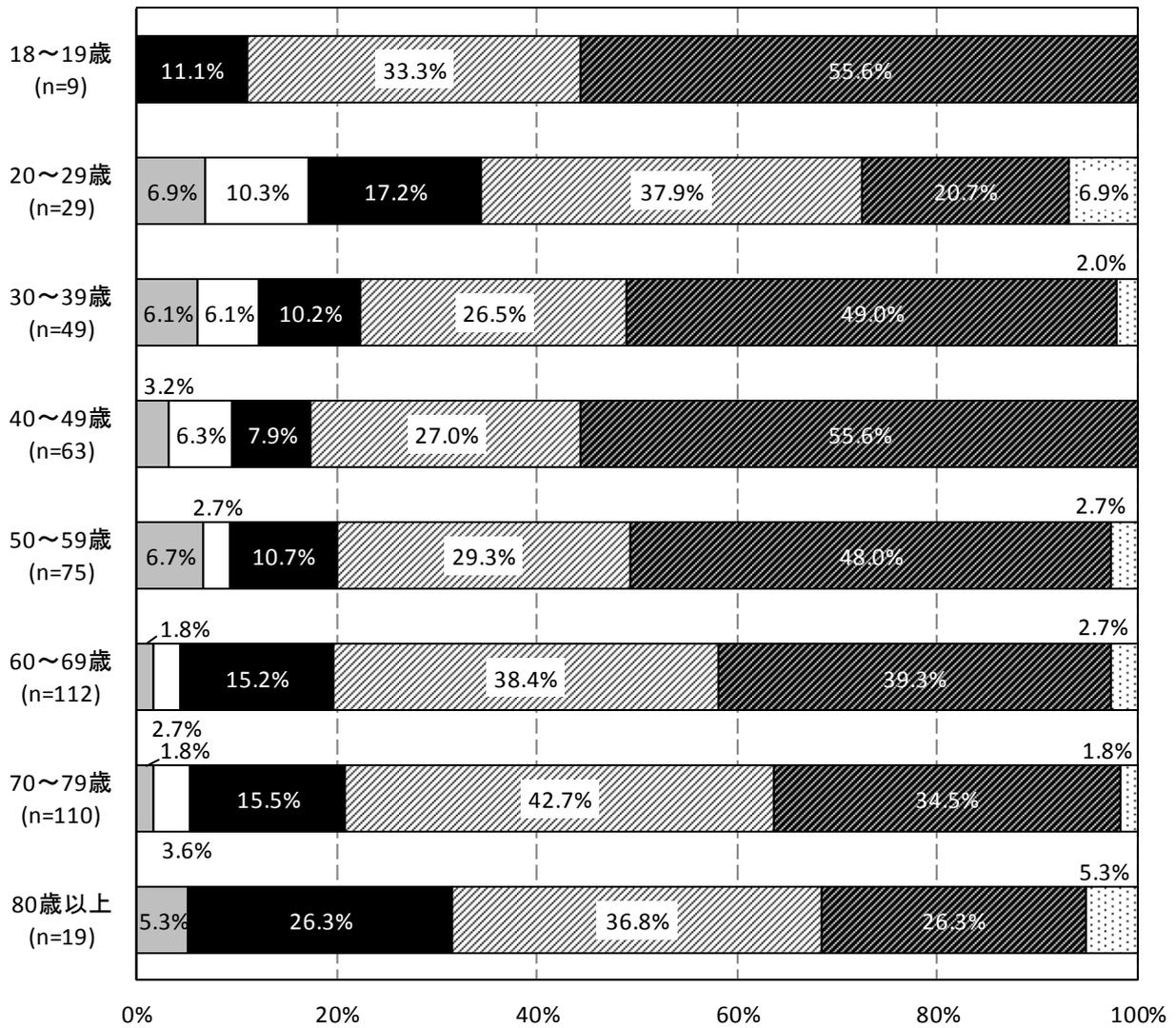


<地域別>





<年代別>



5. 食育について

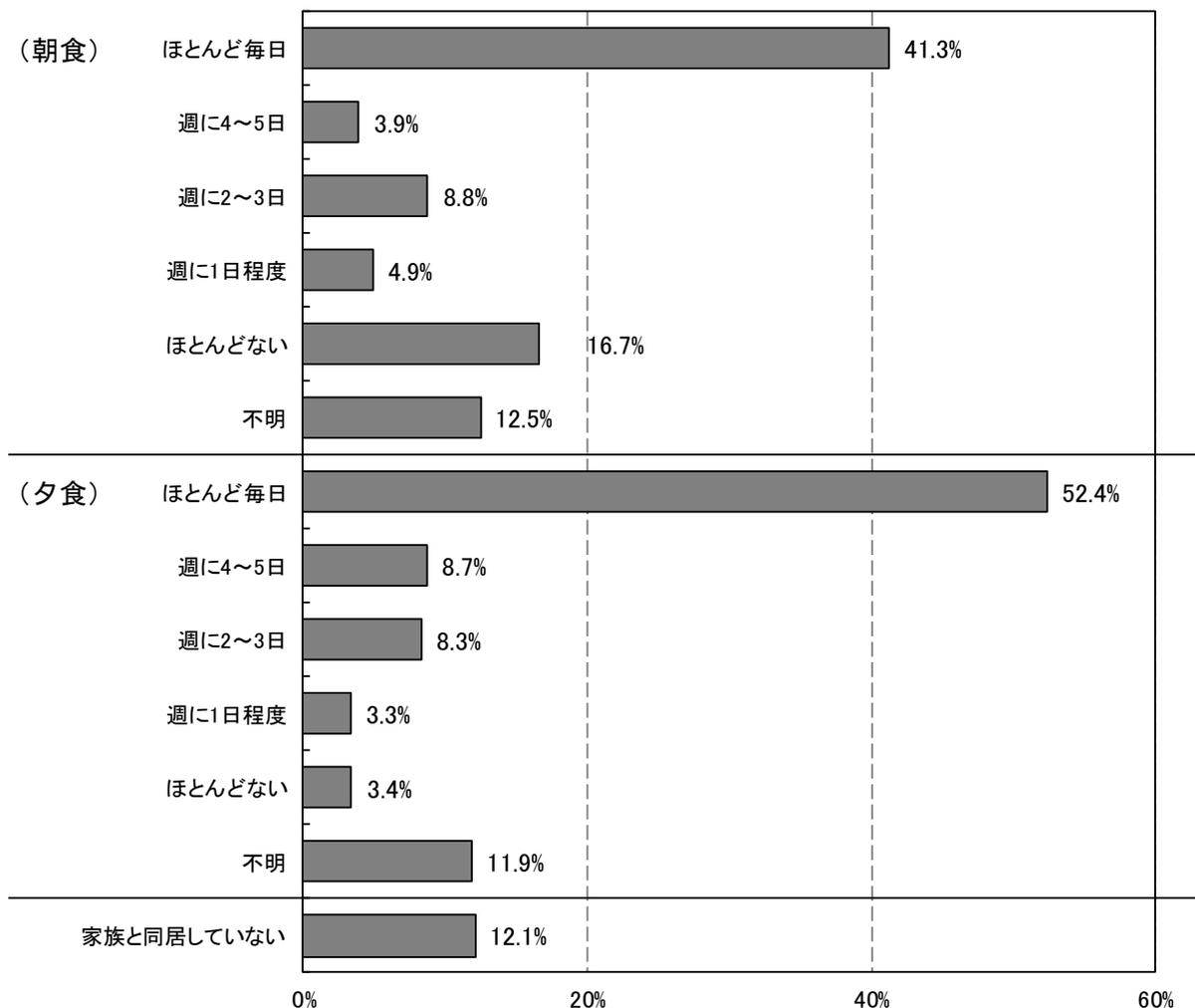
問 18 家族と一緒に食事をする頻度

問 18 あなたは、朝食及び夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか？あてはまる箇所の数字（1～11）を全て選んで、数字を○で囲んでください。

	ほとんど毎日	週に4～5日	週に2～3日	週に1日程度	ほとんどない	家族と同居していない
朝食	1	2	3	4	5	11
夕食	6	7	8	9	10	

家族と一緒に食事をする頻度について、朝食は「ほとんど毎日」が41.3%と最も多く、次いで「ほとんどない」(16.7%)、「週に2～3日」(8.8%)の順となっている。夕食は「ほとんど毎日」が52.4%と最も多く、次いで「週に4～5日」(8.7%)、「週に2～3日」(8.3%)の順となっている。

n=1027



問 19 バランスのよい食事習慣

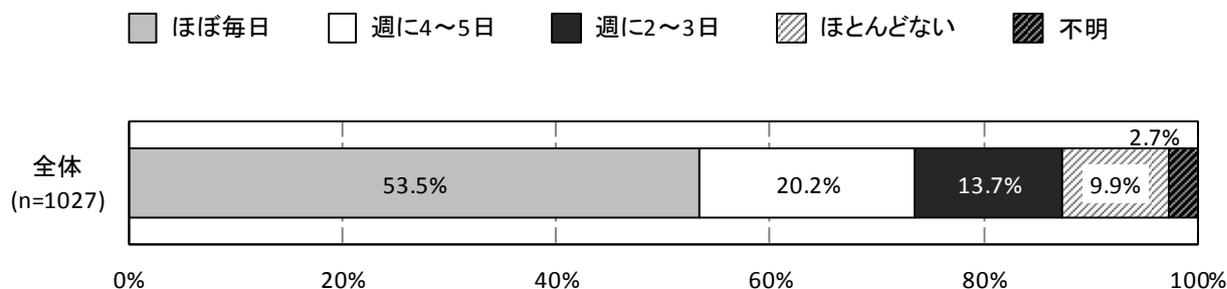
問 19 あなたは、主食（ごはん、パン、麺など）・主菜（肉・魚などを使ったメインの料理）・副菜（野菜などを使った小鉢・小皿の料理）を3つそろえて食べるのが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. ほぼ毎日
2. 週に4～5日
3. 週に2～3日
4. ほとんどない

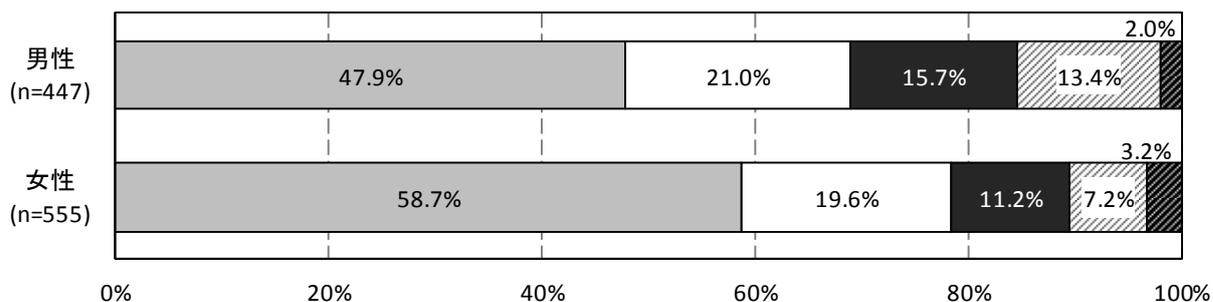
主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることについて、「ほぼ毎日」が53.5%と最も多く、次いで「週に4～5日」(20.2%)、「週に2～3日」(13.7%)となっている。

男女別にみると、男女とも「ほぼ毎日」が40%を超えている。

年代別にみると、60歳以上で「ほとんどない」が他の年代より低めとなっている。

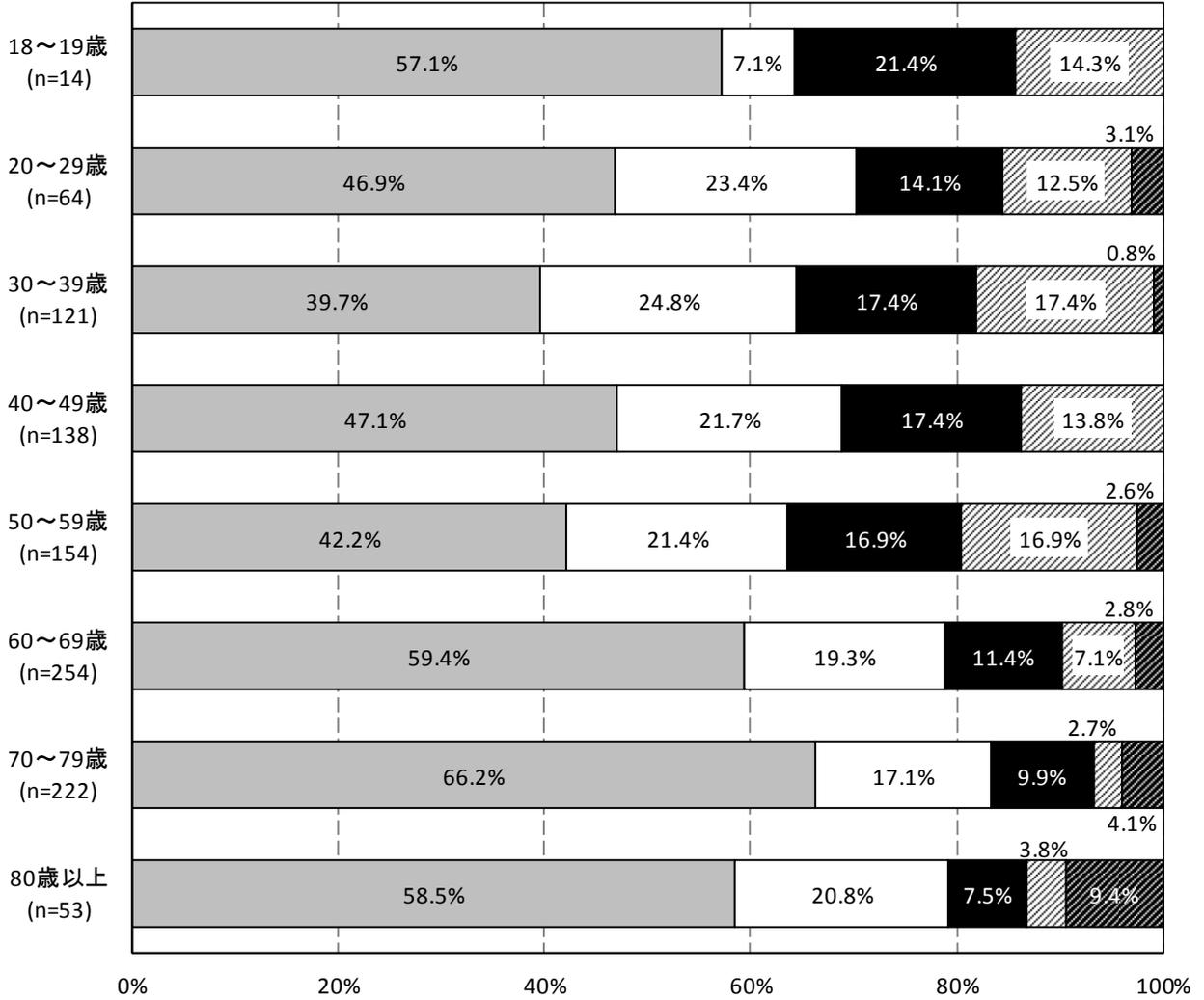


<男女別>



ほぼ毎日
 週に4~5日
 週に2~3日
 ほとんどない
 不明

<年代別>



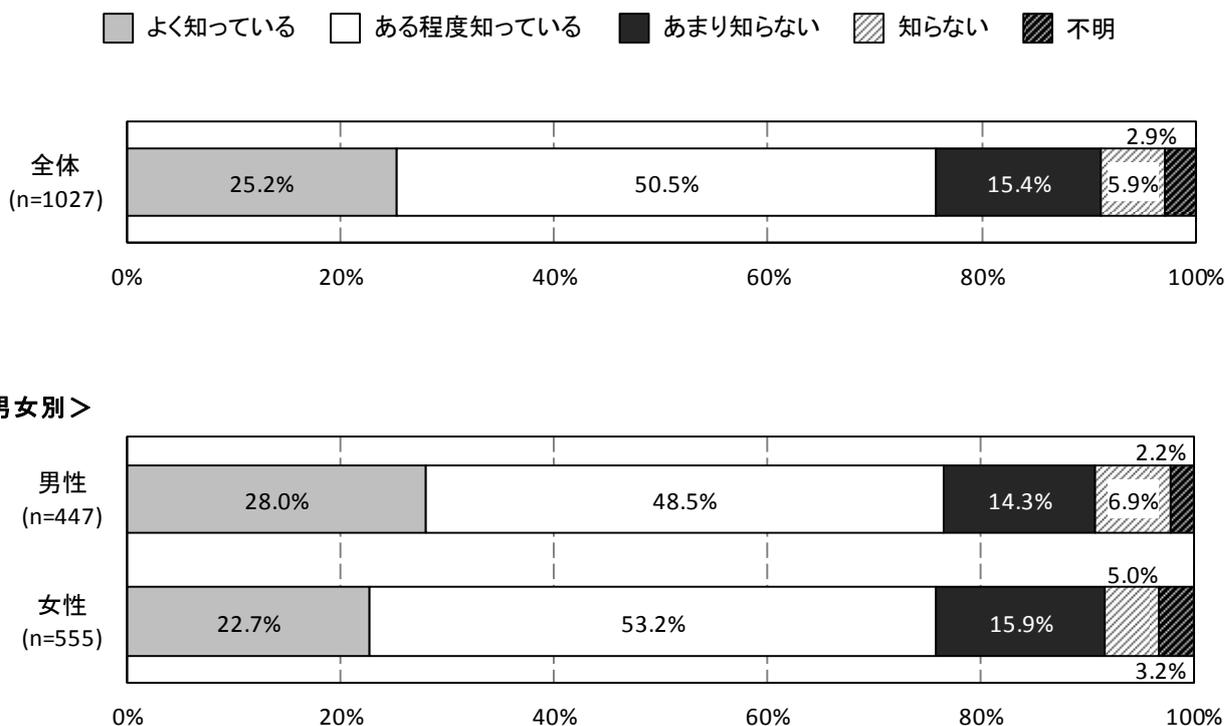
問 20 「食品ロス」の認知度

問 20 日本では年間約1700万トンの食品廃棄物が排出されており、このうち食べられるのに廃棄される食品（食品ロス）は約500～800万トン（我が国の米の年間収穫量に匹敵）等の観点から大きな問題となっています。あなたは、こうした「食品ロス」という問題を知っていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. よく知っている
2. ある程度知っている
3. あまり知らない
4. 知らない

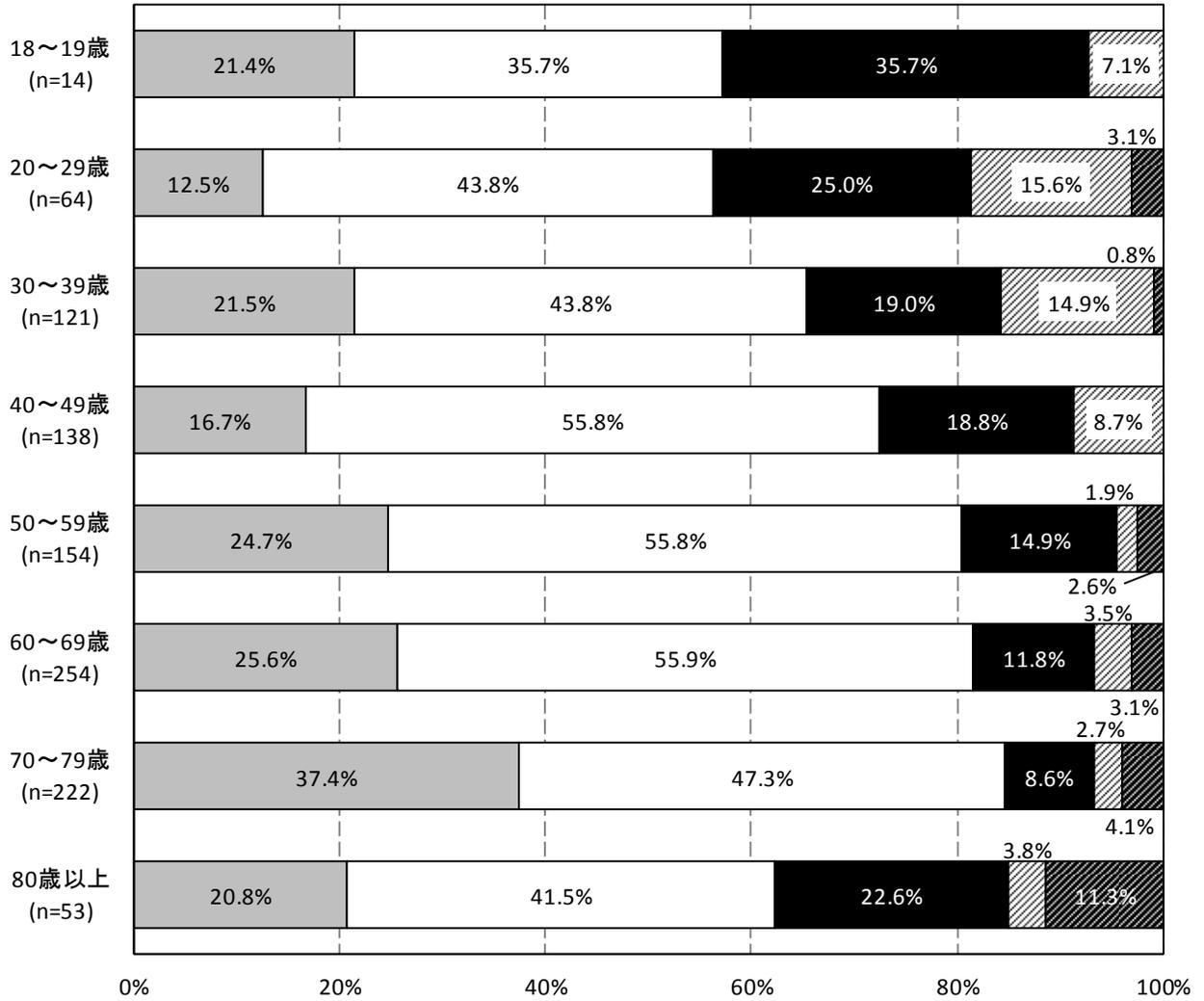
食品ロスについて、「よく知っている」(25.2%)と「ある程度知っている」(50.5%)をあわせた75.7%が知っているとなっている。「あまり知らない」(15.4%)と「知らない」(5.9%)をあわせた21.3%が知らないとなっている。

男女別、年代別にみても、知っているが半数を超えている。



よく知っている
 ある程度知っている
 あまり知らない
 知らない
 不明

<年代別>



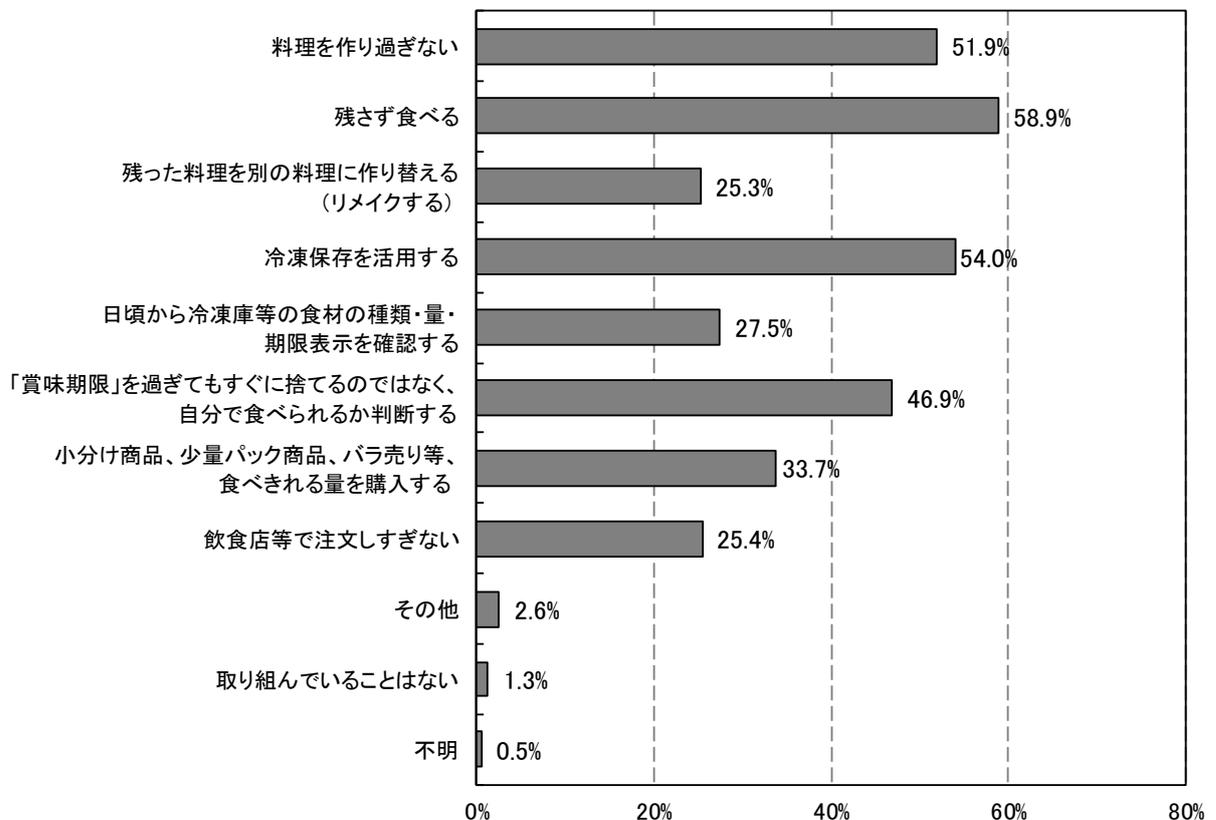
問 20-1 食品ロスへの取り組み

問 20-1 問 20 で「1. よく知っている」「2. ある程度知っている」と回答された方のみお答えください。あなたが、「食品ロス」を発生させない（食品を無駄にしない）ために取り組んでいることは何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 料理を作り過ぎない
2. 残さず食べる
3. 残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）
4. 冷凍保存を活用する
5. 日頃から冷凍庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する
6. 「賞味期限」を過ぎてみすぐ捨ててではなく、自分で食べられるか判断する
7. 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べきれぬ量を購入する
8. 飲食店等で注文しすぎない
9. その他（)
10. 取り組んでいることはない

問 20 で「1. よく知っている」「2. ある程度知っている」と回答した 778 人について、食品ロスを発生させないための取り組みは、「残さず食べる」が 58.9%と最も多い。他の項目で 40%を超えるのは、「冷凍保存を活用する」(54.0%)、「料理を作り過ぎない」(51.9%)、「『賞味期限』を過ぎてみすぐ捨ててではなく、自分で食べられるか判断する」(46.9%) の 3 項目となっている。

n=778



その他：「お裾分け」、「買いすぎない、買いだめしない」、「外食のときは持ち帰る」など

問 21 食文化の伝達

問 21 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継ぎ、地域や次世代（子供やお孫さんを含む）に対し伝えていますか？あてはまるものを1つお選びください。

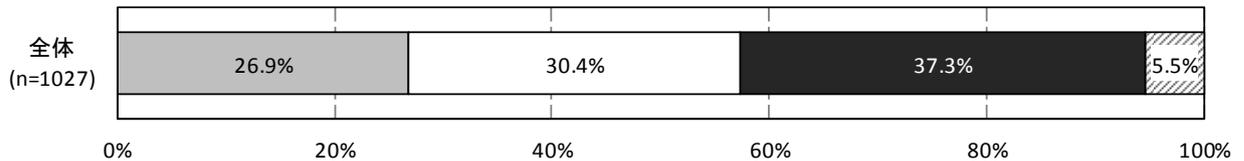
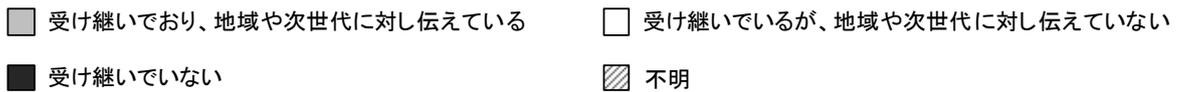
1. 受け継いでおり、地域や次世代に対し伝えている
2. 受け継いでいるが、地域や次世代に対し伝えていない
3. 受け継いでいない

受け継がれてきた伝統的な料理や食べ方・作法等を継承し、伝えているかについて、「受け継いでいない」が37.3%と最も多く、次いで「受け継いでいるが、地域や次世代に対し伝えていない」(30.4%)、「受け継いでおり、地域や次世代に対し伝えている」(26.9%)の順となっている。

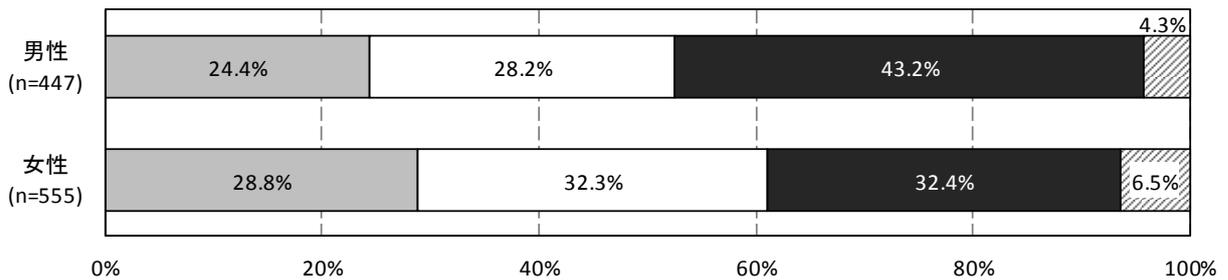
男女別で見ると、「受け継いでいない」は男性(43.2%)が女性(32.4%)より10.8ポイント上回っている。

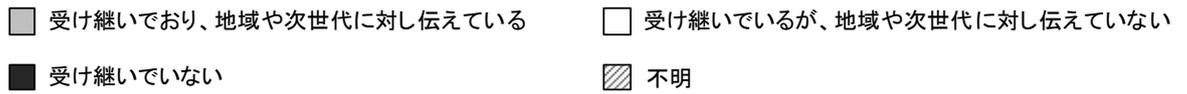
地域別にみると、いずれの地域も「受け継いでいない」が30%を超えている。

年代別にみても、79歳以下で「受け継いでいない」が30%以上と高めとなっているが、18~19歳では「受け継いでおり、地域や次世代に対し伝えている」(50.0%)が他の年代より高めとなっている。

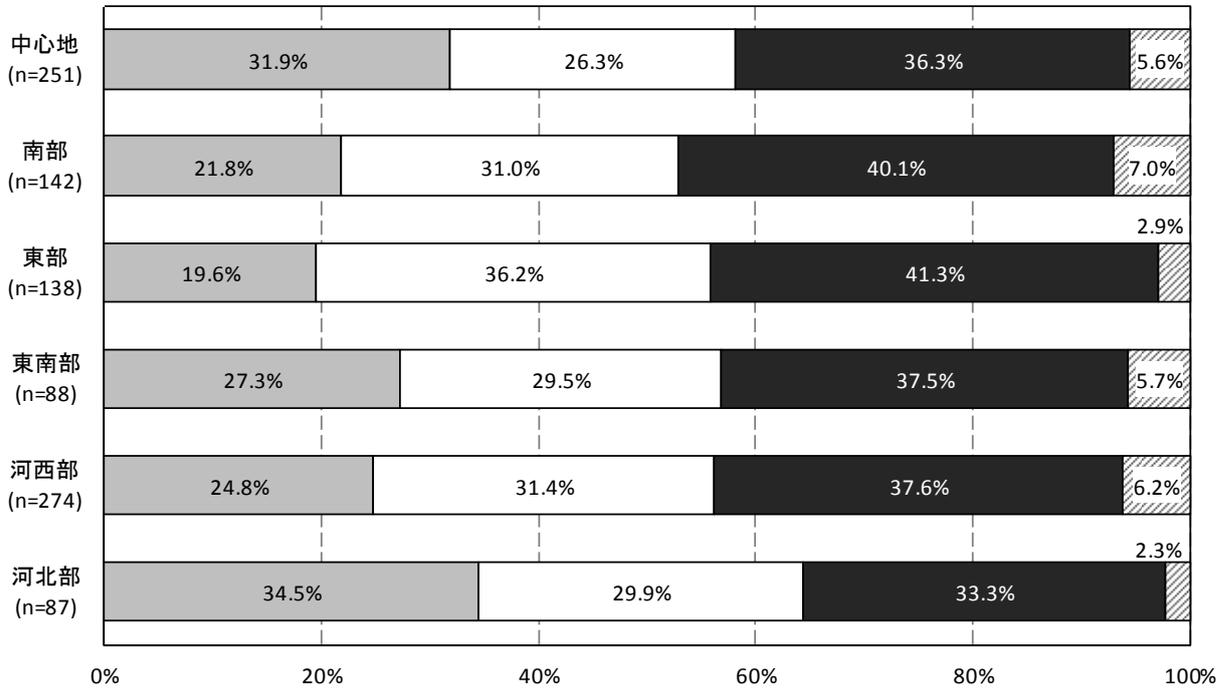


<男女別>

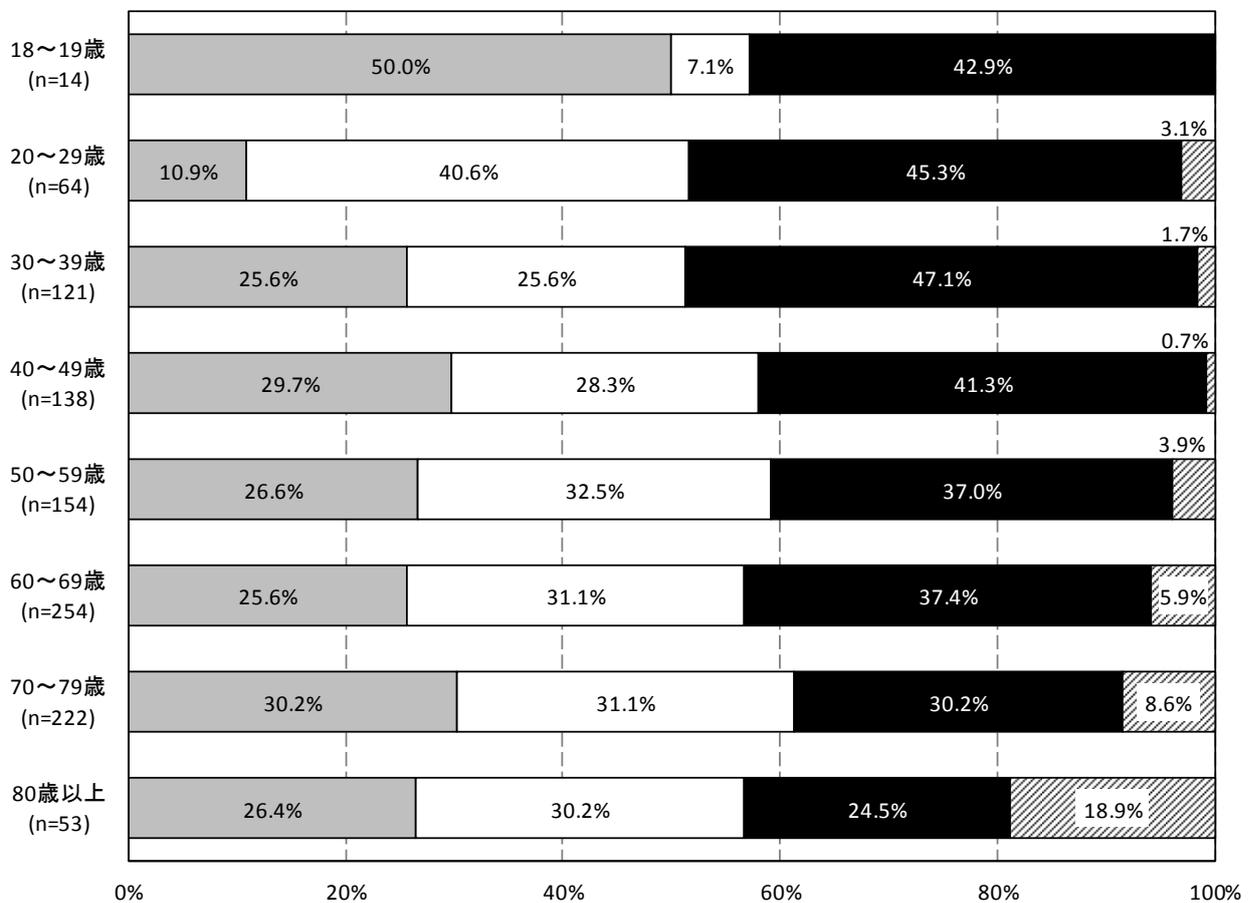




<地域別>



<年代別>



問 22 安全な食生活への意識

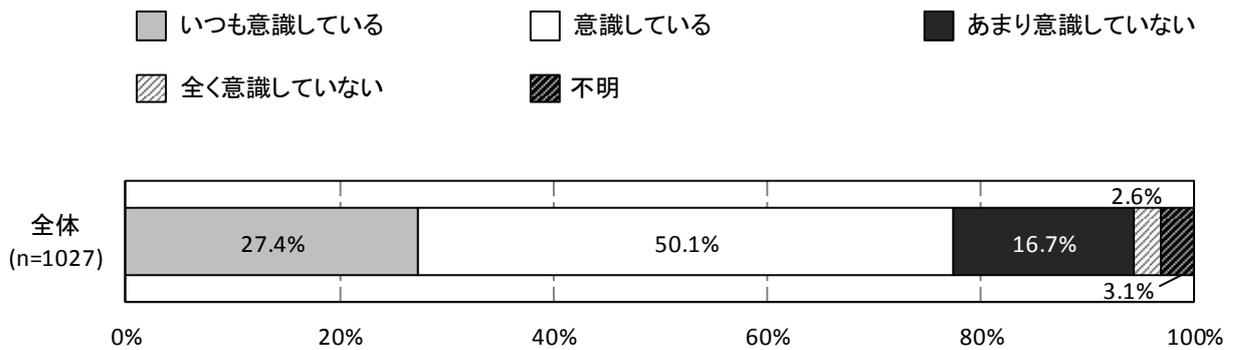
問 22 あなたは、安全な食生活を送ることについてどの程度意識していますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. いつも意識している
2. 意識している
3. あまり意識していない
4. 全く意識していない

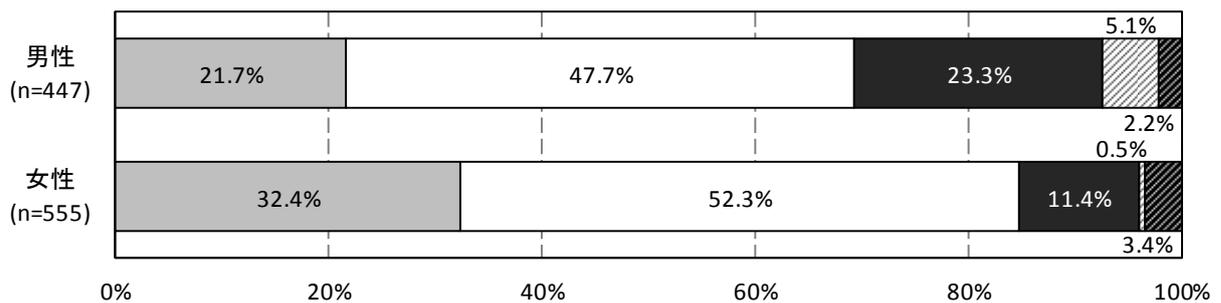
安全な食生活を送ることについて、「いつも意識している」(27.4%)と「意識している」(50.1%)をあわせた77.5%は意識しているとなっており、「あまり意識していない」(16.7%)と「全く意識していない」(2.6%)をあわせた19.3%は意識していないとなっている。

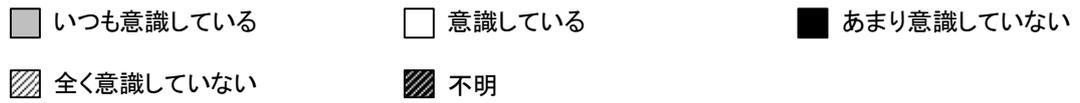
男女別にみると、意識している比率は、女性(84.7%)が男性(69.4%)を15.3ポイント上回っている。

年代別にみると、いずれの年代も意識している比率が半数を超えている。

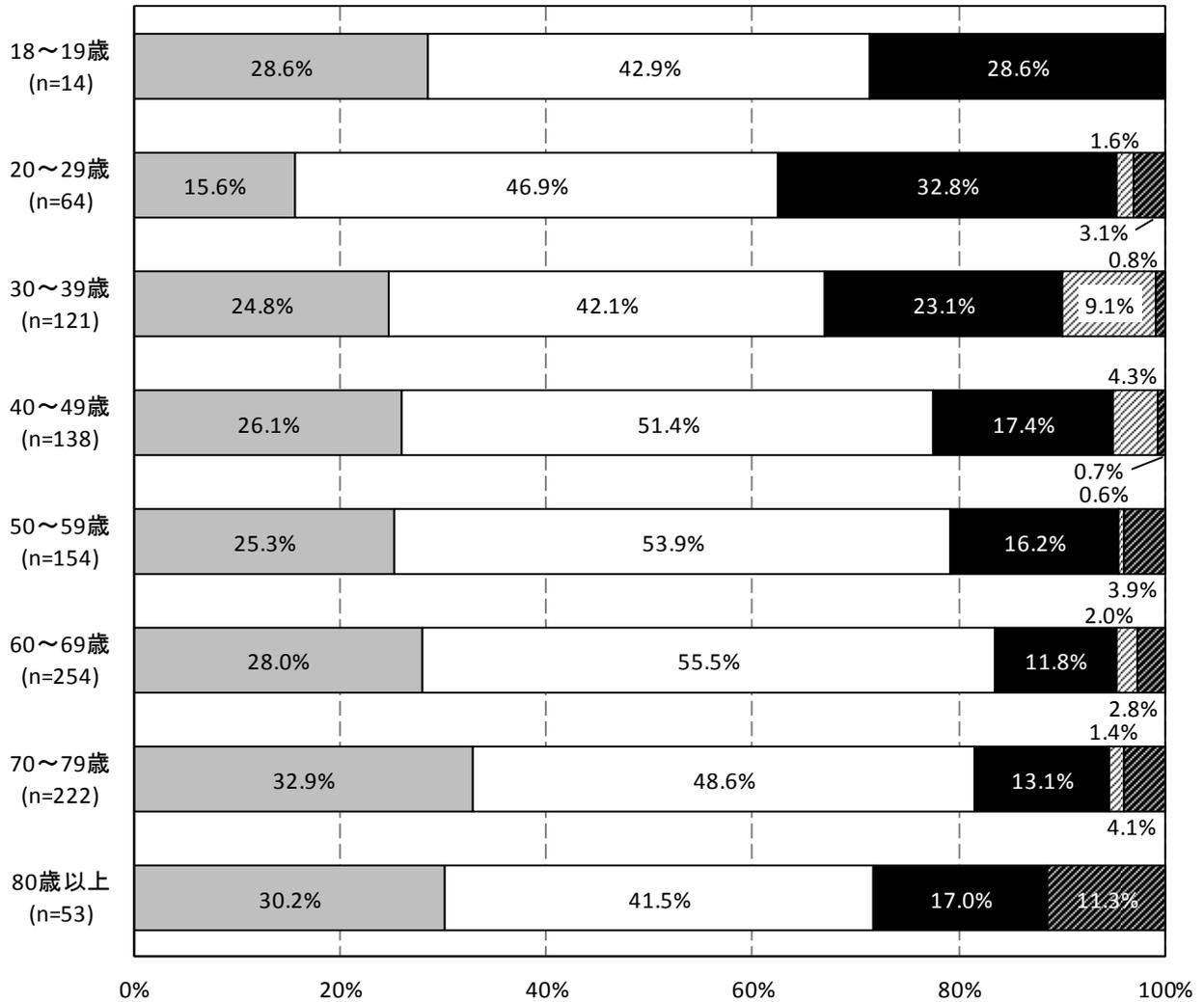


<男女別>





<年代別>



6. 災害対策について

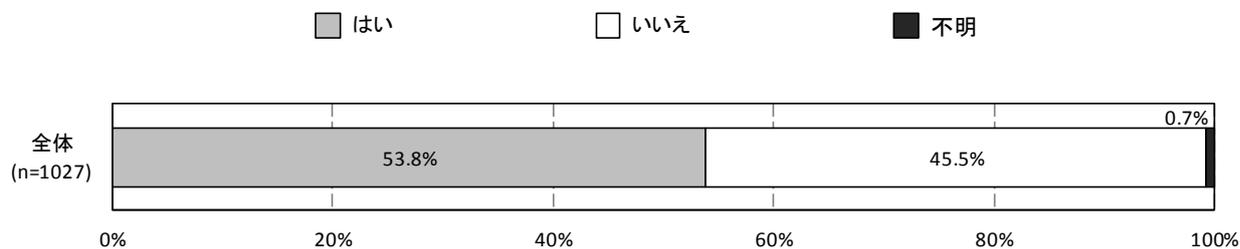
問 23 災害への備え

問 23 あなたは現在、水や食料を買い置きしておく等、災害に対して何らかの備えを行っていますか？

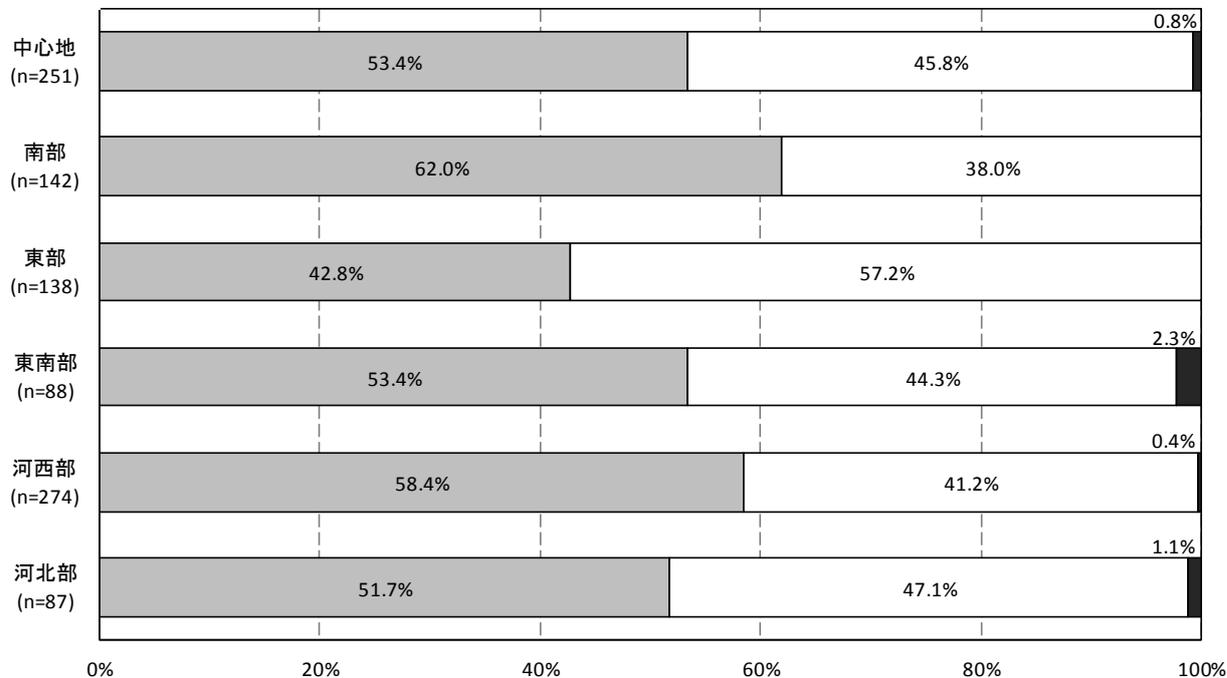
1. はい

2. いいえ

災害に対する備えの実施は、「はい」が53.8%となっており、「いいえ」(45.5%)を上回っている。地域別にみると、実施率は南部(62.0%)が最も高く、最も低いのは東部(42.8%)となっている。年代別にみると、実施率は70~79歳(62.2%)が最も高く、20~29歳(34.4%)が最も低くなっている。



<地域別>

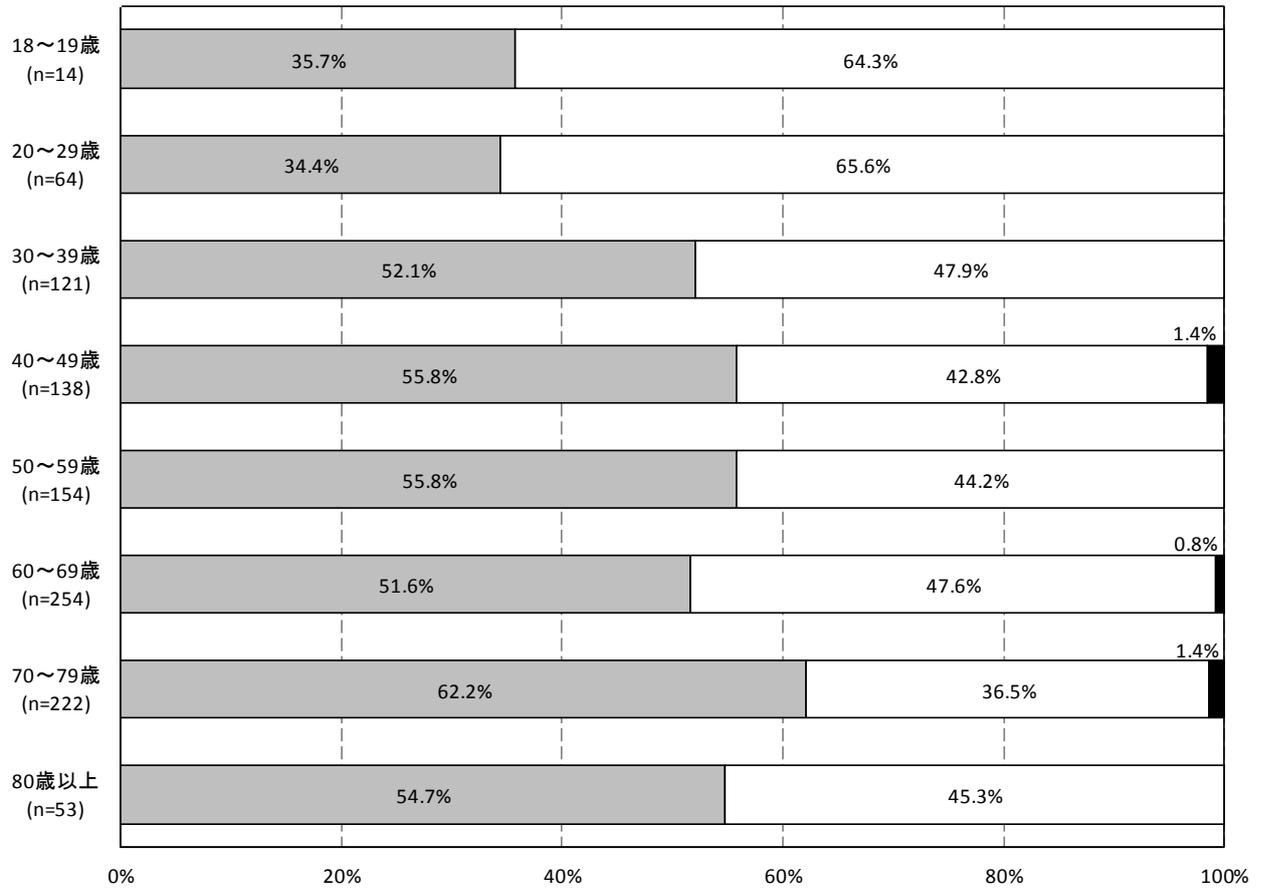


■ はい

□ いいえ

■ 不明

<年代別>

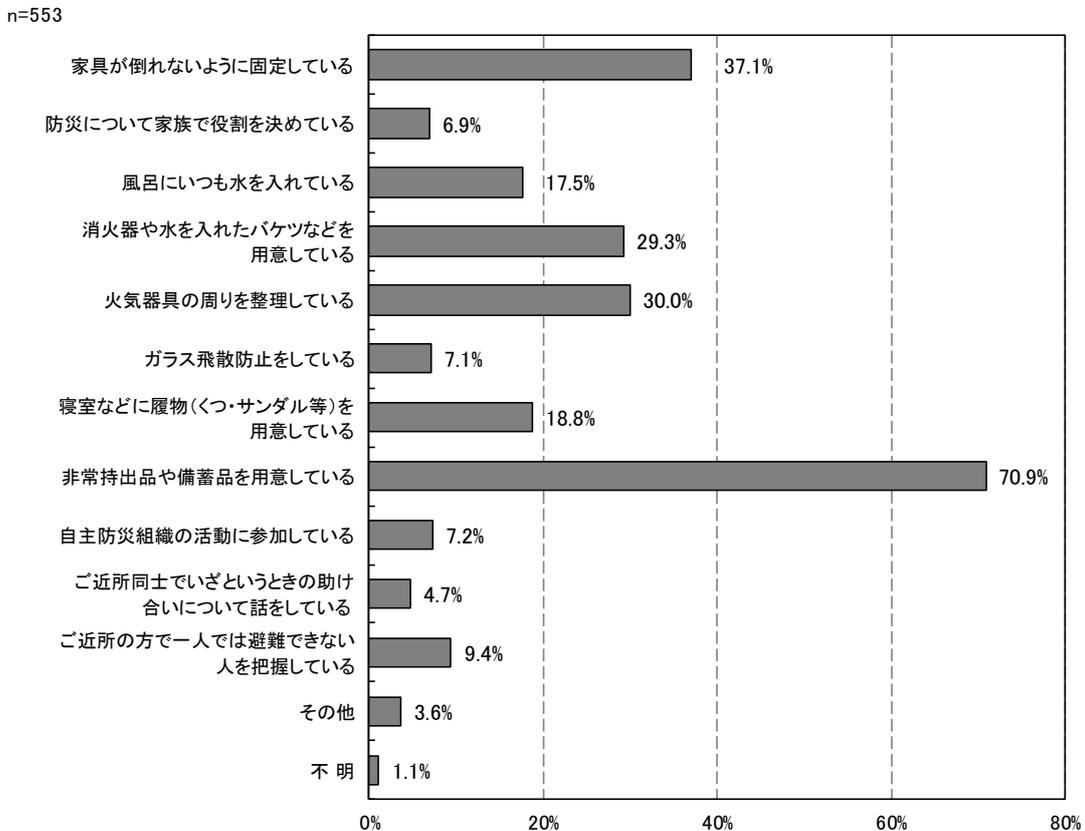


問 23-1 災害に備えていること

問 23-1 問 23 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。災害の発生に備えてどのようなことをしていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 家具が倒れないように固定している
2. 防災について家族で役割を決めている
3. 風呂にいつも水を入れている
4. 消火器や水を入れたバケツなどを用意している
5. 火気器具の周りを整理している
6. ガラス飛散防止をしている
7. 寝室などに履物（くつ・サンダル等）を用意している
8. 非常持出品や備蓄品を用意している
9. 自主防災組織の活動に参加している
10. ご近所同士でいざというときの助け合いについて話をしている
11. ご近所の方で一人では避難できない人を把握している
12. その他（)

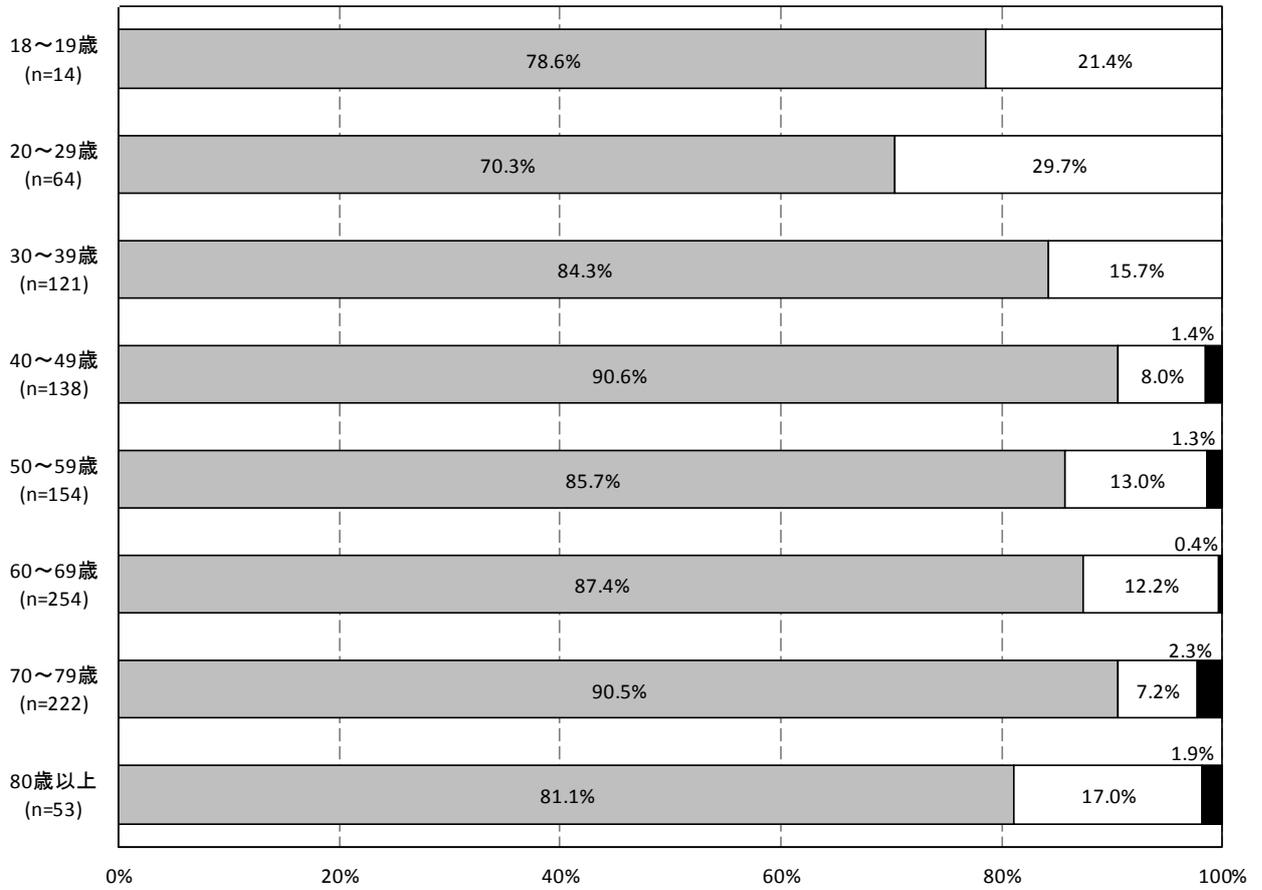
問 23 で「1. はい」と回答した 553 人について、災害に備えていることは、「非常持出品や備蓄品を用意している」が 70.9%と最も多く、次いで「家具が倒れないように固定している」(37.1%)、「火気器具の周りを整理している」(30.0%)、「消火器や水を入れたバケツなどを用意している」(29.3%) の順となっている。



その他：「飲料水の買い置き」、「家族で避難先を決めている」、「自家発電できるようにしている」など

知っている
 知らない
 不明

<年代別>



問 25 防災への取り組み

問 25 あなたは、災害から身を守るために、どの避難場所に逃げるか、どんな経路を通して逃げるか、日頃から調べたり、話し合ったりしていますか？

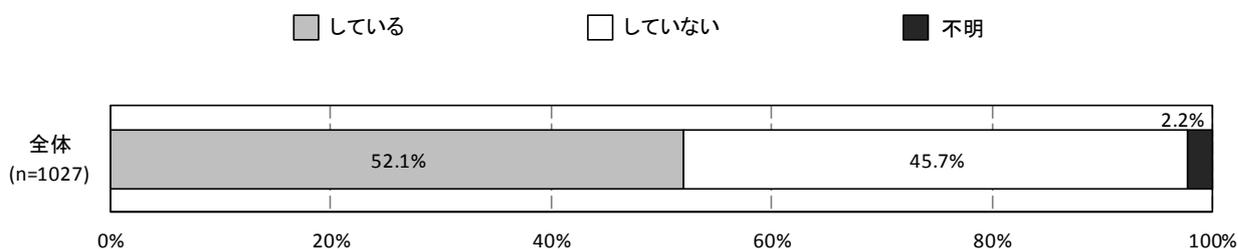
1. している

2. していない

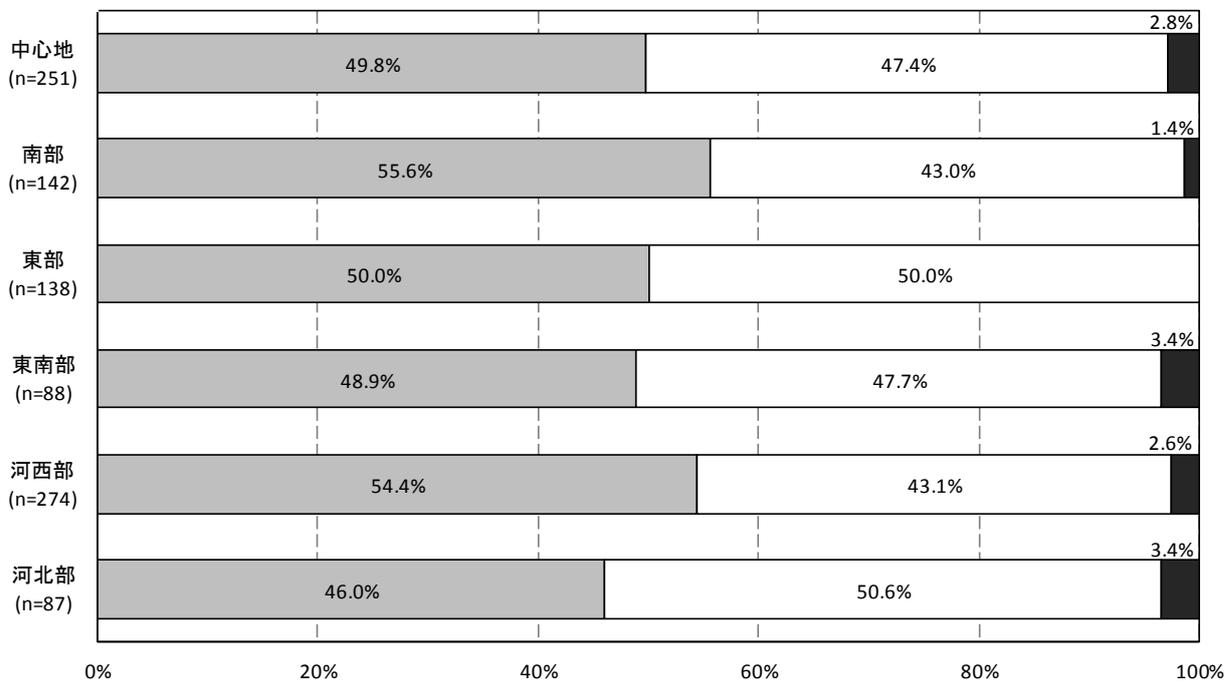
災害から身を守るために日頃から調べたり、話し合ったりしているかについて、「している」が52.1%、「していない」が45.7%となっている。

地域別にみると、「している」が最も高いのは南部で55.6%、最も低いのは河北部で46.0%となっている。

年代別にみると、「している」が20～39歳、50～59歳、80歳以上が半数を下回っている。

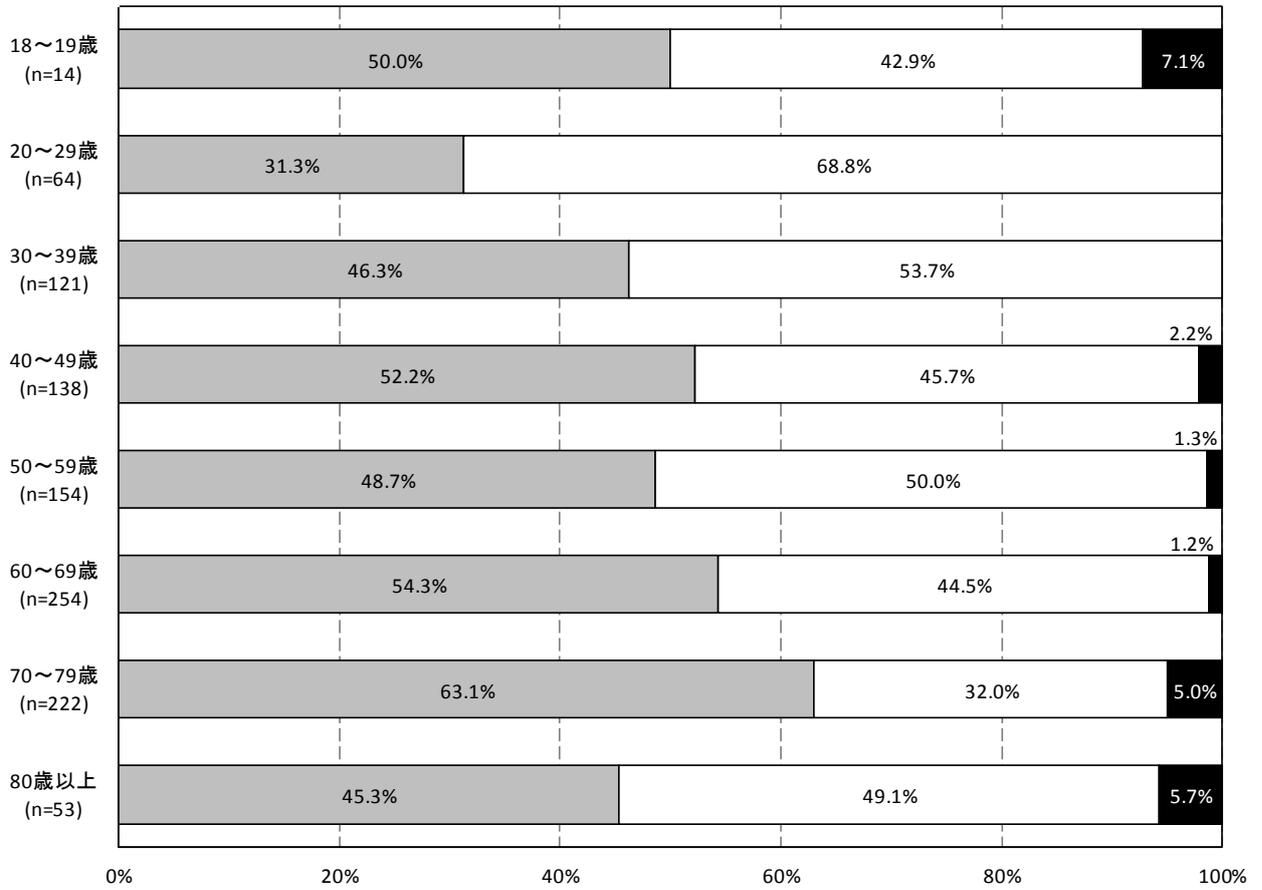


<地域別>



■ している □ していない ■ 不明

<年代別>



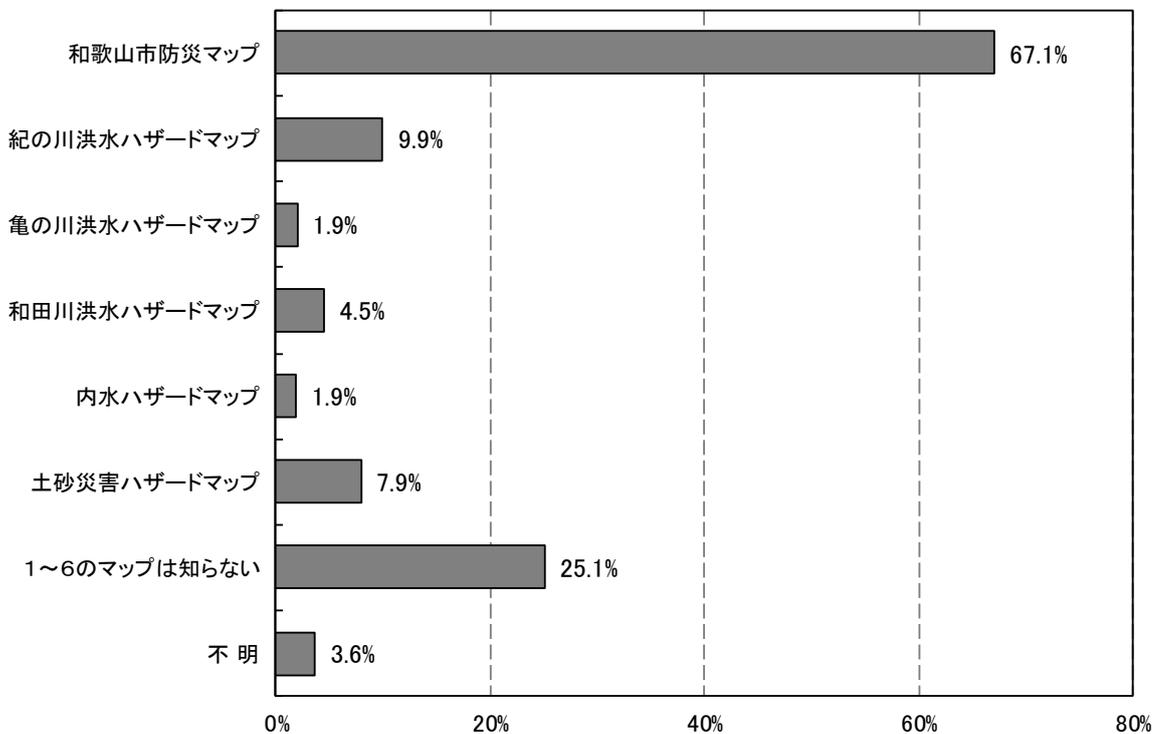
問 26 ハザードマップの認知度

問 26 あなたは、和歌山市が作成しているハザードマップを知っていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 和歌山市防災マップ
2. 紀の川洪水ハザードマップ
3. 亀の川洪水ハザードマップ
4. 和田川洪水ハザードマップ
5. 内水ハザードマップ
6. 土砂災害ハザードマップ
7. 1～6のマップは知らない

ハザードマップの認知度は、「和歌山市防災マップ」が 67.1%と最も多い。「1～6 のマップは知らない」は 25.1%となっている。

n=1027



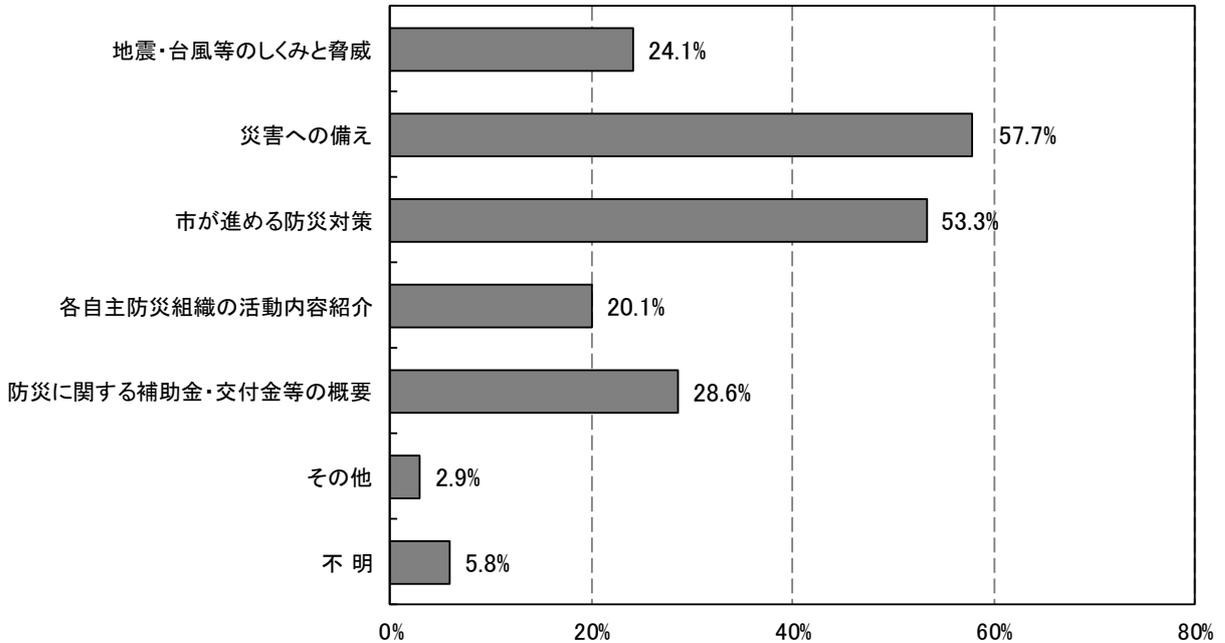
問 27 掲載してほしい防災情報

問 27 あなたは、市報わかやまや防災ホームページ等に、どのような防災情報を掲載してほしいですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 地震・台風等のしくみと脅威
2. 災害への備え
3. 市が進める防災対策
4. 各自主防災組織の活動内容紹介
5. 防災に関する補助金・交付金等の概要
6. その他 ()

掲載してほしい防災情報は、「災害への備え」が 57.7%と最も高く、次いで「市が進める防災対策」(53.3%)、「防災に関する補助金・交付金等の概要」(28.6%)、「地震・台風等のしくみと脅威」(24.1%)、「各自主防災組織の活動内容紹介」(20.1%)の順になっている。

n=1027



その他：「災害発生時の行動」、「避難場所、物資等の情報」、「災害時の連絡方法」など

問 28 防災行政無線からの情報伝達

問 28 災害発生時や災害が発生するおそれがある時、防災行政無線等によって市から情報を発信していますが、その情報はあなたに伝わっていますか？

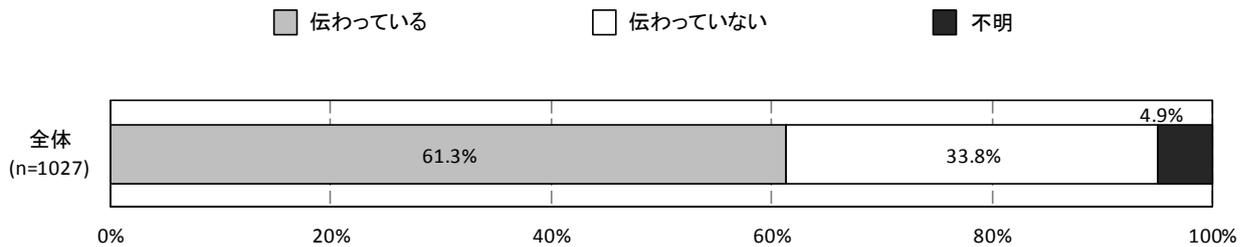
1. 伝わっている

2. 伝わっていない【理由：

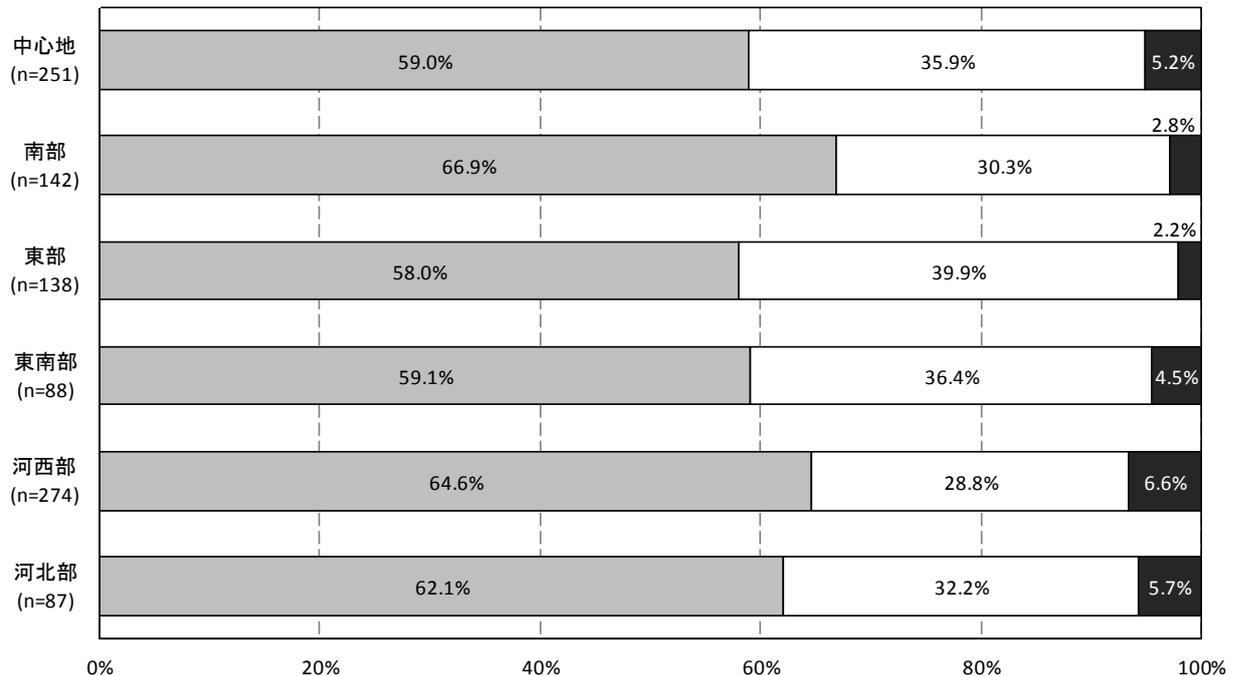
】

防災行政無線からの情報伝達は、「伝わっている」が 61.3%、「伝わっていない」は 33.8%となっている。

地域別にみると、「伝わっていない」は東部で 39.9%と高くなっている。



<地域別>



理由：「天候によって聞こえない」、「室内にいると聞こえない」、「音が小さい」、「音が反響、割れる」、「設置場所が遠い」、「防災行政無線が設置されていない」、「周りの騒音で聞こえない」など

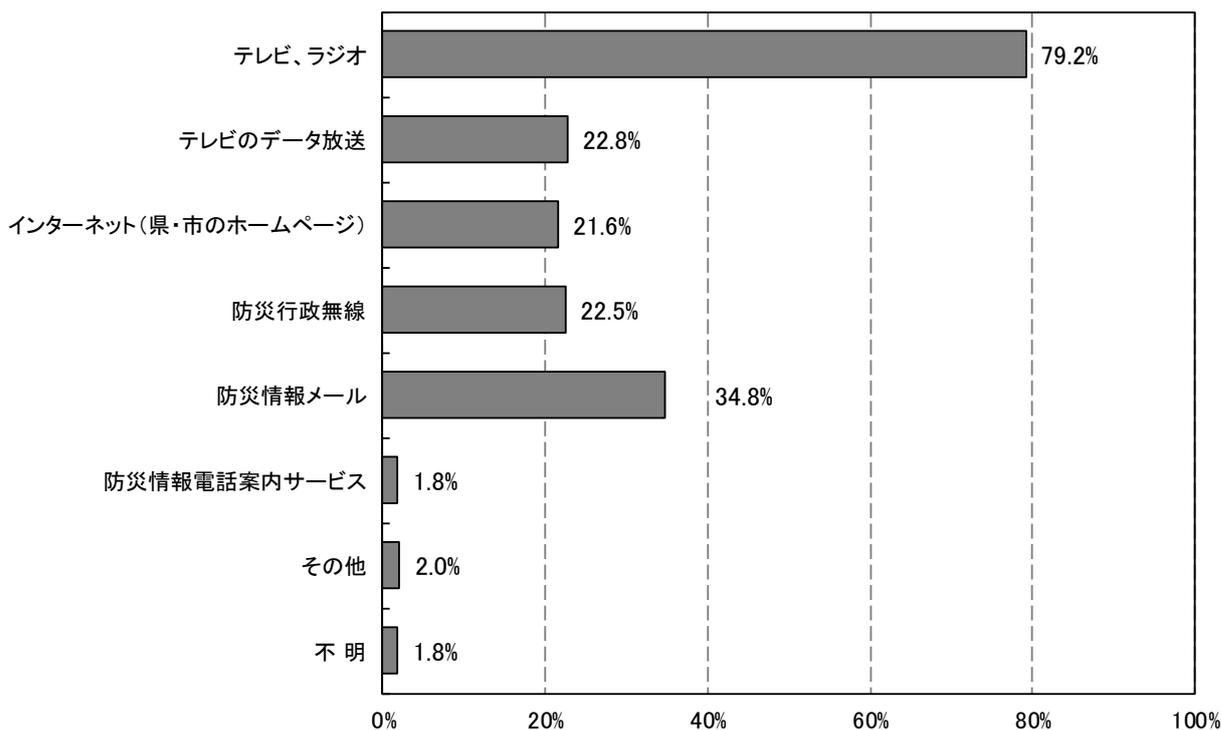
問 29 災害時の情報源

問 29 あなたは、災害発生時や災害が発生するおそれがある時、その情報をどこから得ていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. テレビ、ラジオ
2. テレビのデータ放送
3. インターネット（県・市のホームページ）
4. 防災行政無線
5. 防災情報メール
6. 防災情報電話案内サービス
7. その他（ ）

防災時の情報源は、「テレビ、ラジオ」が79.2%と最も多く、次いで「防災情報メール」(34.8%)、「テレビのデータ放送」(22.8%)、「防災行政無線」(22.5%)、「インターネット（県・市のホームページ）」(21.6%)の順となっている。

n=1027



その他：「スマートフォン・携帯電話」、「インターネット（県・市以外のホームページ）」など

問 30 家具の転倒防止用固定金具取付事業の認知度

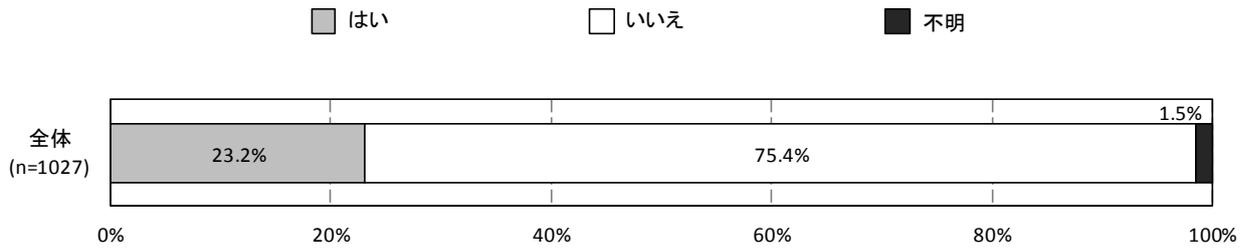
問 30 あなたは、和歌山市が65歳以上の方だけの世帯やいくつかの条件にあてはまる方を対象に家具の転倒防止用固定金具取付事業を行っていることを知っていますか？

1. はい

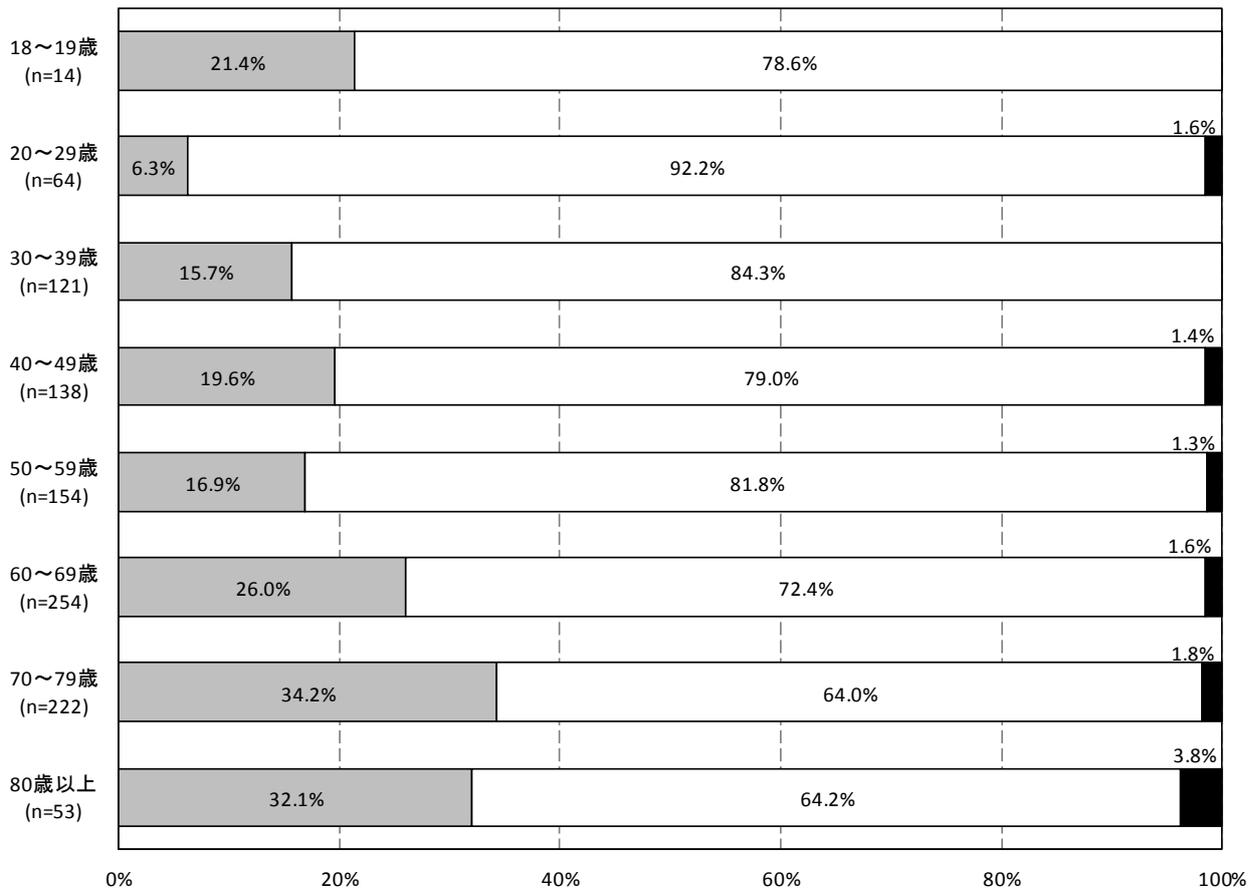
2. いいえ

家具の転倒防止用固定金具取付事業を知っているかについて、「はい」が23.2%、「いいえ」が75.4%となっている。

年代別にみると、いずれの年代も「いいえ」が60%を超えている。



<年代別>



問 30-1 事業対象者になった場合の利用について

問 30-1 問 30 の事業の対象であれば、利用したいと思いますか？

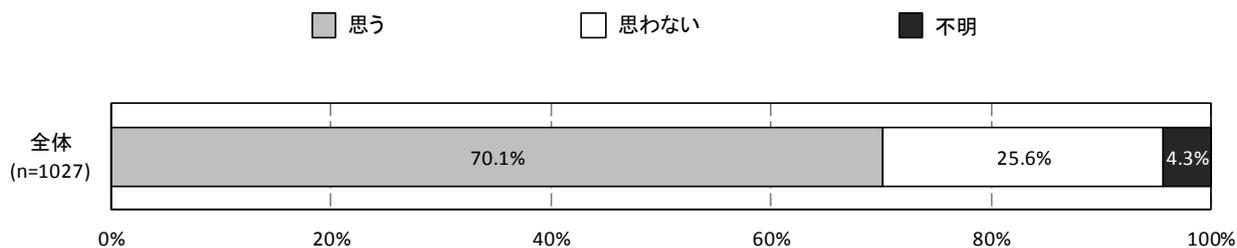
1. 思う

2. 思わない

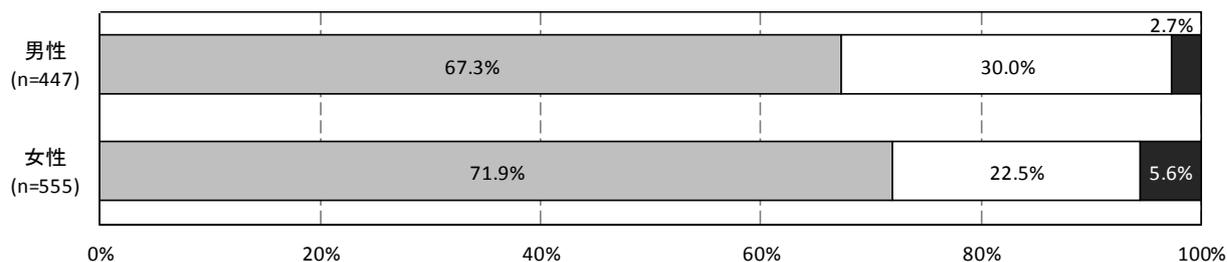
問 30 の事業対象者になった場合の利用したいかについて、「思う」が 70.1%、「思わない」が 25.6% となっている。

男女別で見ると、男女で大きな違いはみられない。

年代別にみると、「思う」がいずれの年代も 60%以上となっており、18~19 歳が 92.9%と最も高く、年齢が低いほど「思う」の意見が多い傾向にある。

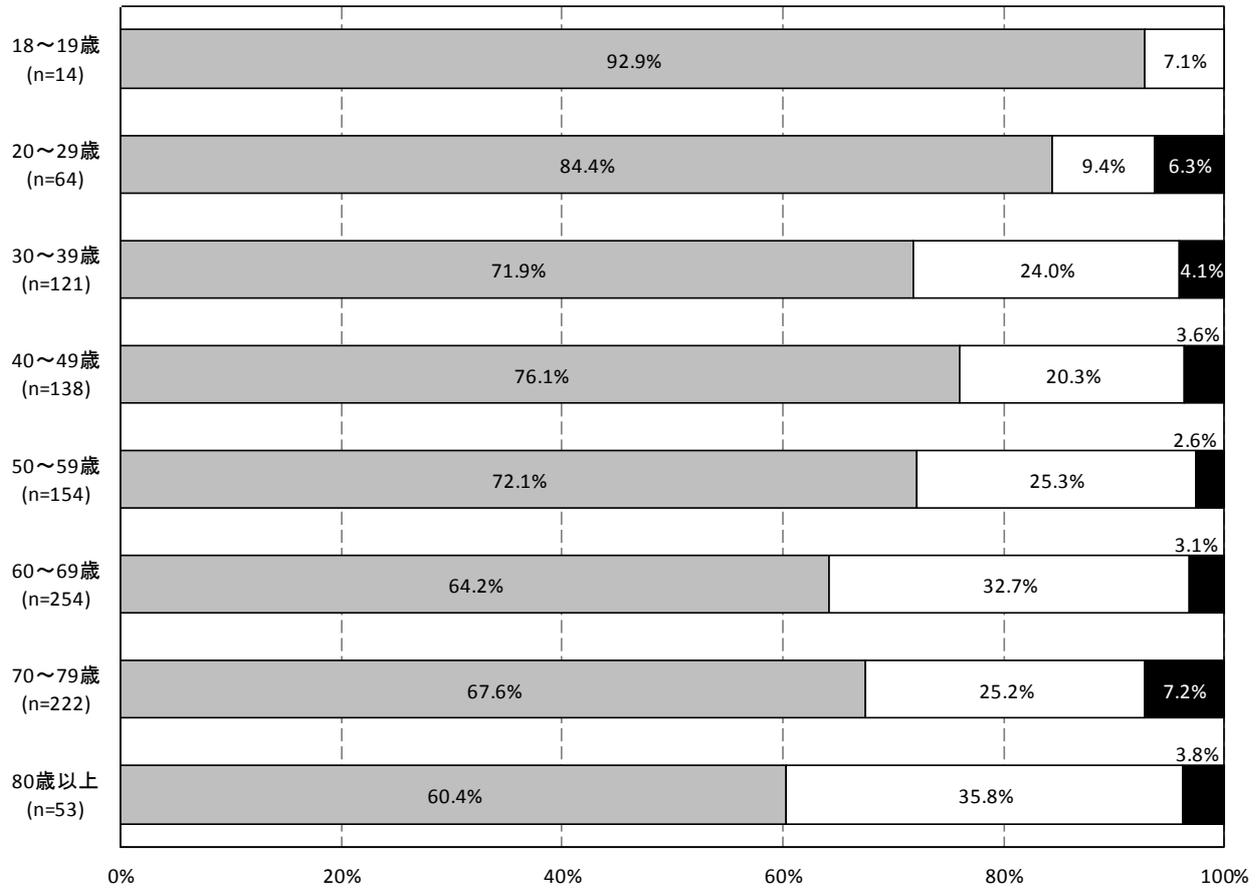


<男女別>



■ 思う □ 思わない ■ 不明

<年代別>



問 30-2 利用しない理由

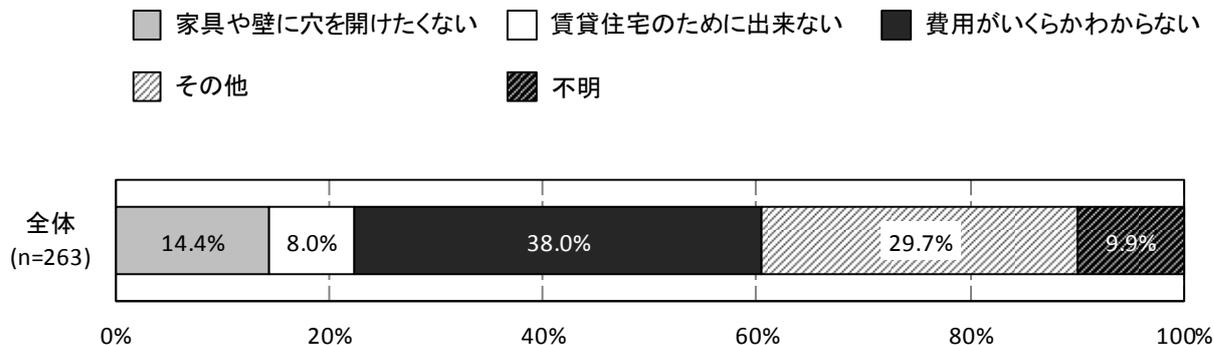
問 30-2 問 30-1 で「2. 思わない」と回答された方のみお答えください。

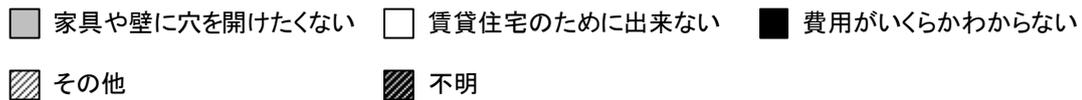
固定金具の取付を行いたくない理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 家具や壁に穴を開けたくない
2. 賃貸住宅のために出来ない
3. 費用がいくらかわからない
4. その他 ()

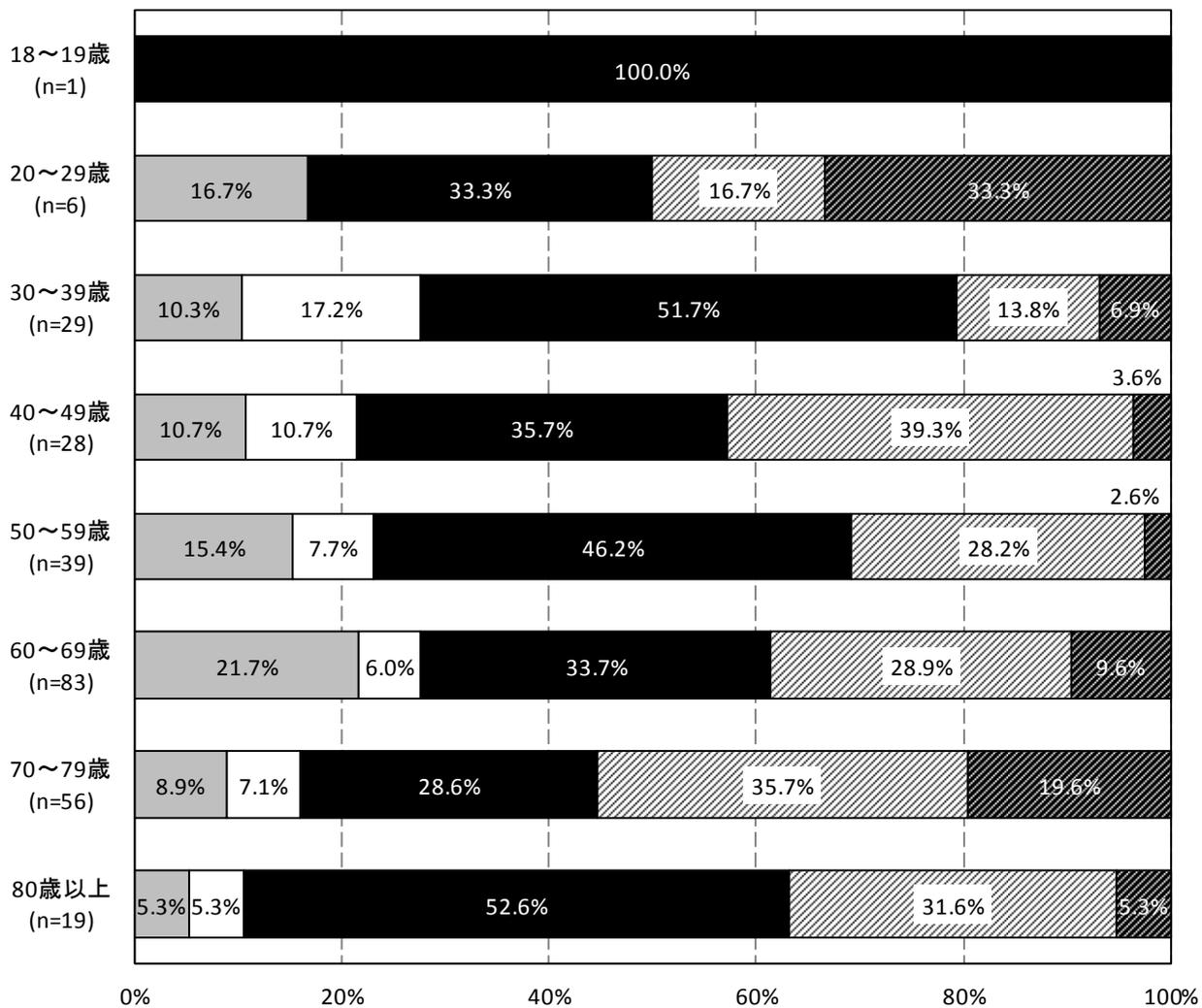
問 30-1 で「2. 思わない」と回答した 263 人について、固定金具の取付を行いたくない理由は、「費用がいくらかわからない」が 38.0%と最も多く、次いで「その他」(29.7%)、「家具や壁に穴を開けたくない」(14.4%)の順となっている。

年代順にみると、いずれの年代も「費用がいくらかわからない」が高めとなっており、40～49 歳、70～79 歳では「その他」が最も高くなっている。





<年代別>



その他：「自分でできる」、「取付け家具のため必要がない」、「効果があるのかわからない」など

7. 防犯対策について

問 31 和歌山市の治安状況

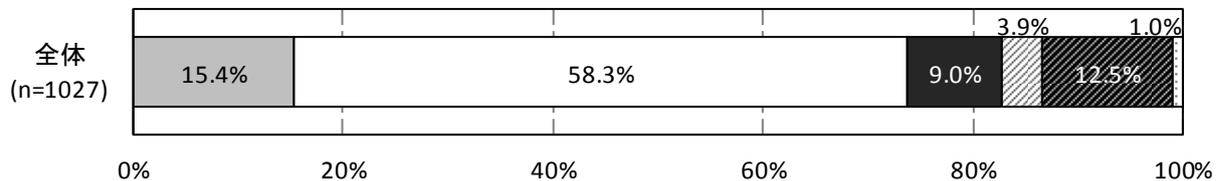
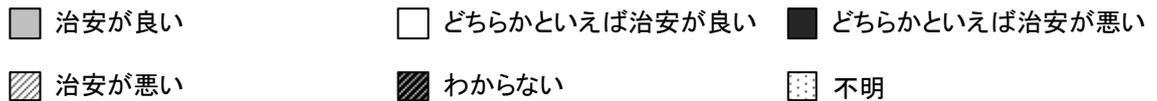
問 31 あなたは、和歌山市の治安状況についてどう感じていますか？あてはまるものを1つお選びください。

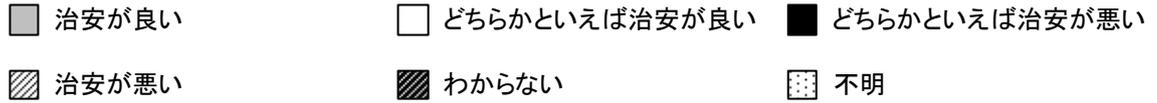
1. 治安が良い
2. どちらかといえば治安が良い
3. どちらかといえば治安が悪い
4. 治安が悪い
5. わからない

和歌山市の治安状況について、「治安が良い」(15.4%)と「どちらかといえば治安が良い」(58.3%)をあわせた73.7%は治安が良いと感じており、「どちらかといえば治安が悪い」(9.0%)と「治安が悪い」(3.9%)をあわせた12.9%は治安が悪いと感じている。

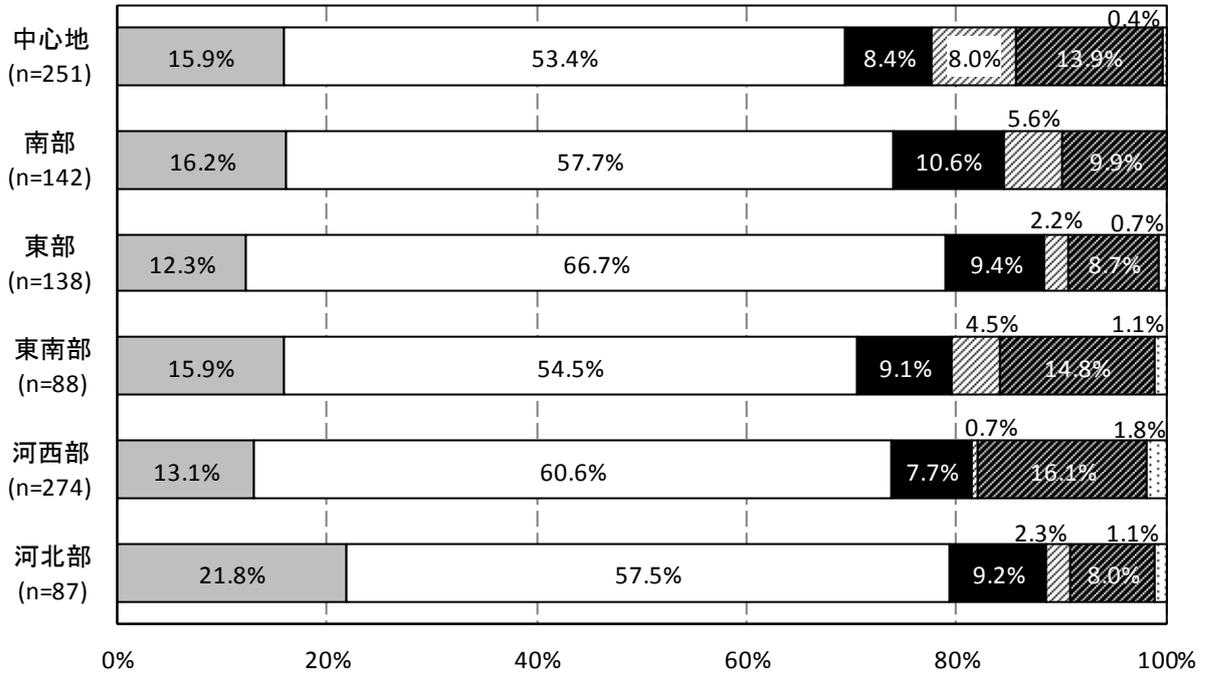
地域別にみると、治安が良いと感じている比率は河北部(79.3%)で最も高く、治安が悪いと感じている比率は中心部(16.4%)で最も高くなっている。

年代別にみると、治安が良いと感じている比率は50~59歳(79.2%)が最も高く、治安が悪いと感じている比率は30~39歳(24.7%)が最も高くなっている。

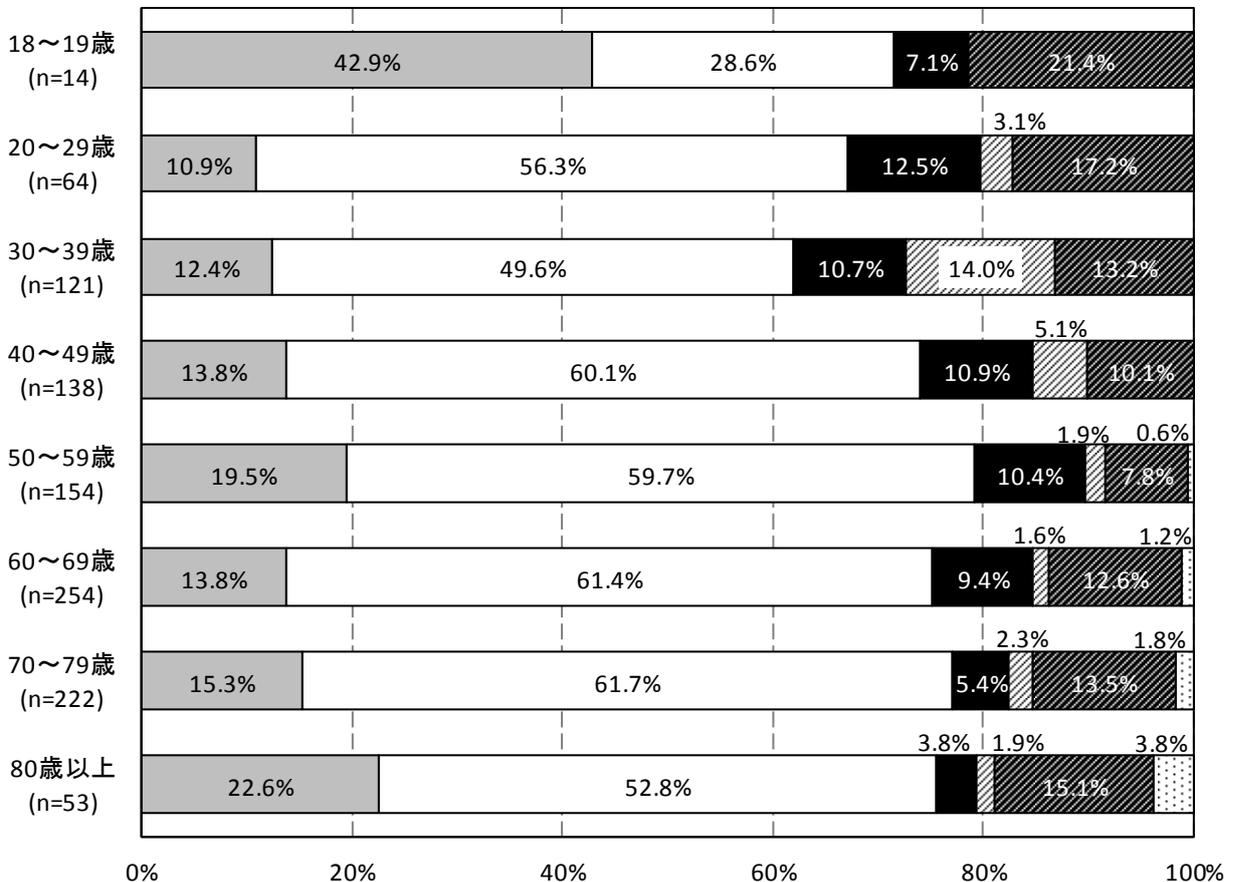




<地域別>



<年代別>



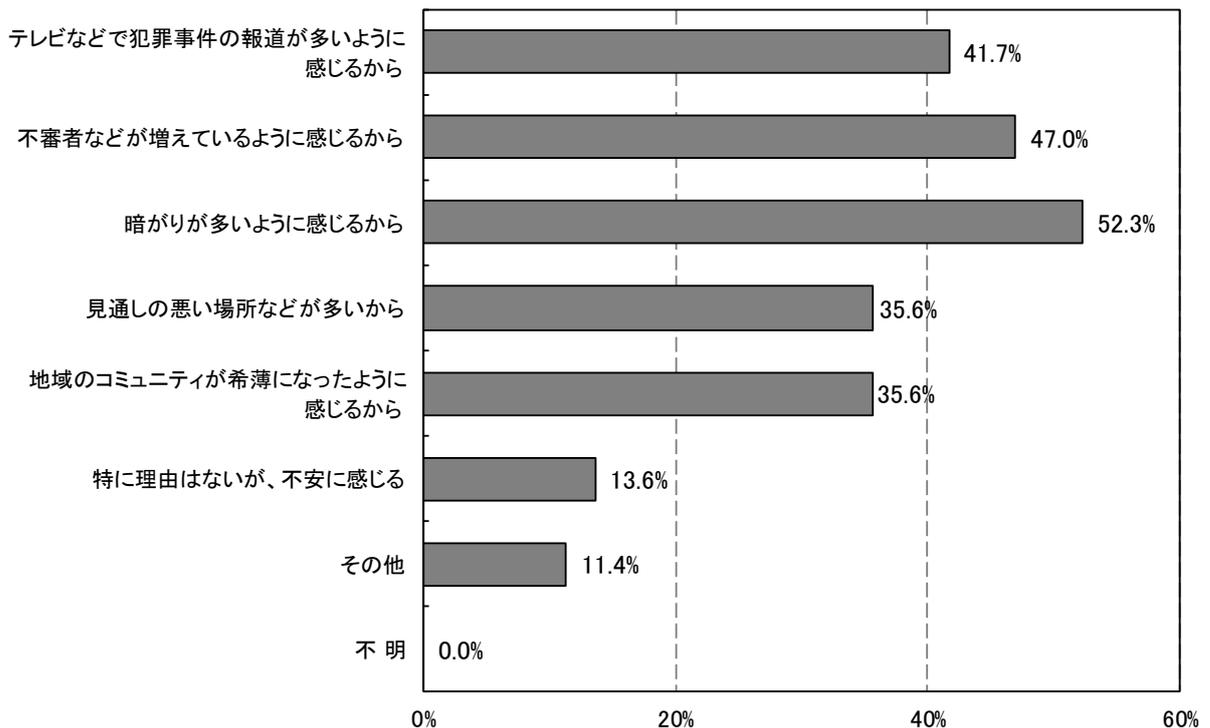
問 31-1 治安が悪いと感じる理由

問 31-1 問 31 で「3. どちらかといえば治安が悪い」「4. 治安が悪い」と回答された方のみお答えください。あなたが、治安が悪いと感じる理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. テレビなどで犯罪事件の報道が多いように感じるから
2. 不審者などが増えているように感じるから
3. 暗がりが多いように感じるから
4. 見通しの悪い場所などが多いから
5. 地域のコミュニティが希薄になったように感じるから
6. 特に理由はないが、不安を感じる
7. その他 ()

問 31 で「3. どちらかといえば治安が悪い」「4. 治安が悪い」と回答した 132 人について、治安が悪いと感じる理由は、「暗がりが多いように感じるから」が 52.3%と最も多く、次いで「不審者などが増えているように感じるから」(47.0%)、「テレビなどで犯罪事件の報道が多いように感じるから」(41.7%)、「見通しの悪い場所などが多いから」「地域のコミュニティが希薄になったように感じるから」(35.6%) の順となっている。

n=132



その他：「身近なところで犯罪があったから」、「防犯意識が低い」、「発砲事件があったから」など

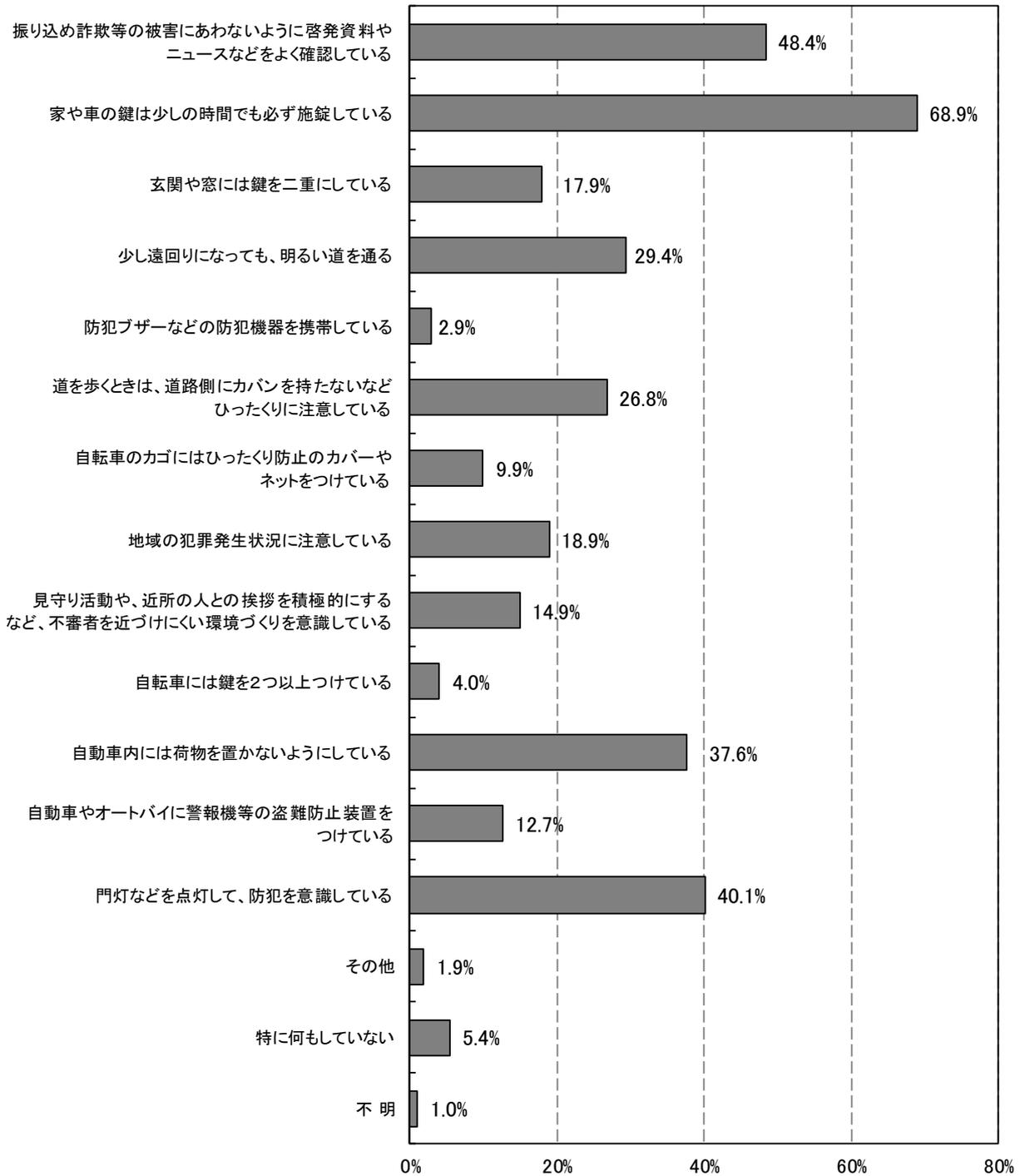
問 32 犯罪被害にあわないための心がけ

問 32 犯罪被害を防止するためには、日常生活において市民一人ひとりが防犯について意識することが大切です。あなたが犯罪の被害にあわないために、日常生活で心がけていることは何ですか。あてはまるものを全てお選びください。

1. 振り込め詐欺等の被害にあわないように啓発資料やニュースなどをよく確認している
2. 家や車の鍵は少しの時間でも必ず施錠している
3. 玄関や窓には鍵を二重にしている
4. 少し遠回りになっても、明るい道を通る
5. 防犯ブザーなどの防犯機器を携帯している
6. 道を歩くときは、道路側にカバンを持たないなどひたたくりに注意している
7. 自転車のカゴにはひたたくり防止のカバーやネットをつけている
8. 地域の犯罪発生状況に注意している
9. 見守り活動や、近所の人との挨拶を積極的にするなど、不審者を近づけにくい環境づくりを意識している
10. 自転車には鍵を2つ以上つけている
11. 自動車内には荷物を置かないようにしている
12. 自動車やオートバイに警報機等の盗難防止装置をつけている
13. 門灯などを点灯して、防犯を意識している
14. その他 ()
15. 特に何もしていない

犯罪被害にあわないための心がけは、「家や車の鍵は少しの時間でも必ず施錠している」が 68.9%と最も多く、次いで「振り込め詐欺等の被害にあわないように啓発資料やニュースなどをよく確認している」(48.4%)、「門灯などを点灯して、防犯を意識している」(40.1%)「自動車内には荷物を置かないようにしている」(37.6%)の順となっている。

n=1027



その他：「自宅のセキュリティーの強化」、「防犯カメラの設置」、「知らない電話には出ない」など

8. スポーツについて

問 33 週一回以上の運動やスポーツ

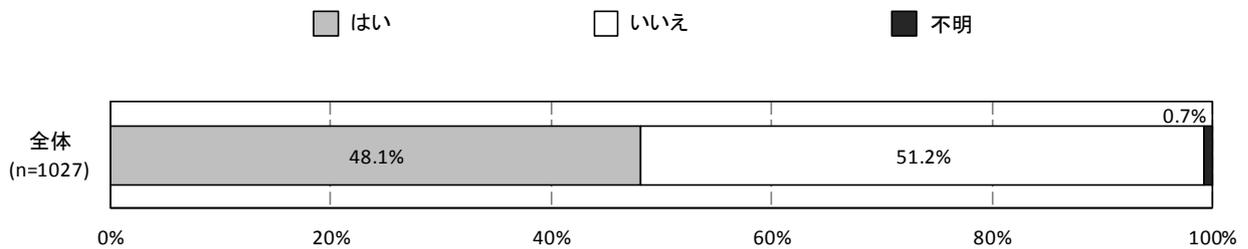
問 33 あなたは、週一回以上運動（ウォーキングや軽い体操などを含む）やスポーツをしていますか？

1. はい

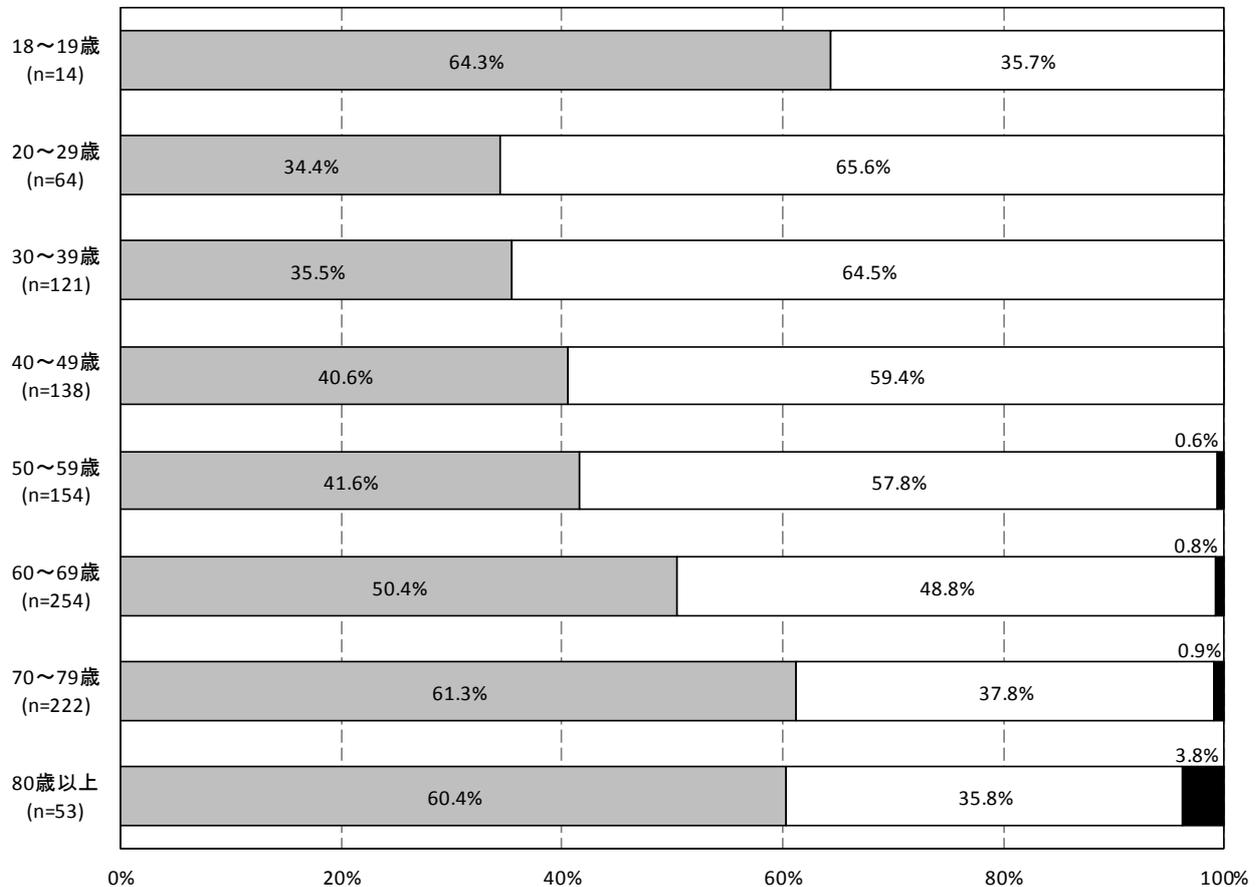
2. いいえ

週一回以上の運動やスポーツをしているかどうかについて、「はい」は48.1%、「いいえ」は51.2%となっている。

年代別にみると、「はい」が18～19歳で64.3%と最も高く、20～29歳で34.4%と最も低くなっている。



<年代別>



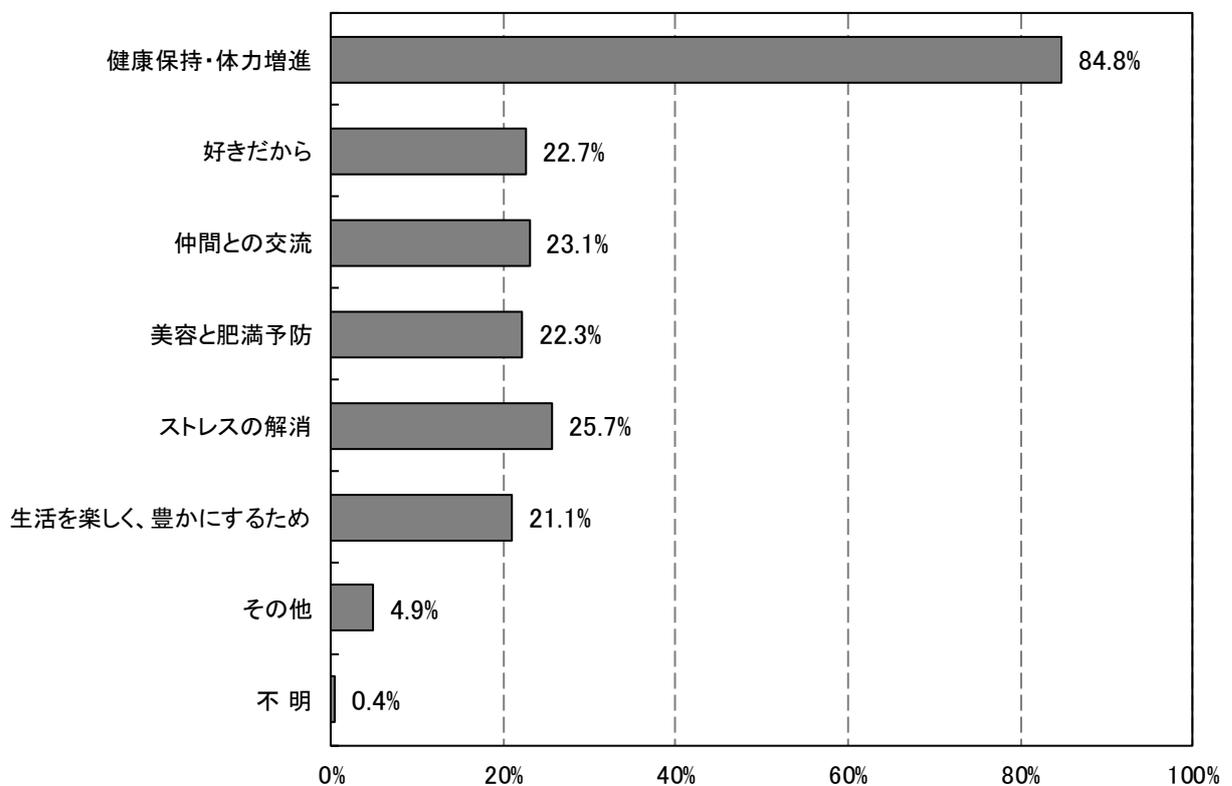
問 33-1 運動やスポーツをしている理由

問 33-1 問 33 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。運動やスポーツを行っている理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 健康保持・体力増進
2. 好きだから
3. 仲間との交流
4. 美容と肥満予防
5. ストレスの解消
6. 生活を楽しく、豊かにするため
7. その他 ()

問 33 で「1. はい」と回答した 494 人について、運動やスポーツを行っている理由は、「健康保持・体力増進」が 84.8%で最も多く、次いで「ストレスの解消」(25.7%)となっている。

n=494



その他：「犬の散歩」、「病気のため」、「仕事」など

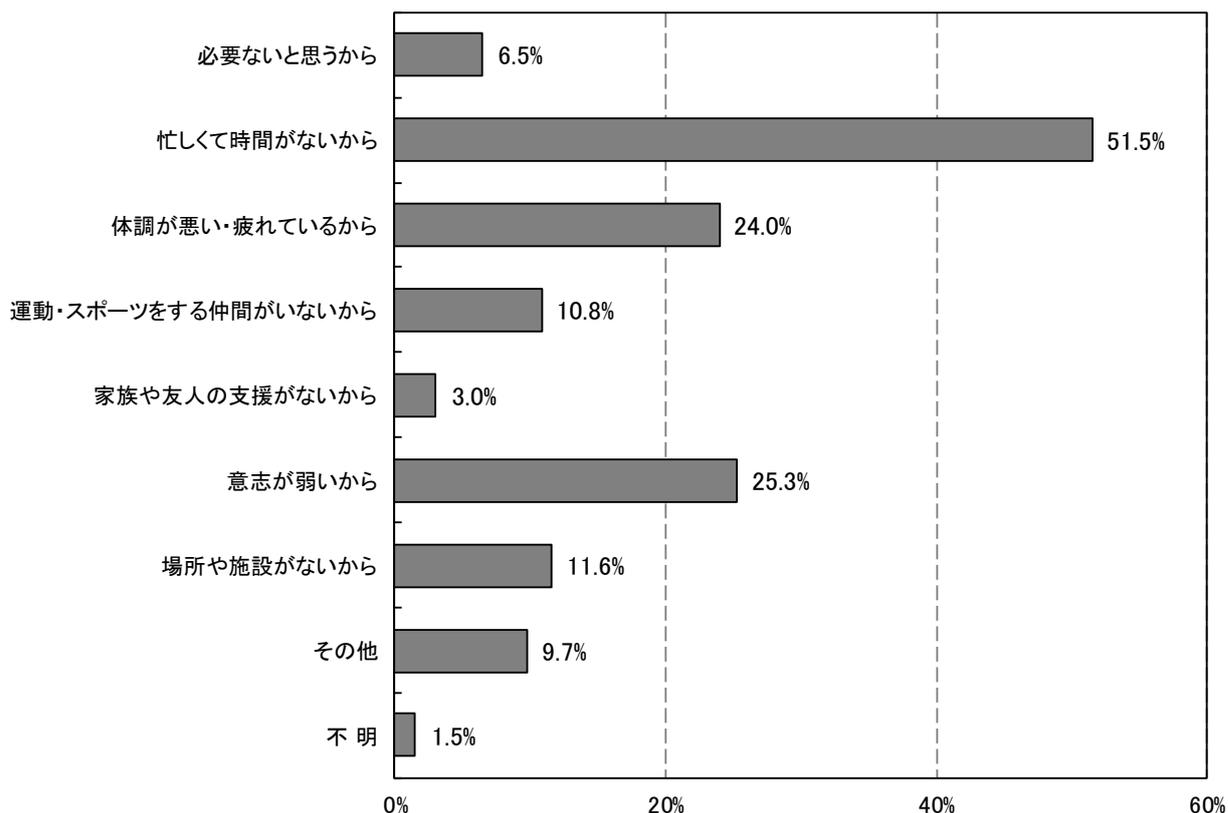
問 33-2 運動やスポーツをしていない理由

問 33-2 問 33 で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。運動やスポーツを行っていない理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 必要ないと思うから
2. 忙しくて時間がないから
3. 体調が悪い・疲れているから
4. 運動・スポーツをする仲間がないから
5. 家族や友人の支援がないから
6. 意志が弱いから
7. 場所や施設がないから
8. その他 ()

問 33 で「2. いいえ」と回答した 526 人について、運動やスポーツを行っていない理由は、「忙しくて時間がないから」が 51.5%と最も多く、次いで「意志が弱いから」(25.3%)、「体調が悪い・疲れているから」(24.0%) の順となっている。

n=526



その他：「他のことで体を動かしている」、「体が不自由なため」、「面倒だから、やる気がしない」など

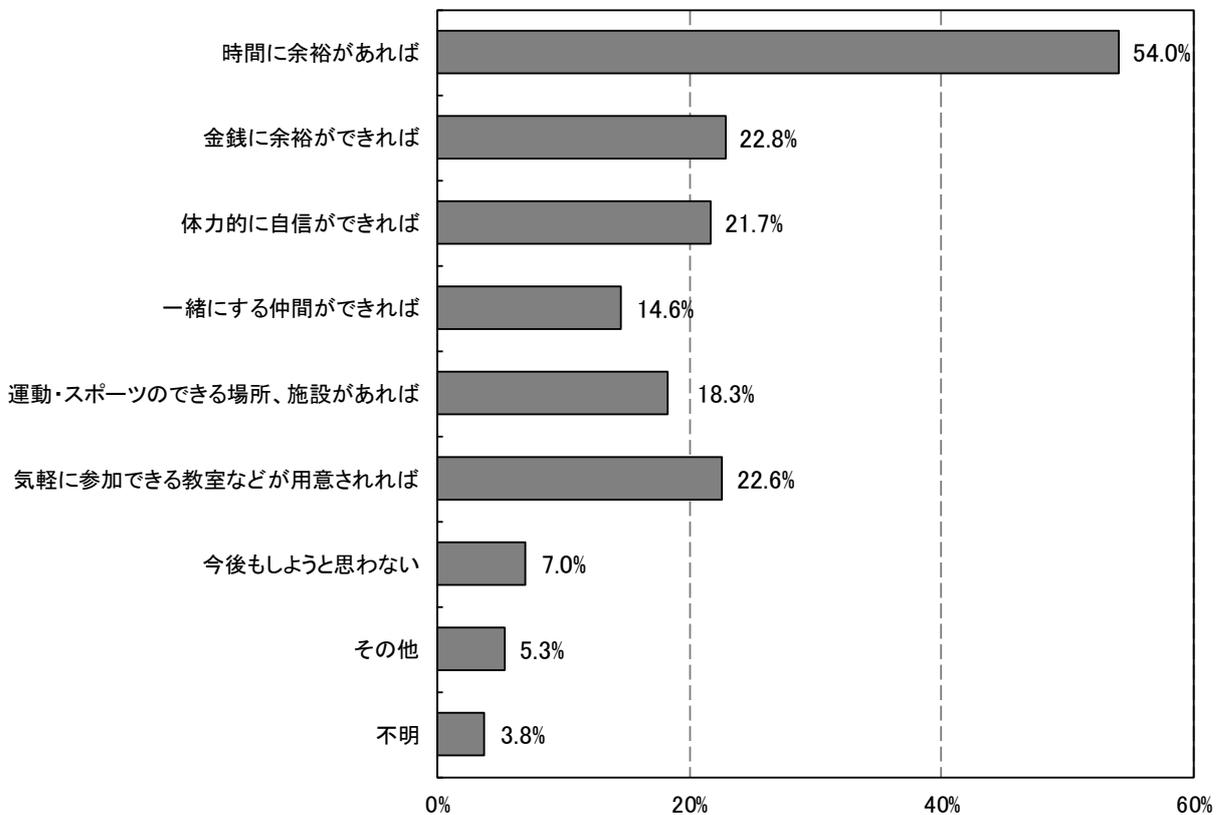
問 33-3 運動やスポーツをするために必要な条件

問 33-3 問 33 で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。今後どのような状況になれば、運動やスポーツをしようと思えますか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 時間に余裕があれば | 5. 運動・スポーツのできる場所、施設があれば |
| 2. 金銭に余裕ができれば | 6. 気軽に参加できる教室などが用意されれば |
| 3. 体力的に自信ができれば | 7. 今後もしようと思わない |
| 4. 一緒にする仲間ができれば | 8. その他 () |

問 33 で「2. いいえ」と回答した 526 人について、今後運動やスポーツをするために必要な条件は、「時間に余裕があれば」が 54.0%と最も多く、次いで「金銭に余裕ができれば」(22.8%)、「気軽に参加できる教室などが用意されれば」(22.6%)、「体力的に自信ができれば」(21.7%)の順となっている。

n=526



その他：「気が向けば」、「体調がよくなれば」、「運動が必要な病気になったとき」など

9. フルマラソンについて

問 34 フルマラソンの実施について

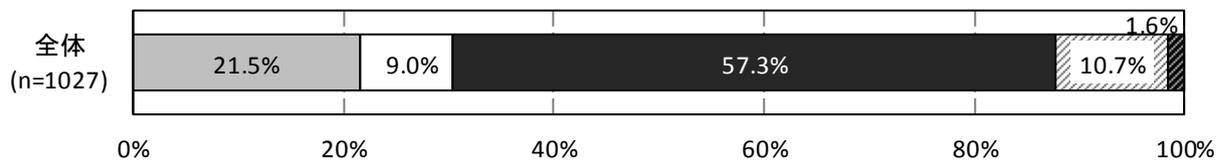
問 34 あなたは、和歌山市でのフルマラソンの実施について、どのように考えますか？あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 実施してほしい | 3. どちらでもよい |
| 2. 実施しなくてよい | 4. わからない |

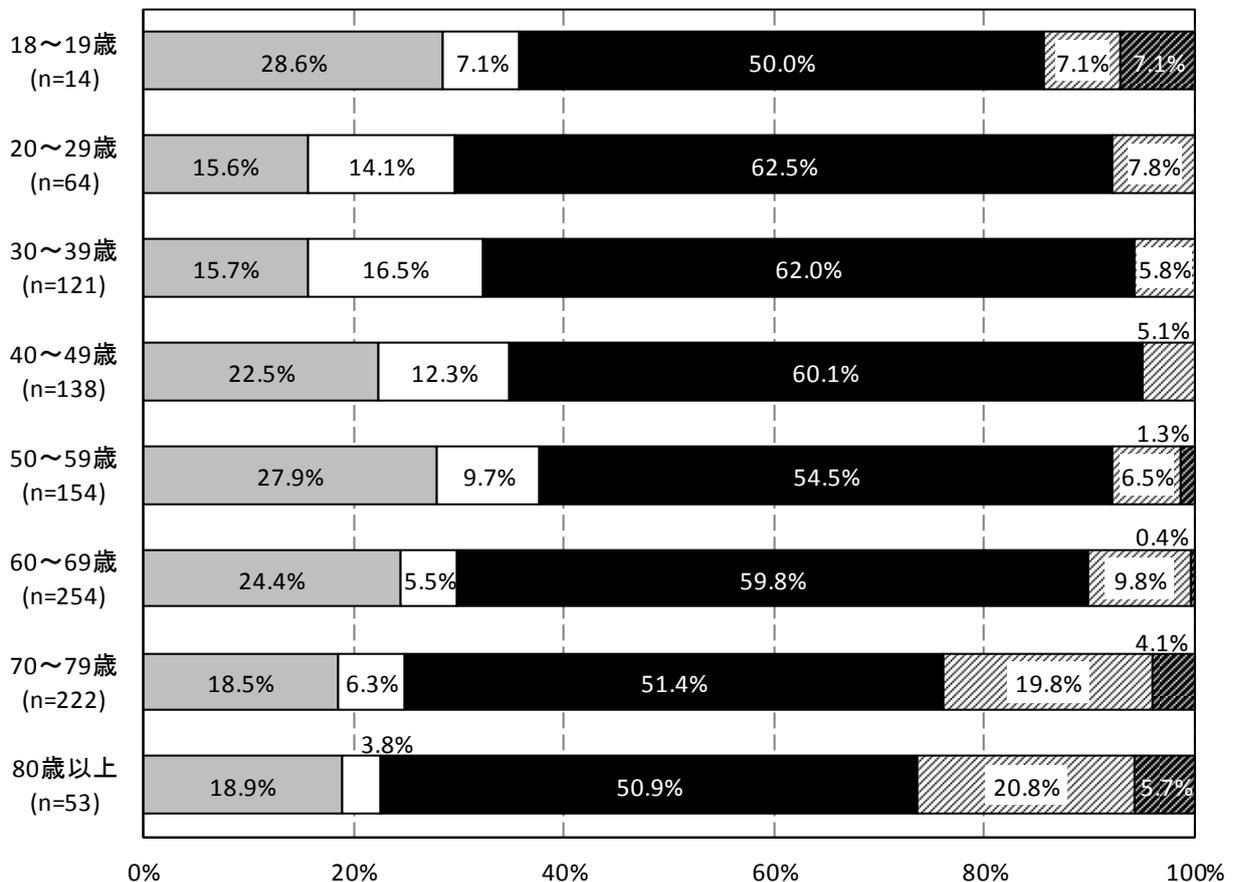
フルマラソンの実施について、「どちらでもよい」は57.3%と最も多く、「実施してほしい」は21.5%、「実施しなくてよい」は9.0%となっている。

年代別にみると、いずれの年代も「どちらでもよい」が半数以上となっている。

■ 実施してほしい □ 実施しなくてよい ■ どちらでもよい ▨ わからない ■ 不明



<年代別>



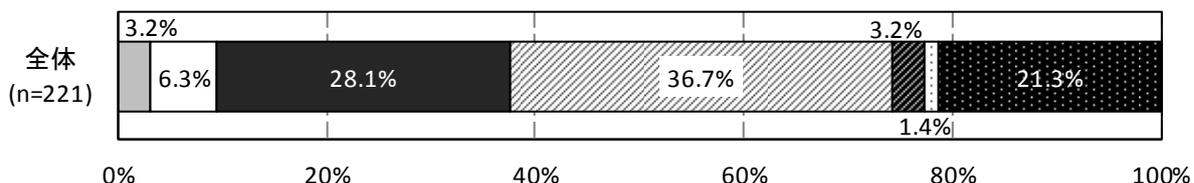
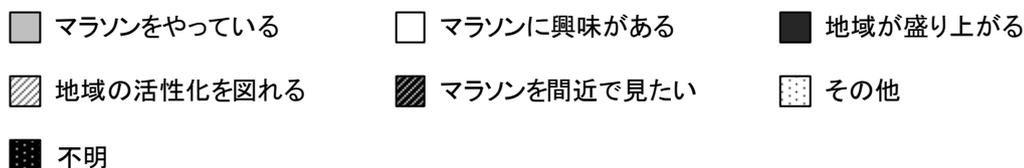
問 34-1 実施してほしい理由

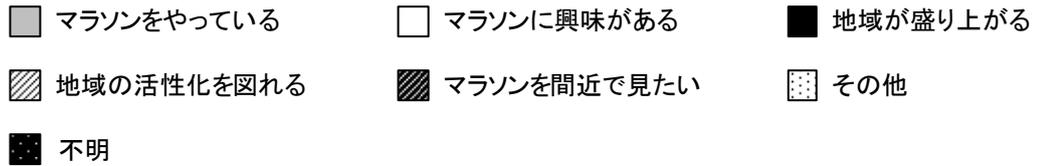
問 34-1 問 3 4 で「1. 実施してほしい」と回答された方のみお答えください。実施してほしい理由について、あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. マラソンをやっている | 4. 地域の活性化を図れる |
| 2. マラソンに興味がある | 5. マラソンを間近で見たい |
| 3. 地域が盛り上がる | 6. その他 () |

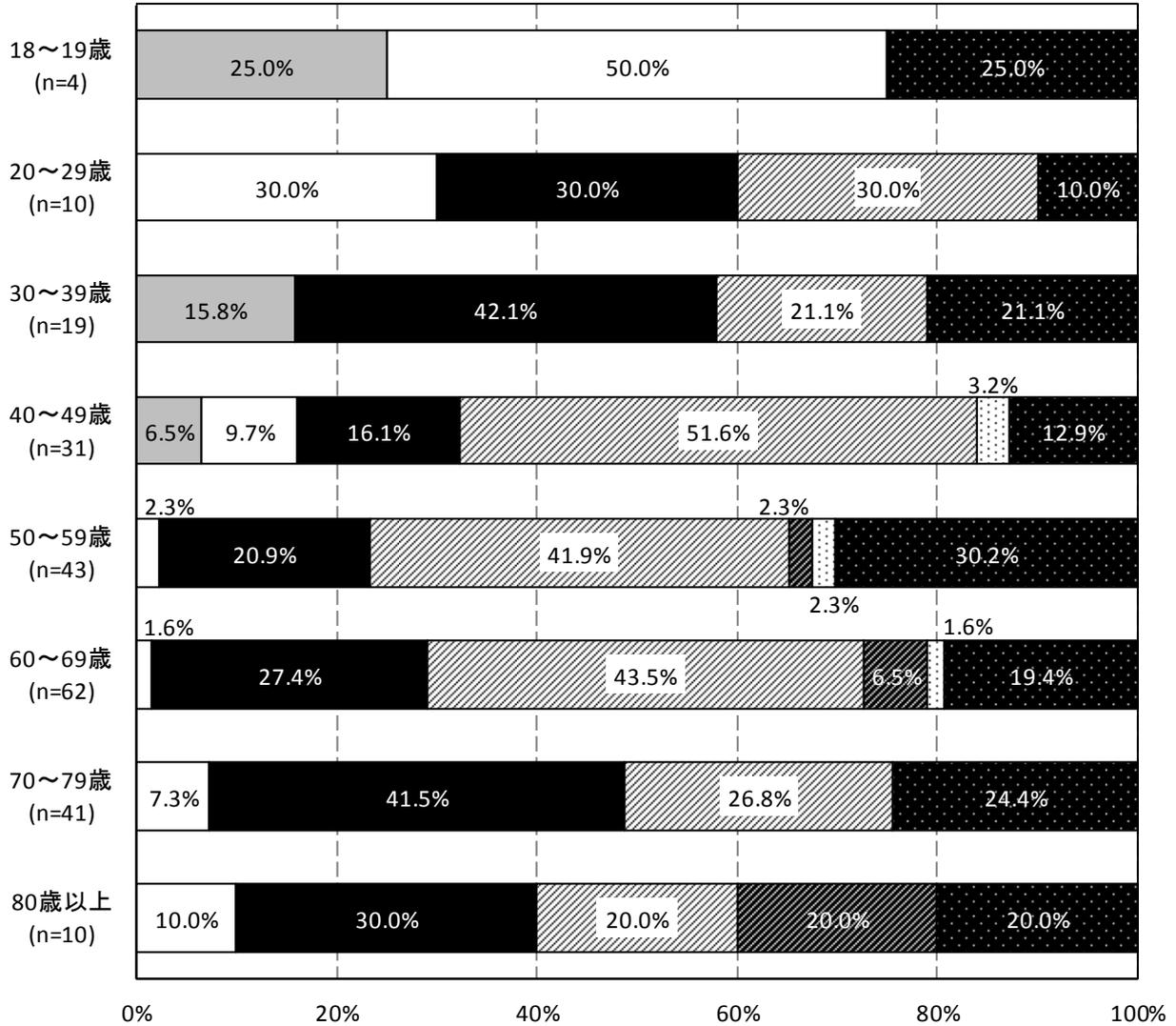
問 34 で「1. 実施してほしい」と回答した 221 人について、実施してほしい理由は、「地域の活性化を図れる」が 36.7%と最も多く、次いで「地域が盛り上がる」(28.1%)、「マラソンに興味がある」(6.3%)の順となっている。

年代別にみると、18～19 歳で「マラソンに興味がある」、30～39 歳、70 歳以上で「地域が盛り上がる」、40～69 歳で「地域の活性化を図れる」が最も高くなっている。80 歳以上では「マラソンを間近で見たい」が他の年代と比べて高めとなっている。





<年代別>



その他：「身近にマラソンをしている人がいるから」、「自分ができないことを頑張っているところを見たい」、「マラソンを見るのが好きだから」

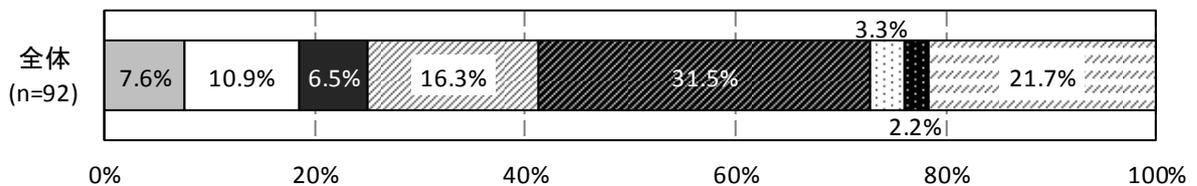
問 34-2 実施してほしくない理由

問 34-2 問 34 で「2. 実施しなくてよい」と回答された方のみお答えください。実施しなくてよい理由について、あてはまるものを1つお選びください。

1. マラソンに興味がない
2. 交通規制時間が長いから
3. 渋滞が起こるから
4. 現在の和歌浦ベイマラソンで十分だから
5. 他の政策にお金を使うべき
6. 他の市町村でもフルマラソンをやっているから
7. その他 ()

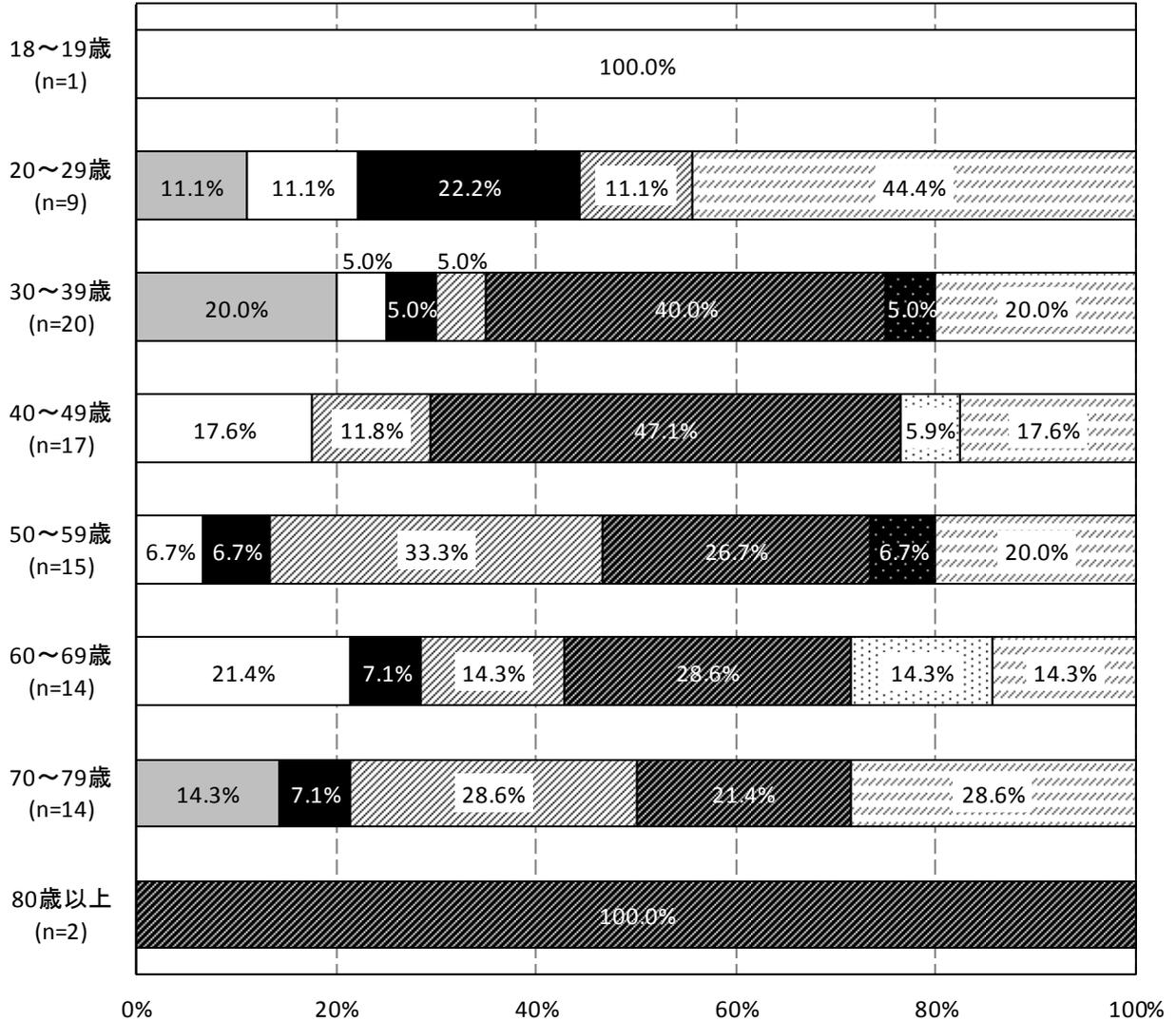
問 34 で「2. 実施しなくてよい」と回答した 92 人について、実施しなくてよい理由は、「他の政策にお金を使うべき」(31.5%) が最も多く、次いで「現在の和歌浦ベイマラソンで十分だから」(16.3%)、「交通規制時間が長いから」(10.9%) の順となっている。

年代別にみると、30～49 歳、80 歳以上で「他の政策にお金を使うべき」、50～59 歳、70～79 歳では「現在の和歌浦ベイマラソンで十分だから」が最も高くなっている。



- マラソンに興味がない
- 交通規制時間が長いから
- 渋滞が起こるから
- 現在の和歌浦ベイマラソンで十分だから
- 他の政策にお金を使うべき
- 他の市町村でもフルマラソンをやっているから
- その他
- 不明

<年代別>



その他：「魅力のあるコースがないから」、「一般道を使わず施設や運動場等であればよい」

11. 健康について

問37 健康づくりへの意識的な取り組み

問37 あなたは、意識的に健康づくりに取り組んでいますか？

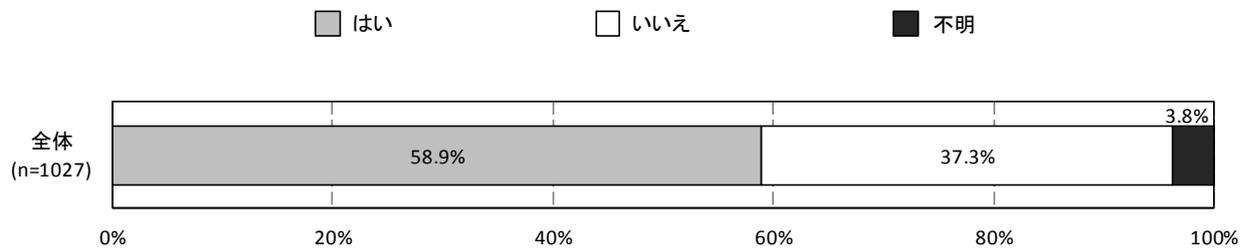
1. はい

2. いいえ

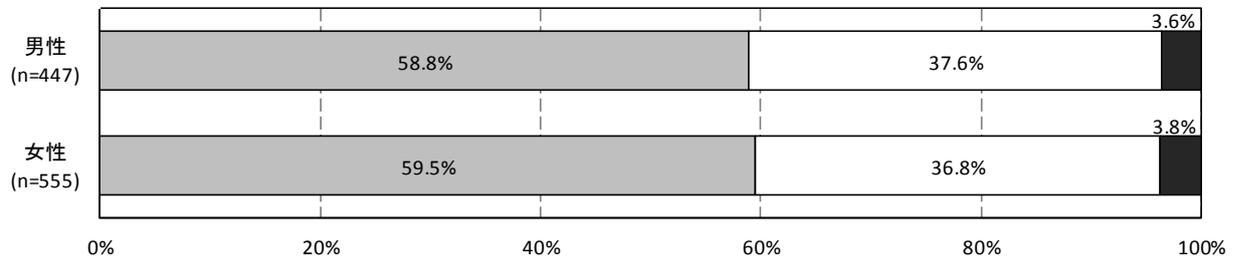
意識的に健康づくりに取り組んでいるかどうかについて、「はい」が58.9%、「いいえ」が37.3%となっている。

男女別にみると、男女で大きな違いはみられない。

年代別にみると、いずれの年代でも「はい」が40%を超えており、20～29歳で42.2%と最も低くなっている。

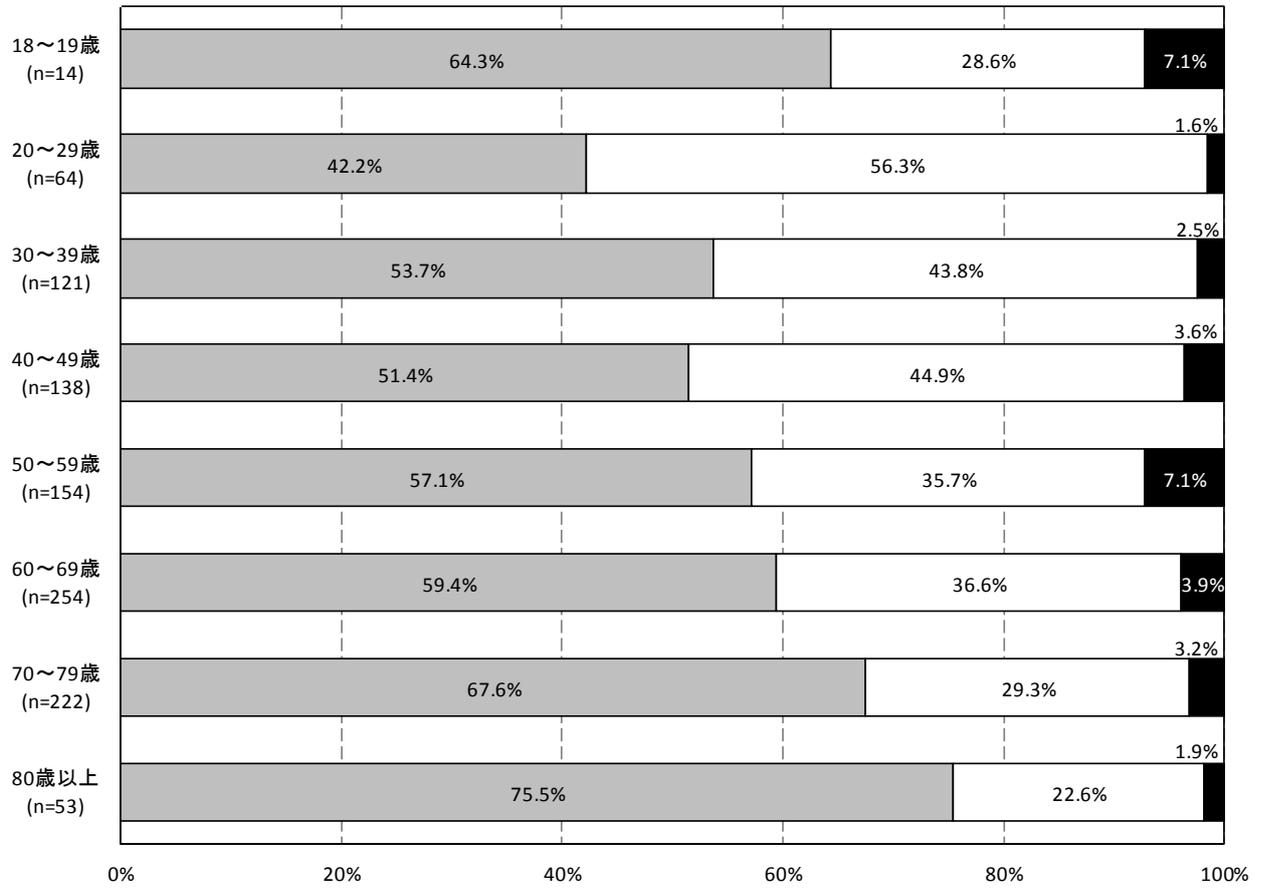


<男女別>



はい
 いいえ
 不明

<年代別>



問 38 喫煙状況

問 38 あなたは、タバコを吸っていますか？（20歳以上の方のみお答えください。）あてはまるものを1つお選びください。

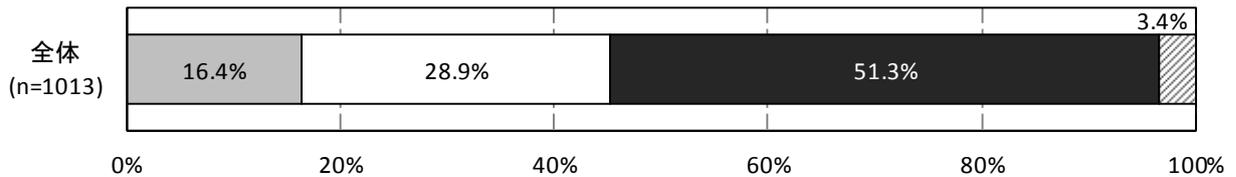
1. 現在吸っている
2. 吸ったことはあるが今は吸っていない
3. 吸ったことがない

喫煙状況は、「現在吸っている」が16.4%、「吸ったことはあるが今は吸っていない」が28.9%、「吸ったことがない」が51.3%となっている。

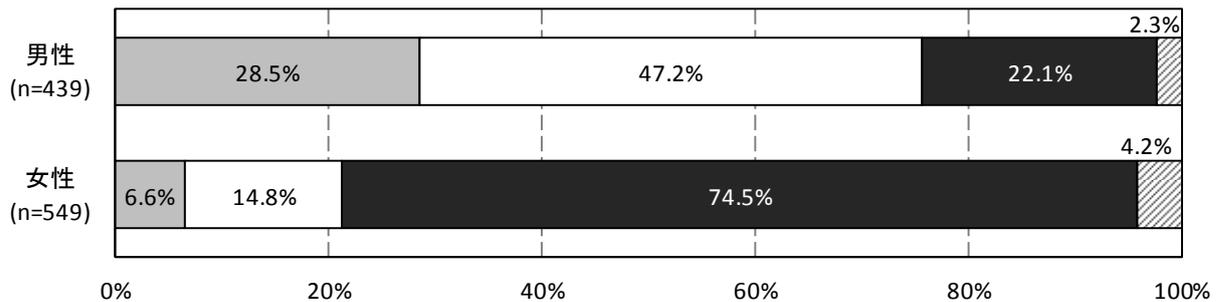
男女別にみると、「現在吸っている」は男性（28.5%）が女性（6.6%）を21.9ポイント上回っている。

年代別にみると、「現在吸っている」は30～39歳で29.8%と最も多く、次いで20～29歳（23.4%）、40～49歳（22.5%）の順となっている。

■ 現在吸っている □ 吸ったことはあるが今は吸っていない ■ 吸ったことがない ▨ 不明

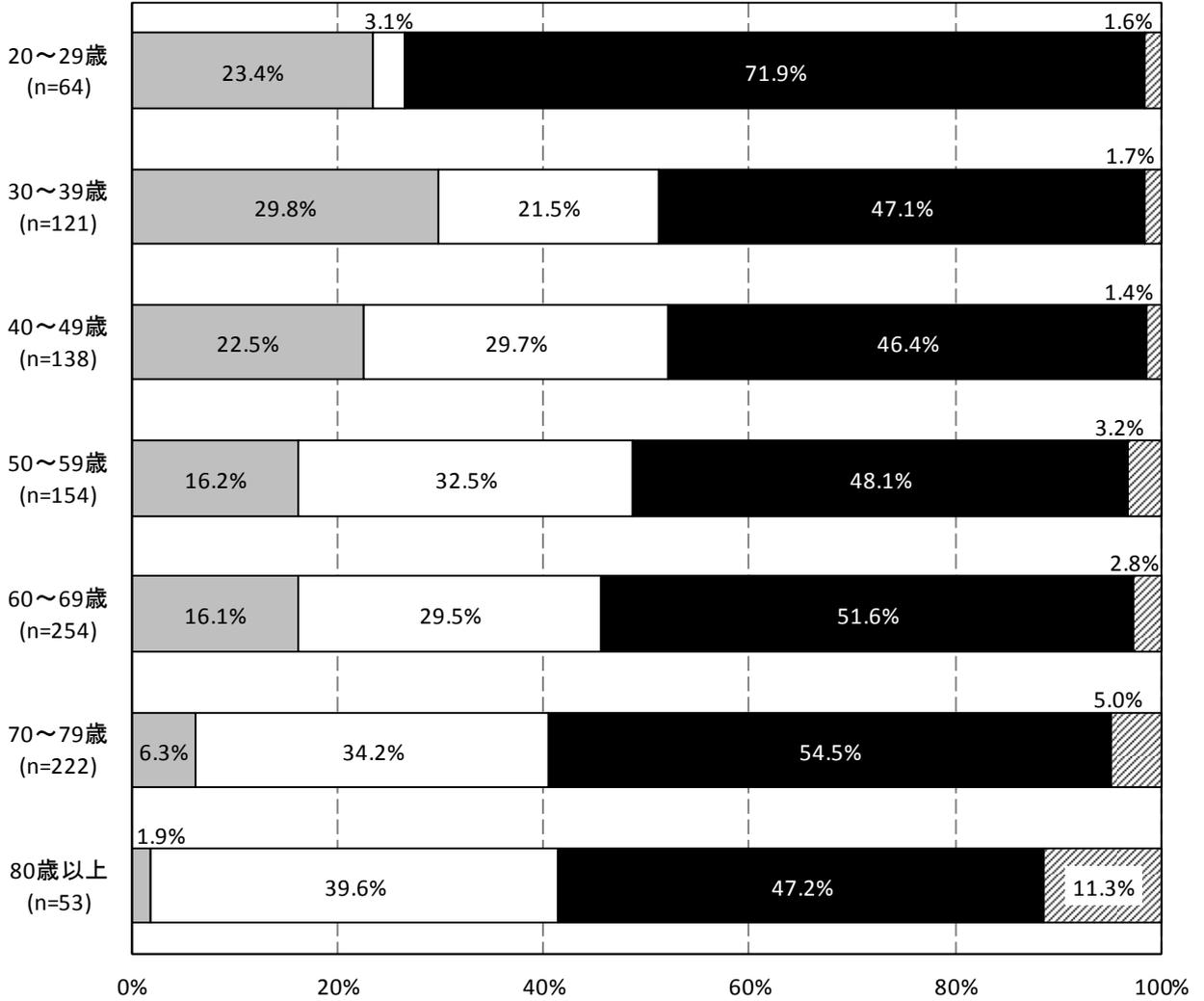


<男女別>



現在吸っている
 吸ったことはあるが今は吸っていない
 吸ったことがない
 不明

<年代別>



問 39 がん検診の受診状況

問 39 あなたは、定期的に、がん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん等のいずれか）を受けていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 定期的に受けている
2. 定期的には受けていない
3. 一度も受けたことがない

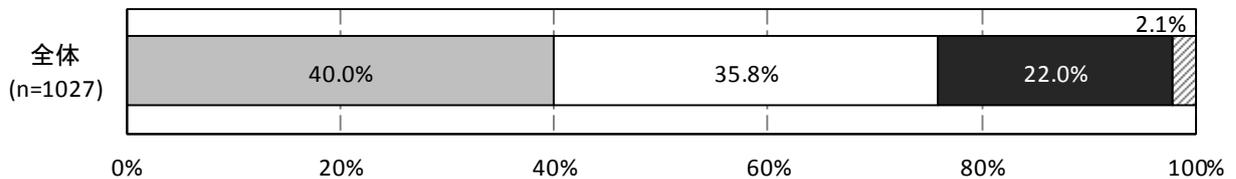
※定期的な検診とは、「肺がん・大腸がん」は1年に1回、「胃がん・子宮頸がん・乳がん」は2年に1回の検診を受けることです。

がん検診の受診状況は、「定期的に受けている」が40.0%、「定期的には受けていない」が35.8%、「一度も受けたことがない」が22.0%となっている。

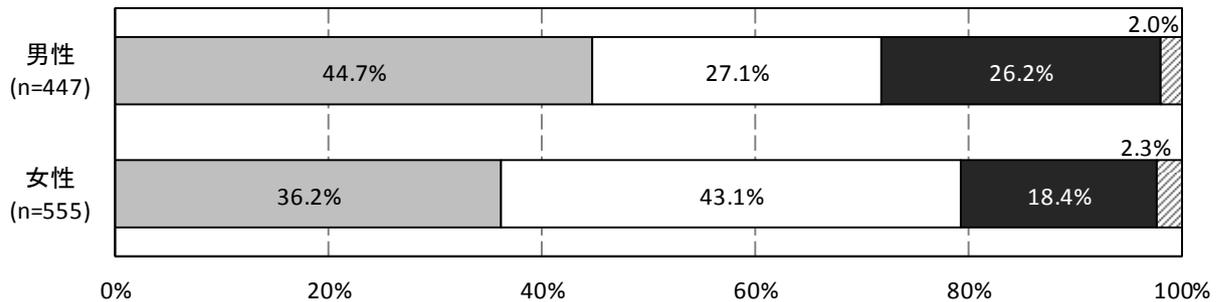
男女別にみると、「一度も受けたことがない」が女性（18.4%）より男性（26.2%）が7.8ポイント上回っている。

年代別にみると、「定期的に受けている」が40歳以上で40%を超えており、最も高いのは60～69歳（45.3%）となっている。

定期的に受けている
 定期的には受けていない
 一度も受けたことがない
 不明

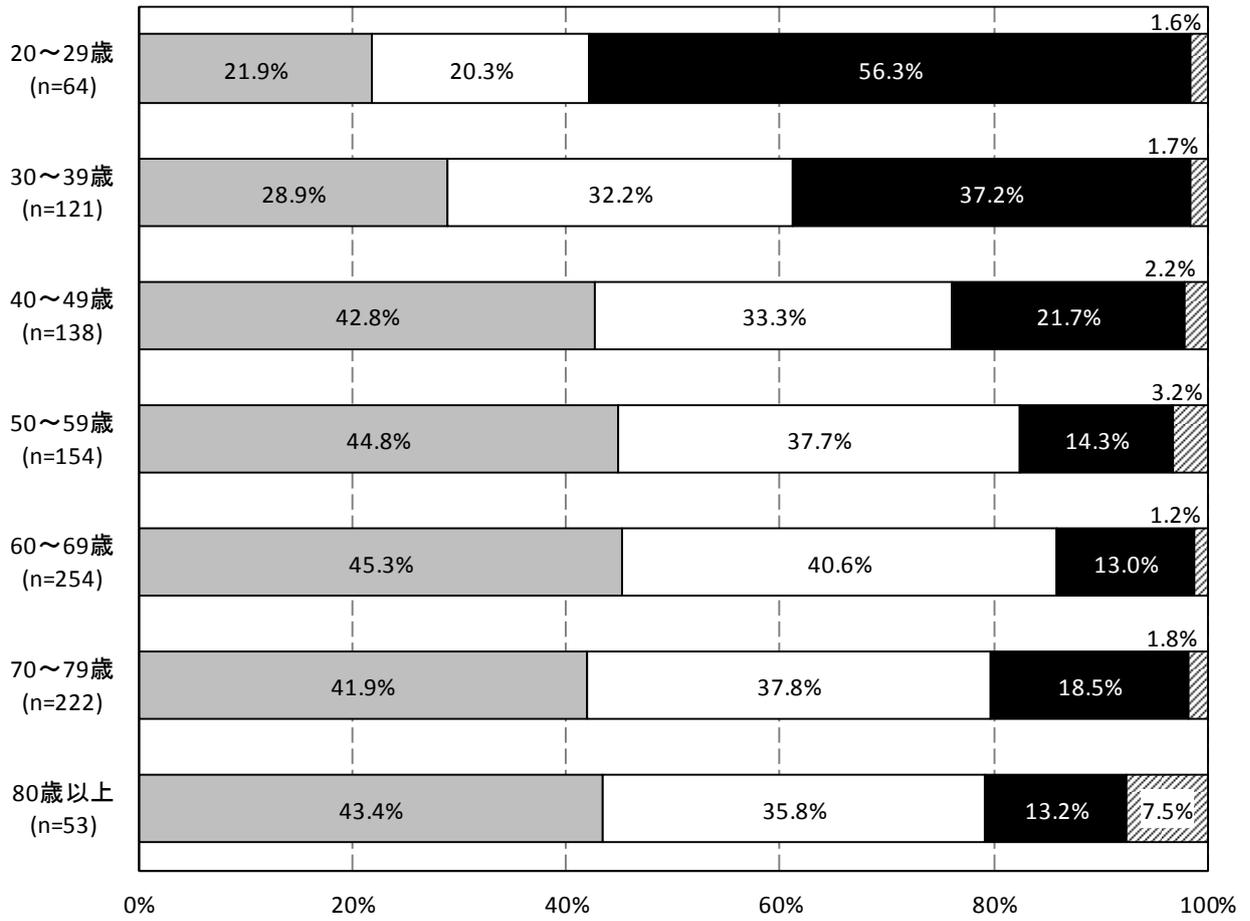


<男女別>



定期的に受けている
 定期的には受けていない
 一度も受けたことがない
 不明

<年代別>



問 40 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度

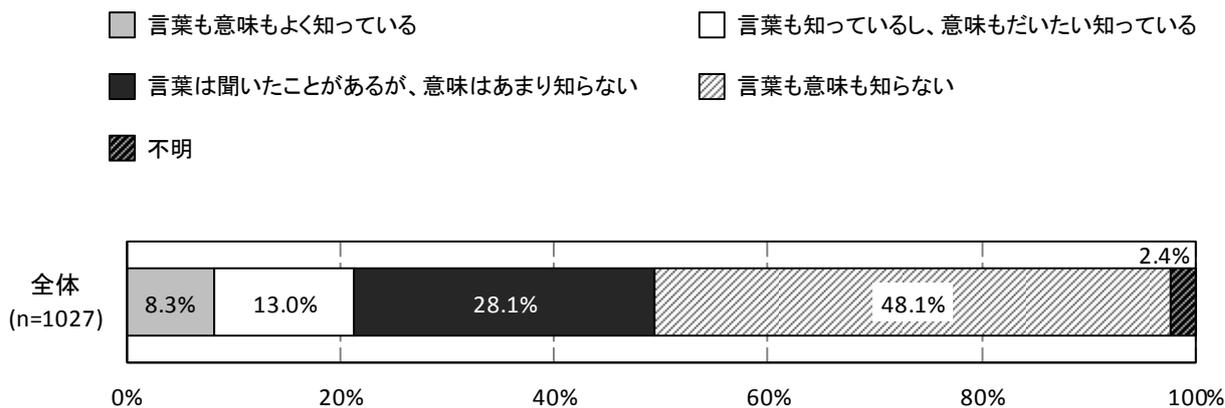
問 40 あなたは、「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」という言葉を知っていますか？あてはまるものを1つお選びください。

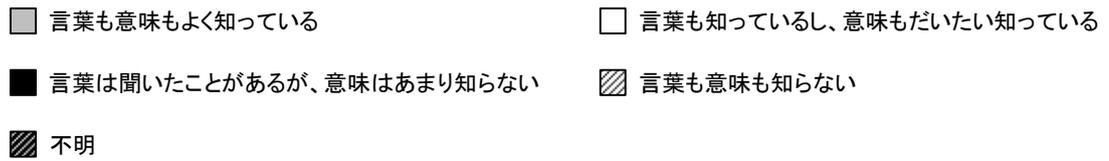
1. 言葉も意味もよく知っている
2. 言葉も知っているし、意味もだいたい知っている
3. 言葉は聞いたことがあるが、意味はあまり知らない
4. 言葉も意味も知らない

※COPD（慢性閉塞性肺疾患）とは、タバコ煙を主とする有害物質を長期に吸入曝露することで生じた肺の炎症性疾患であり、喫煙習慣を背景に中高年に発症する生活習慣病である。

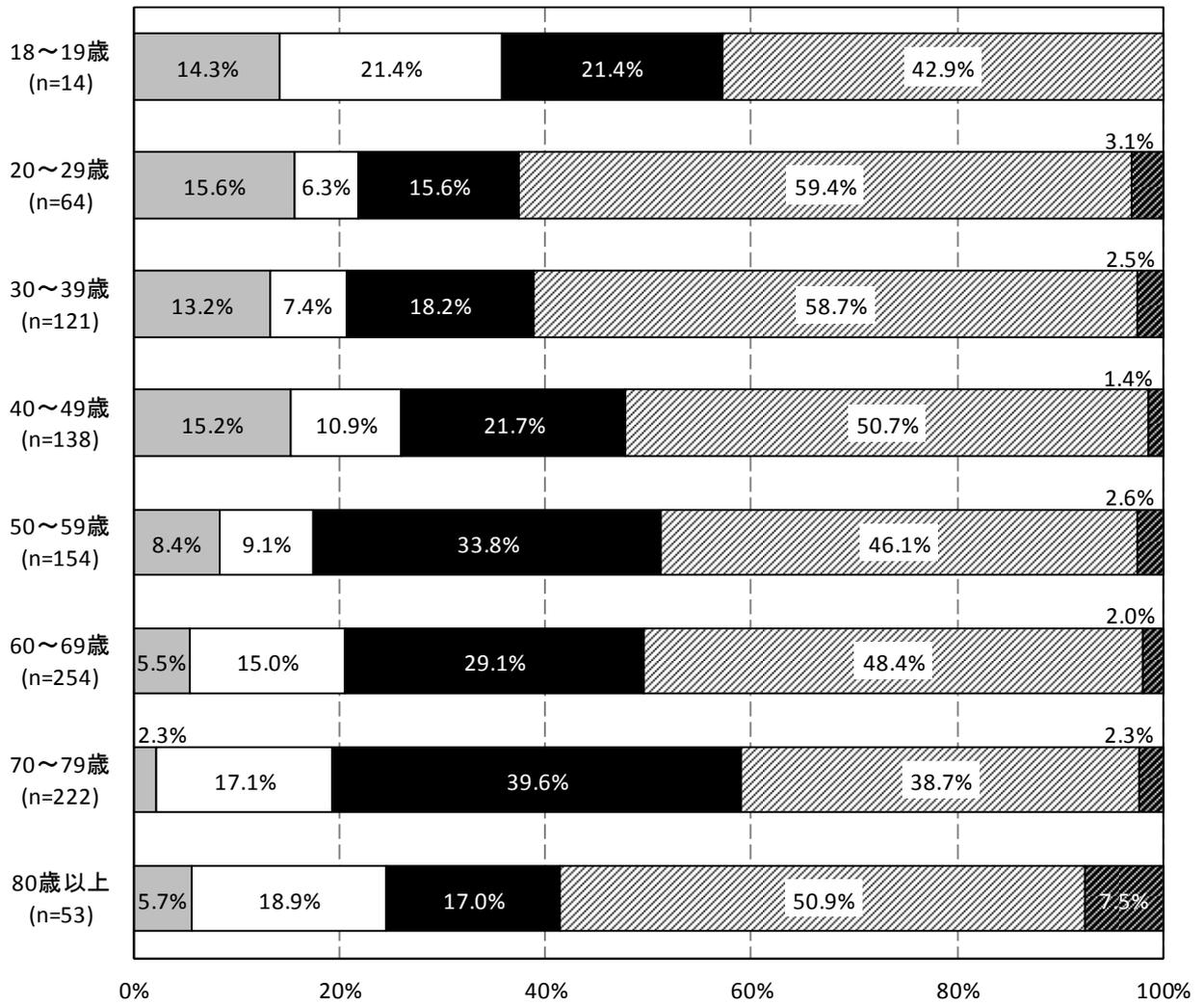
COPD（慢性閉塞性肺疾患）について、「言葉も意味もよく知っている」（8.3%）と「言葉も知っているし、意味もだいたい知っている」（13.0%）をあわせた21.3%が知っているとなっている。「言葉は聞いたことがあるが、意味はあまり知らない」は28.1%、「言葉も意味も知らない」は48.1%となっている。

年代別にみると、認知率が最も高いのは18～19歳で35.7%、最も低いのは50～59歳で17.5%となっている。





<年代別>



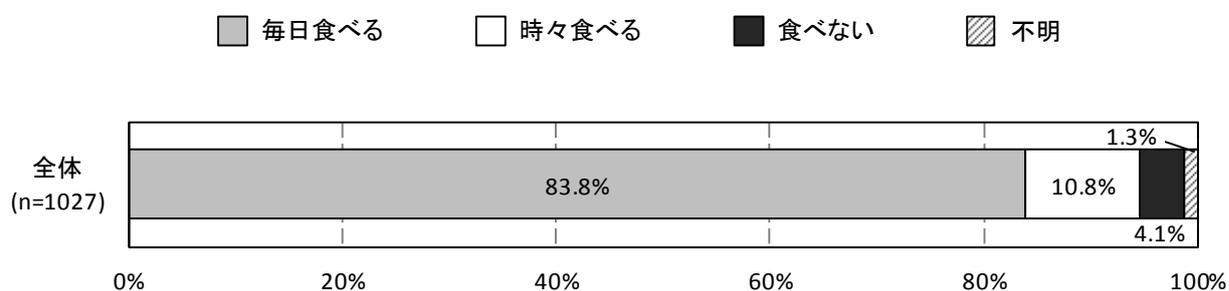
問 41 朝食の習慣

問 41 あなたは、ふだん朝食を食べていますか？あてはまるものを1つお選びください。

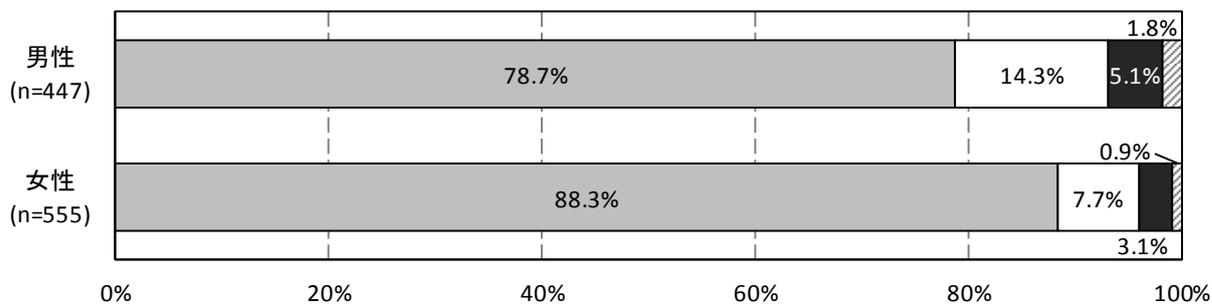
1. 毎日食べる
2. 時々食べる
3. 食べない

朝食について、「毎日食べる」が83.8%、「時々食べる」が10.8%、「食べない」が4.1%となっている。

男女別にみると、「毎日食べる」は男性（78.7%）が女性（88.3%）より9.6ポイント下回っている。年代別にみると、40歳以上で「毎日食べる」が70%を上回っている。

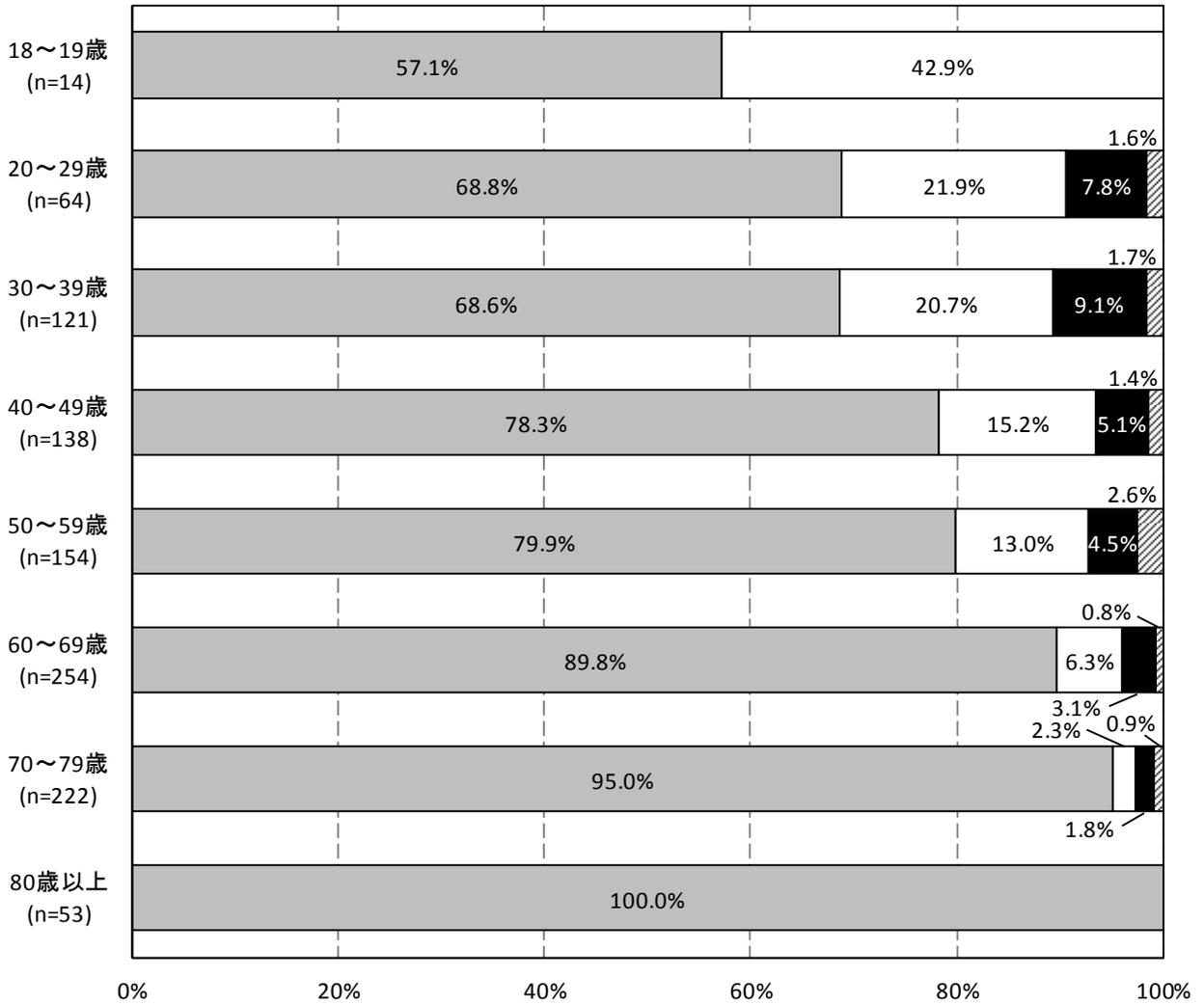


<男女別>



■ 毎日食べる □ 時々食べる ■ 食べない ▨ 不明

<年代別>



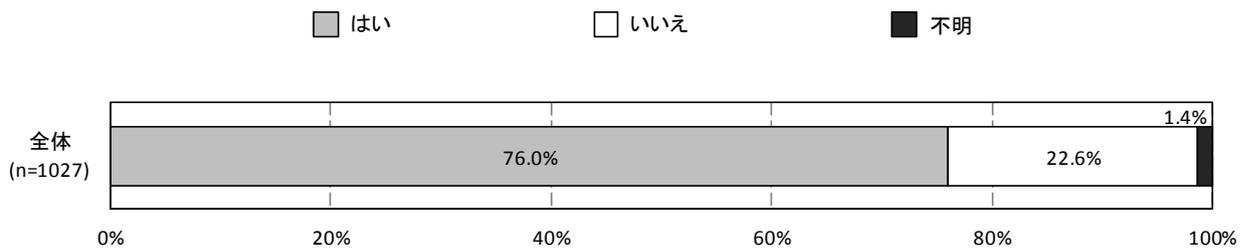
問 42 規則正しく食べる習慣

問 42 あなたは、ふだん食事を1日3回規則正しく食べていますか？

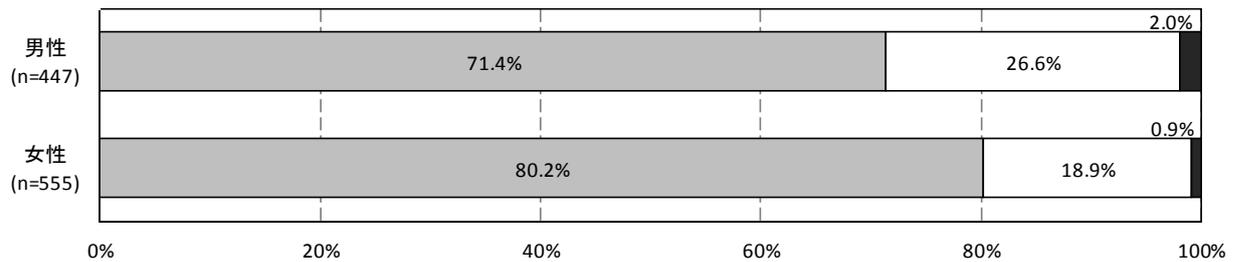
1. はい

2. いいえ

1日3回規則正しく食べる習慣について、「はい」は76.0%、「いいえ」は22.6%となっている。
 男女別にみると、「はい」は女性（80.2%）が男性（71.4%）より8.8ポイント上回っている。
 年代別にみると、いずれの年代も「はい」が50%を超えているが、18～19歳で50.0%と最も低くなっている。

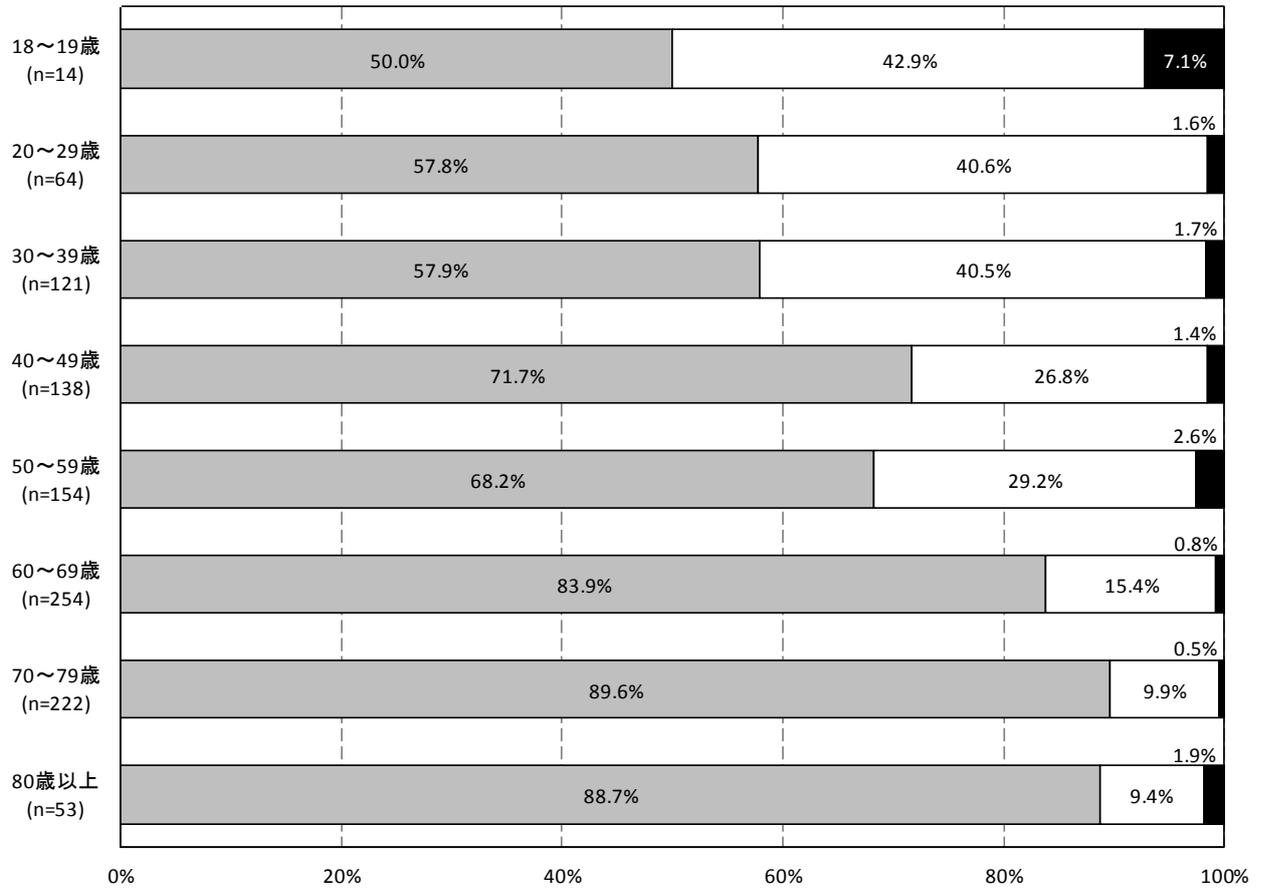


<男女別>



■ はい □ いいえ ■ 不明

<年代別>



問 43 一日の歩数

問 43 あなたは、1日平均してどの程度歩いていると思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

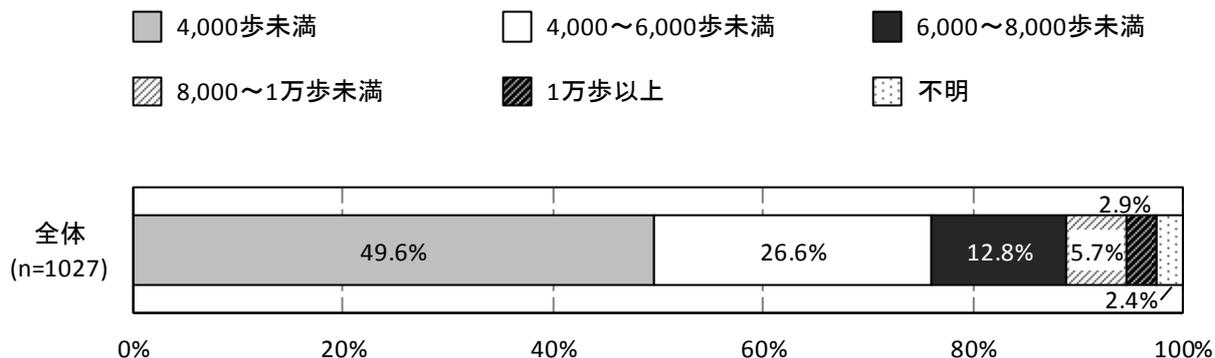
1. 4,000歩未満
2. 4,000～6,000歩未満
3. 6,000～8,000歩未満
4. 8,000～1万歩未満
5. 1万歩以上

※目安として、10分歩くと1,000歩程度、また外出しない方は3,000歩未満としてお考えください。

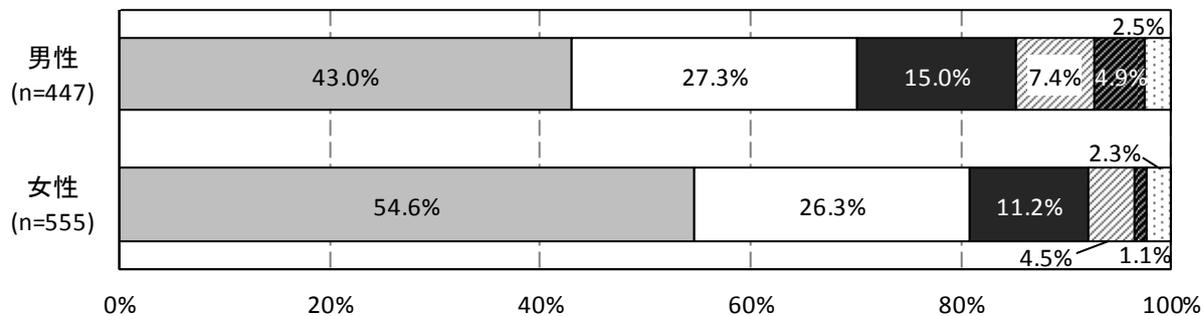
1日の平均歩数は、「4,000歩未満」が49.6%と最も多く、次いで「4,000～6,000歩未満」(26.6%)となっている。

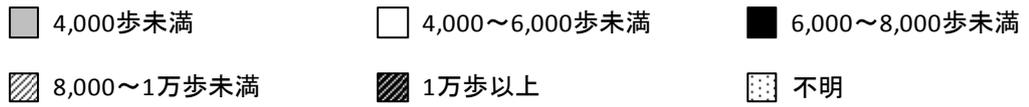
男女別にみると、「4,000歩未満」は女性(54.6%)が男性(43.0%)より11.6ポイント上回っている。

年代別にみても、18～19歳、30歳以上で「4,000歩未満」が最も多くなっている。

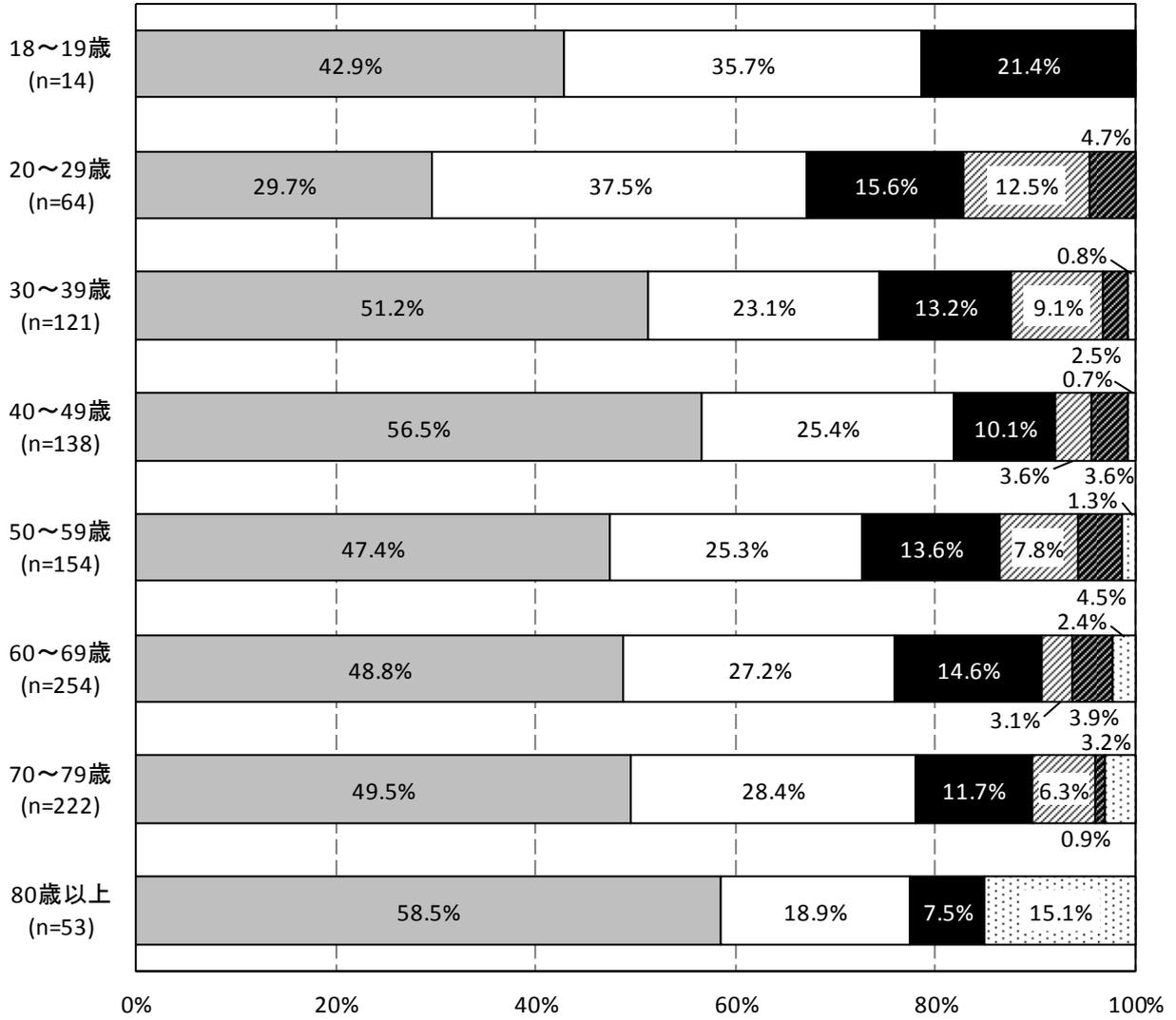


<男女別>





<年代別>



問 44 運動習慣について

問 44 あなたは、ふだんから運動習慣がありますか？あてはまるものを1つお選びください。

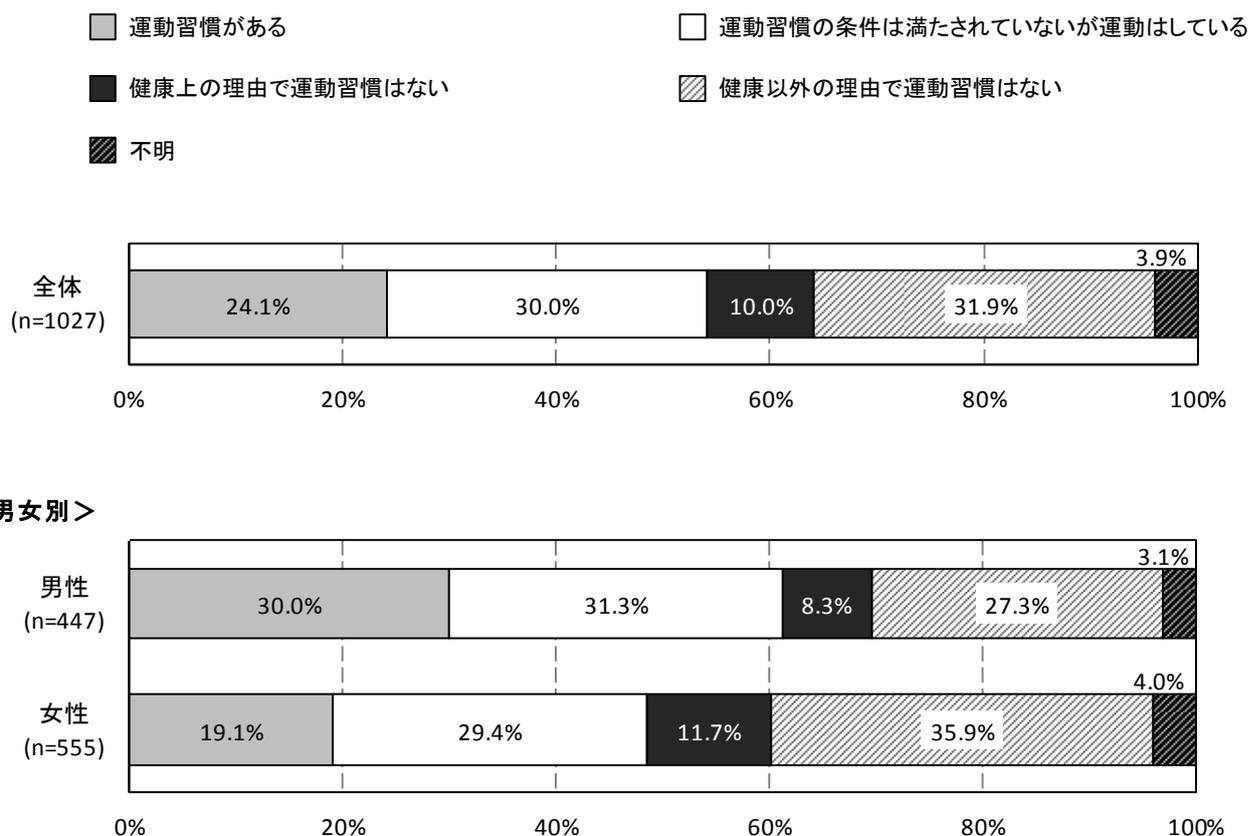
1. 運動習慣がある
2. 運動習慣の条件は満たされていないが運動はしている
3. 健康上の理由で運動習慣はない
4. 健康以外の理由で運動習慣はない

※「運動習慣」とは、およそ1日30分以上、週2回以上、1年以上の継続とします。

運動習慣について、「運動習慣がある」(24.1%)と「運動習慣の条件は満たされていないが運動はしている」(30.0%)をあわせた54.1%は運動をしているとなっている。「健康上の理由で運動習慣はない」(10.0%)と「健康以外の理由で運動習慣はない」(31.9%)をあわせた41.9%は運動をしていないとなっている。

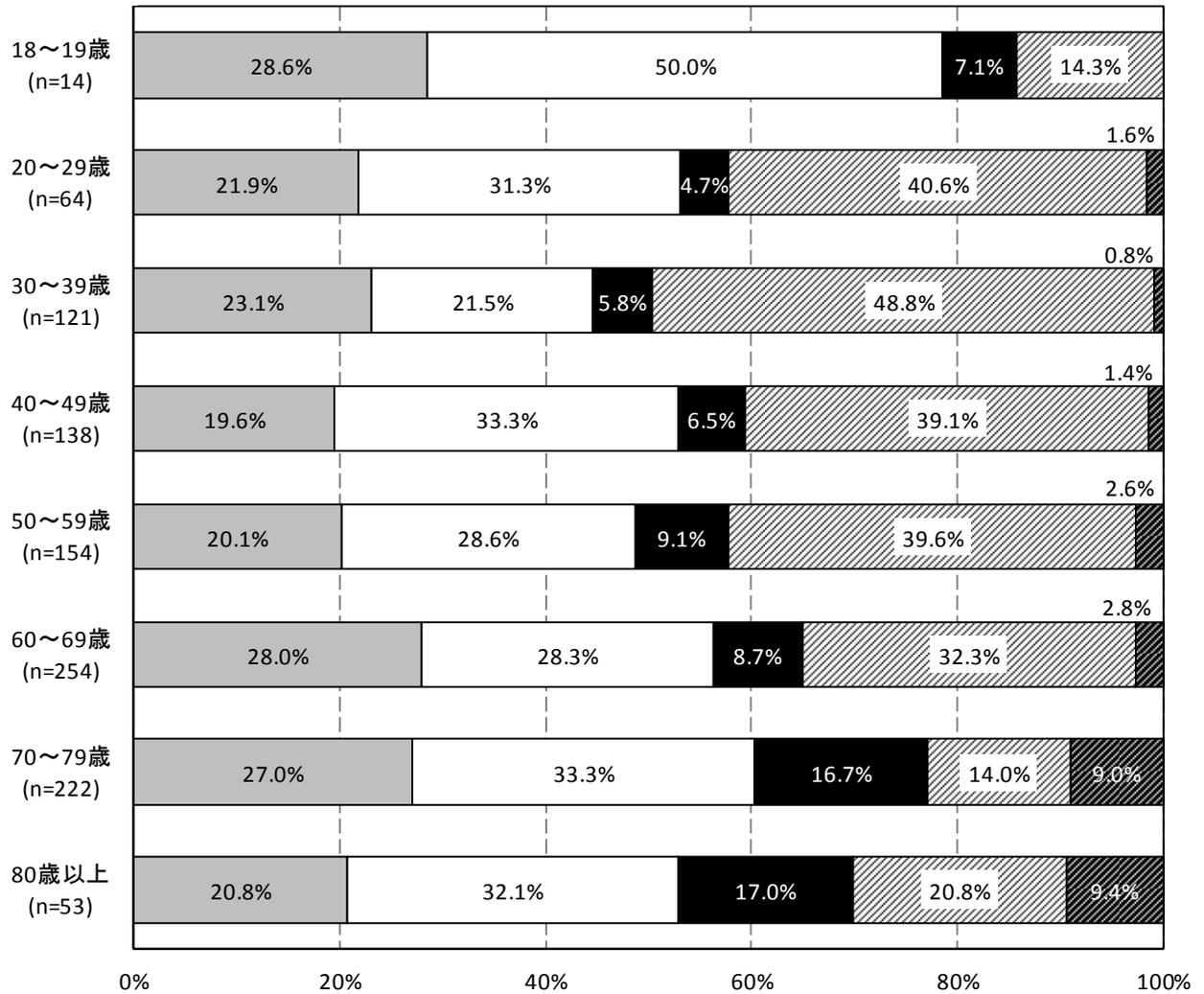
男女別にみると、男性は「運動習慣の条件は満たされていないが運動はしている」(31.3%)が最も高く、女性は「健康以外の理由で運動習慣はない」(35.9%)が最も高くなっている。

年代別にみると、運動をしている比率は18~19歳が78.6%と最も高く、30~39歳が44.6%と最も低くなっている。





<年代別>



問 45 ストレスについて

問 45 あなたは、最近1か月の間にストレスを感じましたか？あてはまるものを1つお選びください。

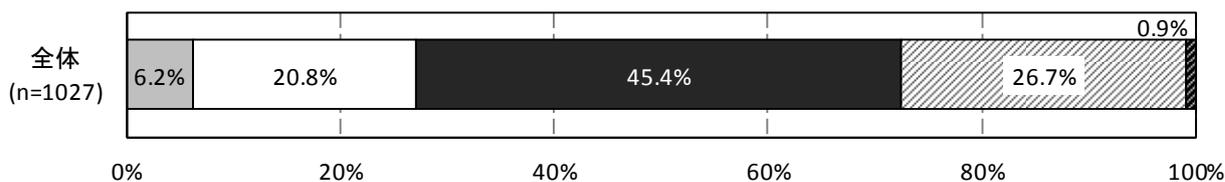
1. まったく感じなかった
2. ほとんど感じなかった
3. 少し感じた
4. かなり感じた

ストレスについては、「まったく感じなかった」(6.2%)と「ほとんど感じなかった」(20.8%)をあわせた27.0%がストレスを感じなかったとなっている。「少し感じた」(45.4%)と「かなり感じた」(26.7%)をあわせた72.1%がストレスを感じたとなっている。

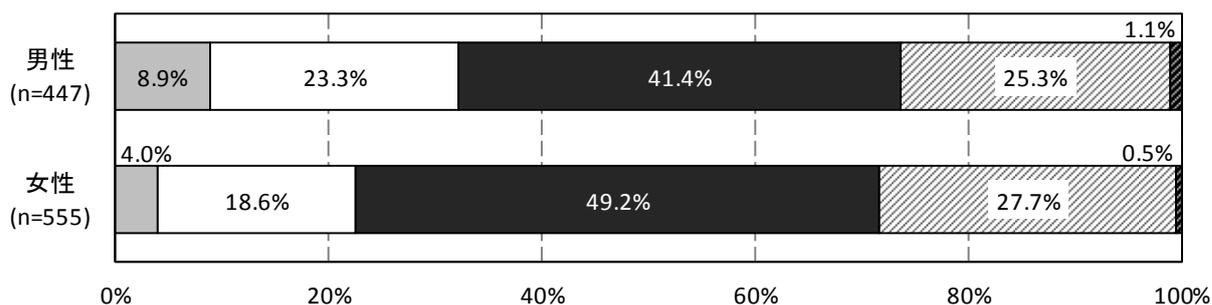
男女別にみると、ストレスを感じた比率は、女性(76.9%)が男性(66.7%)より10.2ポイント上回っている。

年代別にみると、ストレスを感じた比率は40～49歳が85.5%と最も高く、次いで50～59歳(84.4%)、30～39歳(83.4%)の順となっている。60歳以上では、ストレスを感じなかった比率が他の年代より高くなっている。

■ まったく感じなかった □ ほとんど感じなかった ■ 少し感じた ▨ かなり感じた ■ 不明

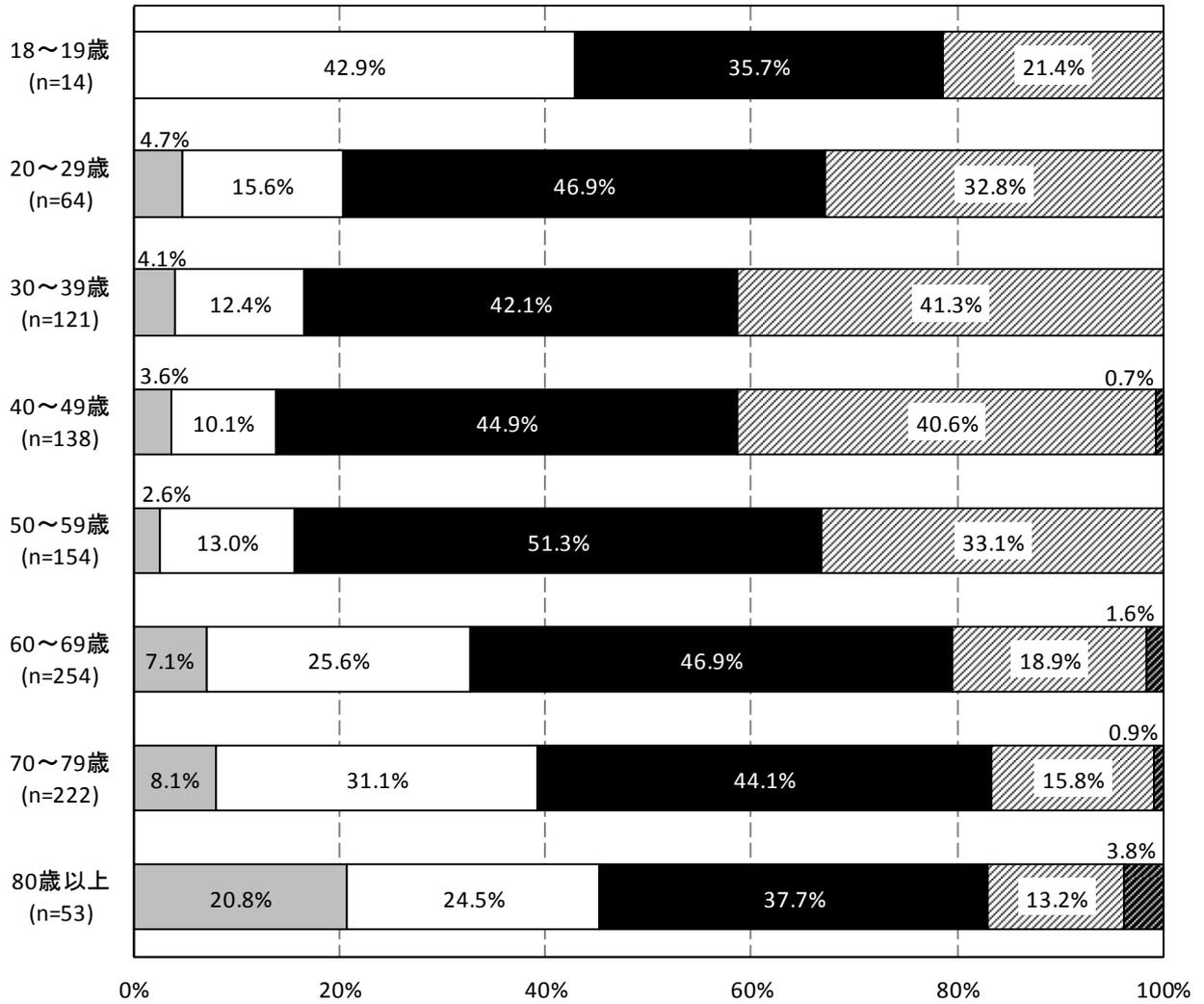


<男女別>



まったく感じなかった
 ほとんど感じなかった
 少し感じた
 かなり感じた
 不明

<年代別>



問 46 睡眠状況

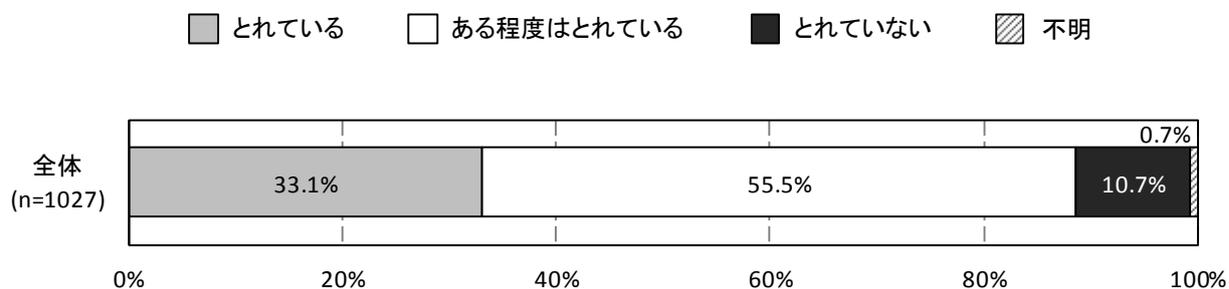
問 46 あなたは、睡眠による休養をとれていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. とれている
2. ある程度はとれている
3. とれていない

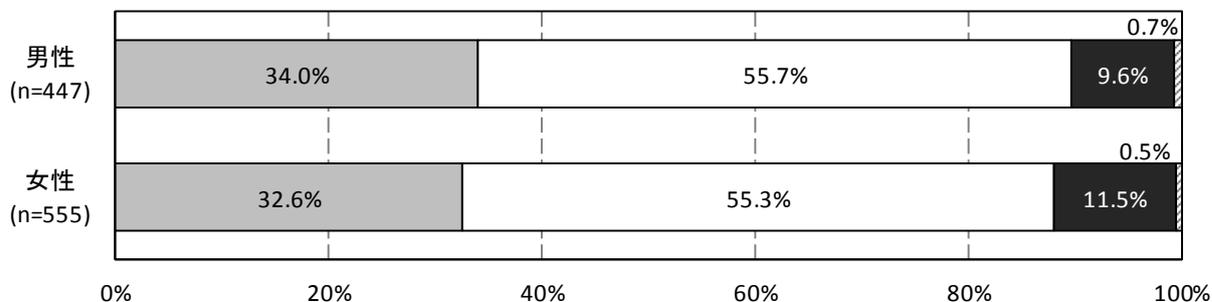
睡眠について、「とれている」が33.1%、「ある程度はとれている」が55.5%、「とれていない」が10.7%となっている。

男女別にみると、男女で大きな違いはみられない。

年代別にみると、「とれている」が80歳以上で58.5%と最も高く、40～49歳で22.5%と最も低くなっている。

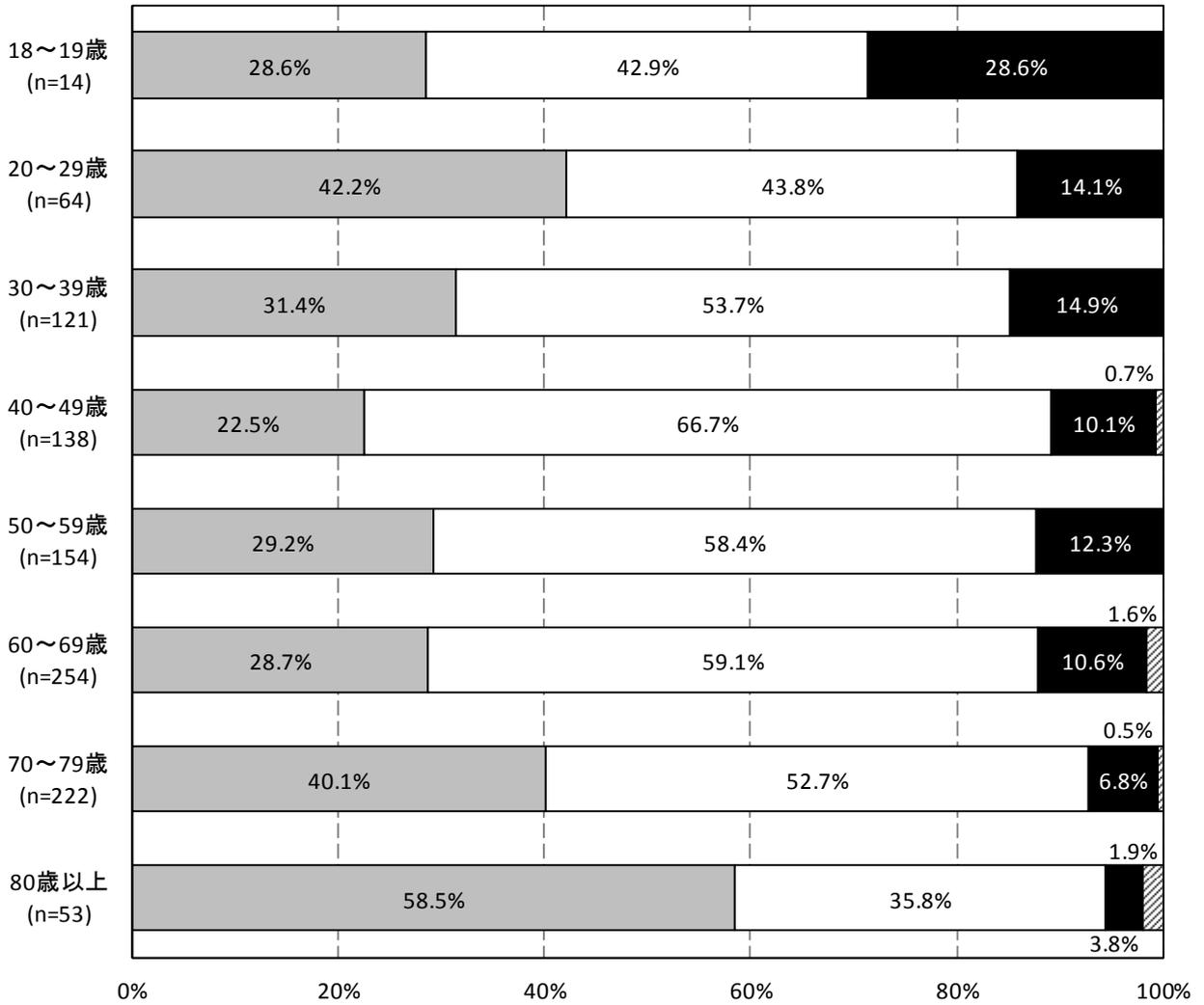


<男女別>



とれている
 ある程度はとれている
 とれていない
 不明

<年代別>



問 47 飲酒状況

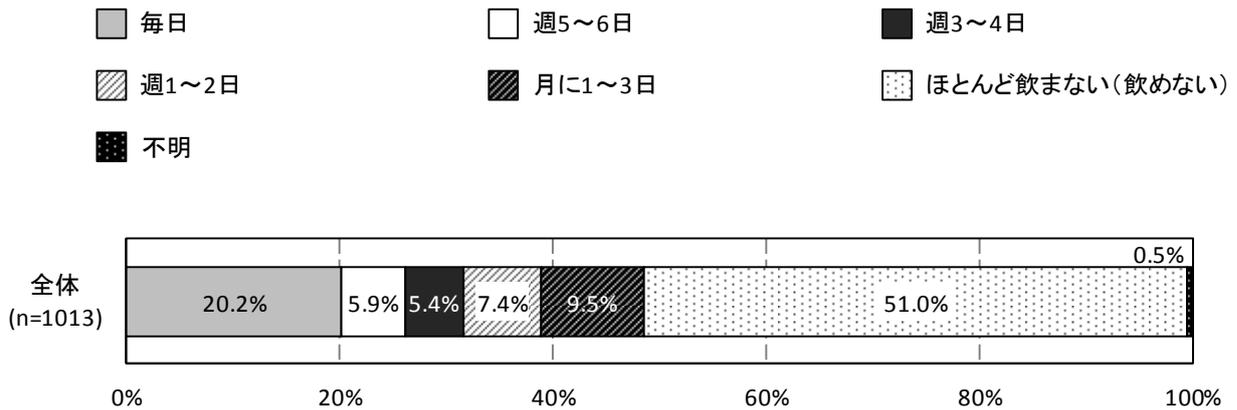
問 47 あなたは、週に何日位お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲みますか？
 あてはまるものを1つお選びください。

1. 毎日
2. 週5～6日
3. 週3～4日
4. 週1～2日
5. 月に1～3日
6. ほとんど飲まない（飲めない）

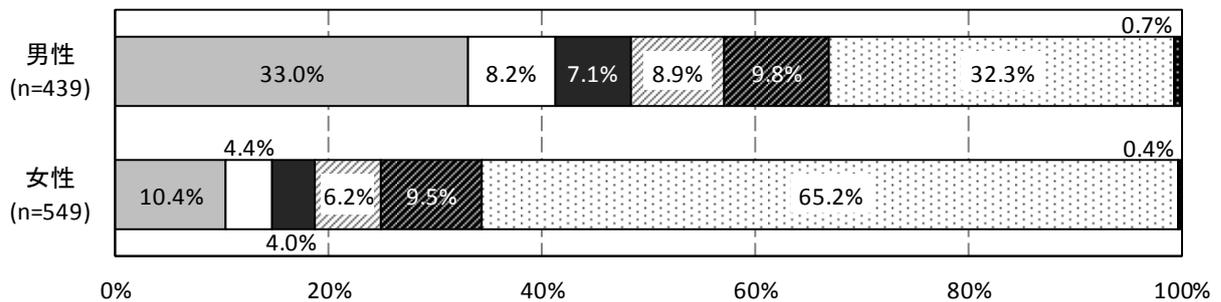
飲酒の状況は、「ほとんど飲まない（飲めない）」が51.0%と最も多く、次いで「毎日」（20.2%）、「月に1～3日」（9.5%）、「週1～2日」（7.4%）の順となっている。

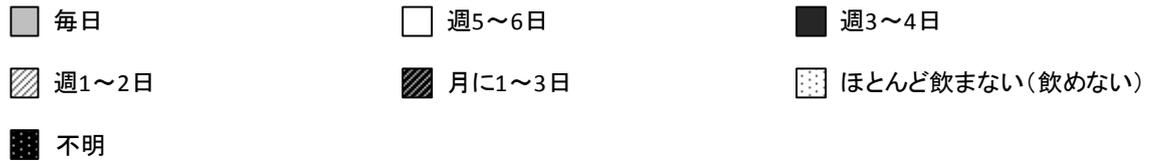
男女別にみると、「毎日」は男性（33.0%）が女性（10.4%）より22.6ポイント上回っている。

年代別にみると、「毎日」は60～69歳が24.0%と最も高く、20～29歳は6.3%と最も低くなっている。

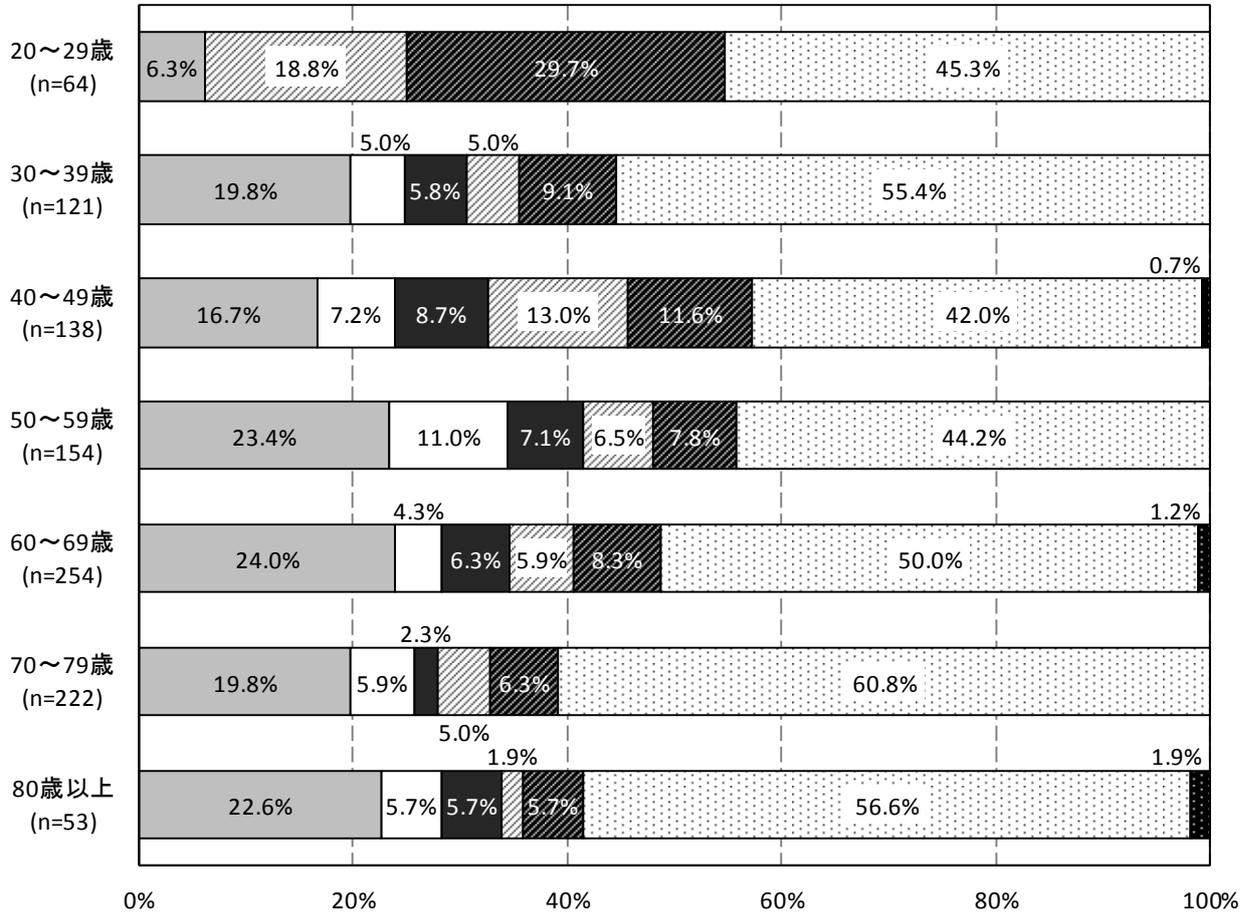


<男女別>





<年代別>



問 47-1 飲酒量

問 47-1 問 47 で「6. ほとんど飲まない（飲めない）」以外を回答された方のみお答えください。
あなたは、お酒を飲む日は1日あたり、どれくらいの量を飲みますか？清酒に換算し、あてはまるものを1つお選びください。

※清酒1合（180ml）は、つぎの量にほぼ相当します。

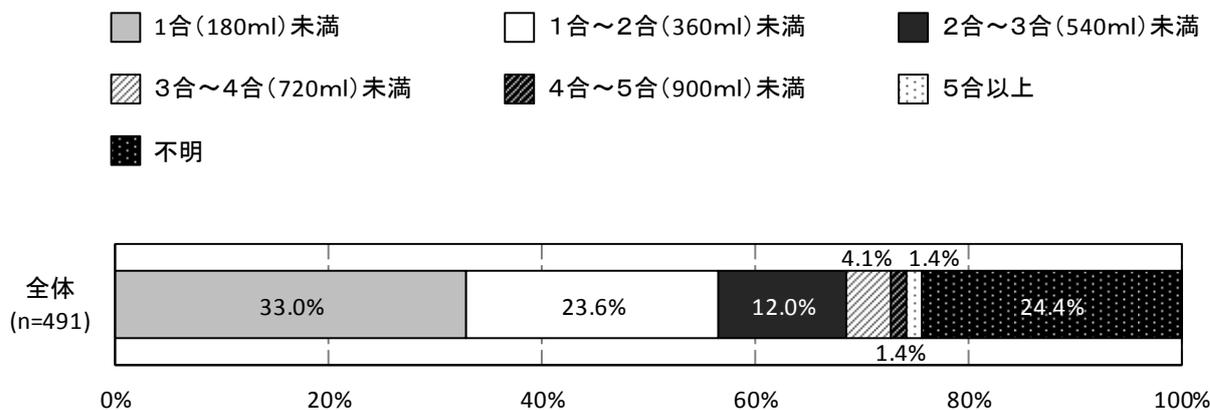
ビール・発泡酒中瓶1本（約500ml）、焼酎20度（135ml）、焼酎25度（110ml）、焼酎35度（80ml）
チューハイ7度（350ml）、ウイスキーダブル1杯（60ml）、ワイン2杯（240ml）

1. 1合（180ml）未満
2. 1合～2合（360ml）未満
3. 2合～3合（540ml）未満
4. 3合～4合（720ml）未満
5. 4合～5合（900ml）未満
6. 5合以上

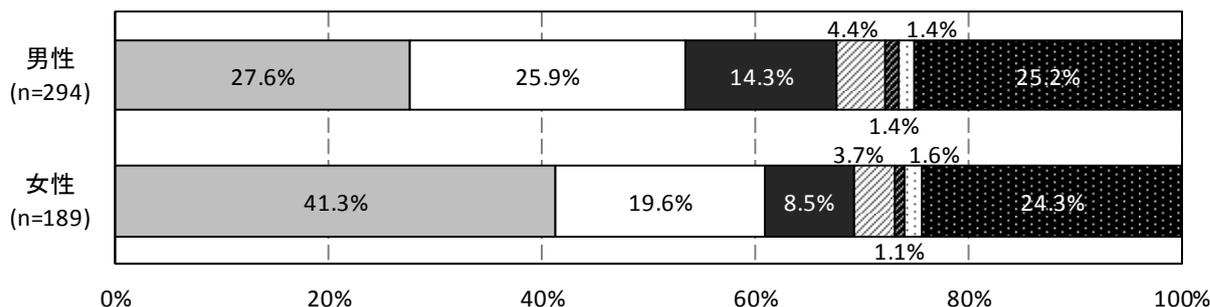
問 47 で「6. ほとんど飲まない（飲めない）」以外を回答した 491 人について、飲酒の量は、「1 合（180ml）未満」が 33.0%と最も多く、次いで「1 合～2 合（360ml）未満」（23.6%）、「2 合～3 合（540ml）未満」（12.0%）の順となっている。

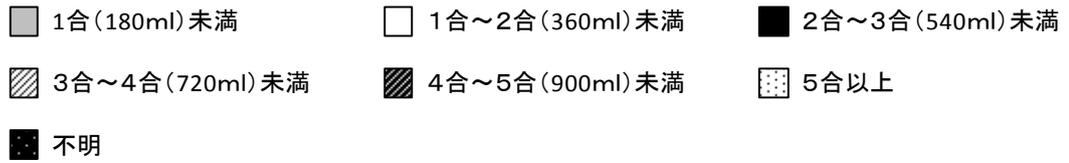
男女別にみると、「1 合（180ml）未満」は女性（41.3%）が男性（27.6%）より 13.7 ポイント上回っており、1 合以上の比率は男性（47.4%）が女性（34.5%）より 12.9 ポイント上回っている。

年代別にみると、3 合以上の比率は 20～29 歳が 11.5%と最も高くなっている。

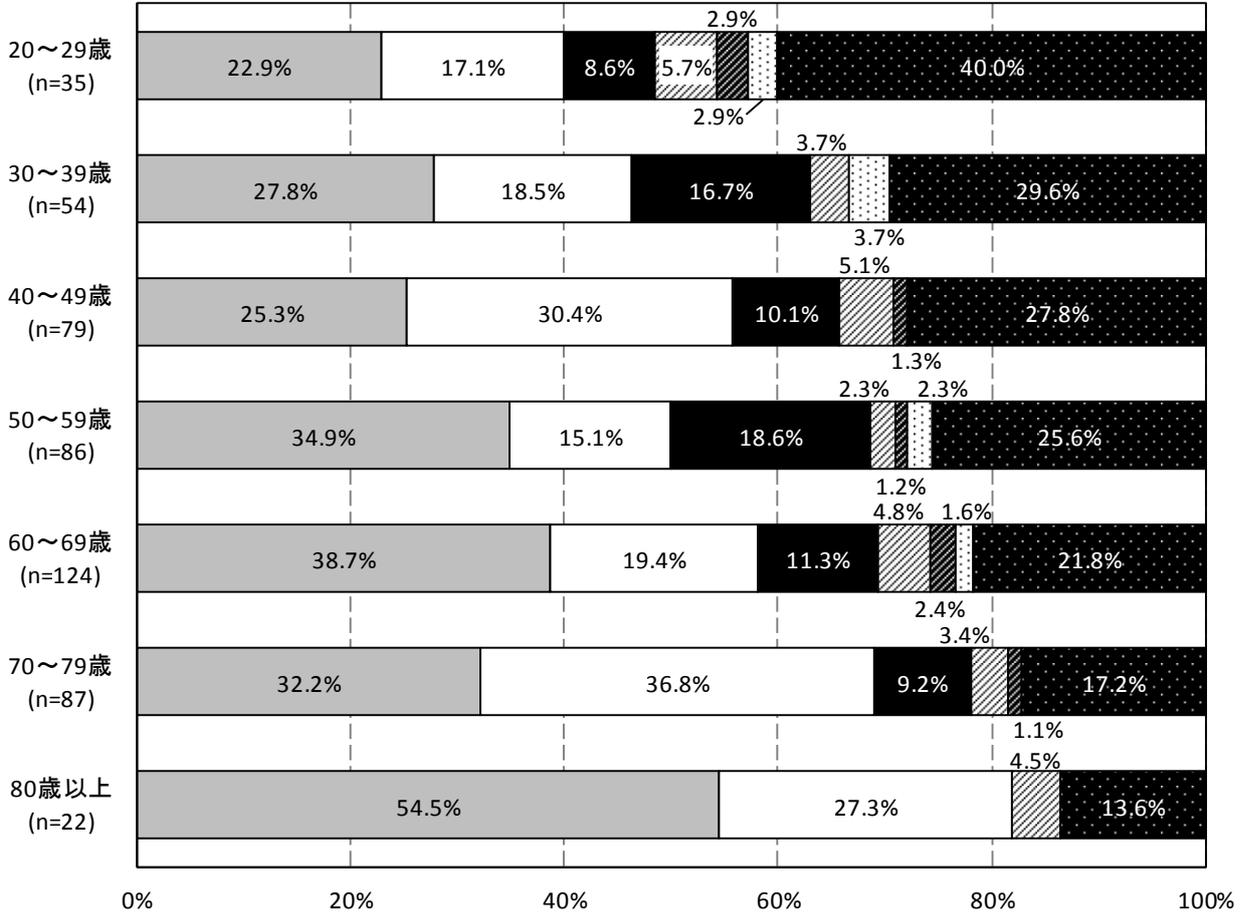


<男女別>





<年代別>



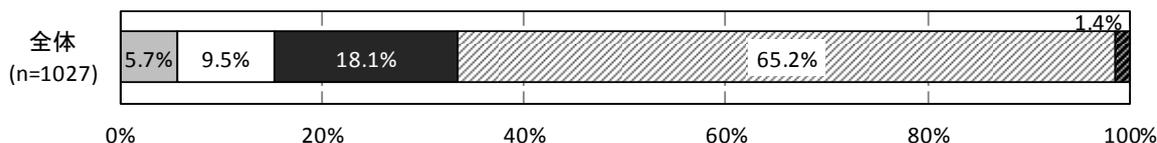
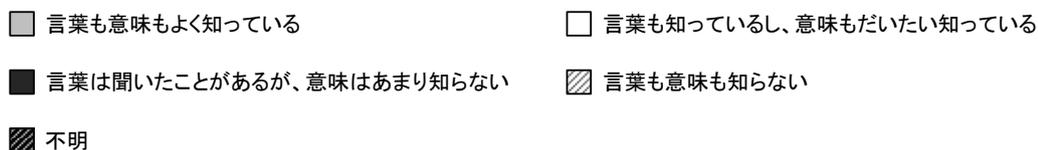
問 48 ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の認知度

問 48 あなたは、「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉を知っていますか？
 あてはまるものを1つお選びください。

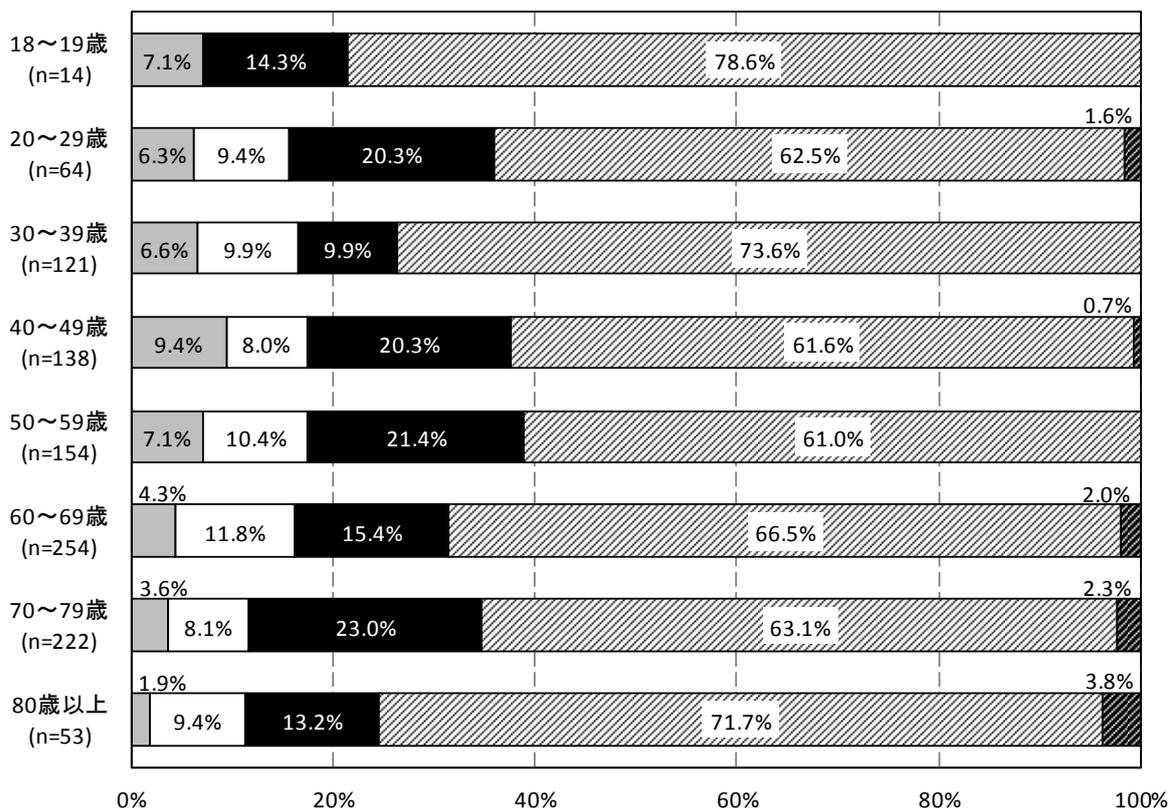
1. 言葉も意味もよく知っている
2. 言葉も知っているし、意味もだいたい知っている
3. 言葉は聞いたことがあるが、意味はあまり知らない
4. 言葉も意味も知らない

ロコモティブシンドローム（運動器症候群）について、「言葉も意味もよく知っている」(5.7%)と「言葉も知っているし、意味もだいたい知っている」(9.5%)をあわせた15.2%が知っているとなっている。「言葉は聞いたことがあるが、意味はあまり知らない」は18.1%、「言葉も意味も知らない」は65.2%となっている。

年代別にみると、認知率は50～59歳が17.5%と最も高く、次いで40～49歳(17.4%)となっている。



<年代別>



12. ウイルス性肝炎対策について

問49 B型及びC型肝炎ウイルス検査について

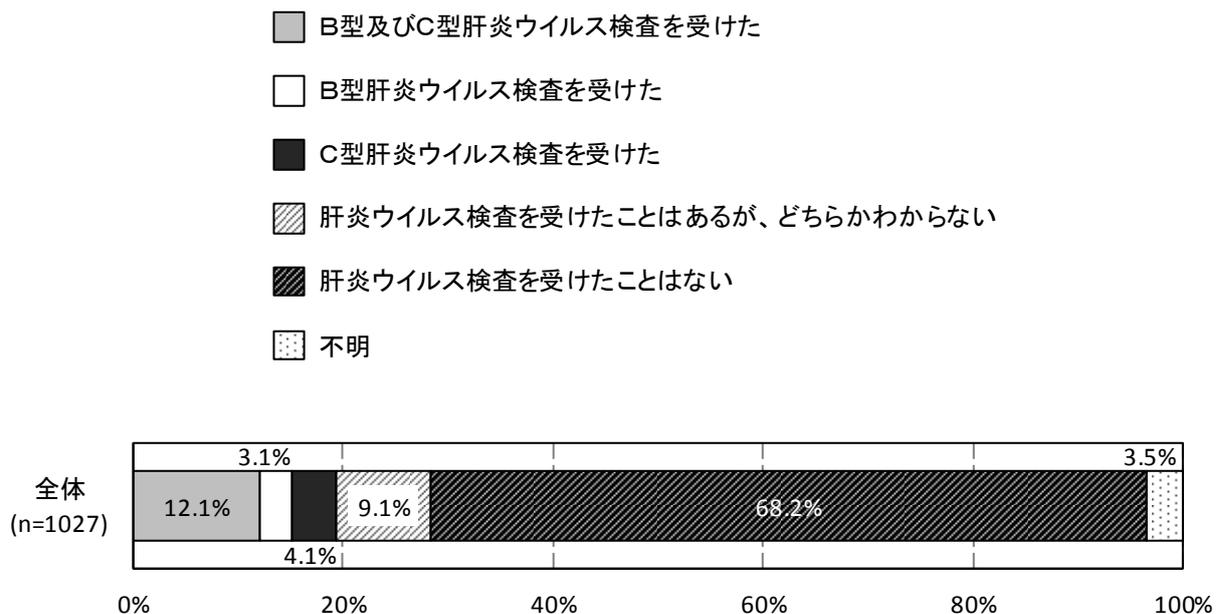
問49 あなたは、B型及びC型肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. B型及びC型肝炎ウイルス検査を受けた
2. B型肝炎ウイルス検査を受けた
3. C型肝炎ウイルス検査を受けた
4. 肝炎ウイルス検査を受けたことはあるが、どちらかわからない
5. 肝炎ウイルス検査を受けたことはない

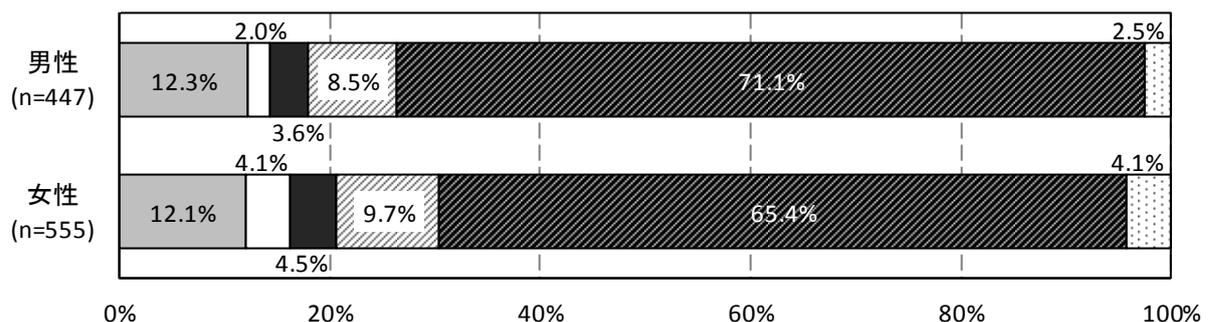
B型及びC型肝炎ウイルス検査について、「B型及びC型肝炎ウイルス検査を受けた」(12.1%)と「B型肝炎ウイルス検査を受けた」(3.1%)と「C型肝炎ウイルス検査を受けた」(4.1%)と、「肝炎ウイルス検査を受けたことはあるが、どちらかわからない」(9.1%)の受診率は28.4%となっている。

男女別にみると、受診率は女性(30.4%)が男性(26.4%)より4.0ポイント上回っている。

年代別にみると、受診率は50～59歳が39.5%と最も高く、次いで40～49歳が38.3%となっている。

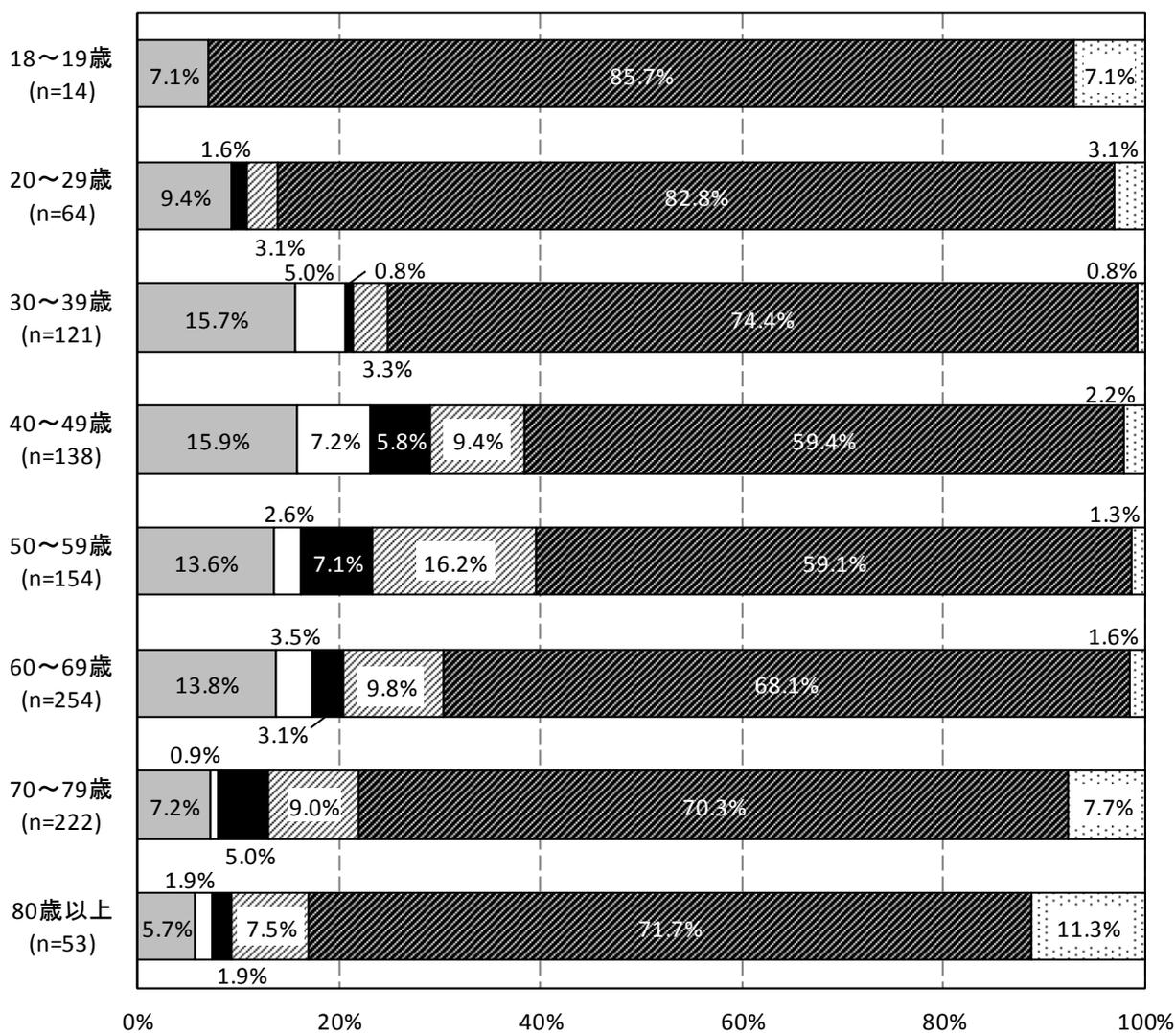


<男女別>



- B型及びC型肝炎ウイルス検査を受けた
- B型肝炎ウイルス検査を受けた
- C型肝炎ウイルス検査を受けた
- ▨ 肝炎ウイルス検査を受けたことはあるが、どちらかわからない
- ▩ 肝炎ウイルス検査を受けたことはない
- ◻ 不明

<年代別>



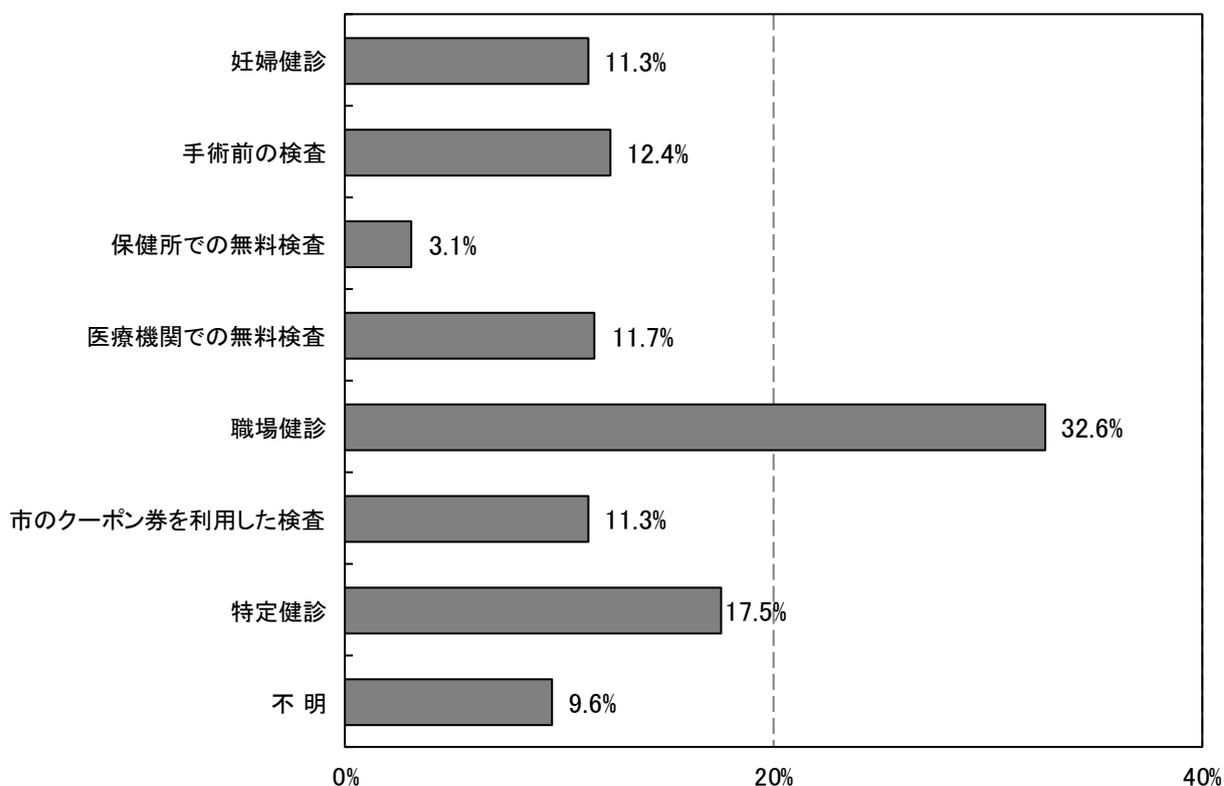
問 49-1 肝炎ウイルス検査の受診について

問 49-1 問 49 で「肝炎ウイルス検査を受けたことがある」と回答された方のみお答えください。
あなたは、肝炎ウイルス検査はどのような機会に受けましたか？あてはまるものを全て
お選びください。

1. 妊婦健診
2. 手術前の検査
3. 保健所での無料検査
4. 医療機関での無料検査
5. 職場健診
6. 市のクーポン券を利用した検査
7. 特定健診

問49で「肝炎ウイルス検査を受けたことがある」と回答した291人について、肝炎ウイルス検査を受診した理由は、「職場健診」が32.6%と最も多く、次いで「特定健診」(17.5%)、「手術前の検査」(12.4%)の順となっている。

n=291



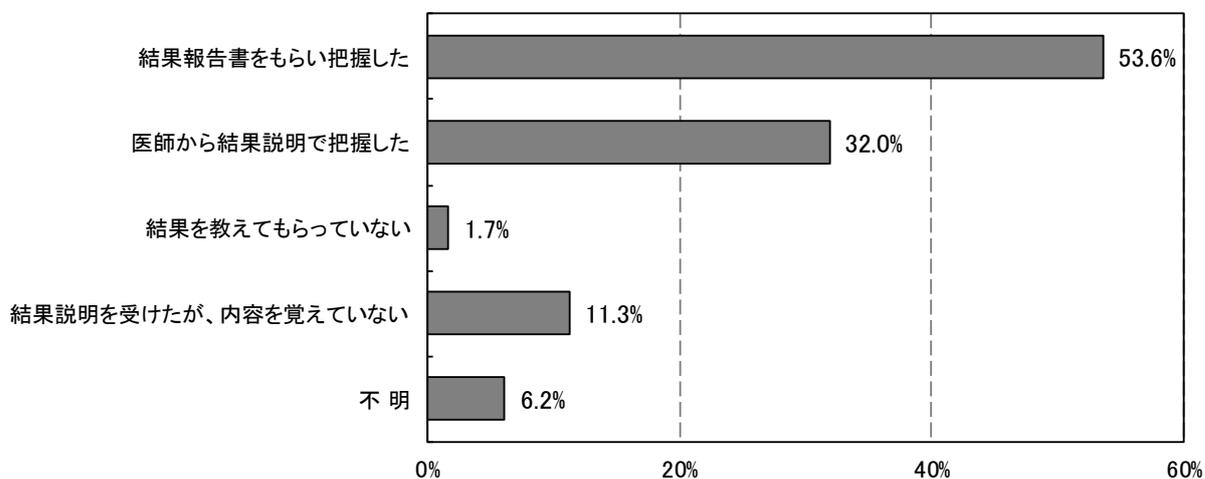
問 49-2 検査結果の把握状況

問 49-2 問 49 で「肝炎ウイルス検査を受けたことがある」と回答された方のみお答えください。
あなたは、検査結果を把握していますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 結果報告書をもらい把握した
2. 医師から結果説明で把握した
3. 結果を教えてもらっていない
4. 結果説明を受けたが、内容を覚えていない

問49で「肝炎ウイルス検査を受けたことがある」と回答した291人について、検査結果の把握状況は、「結果報告書をもらい把握した」が53.6%と最も多く、次いで「医師から結果説明で把握した」(32.0%)、「結果説明を受けたが、内容を覚えていない」(11.3%)の順となっている。

n=291



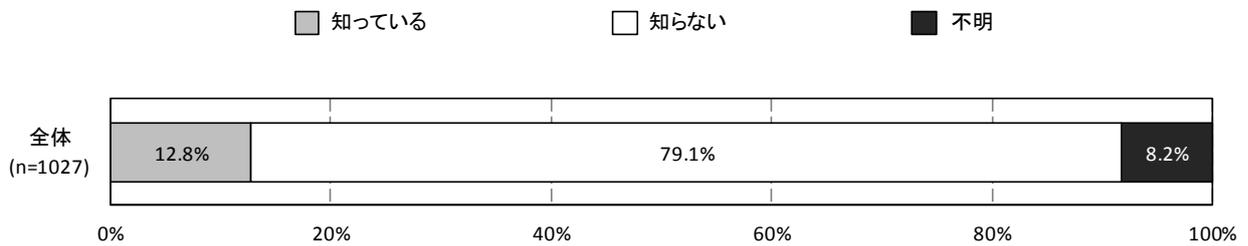
問 50 無料肝炎ウイルス検査実施の認知度

問 50 あなたは、和歌山市保健所で「肝炎ウイルスの感染の恐れがあったが、今まで検査を受けたことがない方」を対象に無料の肝炎ウイルス検査を実施していることを知っていますか？あてはまるものを1つお選びください。

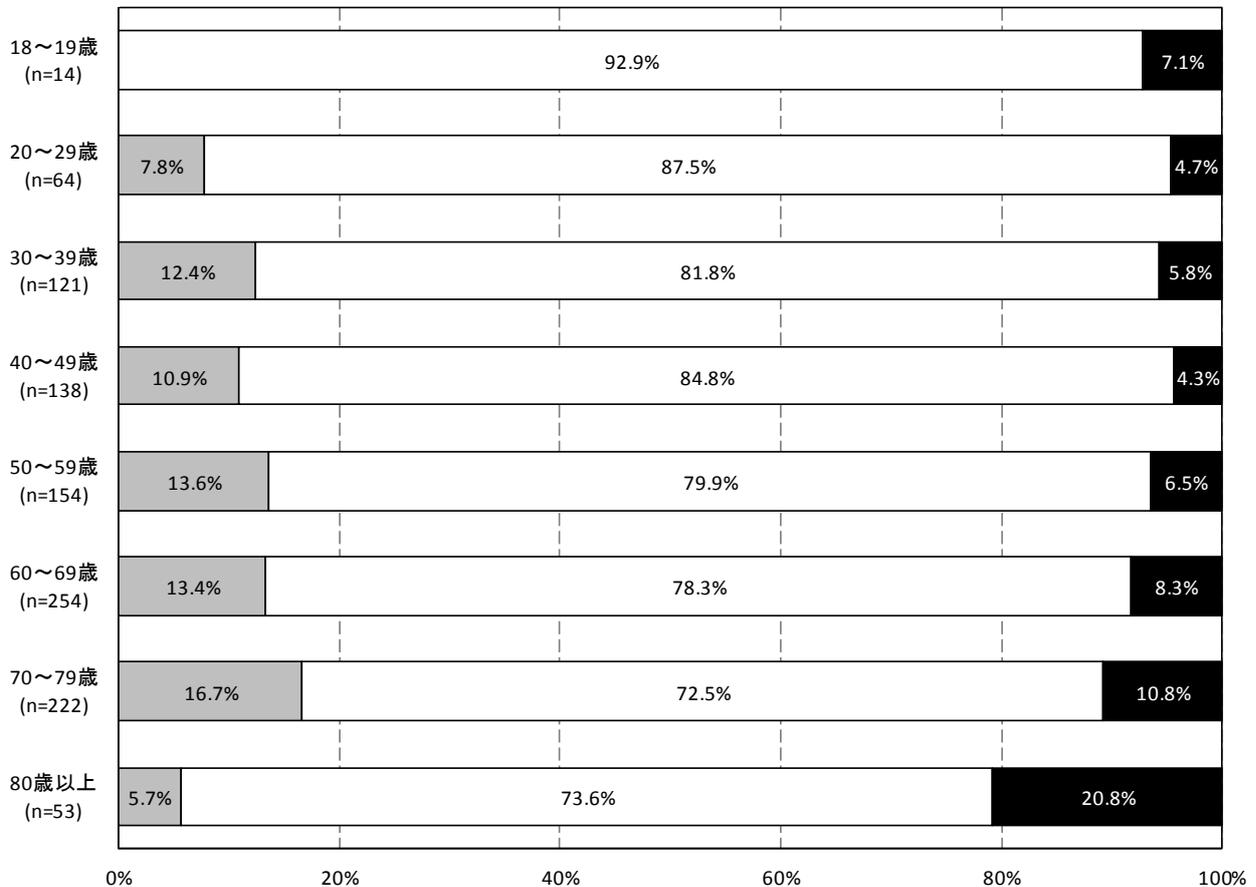
1. 知っている
2. 知らない

無料の肝炎ウイルス検査の実施について、「知っている」は12.8%、「知らない」は79.1%となっている。

年代別にみると、いずれの年代も「知らない」が70%を超えている。



<年代別>



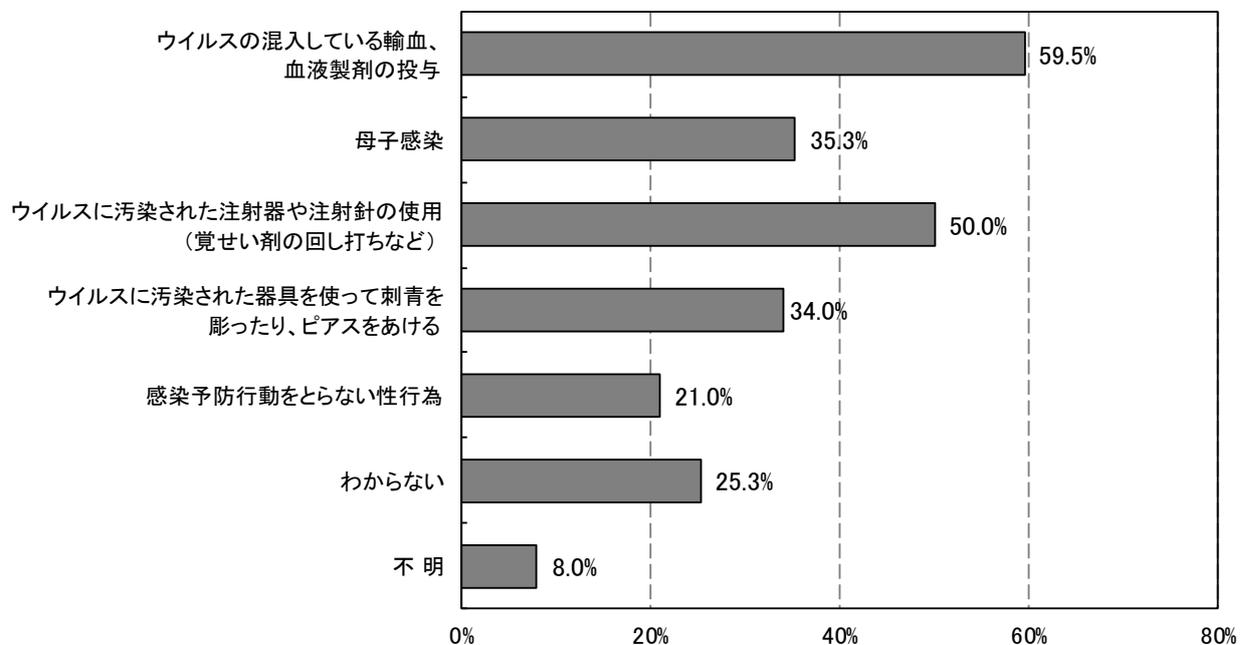
問 51 B型肝炎ウイルスの感染経路

問 51 B型肝炎ウイルスの感染経路として該当していると思うものを全てお選びください。

1. ウイルスの混入している輸血、血液製剤の投与
2. 母子感染
3. ウイルスに汚染された注射器や注射針の使用（覚せい剤の回し打ちなど）
4. ウイルスに汚染された器具を使って刺青を彫ったり、ピアスをあける
5. 感染予防行動をとらない性行為
6. わからない

B型肝炎ウイルスの感染経路について、「ウイルスの混入している輸血、血液製剤の投与」が 59.5%と最も多い。他の項目で 30%を超えているのは、「ウイルスに汚染された注射器や注射針の使用（覚せい剤の回し打ちなど）」（50.0%）、「母子感染」（35.3%）、「ウイルスに汚染された器具を使って刺青を彫ったり、ピアスをあける」（34.0%）の 3 項目となっている。

n=1027



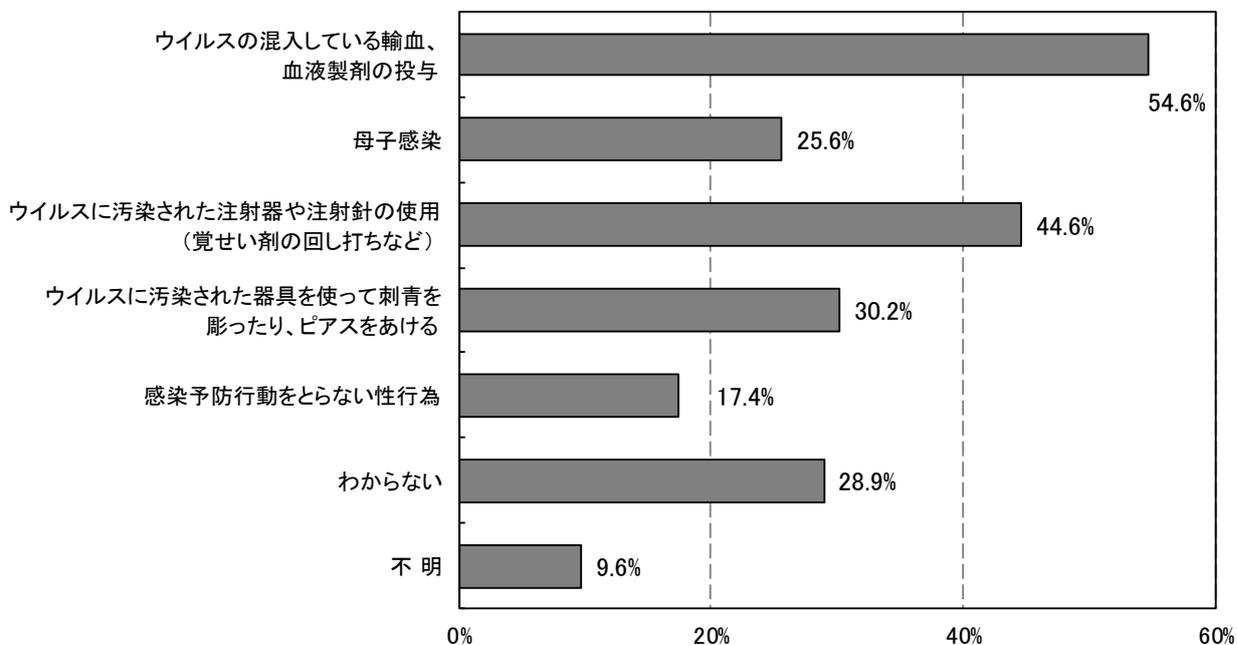
問 52 C型肝炎ウイルスの感染経路

問 52 C型肝炎ウイルスの感染経路として該当していると思うものを全てお選びください。

1. ウイルスの混入している輸血、血液製剤の投与
2. 母子感染
3. ウイルスに汚染された注射器や注射針の使用（覚せい剤の回し打ちなど）
4. ウイルスに汚染された器具を使って刺青を彫ったり、ピアスをあける
5. 感染予防行動をとらない性行為
6. わからない

C型肝炎ウイルスの感染経路について、「ウイルスの混入している輸血、血液製剤の投与」が 54.6%と最も多い。他の項目で 30%を超えているのは、「ウイルスに汚染された注射器や注射針の使用（覚せい剤の回し打ちなど）」（44.6%）、「ウイルスに汚染された器具を使って刺青を彫ったり、ピアスをあける」（30.2%）の 2 項目となっている。

n=1027



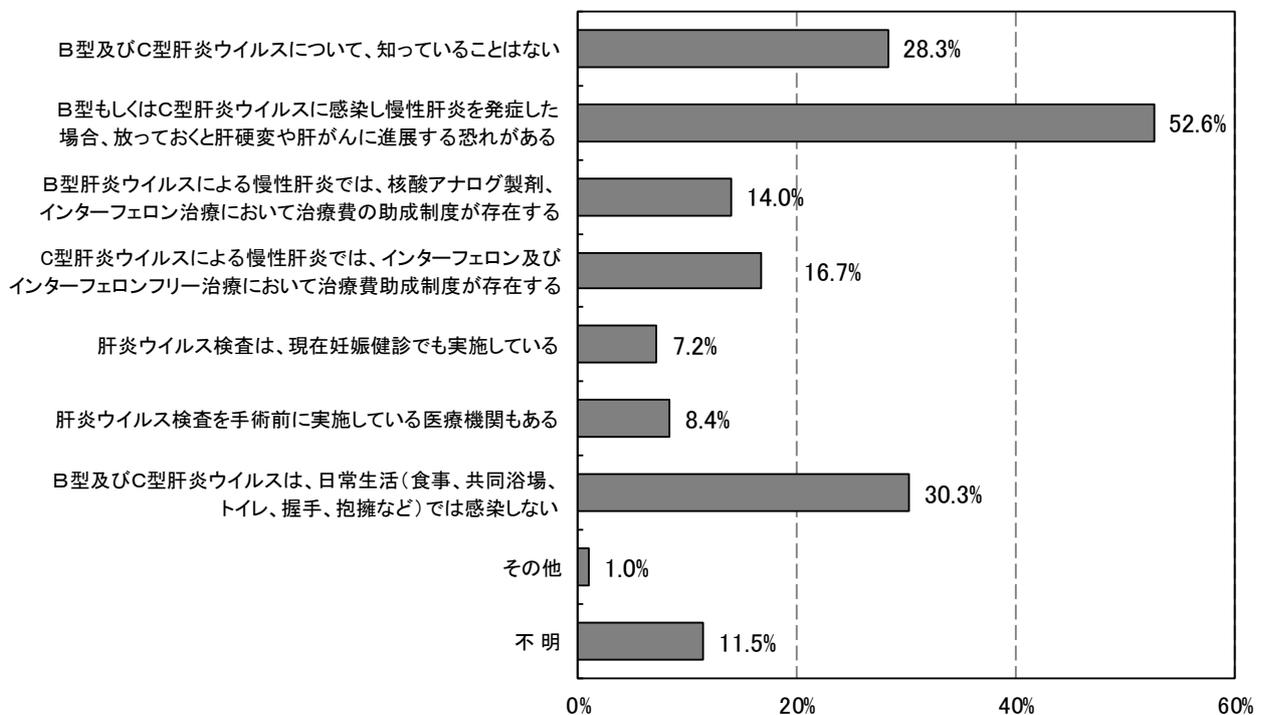
問 53 B 型及び C 型肝炎ウイルスの知識

問 53 あなたは、B 型及び C 型肝炎ウイルスについて知っていることは何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. B 型及び C 型肝炎ウイルスについて、知っていることはない
2. B 型もしくは C 型肝炎ウイルスに感染し慢性肝炎を発症した場合、放っておくと肝硬変や肝がんに進展する恐れがある
3. B 型肝炎ウイルスによる慢性肝炎では、核酸アナログ製剤、インターフェロン治療において治療費の助成制度が存在する
4. C 型肝炎ウイルスによる慢性肝炎では、インターフェロン及びインターフェロンフリー治療において治療費助成制度が存在する
5. 肝炎ウイルス検査は、現在妊婦健診でも実施している
6. 肝炎ウイルス検査を手術前に実施している医療機関もある
7. B 型及び C 型肝炎ウイルスは、日常生活（食事、共同浴場、トイレ、握手、抱擁など）では感染しない
8. その他（ ）

B 型及び C 型肝炎ウイルスについて知っていることは、「B 型もしくは C 型肝炎ウイルスに感染し慢性肝炎を発症した場合、放っておくと肝硬変や肝がんに進展する恐れがある」が 52.6%と最も多い。他の項目で 20%を超えているのは、「B 型及び C 型肝炎ウイルスは、日常生活（食事、共同浴場、トイレ、握手、抱擁など）では感染しない」（30.3%）、「B 型及び C 型肝炎ウイルスについて、知っていることはない」（28.3%）の 2 項目となっている。

n=1027



その他：「幼児の予防接種に B 型肝炎がある」、「B 型にはワクチンが存在する」など

1 3. 和歌山市の取組に対しての満足度・重要度について

問 54 和歌山市の市政一般の満足度と重要度

問 54 和歌山市に住んでいて、つぎのことがらについてどのように感じていますか？
満足度と重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字を○で囲んでください。

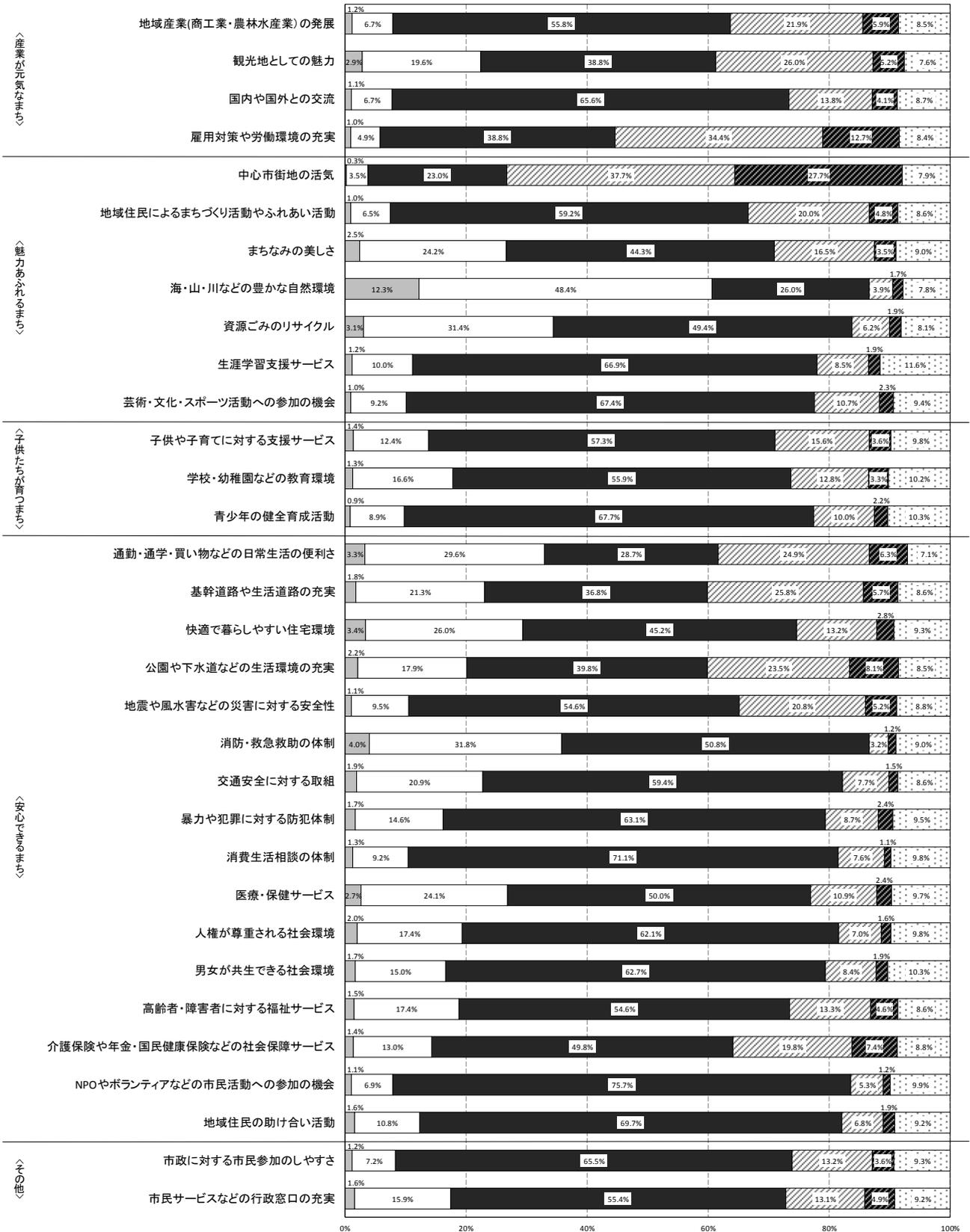
- 満足度： 1. 非常に満足 2. 満足 3. どちらとも言えない 4. 不満 5. 非常に不満
 重要度： 1. 非常に重要 2. 重要 3. どちらとも言えない 4. あまり重要ではない
 5. 全く重要ではない

安定した雇用を生み出す産業が元気なまち <small>(以下「産業が元気なまち」という)</small>	地域産業(商工業・農林水産業)の発展
	観光地としての魅力
	国内や国外との交流
	雇用対策や労働環境の充実
住みたいと選ばれる魅力があふれるまち <small>(以下「魅力あふれるまち」という)</small>	中心市街地の活気
	地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動
	まちなみの美しさ
	海・山・川などの豊かな自然環境
	資源ごみのリサイクル
	生涯学習支援サービス 芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会
子供たちがいきいきと育つまち <small>(以下「子供たちが育つまち」という)</small>	子供や子育てに対する支援サービス
	学校・幼稚園などの教育環境
	青少年の健全育成活動
誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち <small>(以下「安心できるまち」という)</small>	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ
	基幹道路や生活道路の充実
	快適で暮らしやすい住宅環境
	公園や下水道などの生活環境の充実
	地震や風水害などの災害に対する安全性
	消防・救急救助の体制
	交通安全に対する取組
	暴力や犯罪に対する防犯体制
	消費生活相談の体制
	医療・保健サービス
	人権が尊重される社会環境
	男女が共生できる社会環境
	高齢者・障害者に対する福祉サービス
	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス
NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	
地域住民の助け合い活動	
その他	市政に対する市民参加のしやすさ
	市民サービスなどの行政窓口の充実

【満足度】

n=1027

非常に満足
 満足
 どちらとも言えない
 不満
 非常に不満
 不明



【満足度・不満足度】

和歌山市の市政一般の満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた計）の高い項目は順に、「海・山・川などの豊かな自然環境」（60.7%）、「消防・救急救助の体制」（35.8%）、「資源ごみのリサイクル」（34.5%）、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（32.9%）、「快適で暮らしやすい住宅環境」（29.4%）となっており、「魅力あふれるまち」と「安心できるまち」に係わる項目の満足度が高めとなっている。

不満足度（「不満」と「非常に不満」を合わせた計）の高い項目は順に「中心市街地の活気」（65.4%）、「雇用対策や労働環境の充実」（47.1%）、「公園や下水道などの生活環境の充実」（31.6%）、「基幹道路や生活道路の充実」（31.5%）、「観光地としての魅力」「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（31.2%）となっており、「産業が元気なまち」と「安心できるまち」に係わる項目の不満足度が高めとなっている。

<男女別>

満足度の上位5位について男女別にみると、いずれも1位は「海・山・川などの豊かな自然環境」となっており、「消防・救急救助の体制」「資源ごみのリサイクル」「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」が共通して高めとなっている。

不満足度の上位5位について、上位2位は全体と同様の順位となっており、「公園や下水道などの生活環境の充実」が共通して高めとなっている。男性は「基幹道路や生活道路の充実」（34.7%）、女性は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（33.7%）の順位が高めとなっている。

【満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=1027)	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 60.7%	・ 消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 35.8%	・ 資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 34.5%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 32.9%	・ 快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 29.4%
男性 (n=447)	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 60.6%	・ 消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 40.7%	・ 資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 34.4%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 34.2%	・ 医療・保健サービス 【安心できるまち】 29.1%
女性 (n=555)	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 60.5%	・ 資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 34.8%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 ・ 快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 ・ 消防・救急救助の体制 【安心できるまち】		32.4%

【不満足度（「非常に不満」と「不満」を合わせた計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=1027)	・ 中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 65.4%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 47.1%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 31.6%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 31.5%	・ 観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 31.2%
男性 (n=447)	・ 中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 68.0%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 49.0%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 34.7%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【産業が元気なまち】 ・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】	33.8%
女性 (n=555)	・ 中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 63.8%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 45.8%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 33.7%	・ 観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】	30.3%

注：同率の項目は並記している。

※注は以降のページも同様である。

<年代別>

満足度の上位5位の項目について年代別にみると、いずれの年代も1位は「海・山・川などの豊かな自然環境」と共通している。2位は40～49歳、80歳以上で「消防・救急救助の体制」、60～79歳で「資源ごみのリサイクル」となっており、他の年代でも高めとなっている。18～19歳では「公園や下水道などの生活環境の充実」（64.3%）が他の年代よりも上位となっている。

【満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=14)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 78.6%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 64.3%	・まちなみの美しさ 【魅力あふれるまち】 ・交通安全に対する取組 【安心できるまち】		・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 ・人権が尊重される社会環境 【安心できるまち】 ・男女が共生できる社会環境 【安心できるまち】 50.0%
20～29歳 (n=64)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 73.4%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 34.4%	・まちなみの美しさ 【魅力あふれるまち】 28.1%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 25.1%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 23.5%
30～39歳 (n=121)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 57.0%	・まちなみの美しさ 【魅力あふれるまち】 29.0%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 ・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 28.1%		・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 24.8%
40～49歳 (n=138)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 63.1%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 34.1%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 33.3%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 31.8%	・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 29.7%
50～59歳 (n=154)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 66.3%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 33.7%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 33.1%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 31.2%	・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 29.8%
60～69歳 (n=254)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 62.2%	・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 41.4%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 40.1%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 37.0%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 28.4%
70～79歳 (n=222)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 53.6%	・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 41.4%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 40.1%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 36.9%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 33.8%
80歳以上 (n=53)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 49.1%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 43.3%	・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 41.5%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 34.0%	・交通安全に対する取組 【安心できるまち】 ・人権が尊重される社会環境 【安心できるまち】 32.1%

<地域別>

満足度の上位5位の項目について地域別にみると、いずれの地域も1位は「海・山・川などの豊かな自然環境」と共通している。「消防・救急救助の体制」は南部、東部、東南部、河西部で2位となっており、他の地域でも3位となっている。「資源ごみのリサイクル」もすべての地域で高めとなっている。「魅力あふれるまち」、「安心できるまち」に関わる項目が高い傾向にある。

【満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=251)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 55.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 37.9%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 35.9%	・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 30.3%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 28.7%
南部 (n=142)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 59.9%	・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 ・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 32.4%		・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 31.0%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 28.9%
東部 (n=138)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 68.8%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 42.8%	・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 39.9%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 31.2%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 29.7%
東南部 (n=88)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 56.8%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 35.2%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 34.1%	・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 34.0%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 33.0%
河西部 (n=274)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 62.8%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 36.5%	・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 36.1%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 35.1%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 33.5%
河北部 (n=87)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 68.9%	・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 37.9%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 34.4%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 33.3%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 31.0%

<年代別>

不満度の上位5位の項目について年代別にみると、1位は20歳以上で「中心市街地の活気」となっており、18～19歳で4位となっている。18～19歳では1位が「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」(64.3%)となっており、80歳以上で2位、20～49歳でも高めとなっている。2位は18～79歳で「雇用対策や労働環境の充実」となっており、80歳以上で3位となっている。

【不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=14)	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 64.3%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 50.0%	・ 観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 42.8%	・ 国内や国外との交流 【産業が元気なまち】 ・ 中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 35.7%	
20～29歳 (n=64)	・ 中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 60.9%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 48.5%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 46.9%	・ 観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 35.9%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 34.4%
30～39歳 (n=121)	・ 中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 61.9%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 46.3%	・ 観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 36.4%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 33.9%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 31.4%
40～49歳 (n=138)	・ 中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 63.8%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 50.0%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 38.4%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 37.0%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 34.1%
50～59歳 (n=154)	・ 中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 79.9%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 61.7%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【産業が元気なまち】 41.5%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 40.2%	・ 観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 39.0%
60～69歳 (n=254)	・ 中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 74.8%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 48.4%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 39.3%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 31.9%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【産業が元気なまち】 30.3%
70～79歳 (n=222)	・ 中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 55.9%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 38.8%	・ 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【安心できるまち】 28.8%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【産業が元気なまち】 ・ 基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 24.8%	
80歳以上 (n=53)	・ 中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 39.6%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 28.3%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 24.6%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 ・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 20.8%	

<地域別>

不満度の上位5位の項目について地域別にみると、いずれの地域も上位2位は「中心市街地の活気」と「雇用対策や労働環境の充実」で共通している。3位は中心部、河西部で「観光地としての魅力」、南部で「基幹道路や生活道路の充実」、東部、東南部で「公園や下水道などの生活環境の充実」、河北部で「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」となっており、他の地域でも高めとなっている。

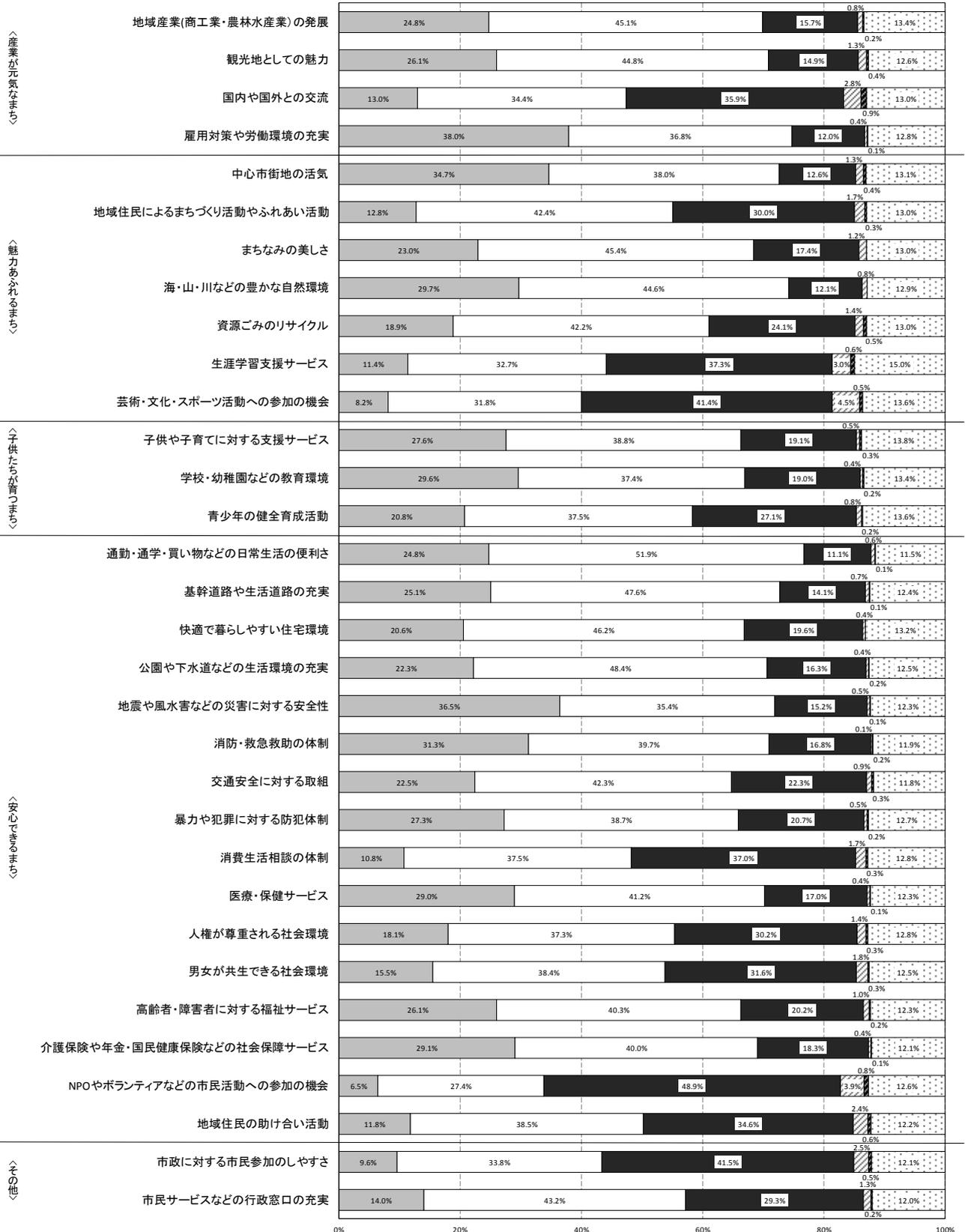
【不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=251)	・ 中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 64.9%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 46.2%	・ 観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 30.3%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【産業が元気なまち】 ・ 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【安心できるまち】 27.1%	
南部 (n=142)	・ 中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 64.8%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 45.8%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 38.8%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 35.2%	・ 観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 33.1%
東部 (n=138)	・ 中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 67.4%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 47.8%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 42.7%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 39.2%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 35.5%
東南部 (n=88)	・ 中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 65.9%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 50.0%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 43.2%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 39.8%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 29.5%
河西部 (n=274)	・ 中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 66.5%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 46.3%	・ 観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 29.9%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 29.5%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 28.1%
河北部 (n=87)	・ 中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 60.9%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 49.4%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 42.5%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 40.2%	・ 観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 34.5%

【重要度】

■ 非常に重要 □ 重要 ■ どちらとも言えない ▨ あまり重要ではない ▩ 全く重要ではない □ 不明

n=1027



【重要度】

和歌山市の市政一般の重要度（「非常に重要」と「重要」を合わせた計）の高い項目は順に、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（76.7%）、「雇用対策や労働環境の充実」（74.8%）、「海・山・川などの豊かな自然環境」（74.3%）、「中心市街地の活気」、「基幹道路や生活道路の充実」（72.7%）となっており、“安心できるまち”、“魅力あふれるまち”、“産業が元気なまち”に係わる項目の重要度が高めとなっている。

<男女別>

重要度の上位5位について男女別にみると、1位は全体と同様の項目となっており、「雇用対策や労働環境の充実」、「海・山・川などの豊かな自然環境」も共通して高めとなっている。

【重要度（「非常に重要」と「重要」を合わせた計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=1027)	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 76.7%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 74.8%	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 74.3%	・ 中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 ・ 基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 72.7%	
男性 (n=447)	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 76.0%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 75.2%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 75.1%	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 75.0%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【産業が元気なまち】 ・ 中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 73.6%
女性 (n=555)	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 78.2%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 75.5%	・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 75.3%	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 75.1%	・ 医療・保健サービス 【安心できるまち】 73.1%

<年代別>

重要度の上位5位の項目について年代別にみると、1位は20～49歳、70～79歳で「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」となっており、すべての年代で高めとなっている。他の年代の1位は、18～19歳で「中心市街地の活気」、30～39歳は「観光地としての魅力」、50～59歳で「基幹道路や生活道路の充実」、60～69歳で「雇用対策や労働環境の充実」、80歳以上で「海・山・川などの豊かな自然環境」となっている。なお、20～29歳では、「子供や子育てに対する支援サービス」が高めとなっている。

【重要度(「非常に重要」と「重要」を合わせた計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=14)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地の活気 <p>【魅力あふれるまち】</p> <p>92.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹道路や生活道路の充実 <p>【安心できるまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療・保健サービス <p>【安心できるまち】</p> <p>85.8%</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光地としての魅力 <p>【産業が元気なまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちなみの美しさ <p>【魅力あふれるまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海・山・川などの豊かな自然環境 <p>【魅力あふれるまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ <p>【安心できるまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 快適で暮らしやすい住宅環境 <p>【安心できるまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 暴力や犯罪に対する防犯体制 <p>【安心できるまち】</p> <p>85.7%</p>	
20～29歳 (n=64)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ <p>【安心できるまち】</p> <p>82.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海・山・川などの豊かな自然環境 <p>【魅力あふれるまち】</p> <p>81.2%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供や子育てに対する支援サービス <p>【子供たちが育つまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 <p>【安心できるまち】</p> <p>79.7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療・保健サービス <p>【安心できるまち】</p> <p>78.2%</p>	
30～39歳 (n=121)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光地としての魅力 <p>【産業が元気なまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ <p>【安心できるまち】</p> <p>74.4%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用対策や労働環境の充実 <p>【産業が元気なまち】</p> <p>73.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地の活気 <p>【魅力あふれるまち】</p> <p>72.7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちなみの美しさ <p>【魅力あふれるまち】</p> <p>71.0%</p>	
40～49歳 (n=138)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ <p>【安心できるまち】</p> <p>79.0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用対策や労働環境の充実 <p>【産業が元気なまち】</p> <p>78.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹道路や生活道路の充実 <p>【安心できるまち】</p> <p>76.8%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 <p>【安心できるまち】</p> <p>75.4%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療・保健サービス <p>【安心できるまち】</p> <p>74.7%</p>
50～59歳 (n=154)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹道路や生活道路の充実 <p>【安心できるまち】</p> <p>87.0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用対策や労働環境の充実 <p>【産業が元気なまち】</p> <p>85.8%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ <p>【安心できるまち】</p> <p>85.7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地の活気 <p>【魅力あふれるまち】</p> <p>84.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光地としての魅力 <p>【産業が元気なまち】</p> <p>81.8%</p>
60～69歳 (n=254)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用対策や労働環境の充実 <p>【産業が元気なまち】</p> <p>82.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海・山・川などの豊かな自然環境 <p>【魅力あふれるまち】</p> <p>81.8%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ <p>【安心できるまち】</p> <p>81.1%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地の活気 <p>【魅力あふれるまち】</p> <p>79.2%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防・救急救助の体制 <p>【安心できるまち】</p> <p>79.1%</p>
70～79歳 (n=222)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ <p>【安心できるまち】</p> <p>68.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園や下水道などの生活環境の充実 <p>【安心できるまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防・救急救助の体制 <p>【安心できるまち】</p> <p>65.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療・保健サービス <p>【安心できるまち】</p> <p>64.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海・山・川などの豊かな自然環境 <p>【魅力あふれるまち】</p> <p>64.4%</p>	
80歳以上 (n=53)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海・山・川などの豊かな自然環境 <p>【魅力あふれるまち】</p> <p>60.4%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ <p>【安心できるまち】</p> <p>58.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹道路や生活道路の充実 <p>【安心できるまち】</p> <p>56.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校・幼稚園などの教育環境 <p>【子供たちが育つまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年の健全育成活動 <p>【子供たちが育つまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園や下水道などの生活環境の充実 <p>【安心できるまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防・救急救助の体制 <p>【安心できるまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療・保健サービス <p>【安心できるまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス <p>【安心できるまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民の助け合い活動 <p>【安心できるまち】</p> <p>54.7%</p>	

<地域別>

重要度の上位5位の項目について地域別にみると、1位は中心部、河西部で「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、南部で「海・山・川などの豊かな自然環境」、東部で「中心市街地の活気」、東南部、河北部で「雇用対策や労働環境の充実」となっている。「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「雇用対策や労働環境の充実」は他の地域でも高めとなっている。

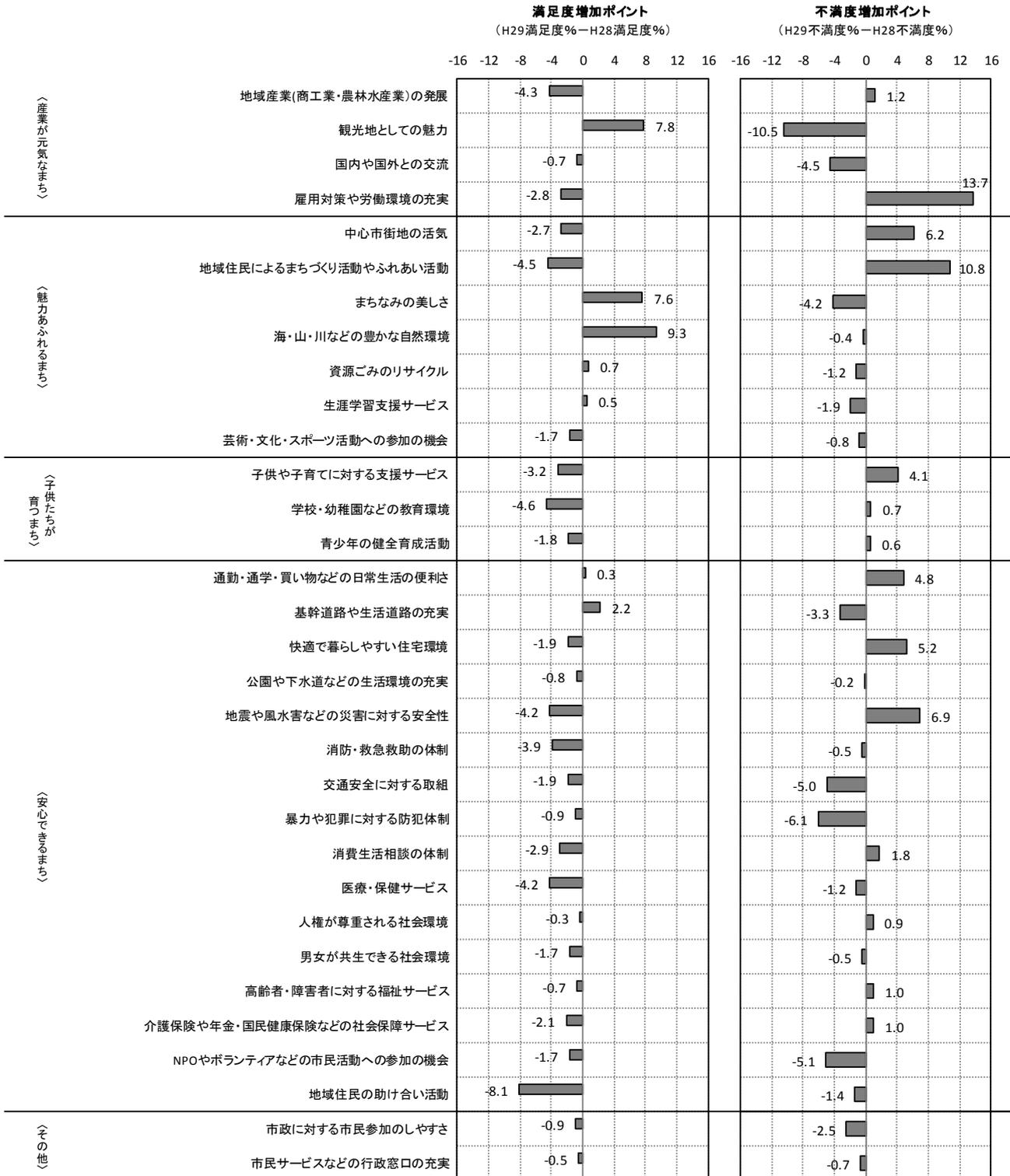
【重要度(「非常に重要」と「重要」を合わせた計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=251)	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 74.5%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 73.4%	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 ・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 71.7%		・ 基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 71.3%
南部 (n=142)	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 76.1%	・ 観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 74.7%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 74.6%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 73.3%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 73.2%
東部 (n=138)	・ 中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 78.3%	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 78.2%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 76.8%	・ 医療・保健サービス 【安心できるまち】 75.4%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 ・ 消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 74.7%
東南部 (n=88)	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 79.5%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 76.2%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【産業が元気なまち】 76.1%	・ 中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 ・ 基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 ・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 73.9%	
河西部 (n=274)	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 79.5%	・ 中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 74.4%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 ・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 74.1%		・ 基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 73.7%
河北部 (n=87)	・ 雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 81.6%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 80.4%	・ まちなみの美しさ 【魅力あふれるまち】 78.1%	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 77.0%	・ 学校・幼稚園などの教育環境 【子供たちが育つまち】 ・ 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【安心できるまち】 75.9%

【満足度：前年度の比較】

平成28年度と平成29年度の満足度の変化は、「観光地としての魅力」、「まちなみの美しさ」、「海・山・川などの豊かな自然環境」が5ポイント以上増加している。「地域住民の助け合い活動」は8.1ポイント減少している。

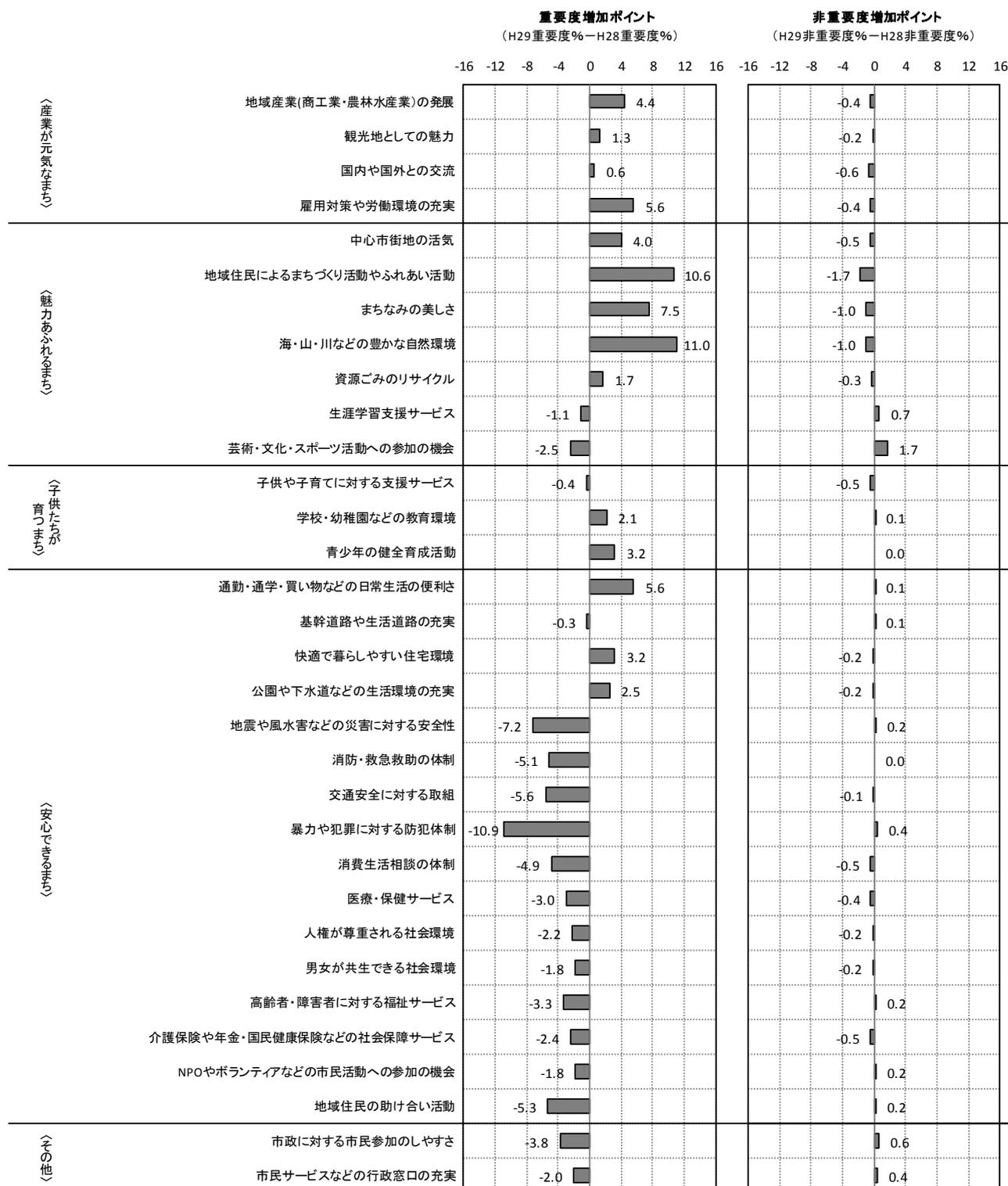
不満度の変化は、「雇用対策や労働環境の充実」、「中心市街地の活気」、「地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動」、「快適で暮らしやすい住宅環境」、「地震や風水害などの災害に対する安全性」が5ポイント以上増加、「観光地としての魅力」、「交通安全に対する取組」、「暴力や犯罪に対する防犯体制」、「NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会」が5ポイント以上減少している。



【重要度：前年度の比較】

平成28年度と平成29年度の重要度の変化は、「雇用対策や労働環境の充実」、「地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動」、「まちなみの美しさ」、「海・山・川などの豊かな自然環境」、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」が5ポイント以上増加、「地震や風水害などの災害に対する安全性」、「消防・救急救助の体制」、「交通安全に対する取組」、「暴力や犯罪に対する防犯体制」、「地域住民の助け合い活動」が5ポイント以上減少している。

非重要度（「あまり重要ではない」と「全く重要ではない」を合わせた計）については、大きな変化はみられなかった。



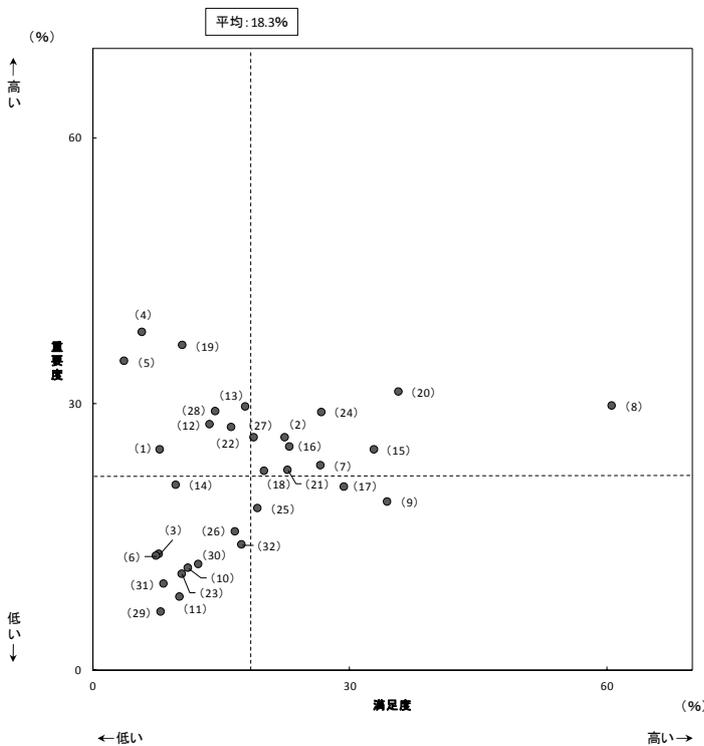
【重要度と満足度ギャップ分析（ポートフォリオ）】

「重要度（「非常に重要」の比率）」と「満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた計）」との関係を散布図に表した。図の横軸は満足度、縦軸は重要度を表している。

重要度が満足度を10.0ポイント以上上回る項目は、ギャップの大きい順にみると「(4) 雇用対策や労働環境の充実」、「(5) 中心市街地の活気」、「(19) 地震や風水害などの災害に対する安全性」、「(1) 地域産業（商工業・農林水産業）の発展」、「(28) 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」、「(12) 子供や子育てに対する支援サービス」、「(13) 学校・幼稚園などの教育環境」、「(14) 青少年の健全育成活動」、「(22) 暴力や犯罪に対する防犯体制」の9項目となっており、早急に対策が求められている結果となっている。

満足度が重要度を10.0ポイント以上上回る項目は「(8) 海・山・川などの豊かな自然環境」、「(9) 資源ごみのリサイクル」の2項目である。

凡例	項目名	満足度計	重要度	凡例	項目名	満足度計	重要度
(1)	地域産業(商工業・農林水産業)の発展	7.9	24.8	(17)	快適で暮らしやすい住宅環境	29.4	20.6
(2)	観光地としての魅力	22.5	26.1	(18)	公園や下水道などの生活環境の充実	20.1	22.3
(3)	国内や国外との交流	7.8	13.0	(19)	地震や風水害などの災害に対する安全性	10.6	36.5
(4)	雇用対策や労働環境の充実	5.9	38.0	(20)	消防・救急救助の体制	35.8	31.3
(5)	中心市街地の活気	3.8	34.7	(21)	交通安全に対する取組	22.8	22.5
(6)	地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動	7.5	12.8	(22)	暴力や犯罪に対する防犯体制	16.3	27.3
(7)	まちなみの美しさ	26.7	23.0	(23)	消費生活相談の体制	10.5	10.8
(8)	海・山・川などの豊かな自然環境	60.7	29.7	(24)	医療・保健サービス	26.8	29.0
(9)	資源ごみのリサイクル	34.5	18.9	(25)	人権が尊重される社会環境	19.4	18.1
(10)	生涯学習支援サービス	11.2	11.4	(26)	男女が共生できる社会環境	16.7	15.5
(11)	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会	10.2	8.2	(27)	高齢者・障害者に対する福祉サービス	18.9	26.1
(12)	子供や子育てに対する支援サービス	13.8	27.6	(28)	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	14.4	29.1
(13)	学校・幼稚園などの教育環境	17.9	29.6	(29)	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	8.0	6.5
(14)	青少年の健全育成活動	9.8	20.8	(30)	地域住民の助け合い活動	12.4	11.8
(15)	通勤・通学・買い物などの日常生活の利便さ	32.9	24.8	(31)	市政に対する市民参加のしやすさ	8.4	9.6
(16)	基幹道路や生活道路の充実	23.1	25.1	(32)	市民サービスなどの行政窓口の充実	17.5	14.0

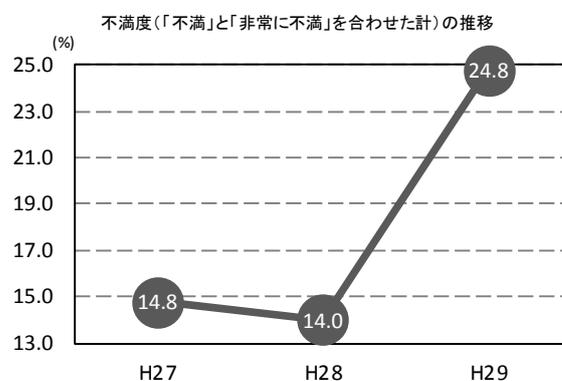
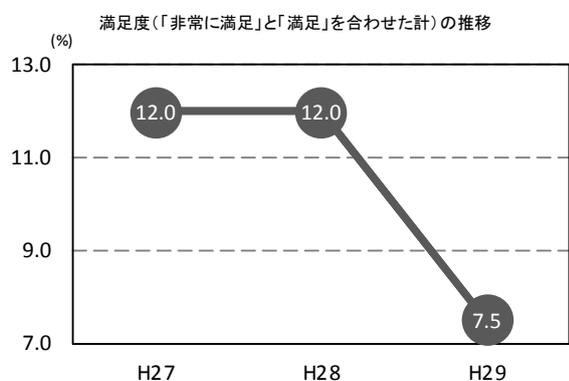
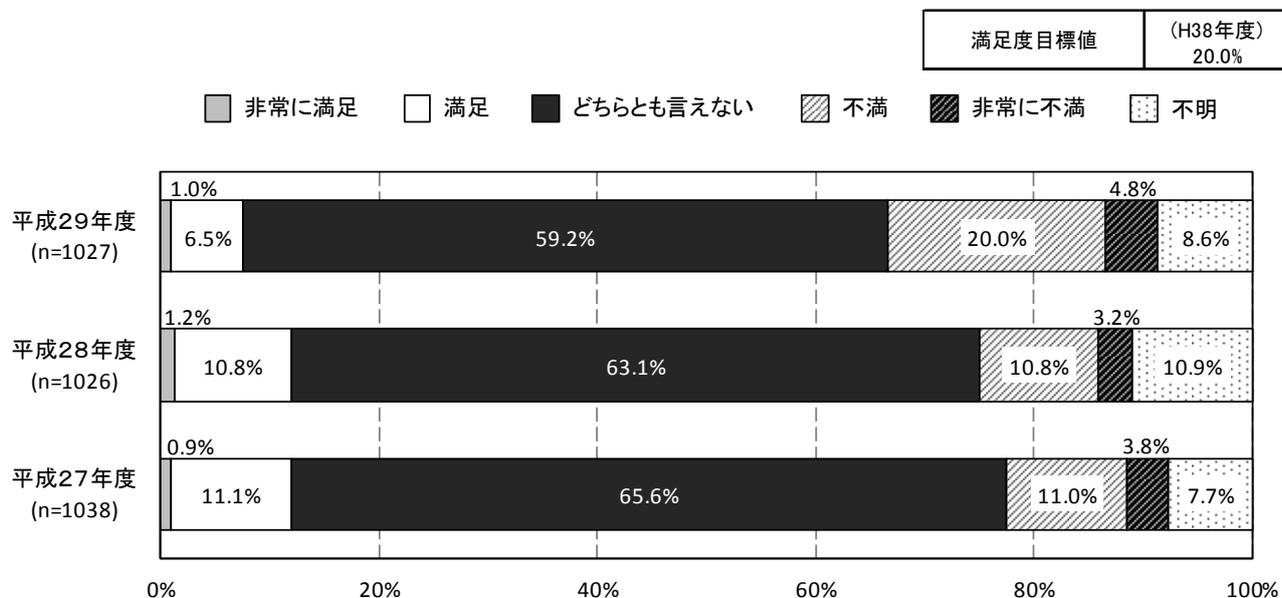


※重要度と満足度のギャップをみるにあたり、重要度を「非常に重要」と「重要」を合わせた数値で満足度（「非常に満足」と「満足」の計）のギャップをみると項目間の差が判断しにくいいため、重要度に関しては「非常に重要」の数値を採用した。

【満足度・不満度の指標の推移】

<地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動>

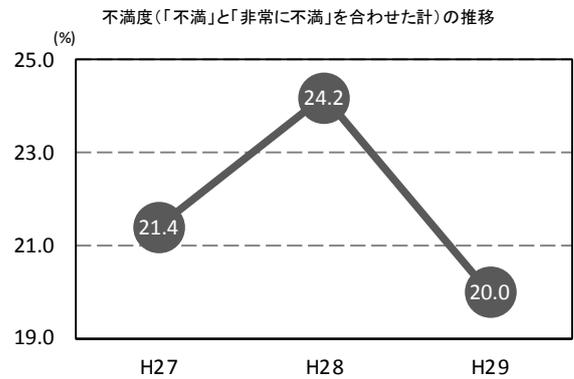
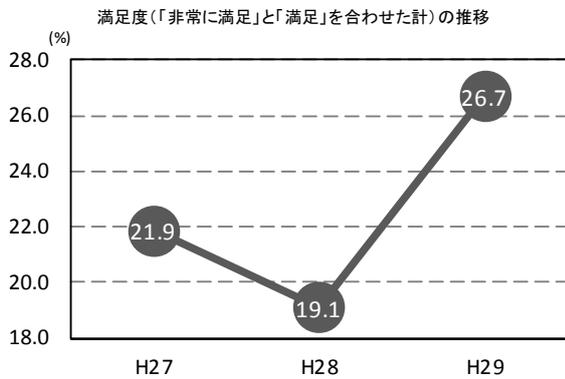
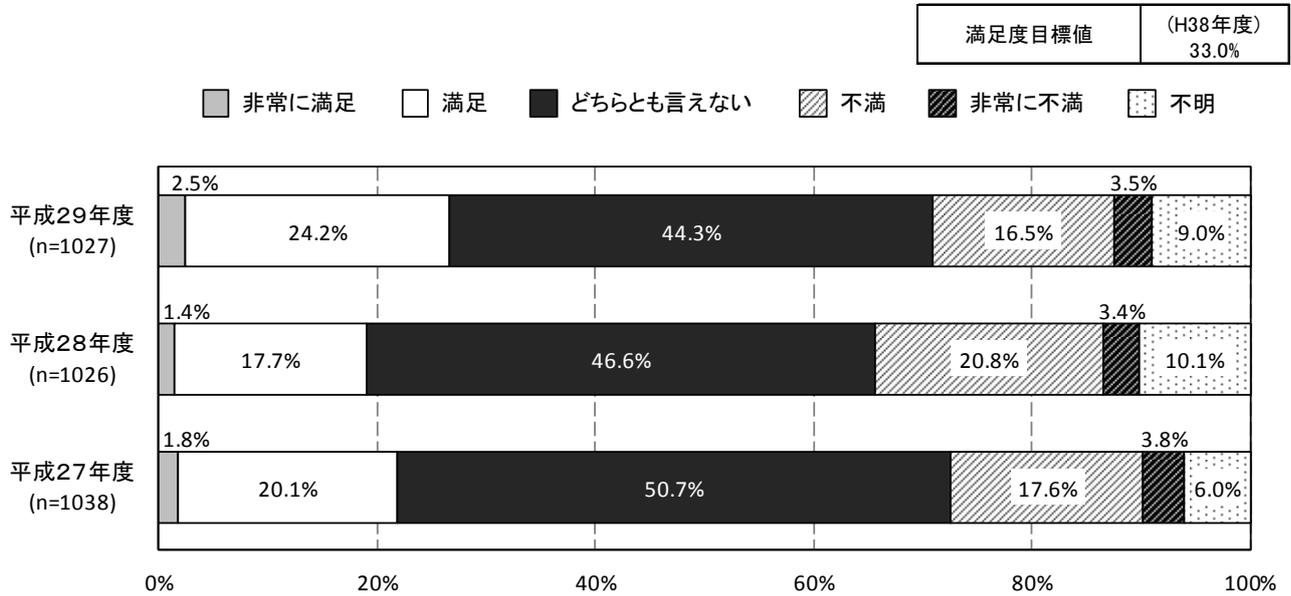
この設問は「第5次和歌山市長期総合計画※」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度が減少し不満度が増加していることから、目標値の達成に向けて、地域住民と連携し、自主的な活動を安定的に実施できるよう支援に努めるとともに、魅力的なまちづくりやその担い手づくりを推進していく必要があると思われる。



※「第5次和歌山市長期総合計画」とは、平成29年度から平成38年度までのまちづくりの方向性を示すのもで、各種個別計画や事業はこの計画に基づいて策定・実施されています。

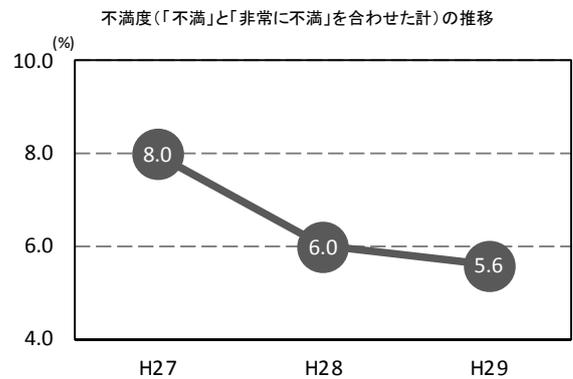
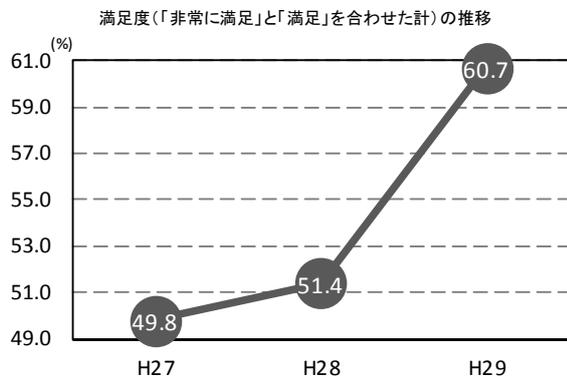
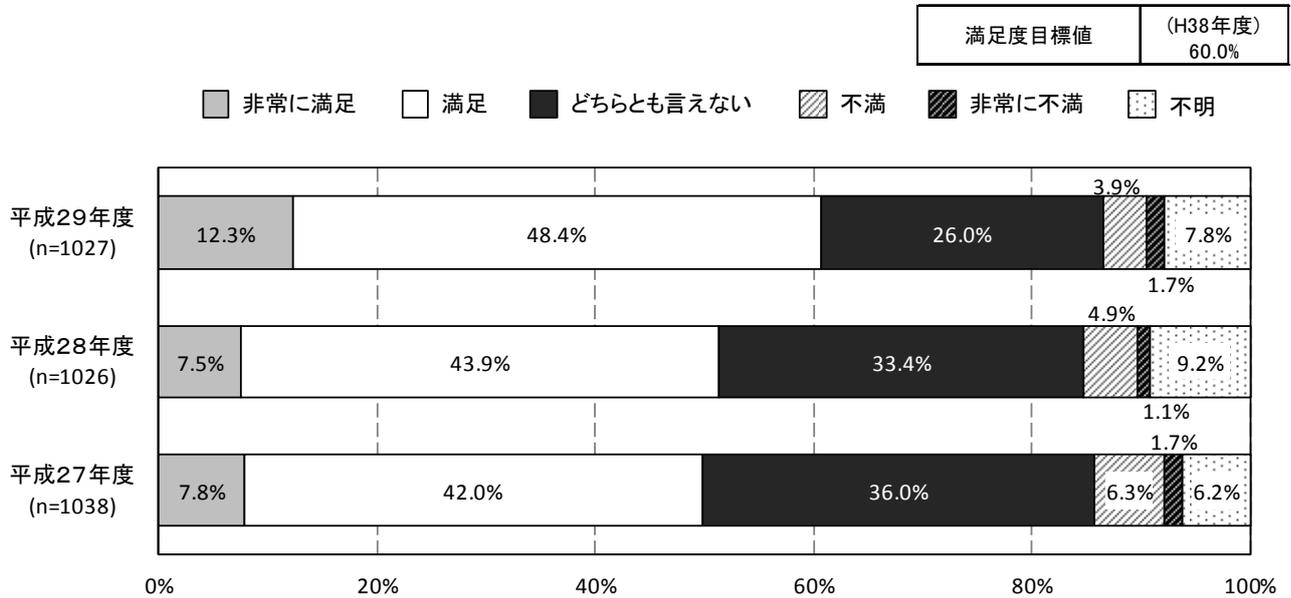
<まちなみの美しさ>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度が増加し不満度が減少していることから、新たな景観拠点の創出や、地域の優れた景観を保全、活用する景観まちづくりを支援するとともに、その仕組みづくりに引き続き取り組んでいく必要があると思われる。



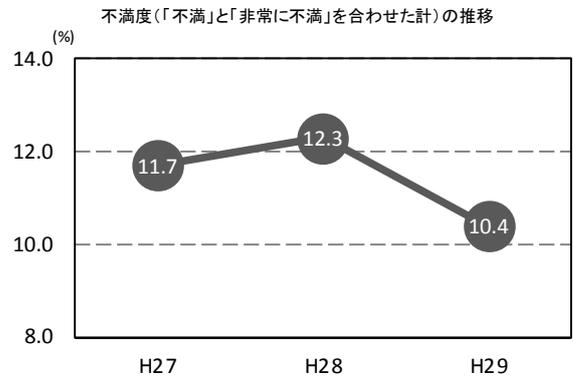
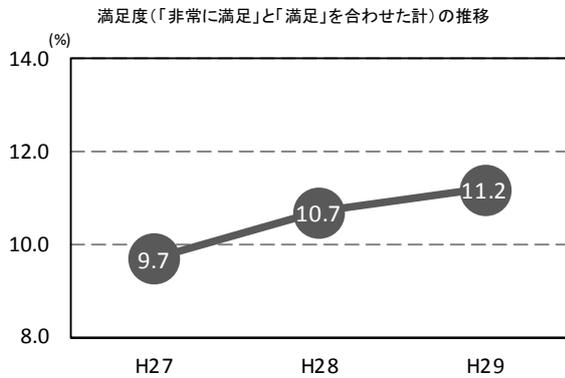
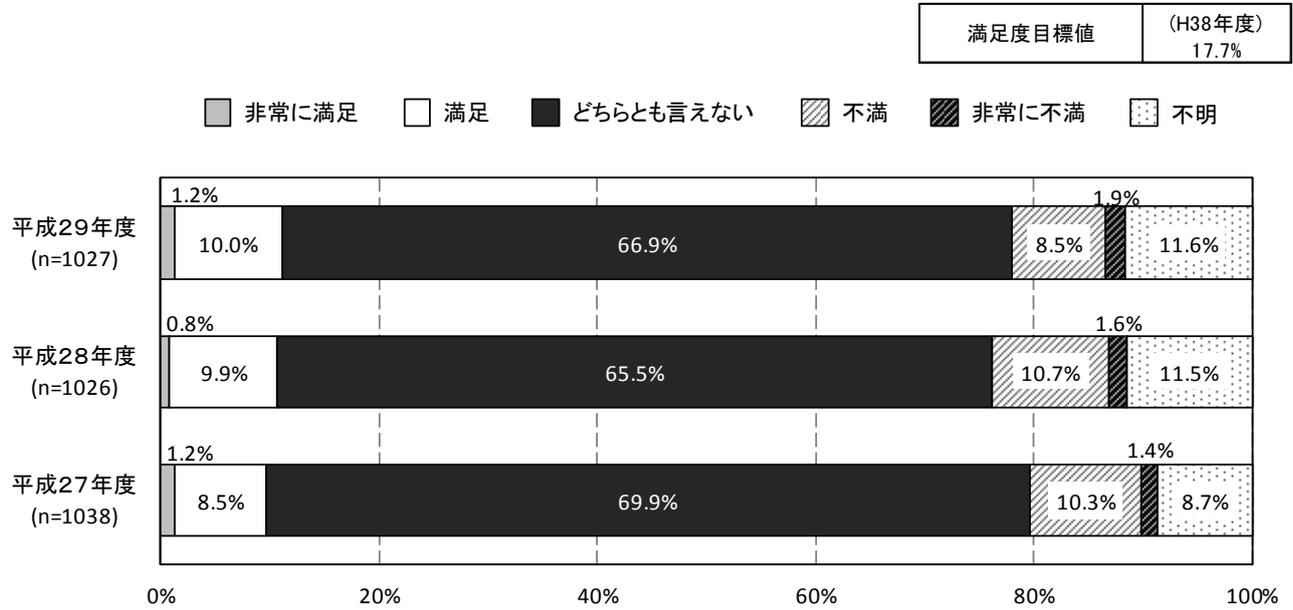
<海・山・川などの豊かな自然環境>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度が増加し不満度が減少していることから、さらに環境保全意識が向上し、環境にやさしい生活や事業が行われるために、啓発活動や情報提供等を通じて、環境づくりに努めていく必要があると思われる。



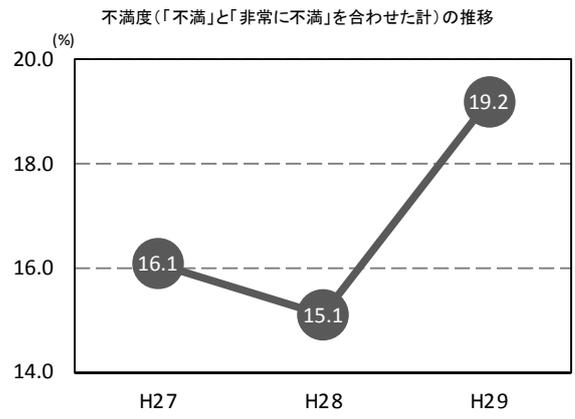
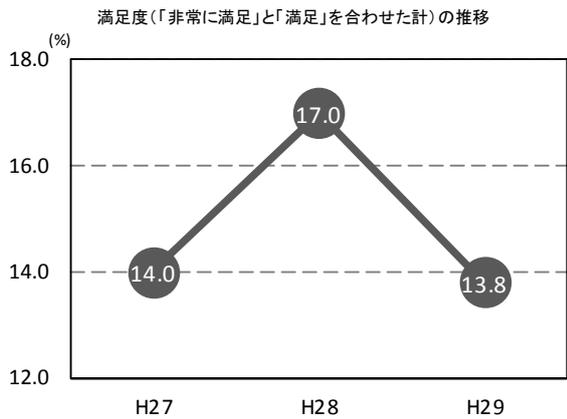
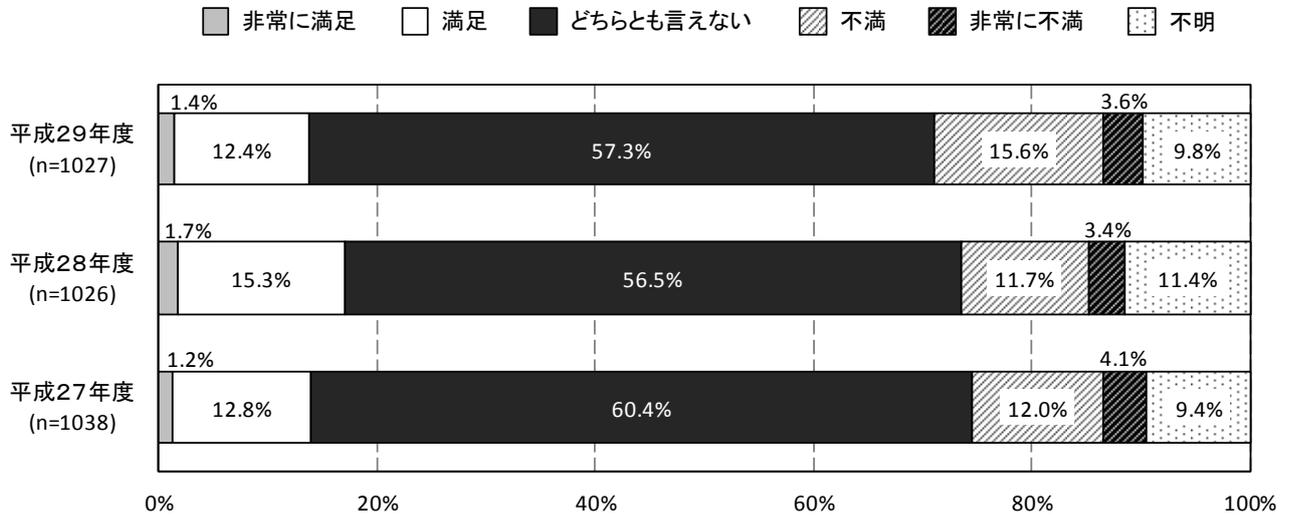
<生涯学習支援サービス>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度が増加し不満度が減少していることから、引き続き目標値の達成に向けて、幅広い世代に学びの機会を提供し、課題解決の支援の充実を行っていくほか、より質の高いサービスの提供に努める必要があると思われる。

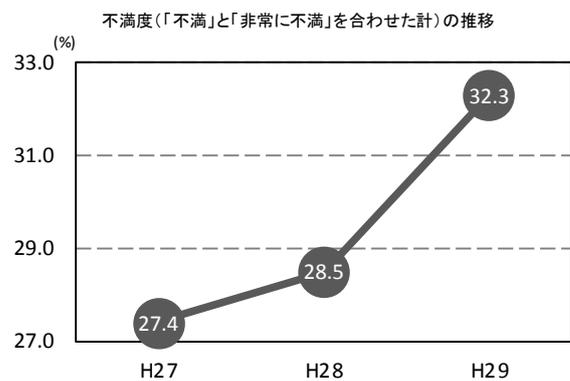
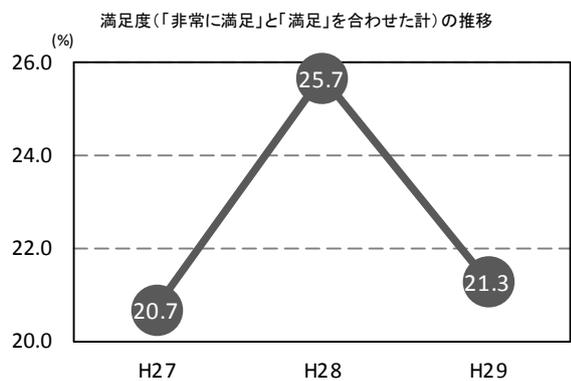
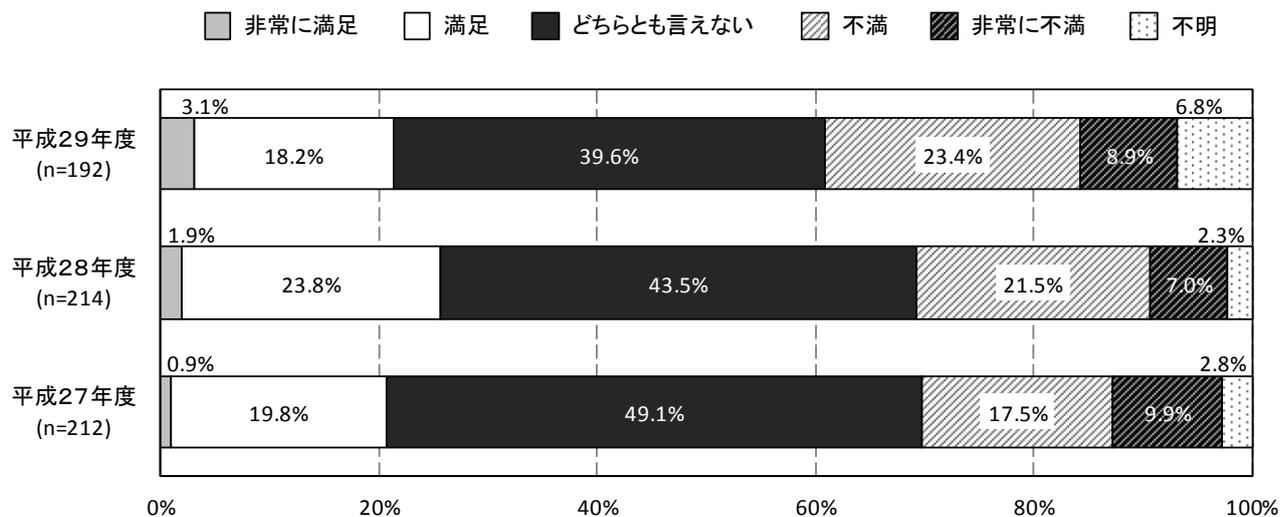


<子供や子育てに対する支援サービス>

全体の回答では、満足度が減少している。0～14歳のお子様がいる方だけの回答では、「非常に満足」の回答が増えているものの、満足度としては減少し、不満度が増加している。より安心して子供を生き育てることのできる環境の整備に努めていく必要があると思われる。

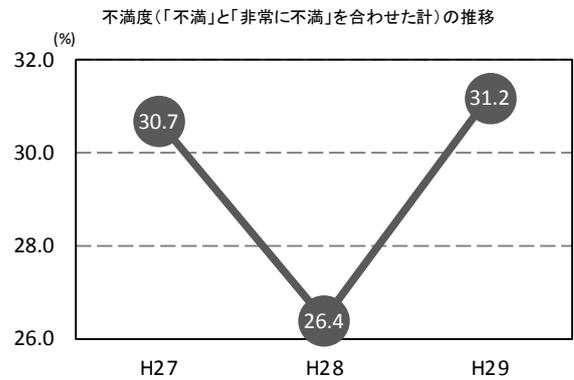
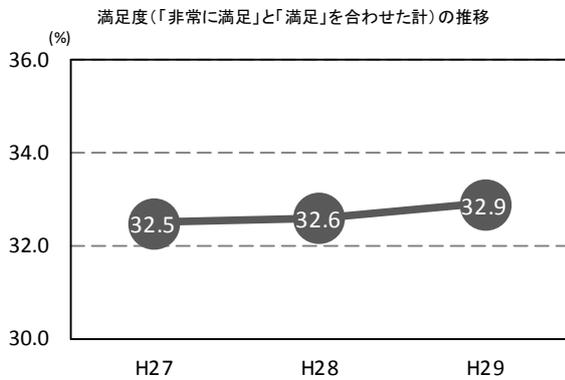
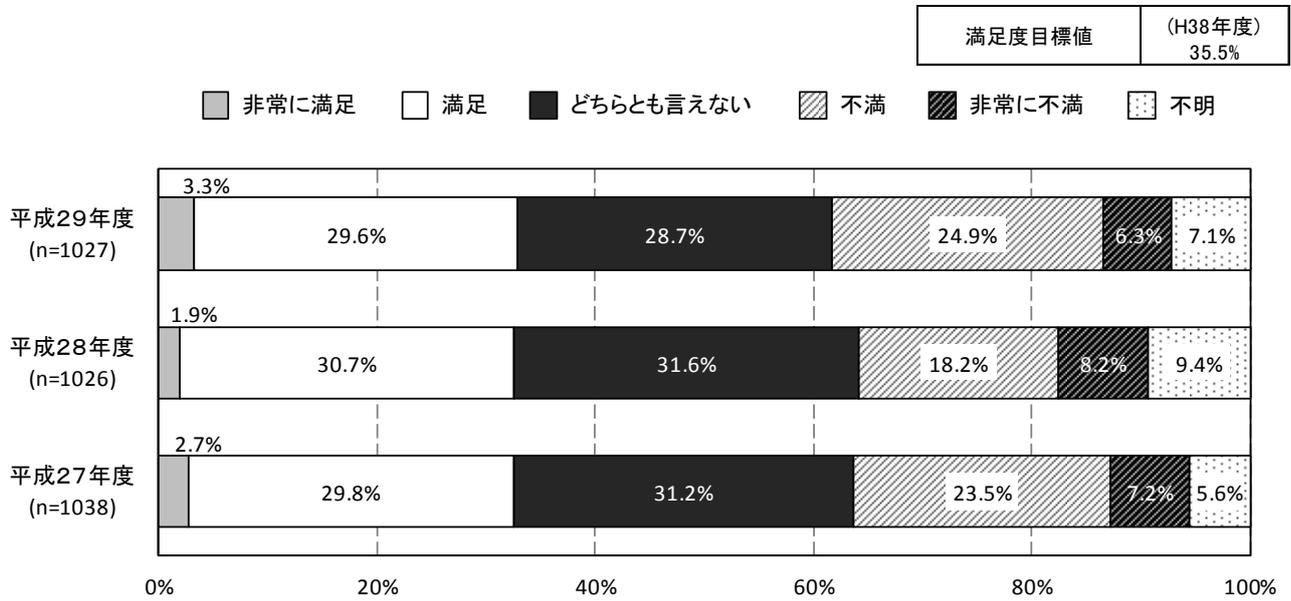


【0～14歳のお子様がいる方だけの回答】



<通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度以上に不満度が増加していることから、中心市街地の活性化を図るとともに、コンパクトで便利なまちを形成するため、駅や小学校周辺などの生活拠点に住居と日常生活に必要な機能の緩やかな誘導を図っていく必要があると思われる。

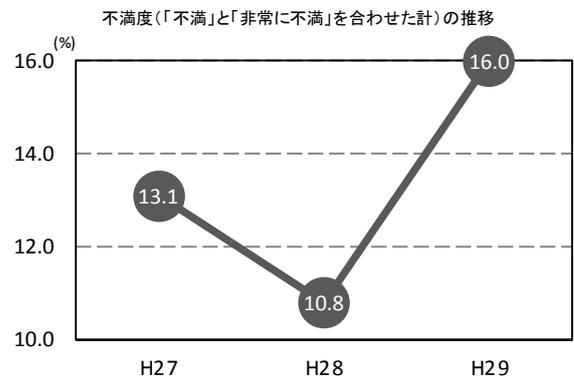
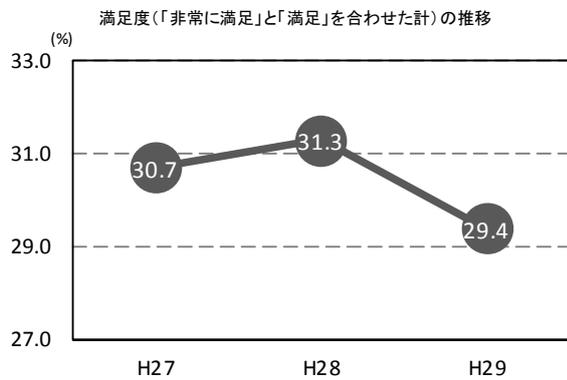
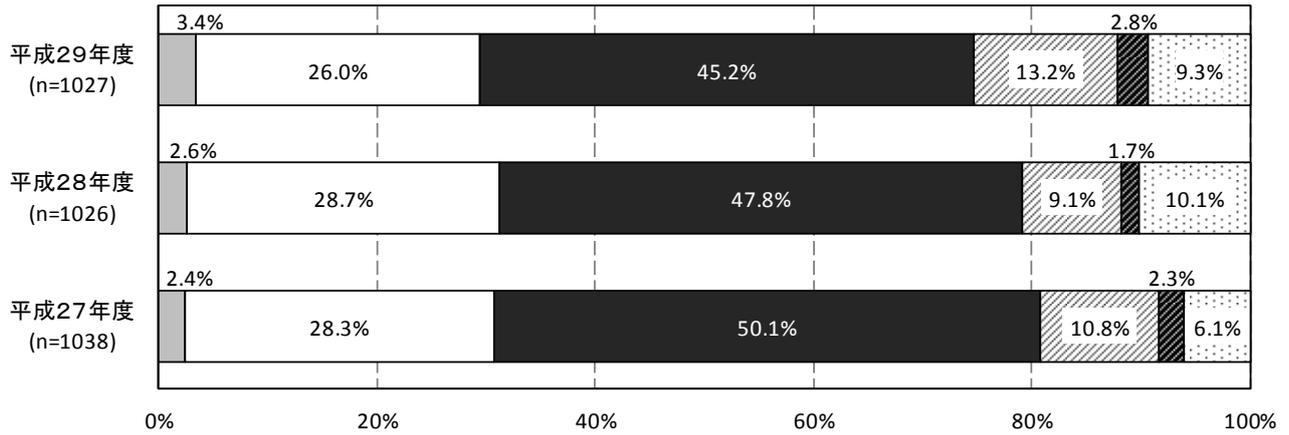


<快適で暮らしやすい住宅環境>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度が減少し不満度が増加していることから、良質な住宅や良好な宅地の確保に向け、空き家の適正管理・除去や利活用を促進するとともに、老朽市営住宅の建替え・景観改善・住環境改善を計画的に進める必要があると思われる。

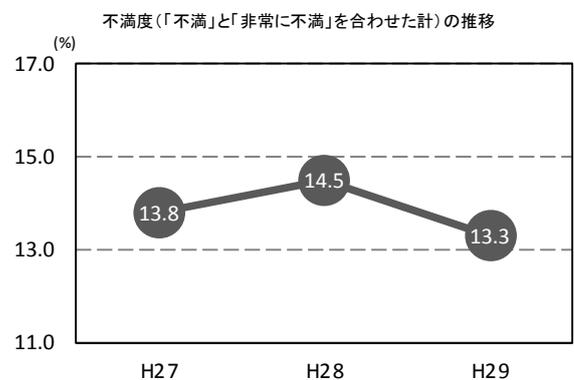
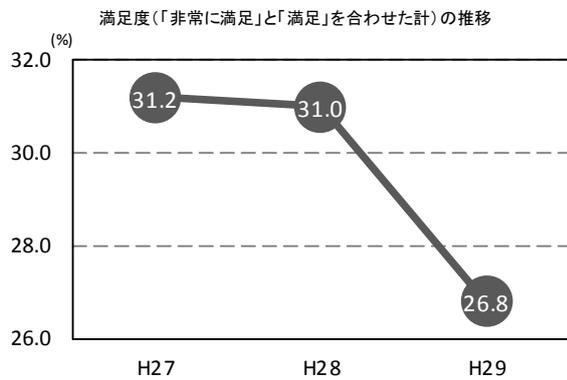
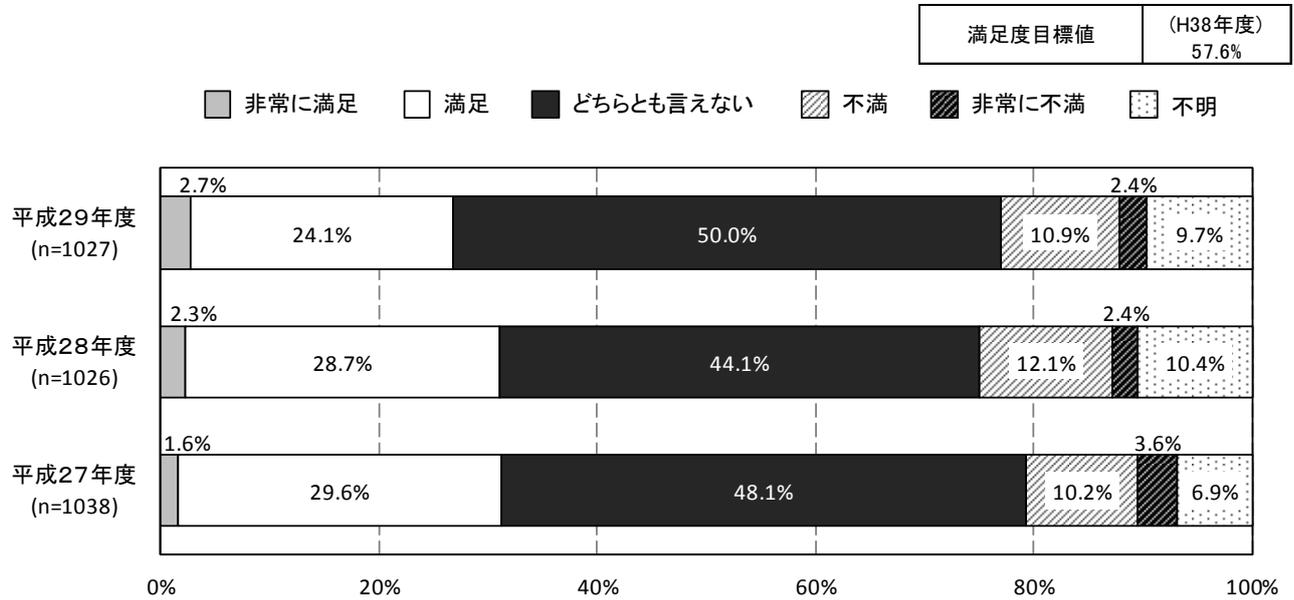
満足度目標値	(H38年度) 50.0%
--------	------------------

非常に満足
 満足
 どちらとも言えない
 不満
 非常に不満
 不明



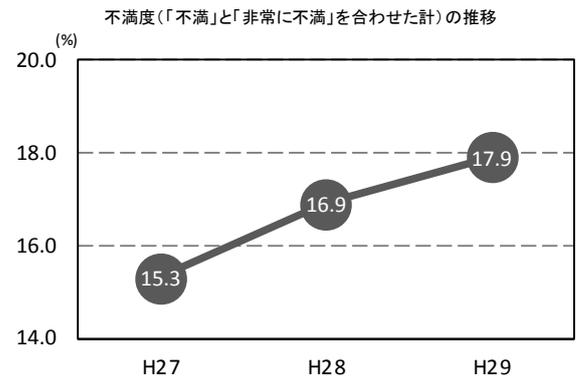
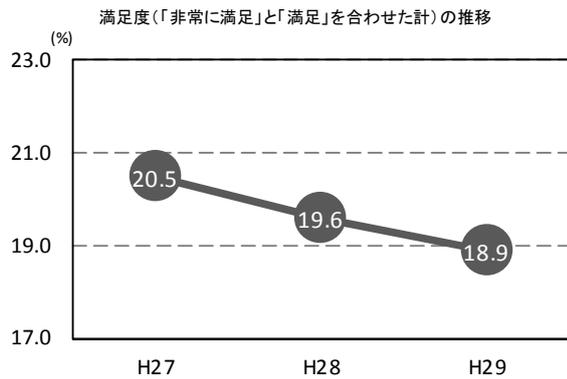
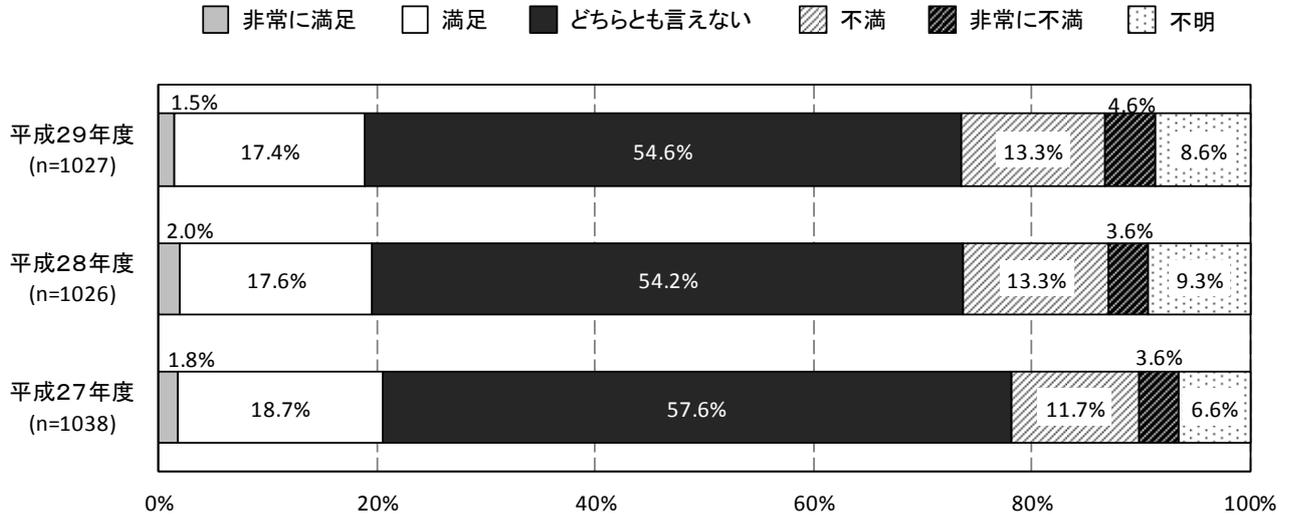
<医療・保健サービス>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。不満度以上に満足度が減少していることから、目標値の達成に向けて、必要な時に適切で良質な医療を利用できるよう地域医療・健康危機管理体制を、より一層充実させる必要があると思われる。



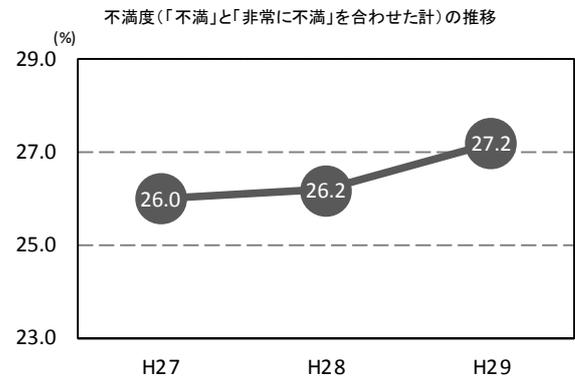
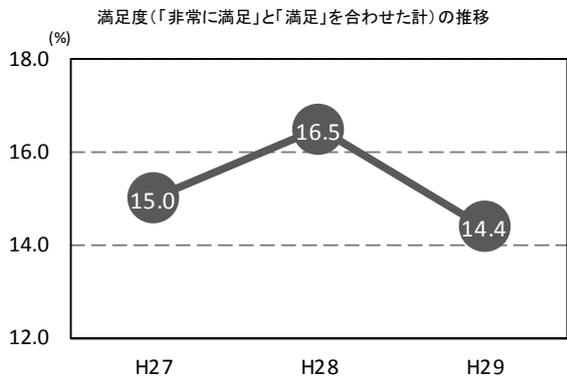
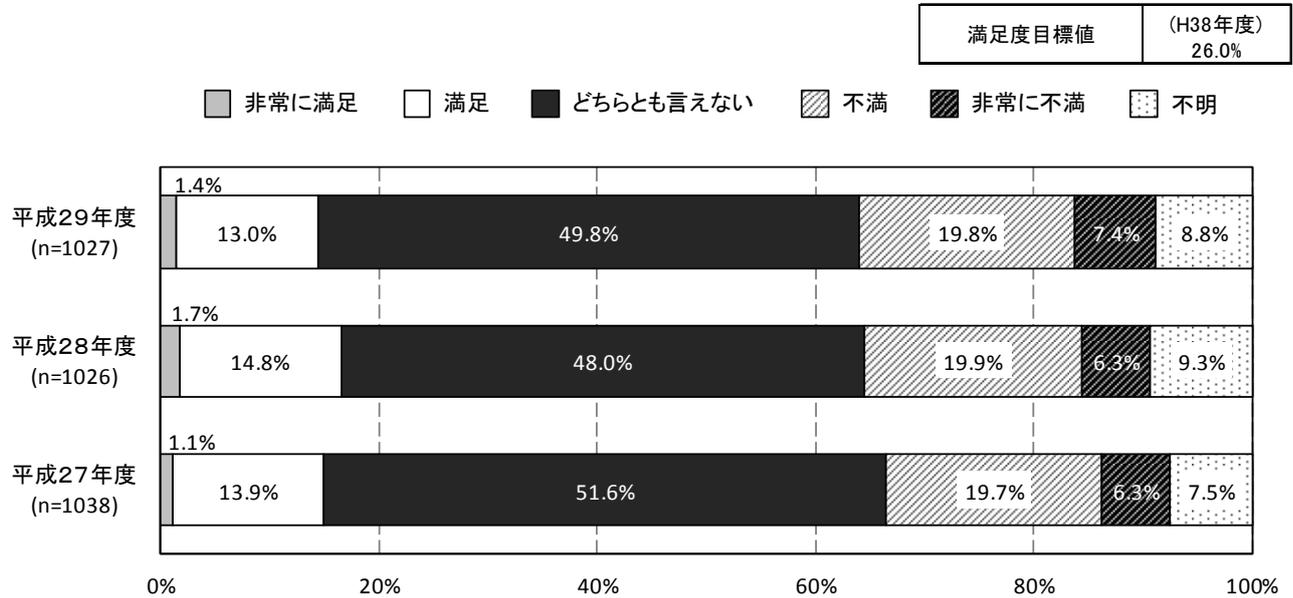
<高齢者・障害者に対する福祉サービス>

満足度が減少し不満度が増加していることから、高齢者や障害者が安心して安全に暮らすことのできるまちづくりに向けて、バリアフリー化やユニバーサルデザインの推進とともに、さらなる支援体制の強化を図る必要があると思われる。



<介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度が減少し不満度が増加していることから、目標値の達成に向けて、必要な社会保障・公的扶助のサービスを適正に受けることができる環境を整える必要があると思われる。



14. 和歌山市の市政について（自由意見）

自由意見は269人の回答者より、435件の意見があった。
その概要については、以下のとおりである。

【ご意見の概要】

大項目	中項目	小項目	件数
1 環境	1 環境		6
		1 大気汚染の防止など良好な生活環境の確保	3
		2 自然環境(緑、河川、水辺など)の保全と再生	3
	2 ごみの適正処理とリサイクル		9
		1 ごみの適正処理	7
		2 リサイクルの推進	2
	3 都市景観とまちの美化		12
		1 都市景観の保全と整備	3
		2 まちの美化	9
2 健康・福祉	1 子育て支援		15
		1 子育て支援	7
		2 子供の医療費助成制度	6
		3 ひとり親家庭支援制度	2
	2 福祉		7
		1 高齢者福祉	6
		2 障害者福祉	1
	3 健康づくりと地域医療機関		7
		1 健康づくりの推進	1
		2 地方医療機関の充実	6
	4 その他		12
		1 食品・生活環境	1
		2 生活保護	10
	3 墓地	1	
3 教育・文化・スポーツ	1 学校教育・青少年の育成		9
		1 学校の誘致	2
		2 学校教育の充実	1
		3 保育園の入園選考の見直し	1
		4 教育の無償化(幼児・高校)	3
		5 青少年の健全育成	2
	2 生涯学習やスポーツ・レクリエーションの振興・施設		6
1 スポーツ・レクリエーションの振興		5	
	2 スポーツ施設の管理・運用	1	
4 都市基盤・交通	1 公園の整備や緑化		13
		1 公園の整備	3
		2 公園の管理・運営	4
		3 和歌山城の整備	6
	2 道路の整備や公共交通機関		61
		1 駐車場の整備	3
		2 道路(車道・自転車道・歩道など)の整備	21
		3 道路の管理	5
		4 交通網や公共交通機関の充実	32
	3 計画・開発・整備(活性化を含む)		17
		1 計画的なまちづくり	5
		2 駅周辺	8
		3 中心市街地	4

大項目	中項目	小項目	件数
5 産業・経済			74
	1 商店街や中小企業、農業、水産業		8
		1 商店街、商業施設の活性化	7
		2 農業の振興	1
	2 新しい産業や高度な業務機能の集積		24
		1 新たな産業の創造	6
		2 レジャー・商業施設の誘致	8
		3 企業の誘致	10
	3 観光・シティプロモーションの推進		25
		1 観光の振興・整備	19
		2 シティプロモーションの推進	6
	4 産業人材育成、就労支援や環境整備		17
		1 就労支援の充実	12
		2 就労環境の整備	5
6 安全・生活基盤			35
	1 防災・治水対策		13
		1 防災対策	10
		2 治水対策	3
	2 交通事故と防犯		7
		1 交通事故の防止	1
		2 防犯対策	6
	3 上下水道・住宅・ガス等の整備		14
		1 インフラの整備	6
		2 住宅の整備	4
		3 空家対策	4
	4 その他		1
		1 鳥獣被害の対策	1
7 交流・コミュニティ			3
	1 市民活動やコミュニティ活動		3
8 その他・総合			149
	1 総合(政策・制度など)		96
		1 公共施設の新設・整備	7
		2 公共施設の管理・使用料	5
		3 その他施設(学校・保育所など)の施設管理	1
		4 議会・議員	4
		5 行財政改革	25
		6 都市経営・運営	50
		a 住みよいまち	27
		b 魅力あるまち	5
		c 活性化	12
		d 安心・安全なまち	5
		e その他	1
		7 広報・広聴・情報公開	4
	2 総合(職員、組織など)		11
		1 職員の対応・仕事	6
		2 職員給与・職員数・採用	5
	3 財政		8
		1 税等(保険料・使用料)	3
		2 状況	5
	4 その他		34
		1 市民意識調査	7
		2 お礼	12
		3 市民の協働	6
		4 その他	9
合 計			435

調査票

Ⅲ. 調査票

和歌山市政世論調査(平成 29 年度)アンケート調査票

このアンケートは、9月12日(火)までに返信用封筒に入れて、
切手を貼らずにお出してください。

1 あなたご自身のことについてお尋ねします。

問1 あなたの居住区はどこですか？

1. 中心部

本町・城北・広瀬・雄湊・大新・新南・吹上・砂山・今福・高松・芦原・宮前・中之島・宮北

2. 南部

雑賀・雑賀崎・和歌浦・名草・田野

3. 東部

四箇郷・宮・西和佐・和佐・小倉

4. 東南部

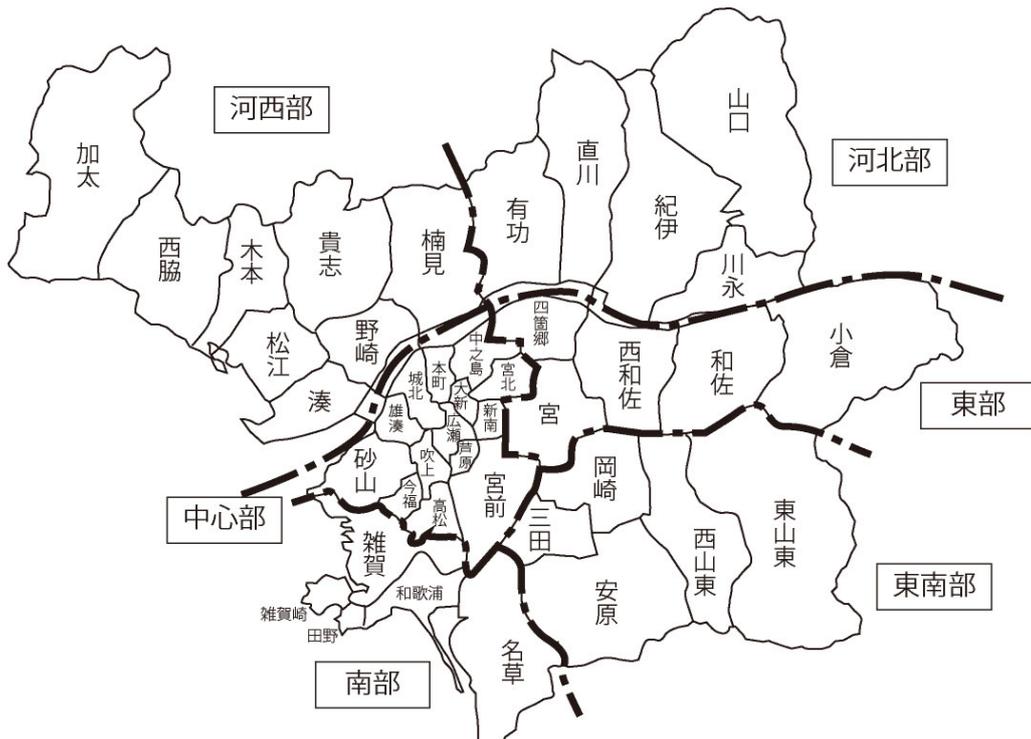
岡崎・三田・安原・西山東・東山東

5. 河西部

野崎・湊・松江・楠見・貴志・木本・西脇・加太

6. 河北部

有功・直川・紀伊・川永・山口



問2 あなたの性別は？

1. 男性 2. 女性

問3 あなたの年齢は？

1. 18～19歳 3. 30～39歳 5. 50～59歳 7. 70～79歳
2. 20～29歳 4. 40～49歳 6. 60～69歳 8. 80歳以上

問4 あなたの職業は？

1. 会社員 6. 専業主婦
2. 自営業 7. 学生
3. 農林水産業 8. 無職
4. 公務員 9. その他
5. パート・アルバイト ()

問5 あなたが和歌山市に住んでいる年数は？

1. 1年未満 5. 10～20年未満
2. 1～3年未満 6. 20～30年未満
3. 3～5年未満 7. 30年以上
4. 5～10年未満

問6 あなたは現在、結婚をしていますか？

1. 結婚している 3. 結婚していない
2. 配偶者と離・死別した

**問6-1 問6で「1. 結婚している」と回答された方のみお答えください。
夫婦ともに働いていますか？**

1. 夫婦共働きである 3. 妻のみ働いている
2. 夫のみ働いている 4. どちらも働いていない

問7 あなたは現在、どなたと一緒に住まいますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 自分ひとり 7. 自分の親
2. 配偶者 8. 配偶者の親
3. 子供（未婚） 9. 兄弟姉妹
4. 子供（既婚） 10. 祖父母
5. 子供の配偶者 11. その他
6. 孫 ()

2 あなたの身の回りの状況やお考えについてお尋ねします。

問8 あなたご自身の状況やお考えについてお答えください。

(1) 和歌山市が住みよいまちだと感じていますか？

1. はい 2. いいえ

(2) 身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか？

1. はい 2. いいえ

(3) あなたは、悪質商法による被害にあわないために日頃から気をつけていることはありますか？

1. はい 2. いいえ

(4) あなたの、かかりつけ医はありますか？

1. はい 2. いいえ

(5) お子様の、かかりつけ医はありますか？ (0～14歳のお子様がいらっしゃる方のみ)

1. はい 2. いいえ

(6) 高齢者が住み慣れた地域で充実した生活を送れていると思いますか？

1. はい 2. いいえ

(7) あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか？

1. はい 2. いいえ

(8) 日頃から趣味や関心のあるテーマについて、自主的に学習活動を行っていますか？

1. はい 2. いいえ

(9) 日頃から芸術文化活動を行い、又は鑑賞する機会(映画・音楽・展覧会の鑑賞などを含む)をもっていますか？

1. はい 2. いいえ

(10) 公園清掃や花壇づくりなど地域の活動への参加をしている、又は、したいと思いますか？

1. はい 2. いいえ

(11) 公園を月1回以上利用されますか？

1. はい 2. いいえ

3 人口減少・人口流出についてお尋ねします。

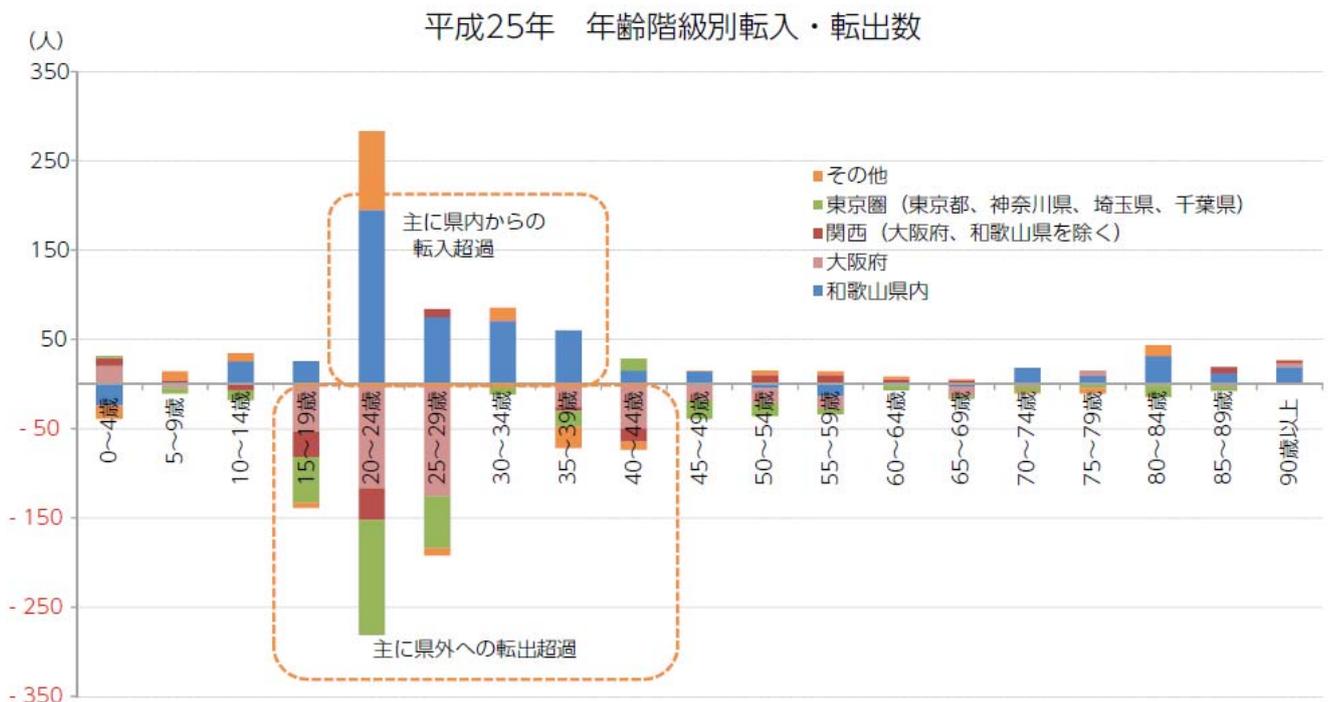
人口減少は、一定規模の人口が必要となる病院や介護施設などの医療・福祉業、ショッピングモールや家電大型専門店といった小売業など、日常生活に関連した事業活動の衰退につながる事が予想されます。

また、国民年金・介護保険といった社会保障制度など今の社会を支える多くのシステムは、急激な人口減少や高齢化などの進展に対応しきれなくなっており、人口密度の希薄化や社会保障費負担の増加がますます進むことになります。

まちづくりや社会保障システムを今の時代にあったものに再構築していくためには、現在の急激な人口減少の流れを緩和する施策を進めていく必要があります。この施策を進めていくための基礎データとしてアンケートにご協力をお願いします。

※和歌山市の状況

転入面では、県内他の市町村からの20歳から39歳までの転入超過が多く、転出面では15歳から44歳までを中心に大阪府及び東京圏への転出超過が多くなっており、県内他の市町村からの転出の受け皿になる一方、和歌山市内から大都市圏への転出が目立っています。



出所 総務省「住民基本台帳人口移動報告」

4 日本遺産についてお尋ねします。

「日本遺産」は、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものです。

その日本遺産に「絶景の宝庫 和歌の浦」として、万葉の歌聖・山部赤人に「わか の 浦に 潮満ちくれば 瀉を無み 芦辺をさして 鶴鳴きわたる」とうたわれた和歌の聖地であり、また、1300年の歴史が織り成す景観が今もなお変わらず残る和歌の浦が認定されました。

※認定された日本遺産の範囲は、西は雑賀崎、水軒堤防、東は名草山、紀三井寺、南は海南市の長保寺と広範囲に設定されています。



夕暮れの和歌浦の干潟



和歌祭

問11 あなたは、日本遺産に和歌の浦が「絶景の宝庫 和歌の浦」として認定されたことを知っていますか？

1. 知っている
2. 知らない

問11-1

問11で「1. 知っている」と回答された方のみお答えください。あなたは日本遺産に和歌の浦が認定されたことを何で知りましたか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 市報わかやま
2. 市で配布しているチラシ
3. 市のホームページ
4. 和歌祭での認定祝賀イベント
5. 新聞・テレビ・ラジオ等の報道
6. 口コミ
7. その他 ()

問 1 2 あなたが、日本遺産、和歌の浦の魅力を国内外に発信する手段として優先的に取り組むべきと思うものはどれですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. テレビ、ラジオ、新聞などのメディア発信
2. ガイドブックやパンフレット
3. ポスター
4. インスタグラムやフェイスブックなどの SNS
5. YouTube などへの動画投稿
6. 多言語化した和歌の浦の専用ホームページ
7. 有名ブロガー、和歌山出身の有名人による情報発信
8. その他 ()

問 1 3 あなたは、日本遺産、和歌の浦を盛り上げるために開催するイベントがあればどのようなイベントに参加してみたいですか？あてはまるものを 1 つお選びください。

1. フォトコンテスト
2. ウォークイベント
3. 和歌の浦でしか体験できない体験型イベント (例：地引網体験等)
4. 日本遺産に関するシンポジウム
5. 各文化財を活用した音楽会や演劇
6. 観光ガイド養成研修会
7. その他 ()

問 1 4 あなたは、日本遺産、和歌の浦の活性化のための事業として何が必要だと思いますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 文化財の修復
2. 観光客の拠点、案内 (ガイドダンス) 施設の整備
3. 観光客に分かりやすい案内板の設置
4. 観光客に快適な交通受入態勢の整備 (駐車場、レンタサイクル等)
5. 和歌の浦までの交通手段の充実 (バス等)
6. 景観整備 (道路美装化、電線地中化、住宅外観など)
7. 廃業した旅館、ホテル再生のためのホテル誘致
8. 飲食店やお土産店の誘致
9. 日本遺産認定を盛り上げるためのイベントの開催
10. 和歌の浦でしか体験できない体験型商品づくり (例：地引網体験、観光遊覧船など)
11. ご当地グルメやお土産の開発
12. その他 ()

5 LRT（次世代型路面電車）についてお尋ねします。

LRTとは、Light Rail Transitの略で、低床式車両(LRV)の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する次世代の軌道系交通システムのことです。



(メリット)

- ・ 定時性、速達性に優れている
- ・ バリアフリー対応で乗り降りがしやすい
- ・ シンボル性があり、観光面に寄与する
- ・ 自動車やバスに比べ輸送力が大きく、二酸化炭素排出量が少ない

(課題)

- ・ 道路の車線数減少により交通渋滞を誘発（自動車の利用者がLRTへ転換しなかった場合）
- ・ 採算性（軌道事業者の営業収支は大半が赤字運営であり、行政の財政負担が増大）
- ・ 多額の整備費用を要する（建設単価：約25億円/km【宇都宮市試算】）
- ・ 既存の交通事業者（バス事業者等）への影響

問15 あなたは、これまでに他の都市において、LRTを利用したことがありますか？あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 利用したことがある | 3. わからない |
| 2. 利用したことがない | 4. LRTのことを初めて知った |

問15-1

問15で「1. 利用したことがある」と回答された方のみお答えください。実際にLRTを利用され、どのように感じましたか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 決められた時刻に発車・到着するのでよかった（定時性）
2. 揺れが少なく快適な乗り心地でよかった（快適性）
3. バリアフリー対応で乗降や乗り継ぎがしやすくよかった
4. 街のシンボルとして、観光面に寄与しているのがよかった
5. 交通渋滞につながると感じ、好ましくないと感じた
6. 幹線（LRT）から支線（路線バス等）への乗り換えが発生し、不便であった
7. 路線バスでも十分であると感じた
8. その他（)

問 1 6 和歌山市において、仮に LRT を整備することになった場合、どのように思いますか？

1. 賛成
2. どちらかという賛成
3. 反対
4. どちらかという反対
5. わからない

問 1 6 - 1

問 1 6 で「1. 賛成」「2. どちらかという賛成」と回答された方のみお答えください。
賛成の理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 決められた時刻に発車・到着するから
2. 揺れが少なく快適な乗り心地であるから
3. バリアフリー対応で乗降や乗り継ぎがしやすいから
4. 街のシンボルとして、観光面に寄与するから
5. 輸送量の面で路線バスより優れているから
6. 二酸化炭素排出量が少なく環境にやさしいから
7. その他 ()

問 1 6 - 2

問 1 6 で「3. 反対」「4. どちらかという反対」と回答された方のみお答えください。
反対の理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 採算性が取れないから
2. 建設費や維持管理費により市民の負担も増えるから
3. 現状の公共交通で十分であるから
4. 自動車交通に与える影響があるから (交通渋滞を招く・交通安全面で心配)
5. その他 ()

問 1 7 和歌山市における LRT 導入ルートについて、どのルートであれば利用しますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 利用する：JR 和歌山駅－(けやき大通り、西汀丁交差点経由)－南海和歌山市駅
2. 利用する：JR 和歌山駅－(けやき大通り、公園前交差点経由)－南海和歌山市駅
3. 利用する：JR 和歌山駅－(けやき大通り、三木町交差点経由)－南海和歌山市駅
4. 利用しない
5. その他 ()

問 1 7 - 1

問 1 7 で「利用する」と回答された方のみお答えください。どれくらいの頻度で利用しますか？あてはまるものを 1 つお選びください。

1. ほぼ毎日利用する
2. 週に 3～4 日ほど利用する
3. 週に 1～2 日ほど利用する
4. 月に 1～2 日ほど利用する
5. 年に数日利用する

6 食育についてお尋ねします。

問18 あなたは、朝食及び夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか？あてはまる箇所の数字（1～11）を全て選んで、数字を○で囲んでください。

	ほとんど毎日	週に4～5日	週に2～3日	週に1日程度	ほとんどない	家族と同居していない
朝食	1	2	3	4	5	11
夕食	6	7	8	9	10	

問19 あなたは、主食（ごはん、パン、麺など）・主菜（肉・魚などを使ったメインの料理）・副菜（野菜などを使った小鉢・小皿の料理）を3つそろえて食べるのが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. ほぼ毎日
2. 週に4～5日
3. 週に2～3日
4. ほとんどない

問20 日本では年間約1700万トンの食品廃棄物が排出されており、このうち食べられるのに廃棄される食品（食品ロス）は約500～800万トン（我が国の米の年間収穫量に匹敵）等の観点から大きな問題となっています。あなたは、こうした「食品ロス」という問題を知っていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. よく知っている
2. ある程度知っている
3. あまり知らない
4. 知らない

問20-1

問20で「1. よく知っている」「2. ある程度知っている」と回答された方のみお答えください。あなたが、「食品ロス」を発生させない（食品を無駄にしない）ために取り組んでいることは何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 料理を作り過ぎない
2. 残さず食べる
3. 残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）
4. 冷凍保存を活用する
5. 日頃から冷凍庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する
6. 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する
7. 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べきれる量を購入する
8. 飲食店等で注文しすぎない
9. その他（）
10. 取り組んでいることはない

問21 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継ぎ、地域や次世代（子供やお孫さんを含む）に対し伝えていきますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 受け継いでおり、地域や次世代に対し伝えている
2. 受け継いでいるが、地域や次世代に対し伝えていない
3. 受け継いでいない

問22 あなたは、安全な食生活を送ることについてどの程度意識していますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. いつも意識している
2. 意識している
3. あまり意識していない
4. 全く意識していない

問 27 あなたは、市報わかやまや防災ホームページ等に、どのような防災情報を掲載してほしいですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 地震・台風等のしくみと脅威
2. 災害への備え
3. 市が進める防災対策
4. 各自主防災組織の活動内容紹介
5. 防災に関する補助金・交付金等の概要
6. その他（)

問 28 災害発生時や災害が発生するおそれがある時、防災行政無線等によって市から情報を発信していますが、その情報はあなたに伝わっていますか？

1. 伝わっている
2. 伝わっていない【理由：]

問 29 あなたは、災害発生時や災害が発生するおそれがある時、その情報をどこから得ていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. テレビ、ラジオ
2. テレビのデータ放送
3. インターネット（県・市のホームページ）
4. 防災行政無線
5. 防災情報メール
6. 防災情報電話案内サービス
7. その他（)

問 30 あなたは、和歌山市が65歳以上の方だけの世帯やいくつかの条件にあてはまる方を対象に家具の転倒防止用固定金具取付事業を行っていることを知っていますか？

1. はい
2. いいえ

問 30-1

問 30の事業の対象であれば、利用したいと思いますか？

1. 思う
2. 思わない

問 30-2

問 30-1で「2. 思わない」と回答された方のみお答えください。

固定金具の取付を行いたくない理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 家具や壁に穴を開けたくない
2. 賃貸住宅のために出来ない
3. 費用がいくらかわからない
4. その他（)

8 防犯対策についてお尋ねします。

問3 1 あなたは、和歌山市の治安状況についてどう感じていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 治安が良い
2. どちらかといえば治安が良い
3. どちらかといえば治安が悪い
4. 治安が悪い
5. わからない

問3 1-1

問3 1で「3. どちらかといえば治安が悪い」「4. 治安が悪い」と回答された方のみお答えください。あなたが、治安が悪いと感じる理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. テレビなどで犯罪事件の報道が多いように感じるから
2. 不審者などが増えているように感じるから
3. 暗がりが多いように感じるから
4. 見通しの悪い場所が多いから
5. 地域のコミュニティが希薄になったように感じるから
6. 特に理由はないが、不安を感じる
7. その他（)

問3 2 犯罪被害を防止するためには、日常生活において市民一人ひとりが防犯について意識することが大切です。あなたが犯罪の被害にあわないために、日常生活で心がけていることは何ですか。あてはまるものを全てお選びください。

1. 振り込め詐欺等の被害にあわないように啓発資料やニュースなどをよく確認している
2. 家や車の鍵は少しの時間でも必ず施錠している
3. 玄関や窓には鍵を二重にしている
4. 少し遠回りになっても、明るい道を通る
5. 防犯ブザーなどの防犯機器を携帯している
6. 道を歩くときは、道路側にカバンを持たないなどひったくりに注意している
7. 自転車のカゴにはひったくり防止のカバーやネットをつけている
8. 地域の犯罪発生状況に注意している
9. 見守り活動や、近所の人との挨拶を積極的にするなど、不審者を近づけにくい環境づくりを意識している
10. 自転車には鍵を2つ以上つけている
11. 自動車内には荷物を置かないようにしている
12. 自動車やオートバイに警報機等の盗難防止装置をつけている
13. 門灯などを点灯して、防犯を意識している
14. その他（)
15. 特に何もしていない

問34-1

問34で「1. 実施してほしい」と回答された方のみお答えください。実施してほしい理由について、あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. マラソンをやっている | 4. 地域の活性化を図れる |
| 2. マラソンに興味がある | 5. マラソンを間近で見たい |
| 3. 地域が盛り上がる | 6. その他 () |

問34-2

問34で「2. 実施しなくてよい」と回答された方のみお答えください。実施しなくてよい理由について、あてはまるものを1つお選びください。

1. マラソンに興味がない
2. 交通規制時間が長いから
3. 渋滞が起こるから
4. 現在の和歌浦ベイマラソンで十分だから
5. 他の政策にお金を使うべき
6. 他の市町村でもフルマラソンをやっているから
7. その他 ()

11 スポーツ施設についてお尋ねします。

問35 あなたは、これからやってみたい、又はやっている運動・スポーツはありますか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1. ウォーキング (散歩) | 10. バスケットボール |
| 2. ジョギング (ランニング) | 11. 卓球 |
| 3. サイクリング | 12. サーフィン |
| 4. テニス | 13. スケートボード |
| 5. 水泳 | 14. 体操 (健康体操、ラジオ体操、エアロビクス) |
| 6. 野球 | 15. ダンス |
| 7. ソフトボール | 16. 筋力トレーニング |
| 8. サッカー | 17. その他 () |
| 9. バレーボール | 18. やってみたい運動・スポーツはない |

問36 あなたは、市内のスポーツ施設について不足していると思われるものは何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|----------|-----------------|
| 1. 硬式野球場 | 7. テニス場 |
| 2. 軟式野球場 | 8. ゲートボール場 |
| 3. 陸上競技場 | 9. スケートボード場 |
| 4. サッカー場 | 10. トレーニングジム |
| 5. プール | 11. その他 () |
| 6. 体育館 | 12. 不足しているものはない |

12 健康についてお尋ねします。

問37 あなたは、意識的に健康づくりに取り組んでいますか？

1. はい
2. いいえ

問38 あなたは、タバコを吸っていますか？（20歳以上の方のみお答えください。）あてはまるものを1つお選びください。

1. 現在吸っている
2. 吸ったことはあるが今は吸っていない
3. 吸ったことがない

問39 あなたは、定期的に、がん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん等のいずれか）を受けていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 定期的に受けている
2. 定期的には受けていない
3. 一度も受けたことがない

※定期的な検診とは、「肺がん・大腸がん」は1年に1回、「胃がん・子宮頸がん・乳がん」は2年に1回の検診を受けることです。

問40 あなたは、「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」という言葉を知っていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 言葉も意味もよく知っている
2. 言葉も知っているし、意味もだいたい知っている
3. 言葉は聞いたことがあるが、意味はあまり知らない
4. 言葉も意味も知らない

※COPD（慢性閉塞性肺疾患）とは、タバコ煙を主とする有害物質を長期に吸入曝露することで生じた肺の炎症性疾患であり、喫煙習慣を背景に中高年に発症する生活習慣病である。

問41 あなたは、ふだん朝食を食べていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 毎日食べる
2. 時々食べる
3. 食べない

問42 あなたは、ふだん食事を1日3回規則正しく食べていますか？

1. はい
2. いいえ

問 4 3 あなたは、1日平均してどの程度歩いていると思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 4,000歩未満
2. 4,000～6,000歩未満
3. 6,000～8,000歩未満
4. 8,000～1万歩未満
5. 1万歩以上

※目安として、10分歩くと1,000歩程度、また外出しない方は3,000歩未満としてお考えください。

問 4 4 あなたは、ふだんから運動習慣がありますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 運動習慣がある
2. 運動習慣の条件は満たされていないが運動はしている
3. 健康上の理由で運動習慣はない
4. 健康以外の理由で運動習慣はない

※「運動習慣」とは、およそ1日30分以上、週2回以上、1年以上の継続とします。

問 4 5 あなたは、最近1か月の間にストレスを感じましたか？あてはまるものを1つお選びください。

1. まったく感じなかった
2. ほとんど感じなかった
3. 少し感じた
4. かなり感じた

問 4 6 あなたは、睡眠による休養をとれていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. とれている
2. ある程度はとれている
3. とれていない

問 4 7 あなたは、週に何日位お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲みますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 毎日
2. 週5～6日
3. 週3～4日
4. 週1～2日
5. 月に1～3日
6. ほとんど飲まない（飲めない）

問47-1

問47で「6. ほとんど飲まない（飲めない）」以外を回答された方のみお答えください。
あなたは、お酒を飲む日は1日あたり、どれくらいの量を飲みますか？清酒に換算し、あてはまるものを1つお選びください。

※清酒1合（180ml）は、つぎの量にほぼ相当します。

ビール・発泡酒中瓶1本（約500ml）、焼酎20度（135ml）、焼酎25度（110ml）、焼酎35度（80ml）
チューハイ7度（350ml）、ウイスキーダブル1杯（60ml）、ワイン2杯（240ml）

1. 1合（180ml）未満
2. 1合～2合（360ml）未満
3. 2合～3合（540ml）未満
4. 3合～4合（720ml）未満
5. 4合～5合（900ml）未満
6. 5合以上

問48 あなたは、「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉を知っていますか？
あてはまるものを1つお選びください。

1. 言葉も意味もよく知っている
2. 言葉も知っているし、意味もだいたい知っている
3. 言葉は聞いたことがあるが、意味はあまり知らない
4. 言葉も意味も知らない

13 ウイルス性肝炎対策についてお尋ねします。

問49 あなたは、B型及びC型肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. B型及びC型肝炎ウイルス検査を受けた
2. B型肝炎ウイルス検査を受けた
3. C型肝炎ウイルス検査を受けた
4. 肝炎ウイルス検査を受けたことはあるが、どちらかわからない
5. 肝炎ウイルス検査を受けたことはない

問49-1

問49で「肝炎ウイルス検査を受けたことがある」と回答された方のみお答えください。

あなたは、肝炎ウイルス検査はどのような機会に受けましたか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 妊婦健診
2. 手術前の検査
3. 保健所での無料検査
4. 医療機関での無料検査
5. 職場健診
6. 市のクーポン券を利用した検査
7. 特定健診

問49-2

問49で「肝炎ウイルス検査を受けたことがある」と回答された方のみお答えください。あなたは、検査結果を把握していますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 結果報告書をもらい把握した
2. 医師から結果説明で把握した
3. 結果を教えてもらっていない
4. 結果説明を受けたが、内容を覚えていない

問50 あなたは、和歌山市保健所で「肝炎ウイルスの感染の恐れがあったが、今まで検査を受けたことがない方」を対象に無料の肝炎ウイルス検査を実施していることを知っていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 知っている
2. 知らない

問51 B型肝炎ウイルスの感染経路として該当していると思うものを全てお選びください。

1. ウイルスの混入している輸血、血液製剤の投与
2. 母子感染
3. ウイルスに汚染された注射器や注射針の使用（覚せい剤の回し打ちなど）
4. ウイルスに汚染された器具を使って刺青を彫ったり、ピアスをあける
5. 感染予防行動をとらない性行為
6. わからない

問52 C型肝炎ウイルスの感染経路として該当していると思うものを全てお選びください。

1. ウイルスの混入している輸血、血液製剤の投与
2. 母子感染
3. ウイルスに汚染された注射器や注射針の使用（覚せい剤の回し打ちなど）
4. ウイルスに汚染された器具を使って刺青を彫ったり、ピアスをあける
5. 感染予防行動をとらない性行為
6. わからない

問53 あなたは、B型及びC型肝炎ウイルスについて知っていることは何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. B型及びC型肝炎ウイルスについて、知っていることはない
2. B型もしくはC型肝炎ウイルスに感染し慢性肝炎を発症した場合、放っておくと肝硬変や肝がんに進展する恐れがある
3. B型肝炎ウイルスによる慢性肝炎では、核酸アナログ製剤、インターフェロン治療において治療費の助成制度が存在する
4. C型肝炎ウイルスによる慢性肝炎では、インターフェロン及びインターフェロンフリー治療において治療費助成制度が存在する
5. 肝炎ウイルス検査は、現在妊婦健診でも実施している
6. 肝炎ウイルス検査を手術前に実施している医療機関もある
7. B型及びC型肝炎ウイルスは、日常生活（食事、共同浴場、トイレ、握手、抱擁など）では感染しない
8. その他（)

14 和歌山市の取組みに対する満足度・重要度についてお尋ねします。

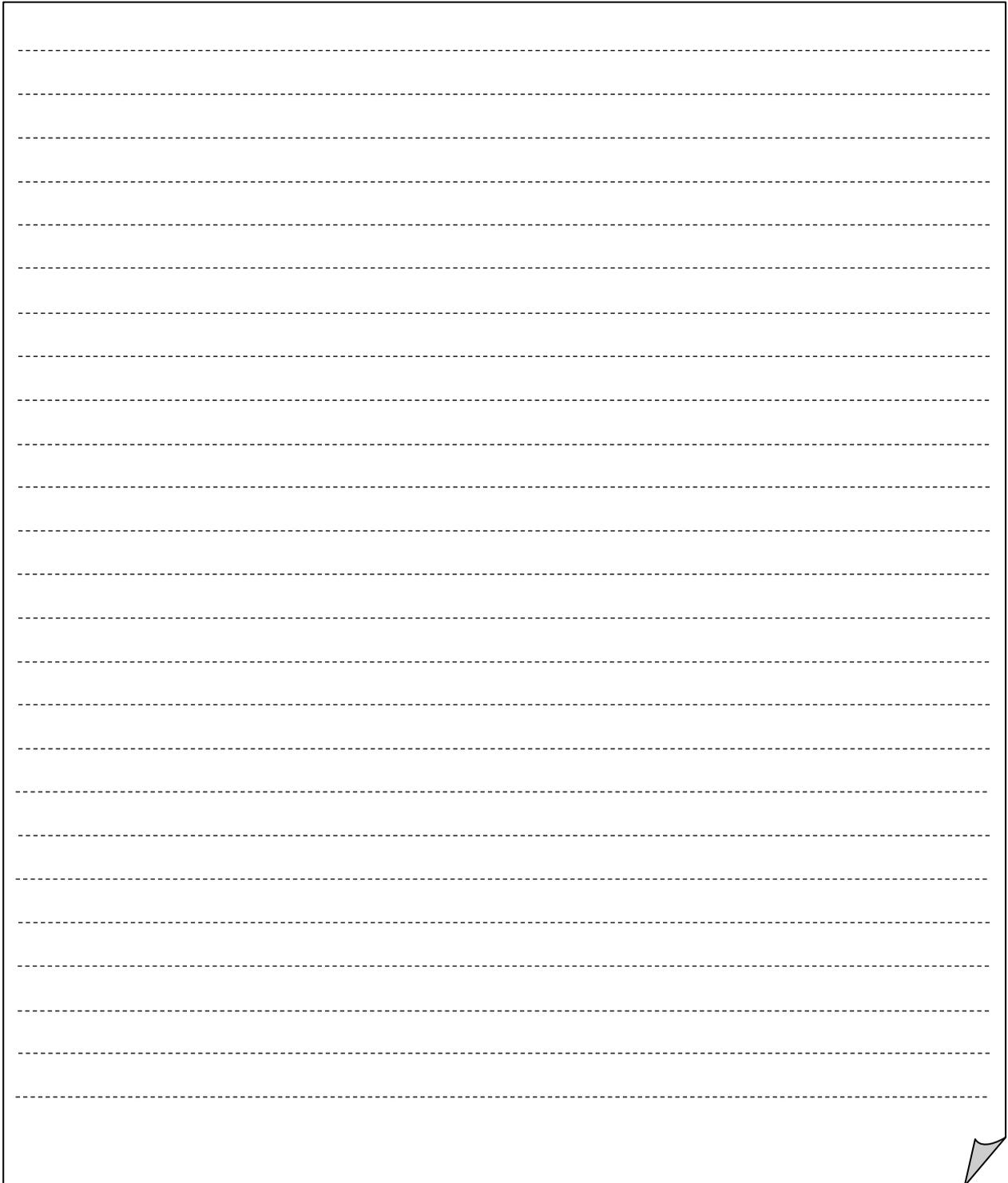
問54 和歌山市に住んでいて、つぎのことがらについてどのように感じていますか？

満足度と重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字を○で囲んでください。

回答方向 ⇒		どの程度満足していますか？					どの程度重要だと思われますか？					
		非常に満足	満足	えない どちらとも言	不満	非常に不満	非常に重要	重要	えない どちらとも言	はない あまり重要で	ない	全く重要では
産業が元気なまち 安定した雇用を生み出す	地域産業（商工業・農林水産業）の発展	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	観光地としての魅力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	国内や国外との交流	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	雇用対策や労働環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
住みたいと選ばれる魅力があふれるまち	中心市街地の活気	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	まちなみの美しさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	海・山・川などの豊かな自然環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	資源ごみのリサイクル	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	生涯学習支援サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
子供たちがいきいきと育つまち	子供や子育てに対する支援サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	学校・幼稚園などの教育環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	青少年の健全育成活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	

回答方向 ⇒		どの程度満足していますか？					どの程度重要だと思われますか？					
		非常に満足	満足	えない どちらとも言	不満	非常に不満	非常に重要	重要	えない どちらとも言	はない あまり重要で	ない	全く重要では
誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	基幹道路や生活道路の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	快適で暮らしやすい住宅環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	公園や下水道などの生活環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	地震や風水害などの災害に対する安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	消防・救急救助の体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	交通安全に対する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	暴力や犯罪に対する防犯体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	消費生活相談の体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	医療・保健サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	人権が尊重される社会環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	男女が共生できる社会環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	高齢者・障害者に対する福祉サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
地域住民の助け合い活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
その他	市政に対する市民参加のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	市民サービスなどの行政窓口の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	

和歌山市の市政についてご意見をお聞かせください。



*****ご協力ありがとうございました*****